

我孫子市

「第 10 期介護保険事業計画・第 11 次高齢者保健  
福祉計画策定業務」に係るアンケート  
調査報告書

令和 8 年 3 月

我孫子市



---

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査対象者	3
3 回収状況	4
4 調査結果の表示方法	4
第2章 在宅介護実態調査	5
1 調査票の記入者	7
2 設問別の回答結果	7
A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします	7
B票 主な介護者の方について、お伺いします	23
C票 現在およびこれからの生活などについてお伺いします	29
第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	51
1 調査票の記入者	53
2 設問別の回答結果	53
問1 あなたのご家族や生活状況について	53
問2 からだを動かすことについて	55
問3 食べることについて	61
問4 毎日の生活について	64
問5 地域での活動について	69
問6 就労について	74
問7 たすけあいについて	75
問8 健康について	79
問9 認知症について	85
問10 高齢者なんでも相談室について	91
問11 介護について	93
問12 在宅サービスについて	95
問13 食べることやからだを動かすことについて	96
問14 情報通信機器の使用について	97
問15 高齢者福祉センターつつじ荘について	99
問16 在宅医療について	102
3 リスク判定	108

第4章 特別養護老人ホーム入所待機者に関する調査	117
1 調査票の記入者	119
2 設問別の回答結果	120
問1 ご本人（入所予定者）やご家族の生活状況について	120
問2 特別養護老人ホームの入所申込みについて	122
第5章 介護サービス事業所調査	127
1 事業所の概要について	129
2 事業所の運営状況について	131
3 職員体制や人材育成について	142
4 地域とのつながりについて	147
5 人材の確保・外国人労働者雇用について	148
6 ICTについて	153
7 災害について	155
第6章 介護支援専門員調査	161
1 介護支援専門員としてのあなたご自身について	163
2 介護支援専門員業務全般について	177
3 ケアプランの作成状況について	183
4 関係者との連携について	188
5 高齢者施策全般について	192
6 在宅医療やその他について	207
第7章 介護従事者調査	217
1 介護従事者としてのあなたご自身について	219
2 職場の環境について	226
3 業務に対する評価・待遇について	234
4 仕事に対する不安や今後のことについて	237
第8章 使用した調査票	243

# 第1章 調査の概要

---



## 1 調査の目的

「高齢者や家族が住み慣れた地域で安心してらせる地域づくり」というテーマを実現できるよう日常生活圏域における住民ニーズを把握し、「第10期介護保険事業計画・第11次高齢者保健福祉計画」（令和9年度から令和11年度）を策定するための基礎資料とすることを目的に調査を行いました。

## 2 調査対象者

### 【在宅介護実態調査】

市内在住の65歳以上で要支援・要介護認定を受けていて在宅で生活している方から無作為に抽出した1,500人

### 【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

市内在住の65歳以上で要介護認定を受けていない方から無作為に抽出した2,500人

### 【特別養護老人ホーム入所待機者に関する調査】

令和7年11月1日時点において、特別養護老人ホームへの入所申込をされている要介護3以上の入所待機者

### 【介護サービス事業所調査】

市内介護サービスを提供している事業所を運営する法人等

### 【介護支援専門員調査】

市内介護サービス事業所に勤務している介護支援専門員（ケアマネジャー）

### 【介護従事者調査】

市内介護サービス事業所に勤務している介護従事者

## 第1章 調査の概要

### 3 回収状況

	在宅介護実態調査	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	特別養護老人ホーム 入所待機者に関する調査
実施方法	郵送	郵送	郵送
配布数 (①)	1,500	2,500	280
回収数 (②)	964	1,766	148
回収率 (②/①)	64.3%	70.6%	52.9%
調査期間	令和7年11月19日 ～令和7年12月19日	令和7年11月19日 ～令和7年12月19日	令和7年11月12日 ～令和7年12月12日

	介護サービス事業所への アンケート調査	介護支援専門員への アンケート調査	介護従事者への アンケート調査
実施方法	WEB	WEB	WEB
配布数 (①)	—	—	—
回収数 (②)	81	132	297
回収率 (②/①)	—	—	—
調査期間	令和7年12月3日 ～令和8年1月9日	令和7年12月3日 ～令和8年1月9日	令和7年12月3日 ～令和8年1月9日

※「介護サービス事業所へのアンケート調査」「介護支援専門員へのアンケート調査」「介護従事者へのアンケート調査」については、WEB調査のため配布数を把握できないことから、配布数(①)および回収率(②/①)は記載していません。

### 4 調査結果の表示方法

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超える場合があります。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 本文中で、比率の比較をする際には、ポイント(小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位で示しています。)と表記しています。

## 第2章 在宅介護実態調査

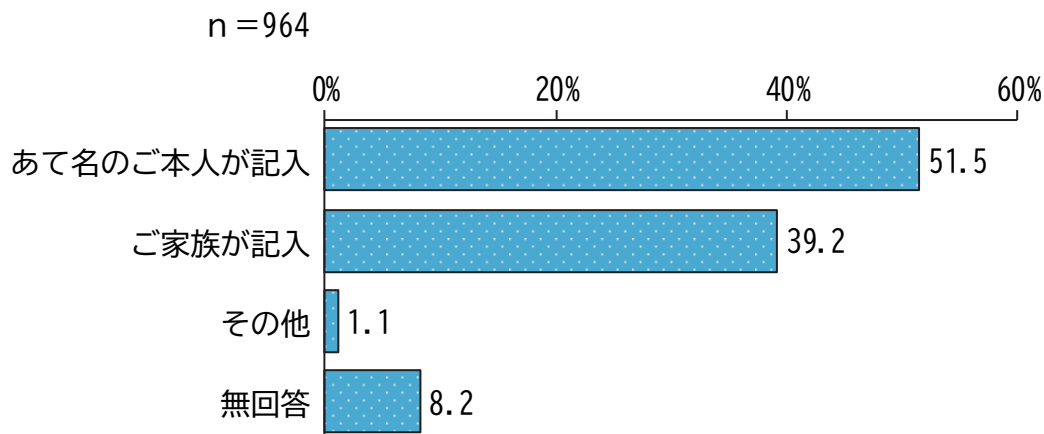
---



## 1 調査票の記入者

この調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

調査票の記入者については、「あて名のご本人が記入」が51.5%、「ご家族が記入」が39.2%となっています。

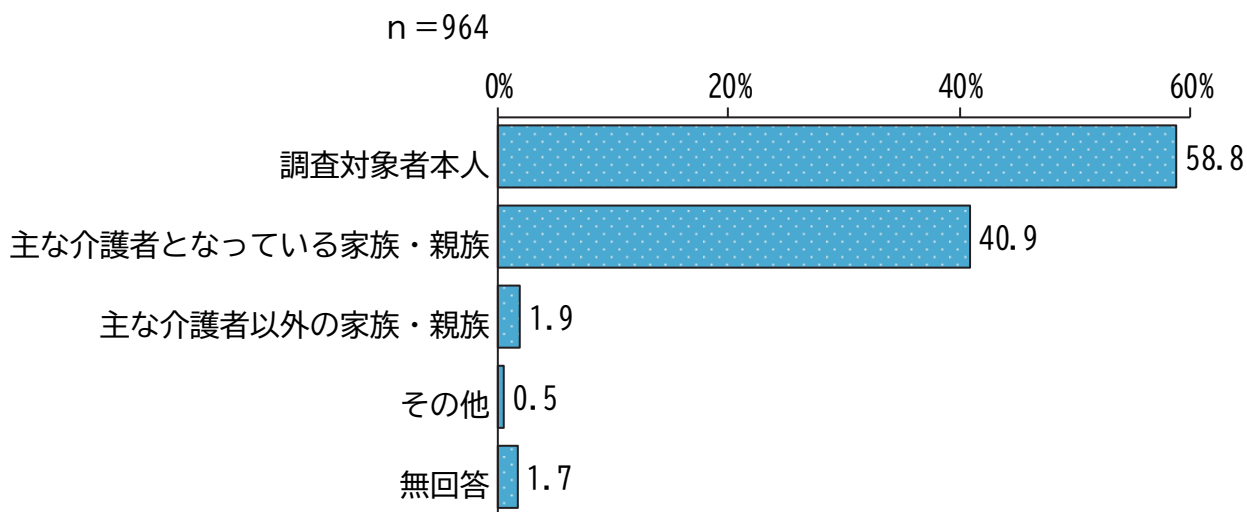


## 2 設問別の回答結果

### A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

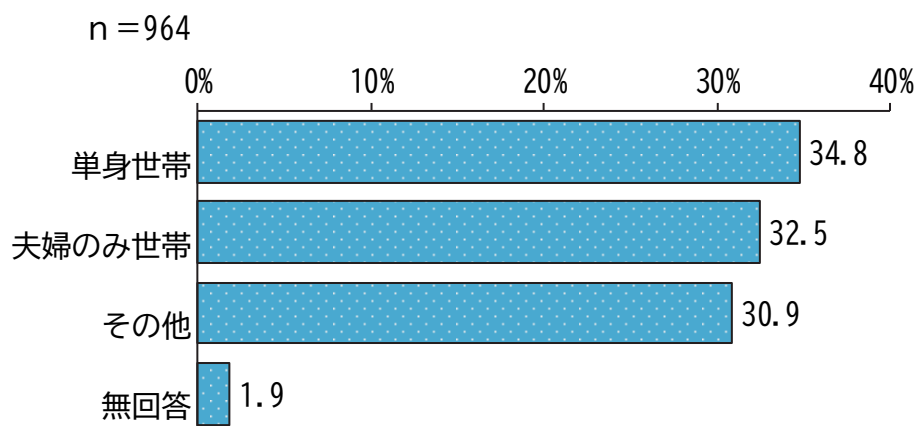
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

調査票の記入者については、「調査対象者本人」が58.8%と最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が40.9%、「主な介護者以外の家族・親族」が1.9%となっています。



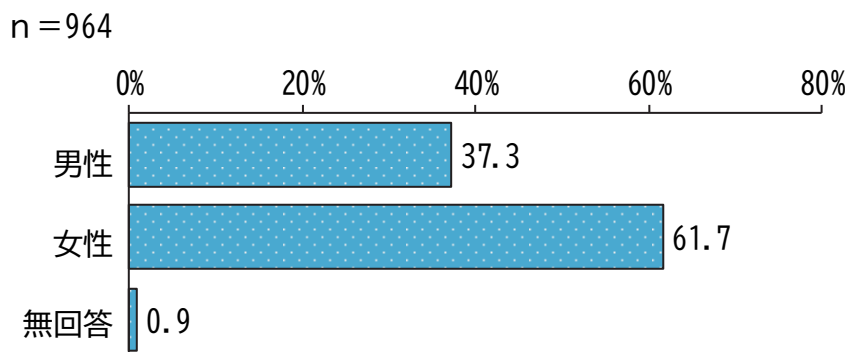
問2 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

世帯類型については、「単身世帯」が34.8%、「夫婦のみ世帯」が32.5%となっています。



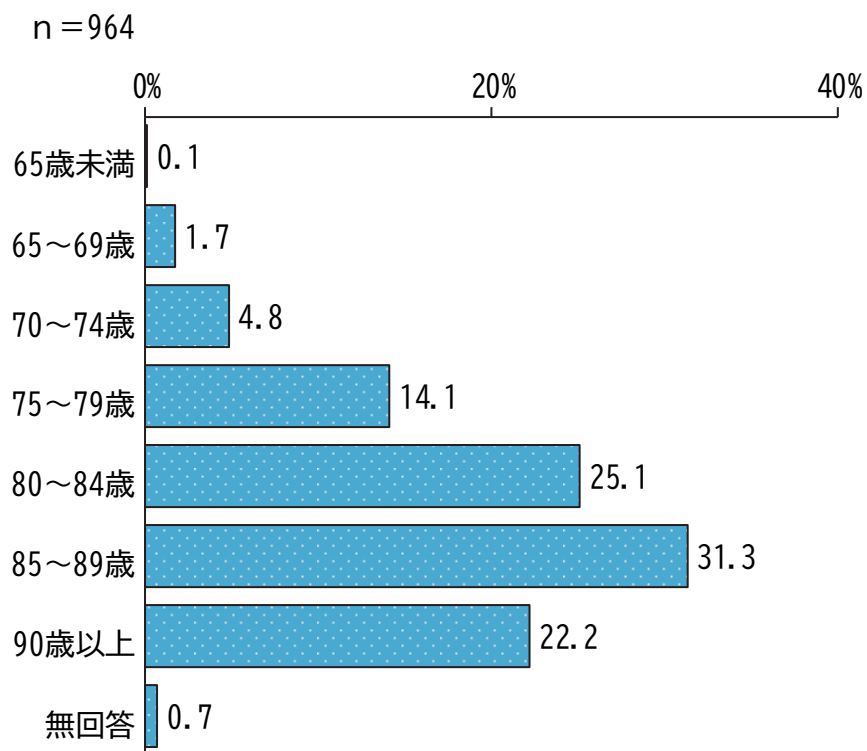
問3 ご本人の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

調査対象者の性別については、「女性」が61.7%、「男性」が37.3%となっています。



## 問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

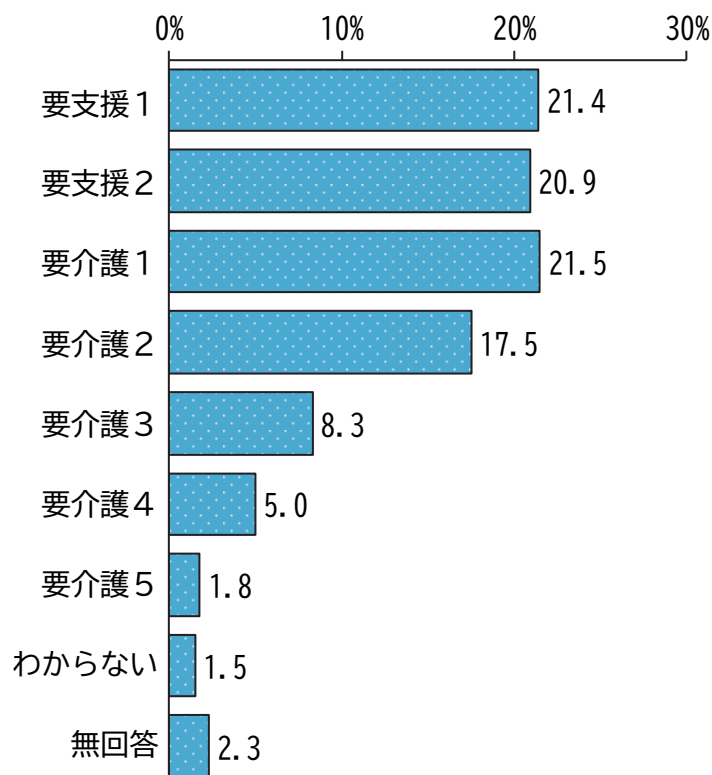
調査対象者の年齢については、「85～89歳」が31.3%と最も多く、次いで「80～84歳」が25.1%、「90歳以上」が22.2%となっています。



問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

調査対象者の要介護度については、「要介護1」が21.5%と最も多く、次いで「要支援1」が21.4%、「要支援2」が20.9%となっています。

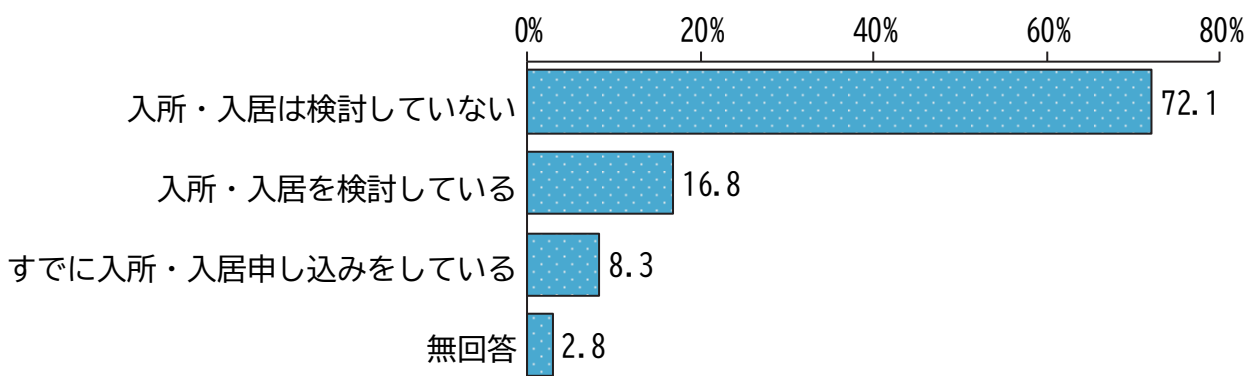
n = 964



問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つを選択)

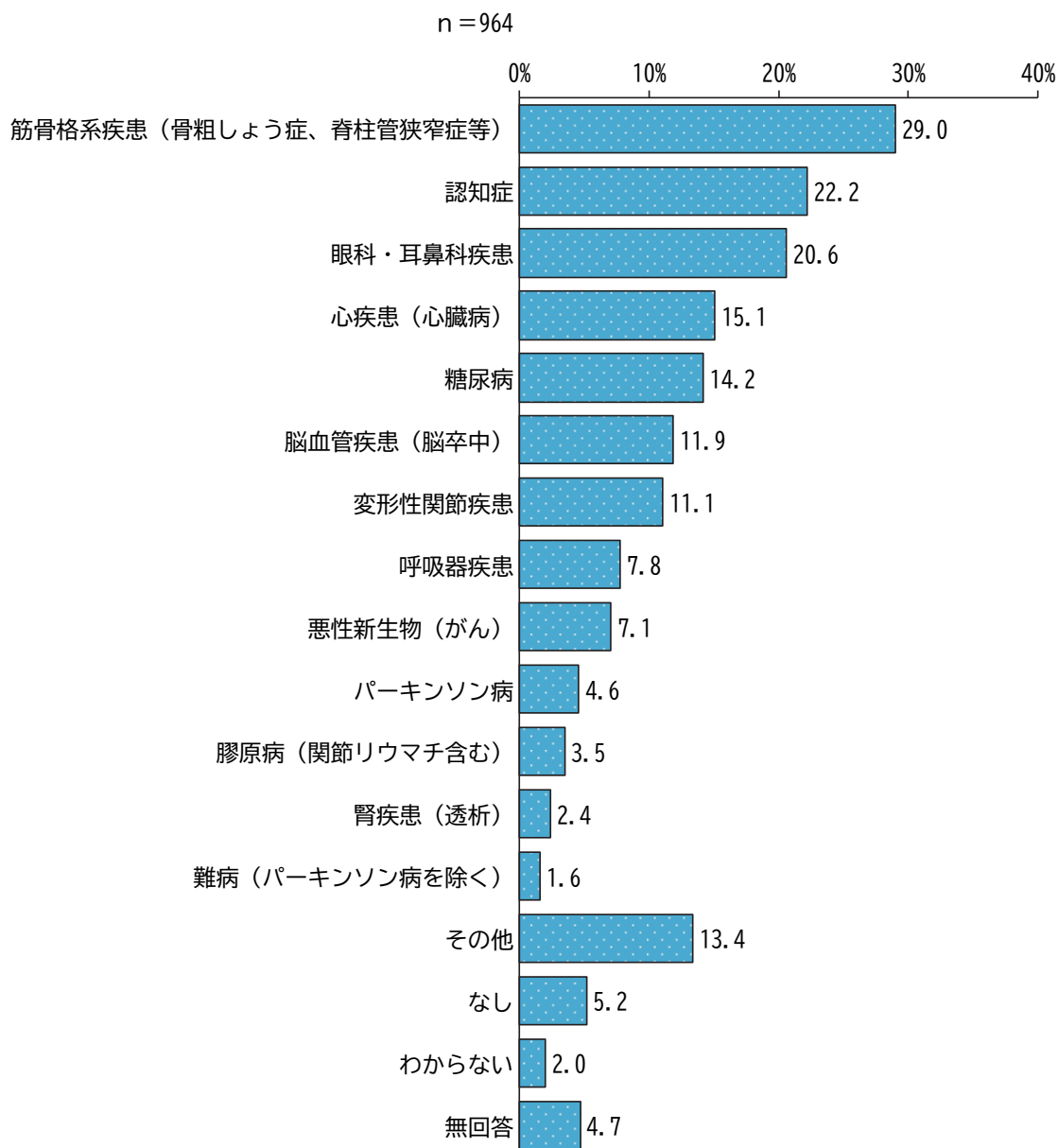
入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が72.1%、「入所・入居を検討している」が16.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.3%となっています。

n = 964



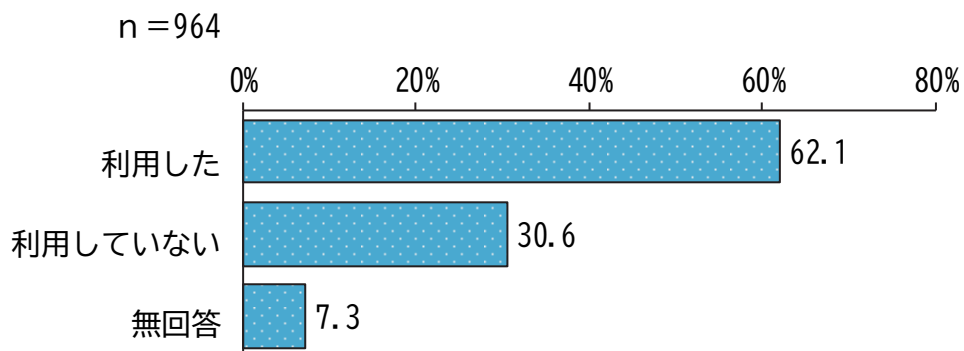
問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。  
（複数選択可）

現在抱えている傷病については、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が29.0%と最も多く、次いで「認知症」が22.2%、「眼科・耳鼻科疾患」が20.6%となっています。



問8 令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

介護保険サービスの利用状況については、「利用した」が62.1%、「利用していない」が30.6%となっています。

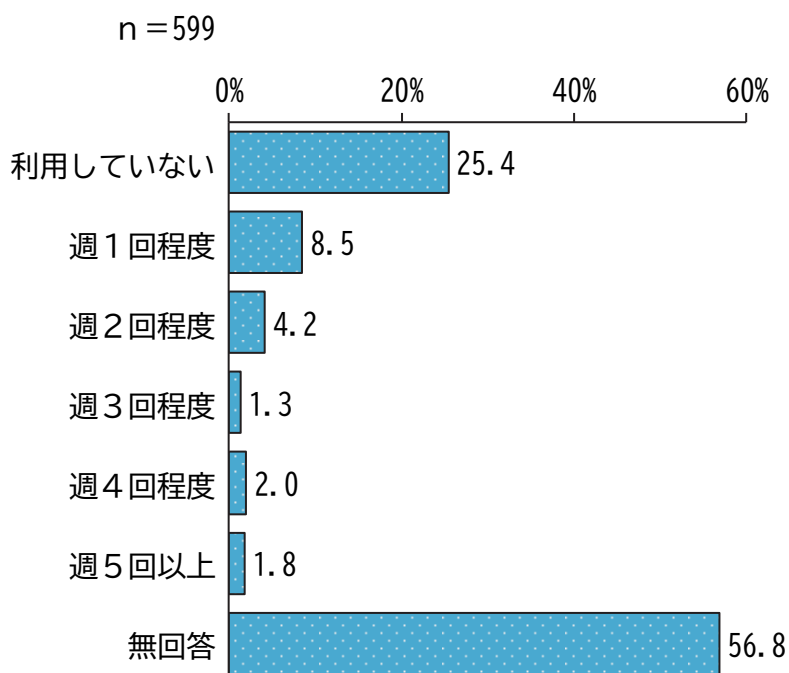


問9 問8で「1」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和7年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1.利用していない)」を選択してください。(それぞれ1つに〇)

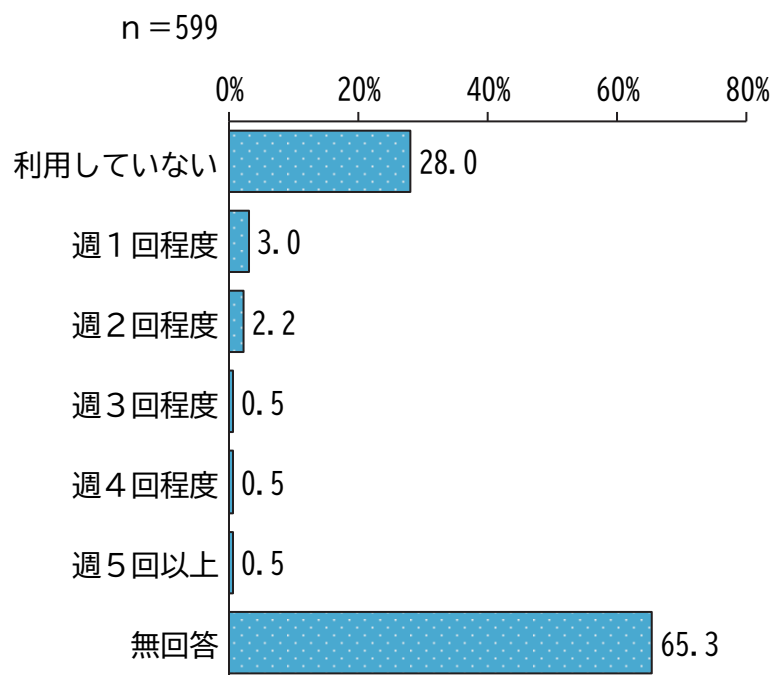
A. 訪問介護(ホームヘルプサービス)

訪問介護(ホームヘルプサービス)の利用状況については、「週1回程度」が8.5%と最も多く、次いで「週2回程度」が4.2%、「週4回程度」が2.0%となっています。



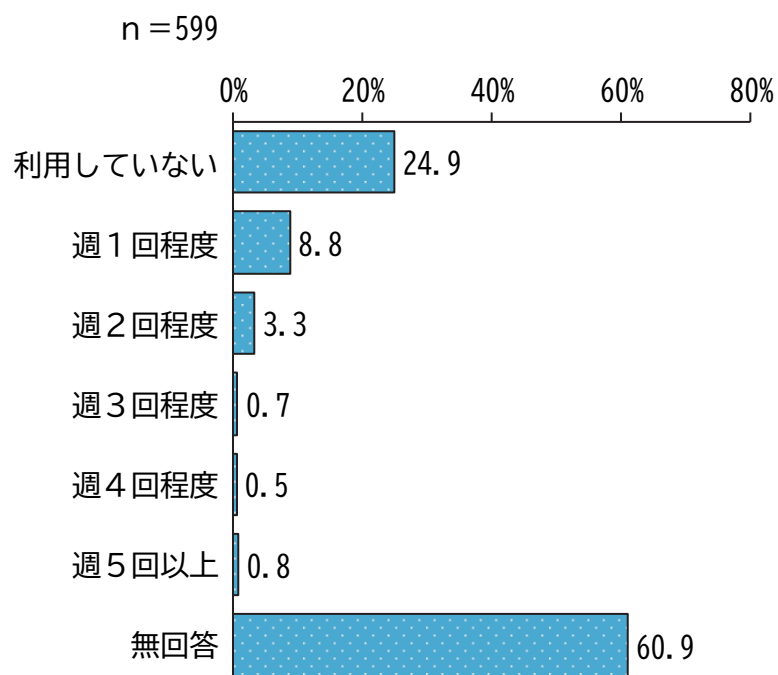
## B. 訪問入浴介護

訪問入浴介護の利用状況については、「週1回程度」が3.0%と最も多く、次いで「週2回程度」が2.2%となっています。



## C. 訪問看護

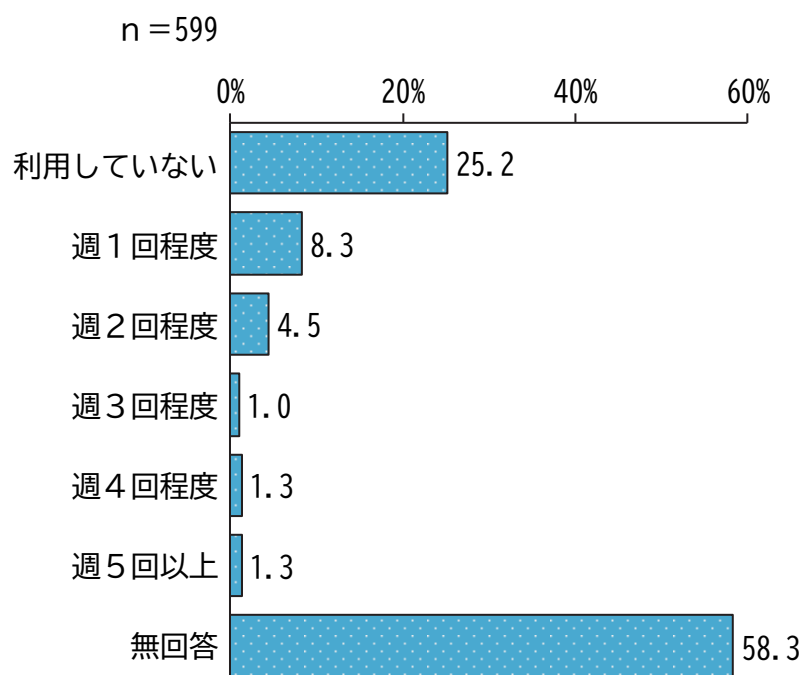
訪問看護の利用状況については、「週1回程度」が8.8%と最も多く、次いで「週2回程度」が3.3%、「週5回以上」が0.8%となっています。



## 第2章 在宅介護実態調査

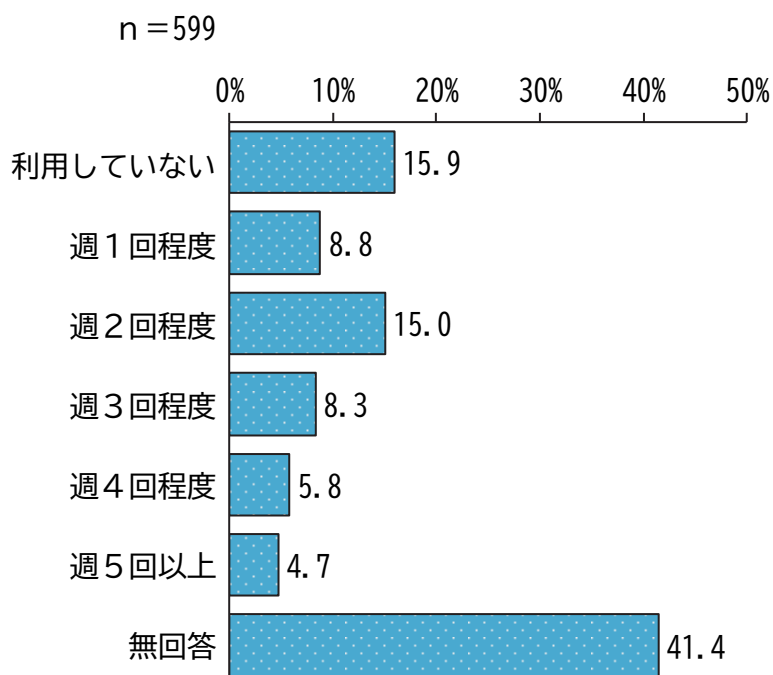
### D. 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションの利用状況については、「週1回程度」が8.3%と最も多く、次いで「週2回程度」が4.5%、「週4回程度」「週5回以上」が各1.3%となっています。



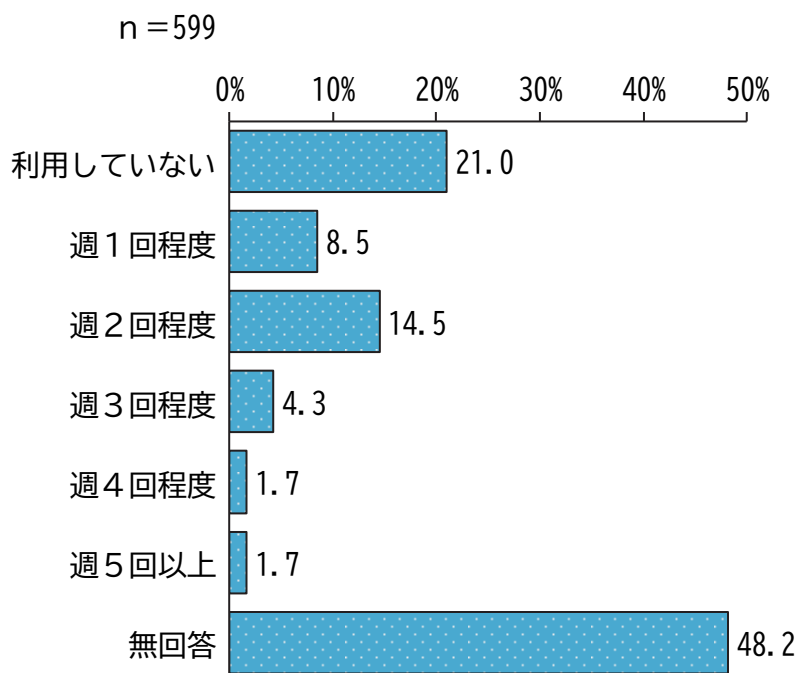
## E. 通所介護（デイサービス）

通所介護（デイサービス）の利用状況については、「週2回程度」が15.0%と最も多く、次いで「週1回程度」が8.8%、「週3回程度」が8.3%となっています。



## F. 通所リハビリテーション（デイケア）

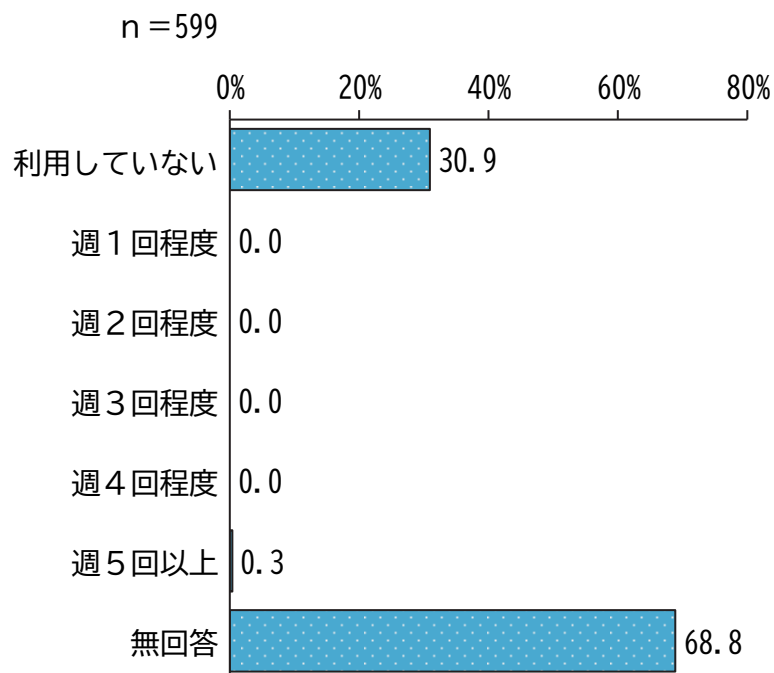
通所リハビリテーション（デイケア）の利用状況については、「週2回程度」が14.5%と最も多く、次いで「週1回程度」が8.5%、「週3回程度」が4.3%となっています。



## 第2章 在宅介護実態調査

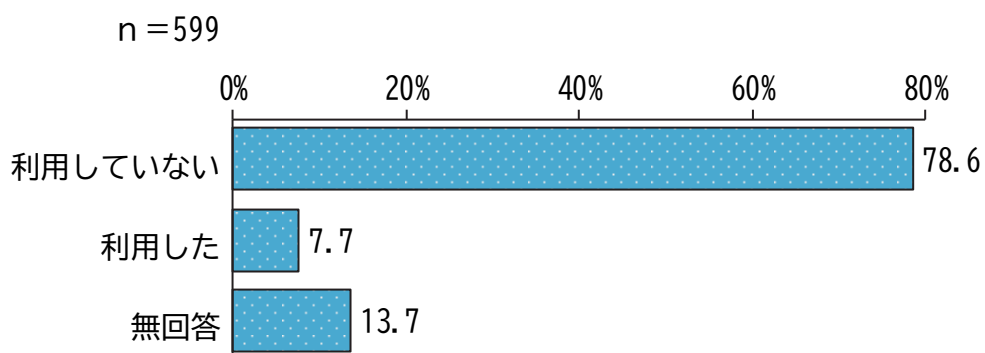
### G. 夜間対応型訪問介護

夜間対応型訪問介護の利用状況については、「週5回以上」が0.3%となっています。



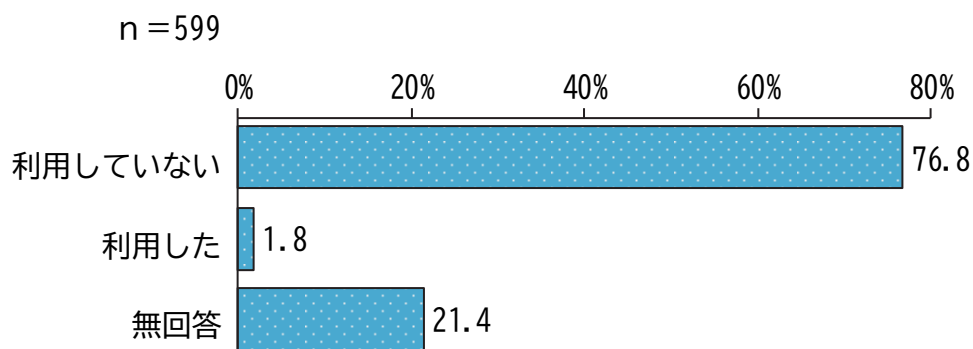
### H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用状況については、「利用した」が7.7%、「利用していない」が78.6%となっています。



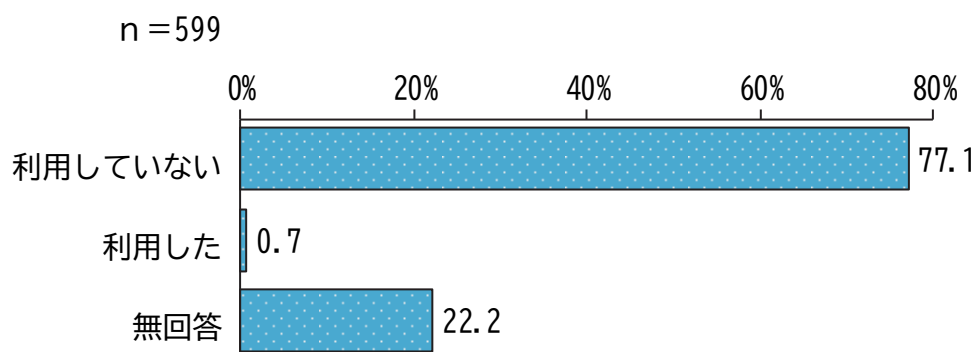
## I. 小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護の利用状況については、「利用した」が1.8%、「利用していない」が76.8%となっています。



## J. 看護小規模多機能型居宅介護

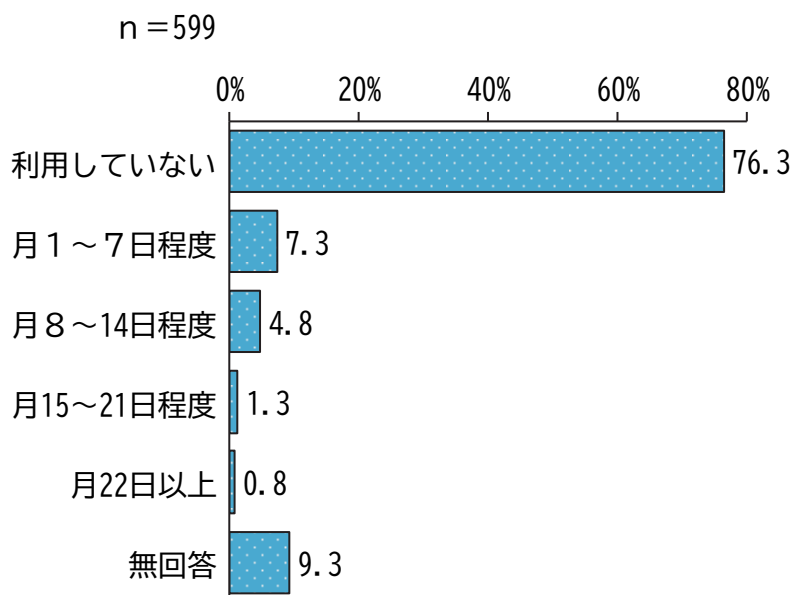
看護小規模多機能型居宅介護の利用状況については、「利用した」が0.7%、「利用していない」が77.1%となっています。



## 第2章 在宅介護実態調査

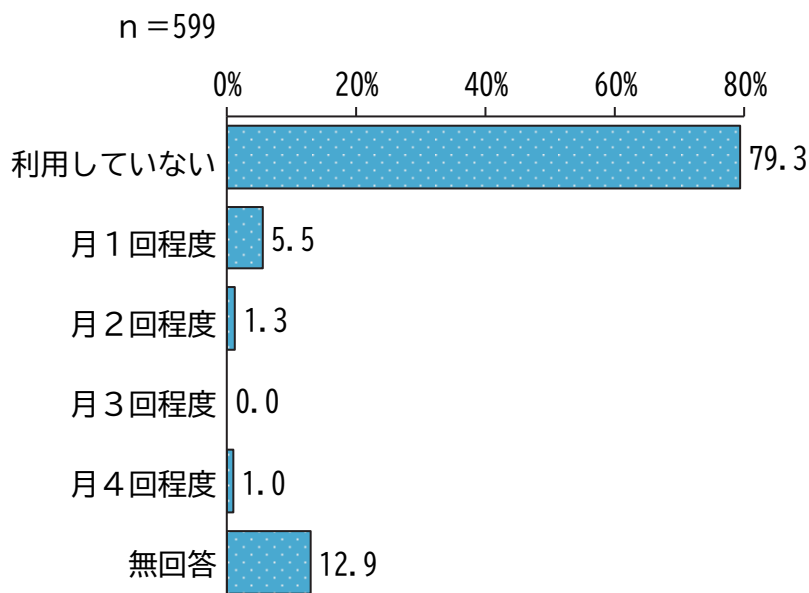
### K. ショートステイ

ショートステイの利用状況については、「月1～7日程度」が7.3%と最も多く、次いで「月8～14日程度」が4.8%、「月15～21日程度」が1.3%となっています。



### L. 居宅療養管理指導

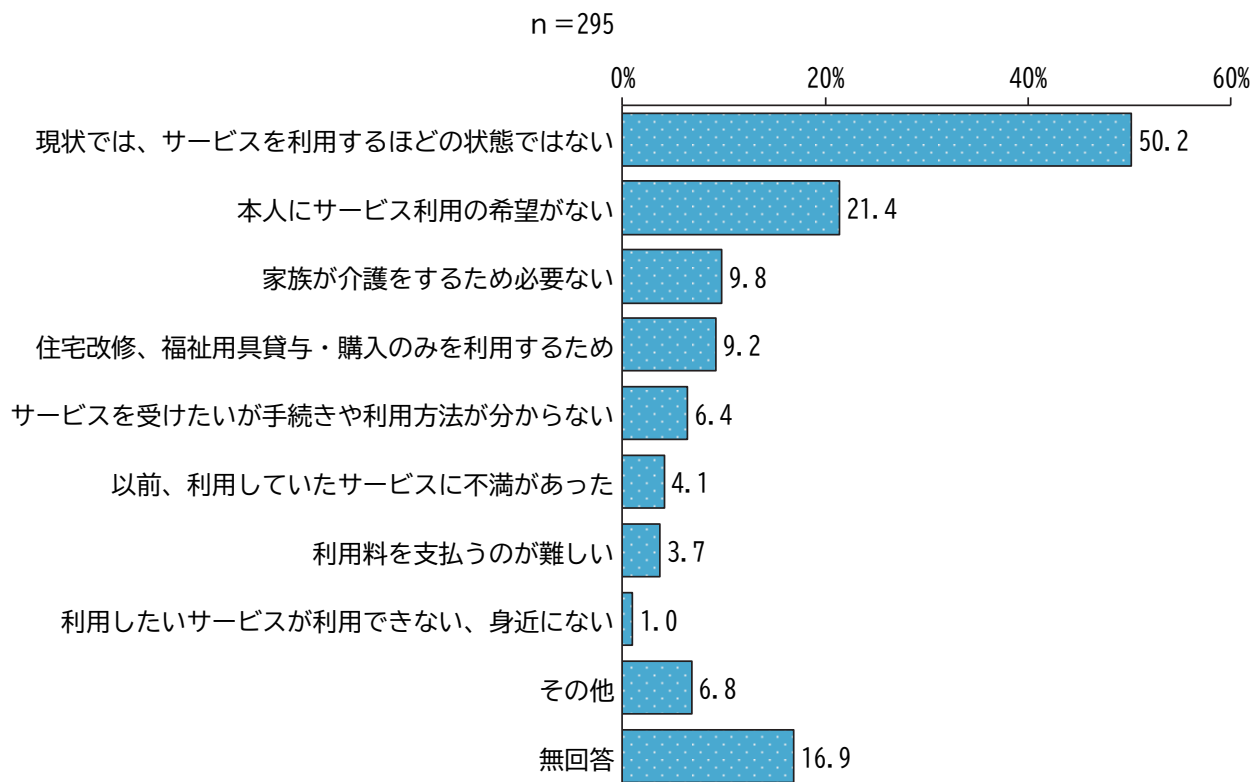
居宅療養管理指導の利用状況については、「月1回程度」が5.5%と最も多く、次いで「月2回程度」が1.3%となっています。



問10 問8で「2」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

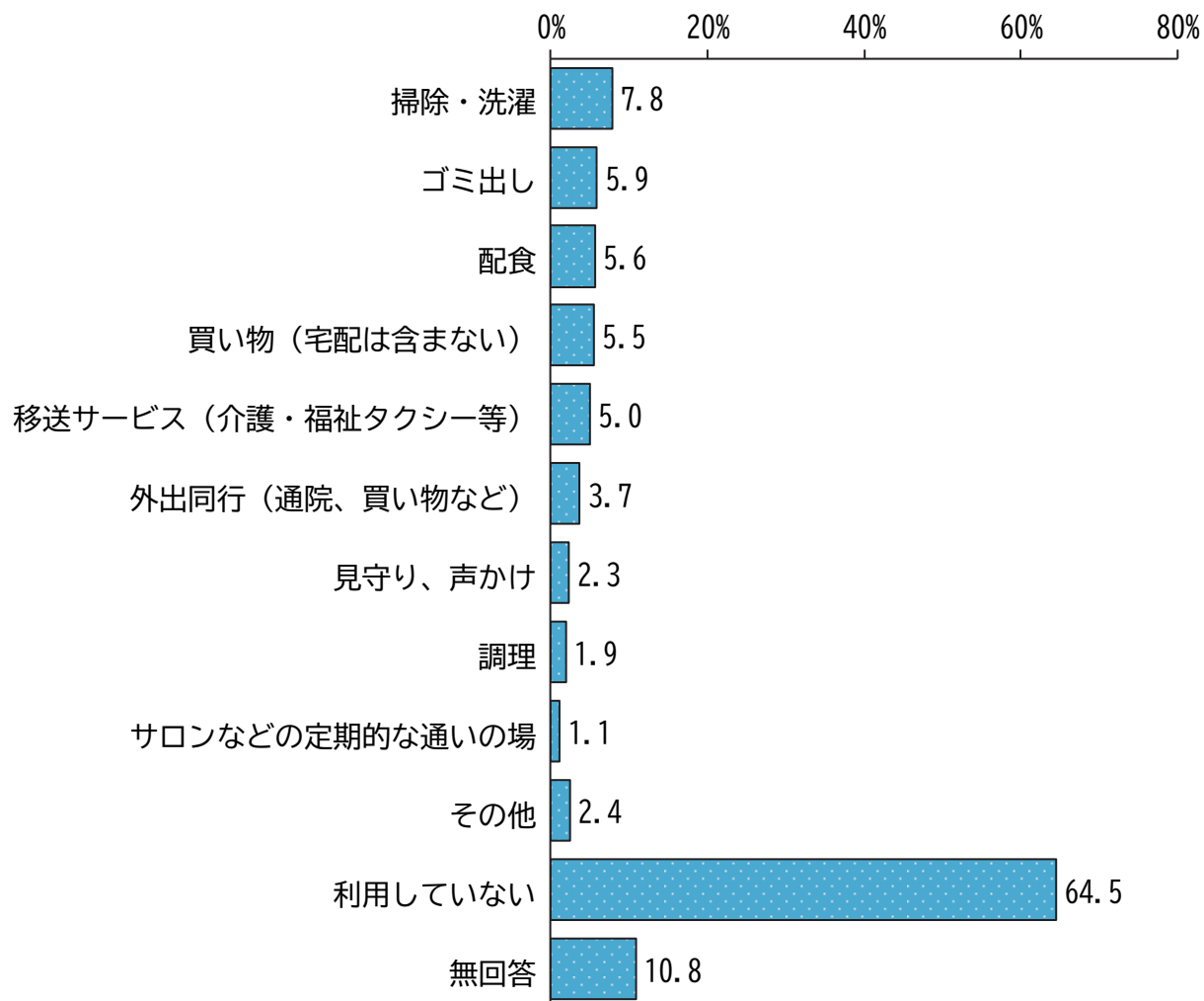
介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.2%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が21.4%、「家族が介護をするため必要ない」が9.8%となっています。



問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

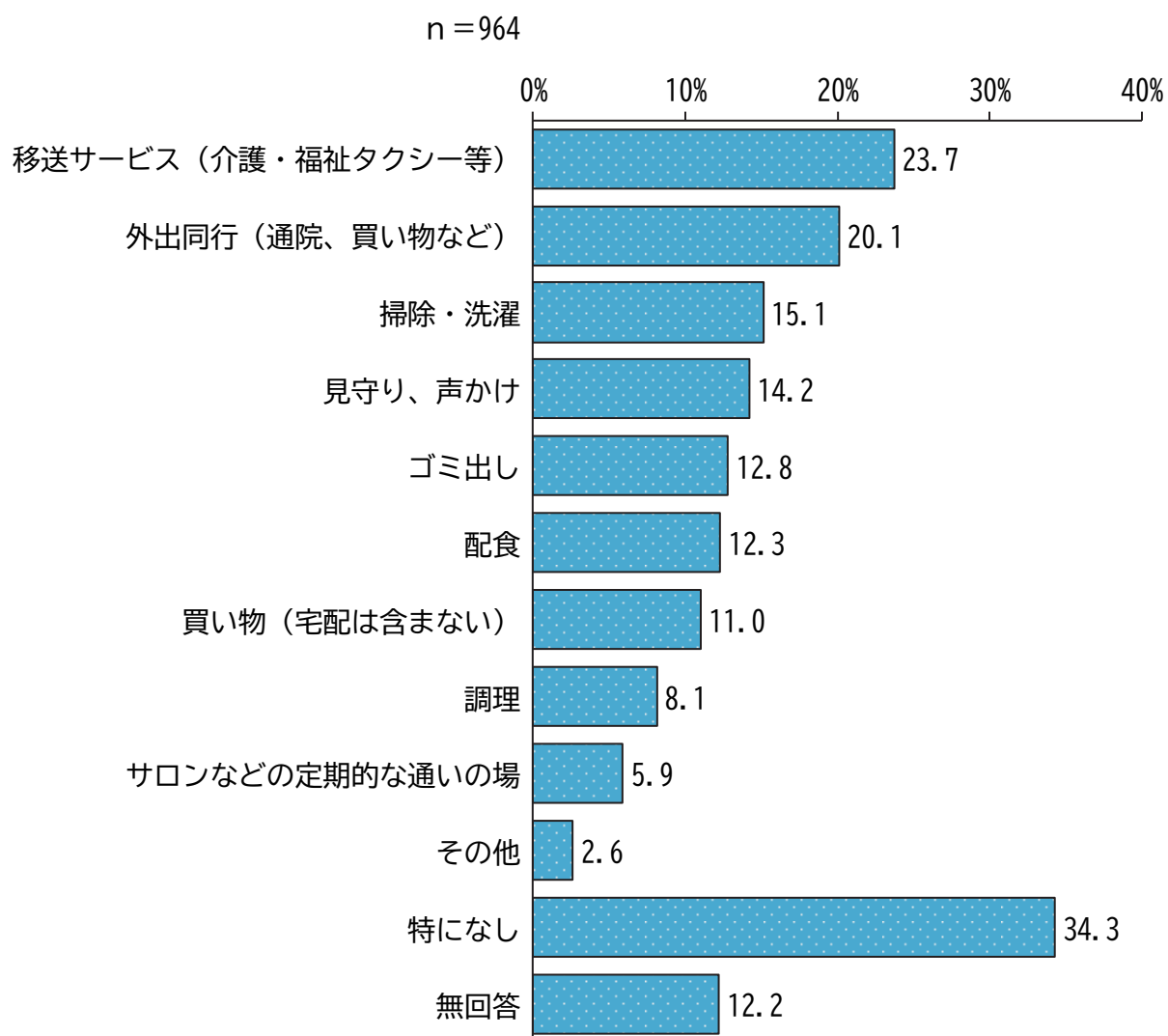
介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が64.5%と最も多く、次いで「掃除・洗濯」が7.8%、「ゴミ出し」が5.9%となっています。

n = 964



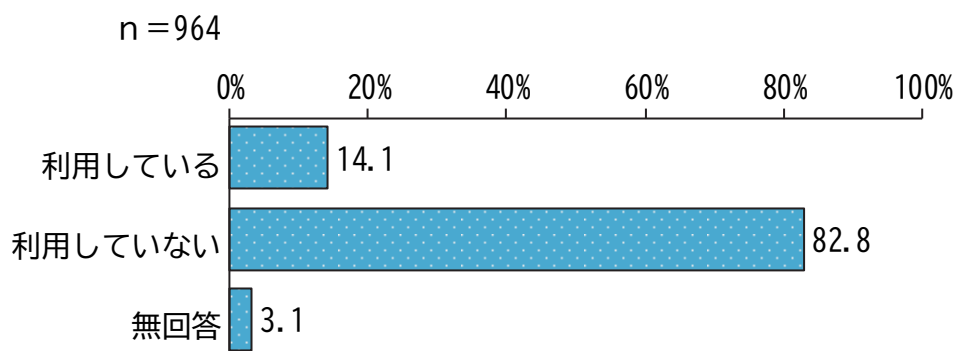
問 12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。  
（複数選択可）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が34.3%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が23.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が20.1%となっています。



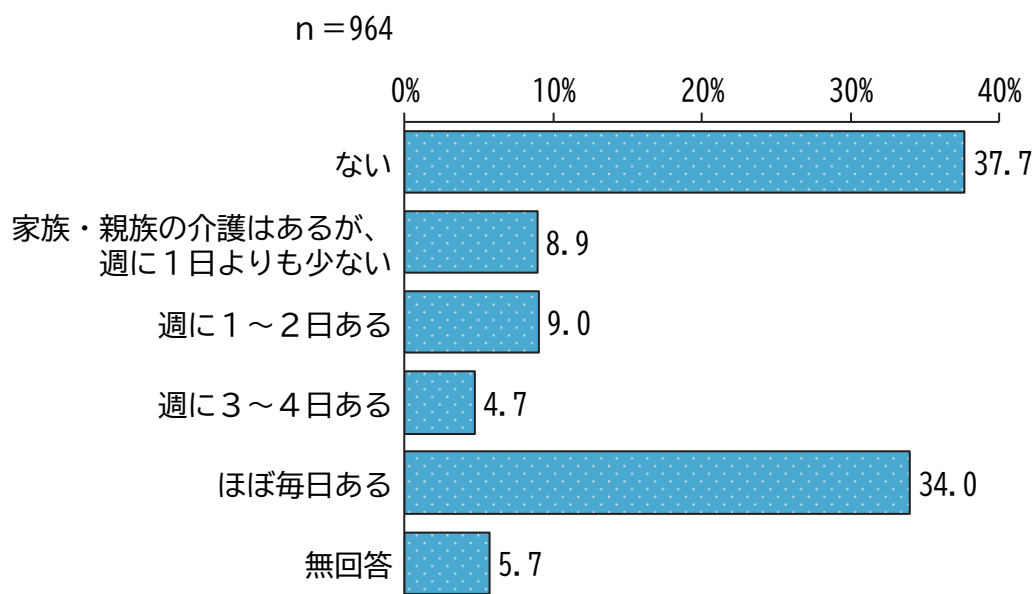
問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

訪問診療の利用状況については、「利用していない」が82.8%、「利用している」が14.1%となっています。



問14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

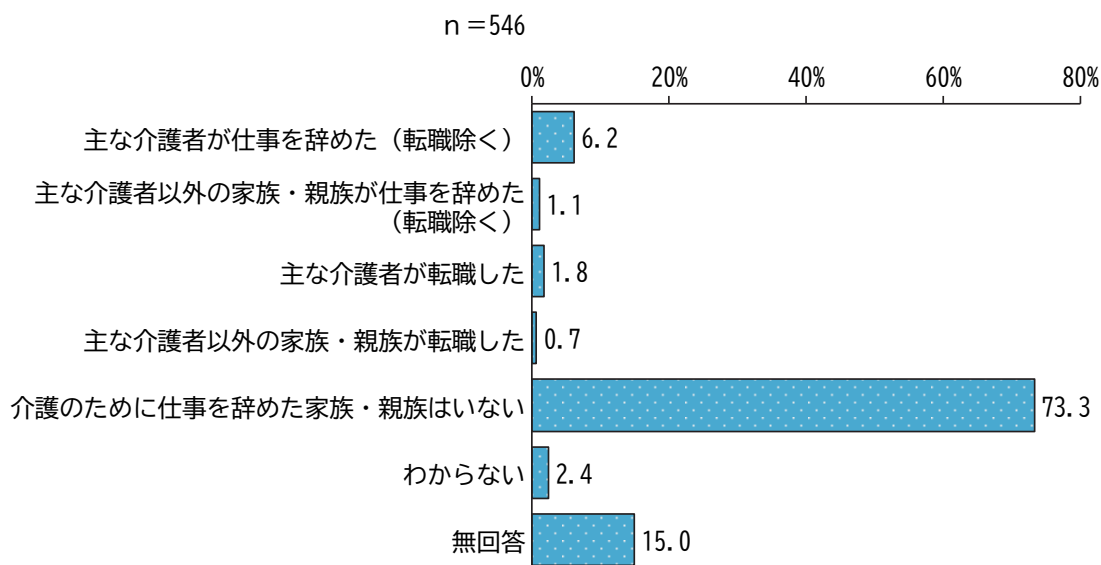
家族や親族による介護の状況については、「ない」が37.7%と最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」が34.0%、「週に1～2日ある」が9.0%となっています。



## B票 主な介護者の方について、お伺いします

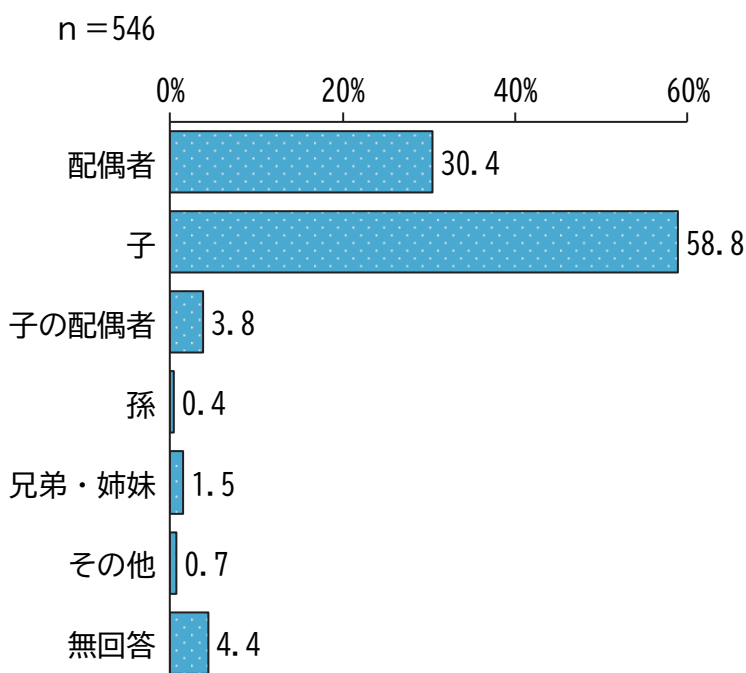
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

主な介護者の就業状況については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が73.3%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が6.2%、「主な介護者が転職した」が1.8%となっています。



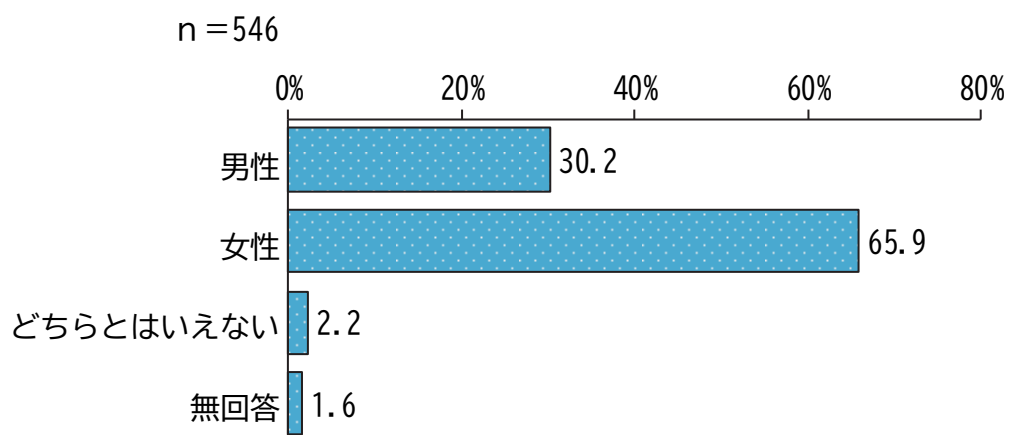
問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

主な介護者については、「子」が58.8%と最も多く、次いで「配偶者」が30.4%、「子の配偶者」が3.8%となっています。



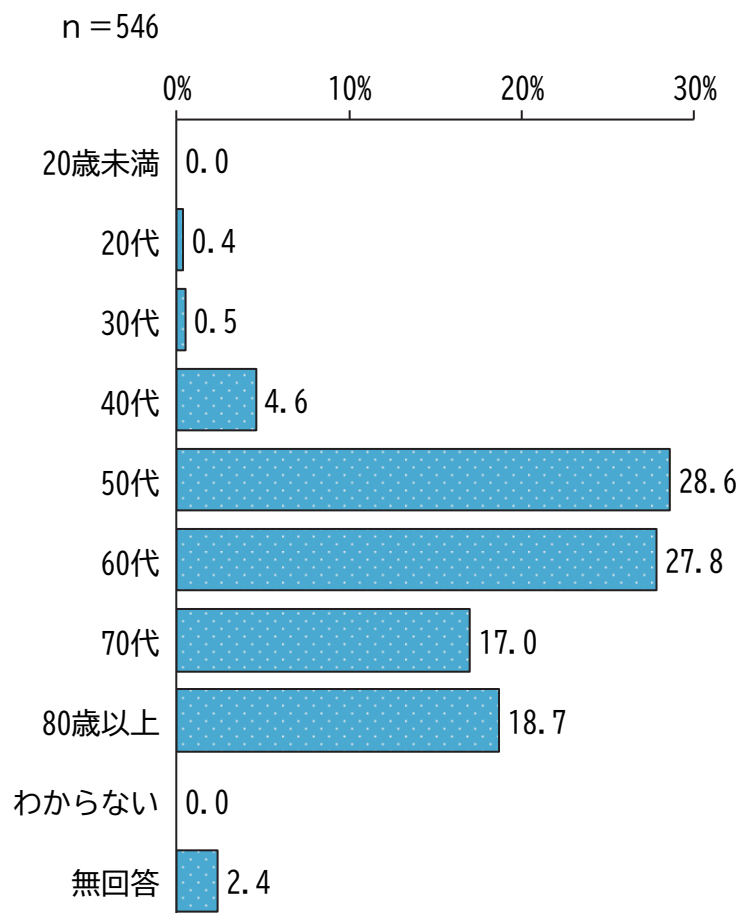
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の性別については、「女性」が65.9%、「男性」が30.2%となっています。



問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

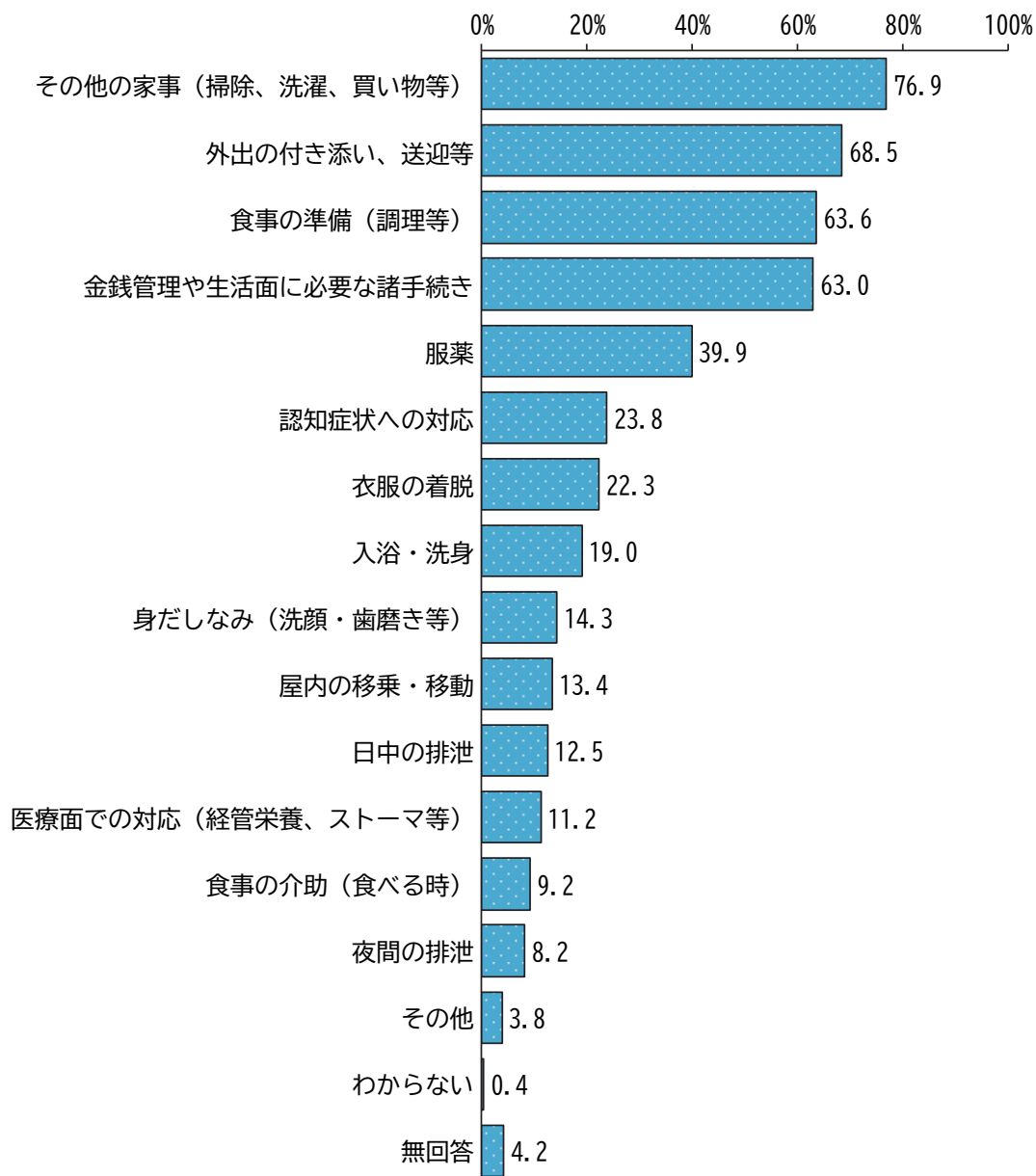
主な介護者の年齢については、「50代」が28.6%と最も多く、次いで「60代」が27.8%、「80歳以上」が18.7%となっています。



問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。  
(複数選択可)

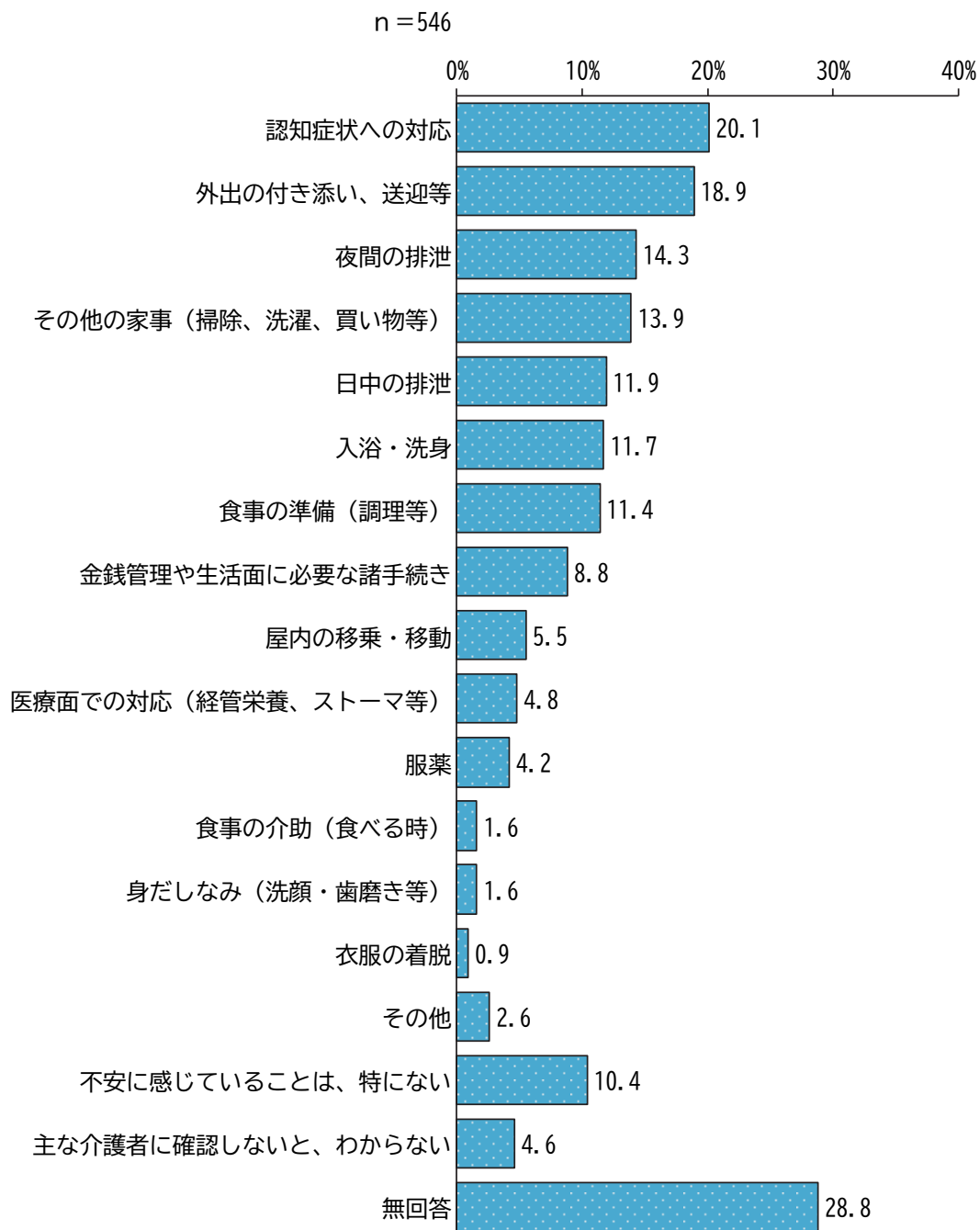
主な介護者の介護等の状況については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が76.9%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が68.5%、「食事の準備（調理等）」が63.6%となっています。

n = 546



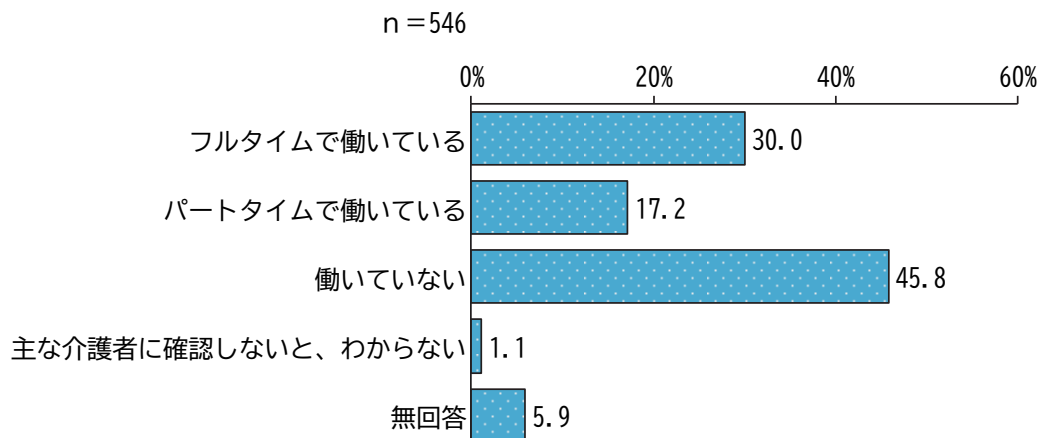
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

主な介護者が不安に感じていることについては、「認知症状への対応」が20.1%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が18.9%、「夜間の排泄」が14.3%となっています。



問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

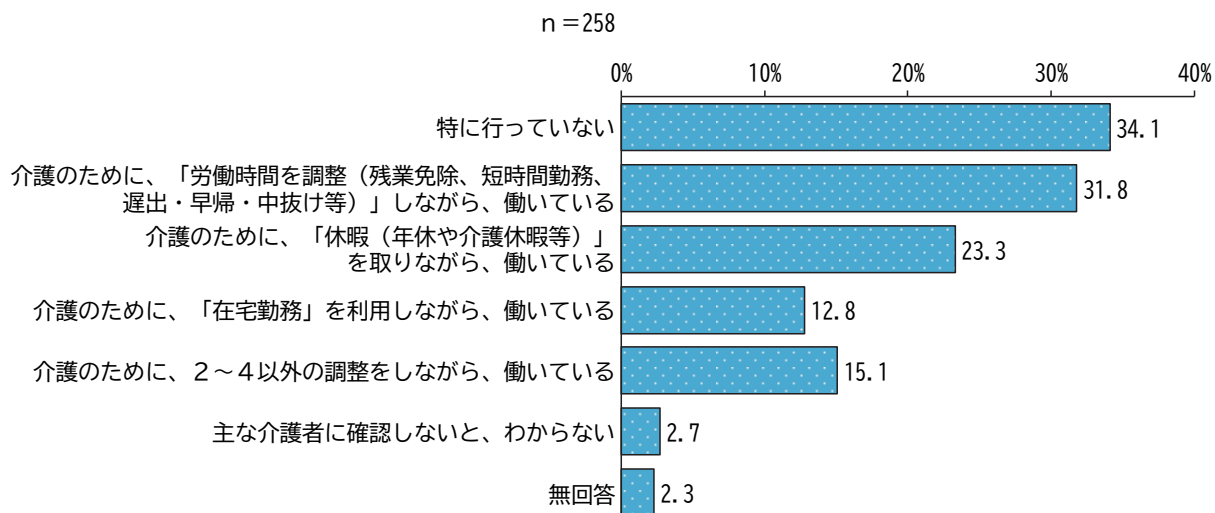
主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が45.8%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が30.0%、「パートタイムで働いている」が17.2%となっています。



問8 問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。  
（複数選択可）

介護のためにした調整については、「特に行っていない」が34.1%と最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が31.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が23.3%となっています。

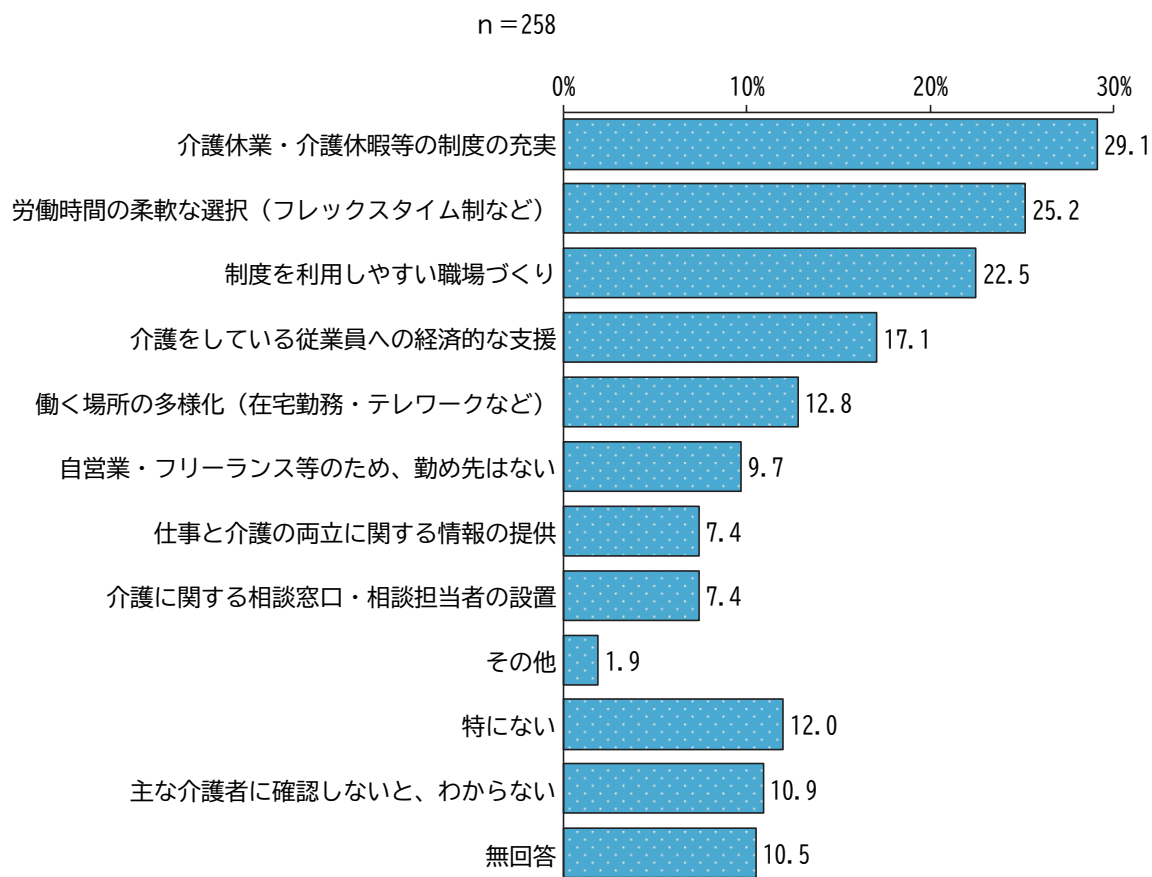


## 第2章 在宅介護実態調査

問9 問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

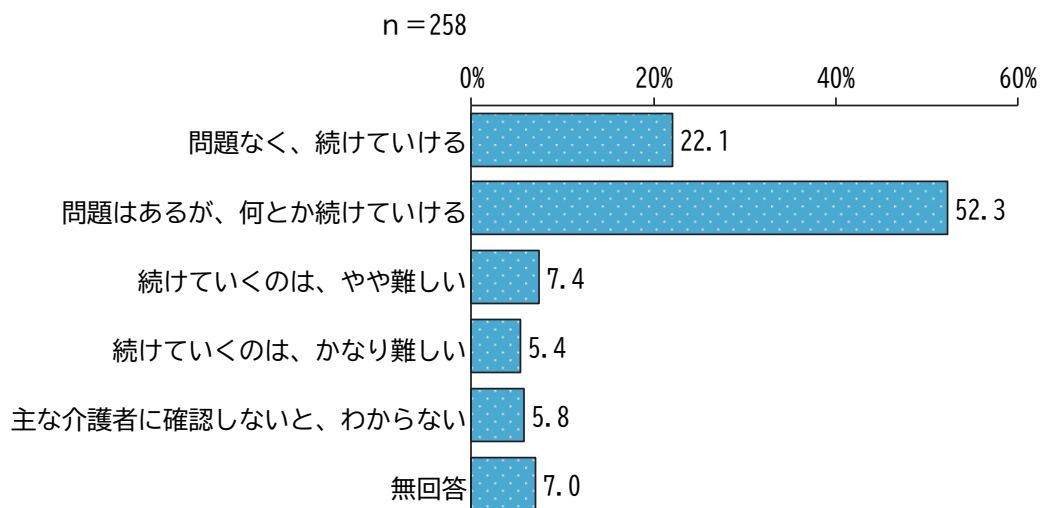
勤め先に求める支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.1%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が25.2%、「制度を利用しやすい職場づくり」が22.5%となっています。



問10 問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

働きながら介護を続けられるかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が52.3%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が22.1%、「続けていくのは、やや難しい」が7.4%となっています。

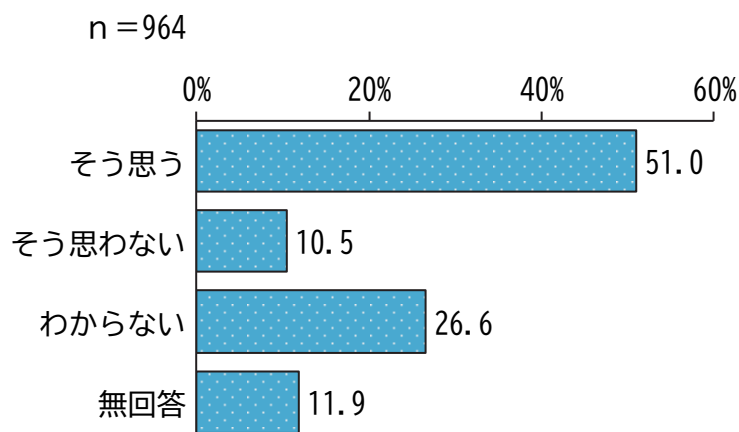


### C票 現在およびこれからの生活などについてお伺いします

問1 在宅医療を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか。それぞれ該当する数字を1つずつ選んで○で囲んでください。

#### 1. どの程度までの医療を受けられるかわからない

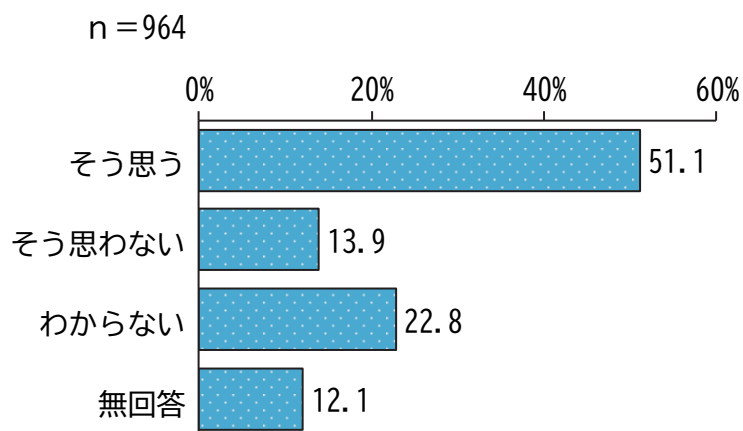
在宅医療のイメージについて、どの程度までの医療を受けられるかわからないという設問は、「そう思う」が51.0%、「そう思わない」が10.5%となっています。



## 第2章 在宅介護実態調査

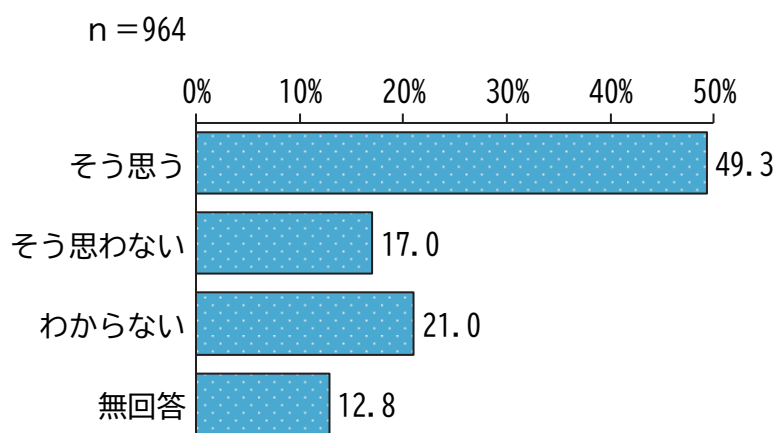
### 2. 急に病状が変わったときの対応ができない

在宅医療のイメージについて、急に病状が変わったときの対応ができないという設問は、「そう思う」が51.1%、「そう思わない」が13.9%となっています。



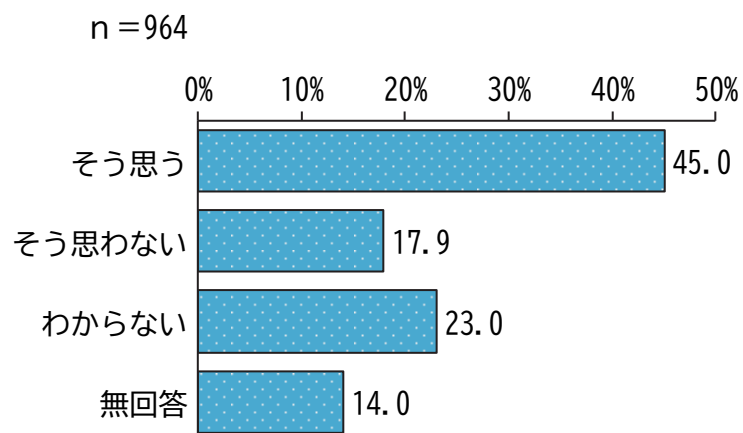
### 3. 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい

在宅医療のイメージについて、訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しいという設問は、「そう思う」が49.3%、「そう思わない」が17.0%となっています。



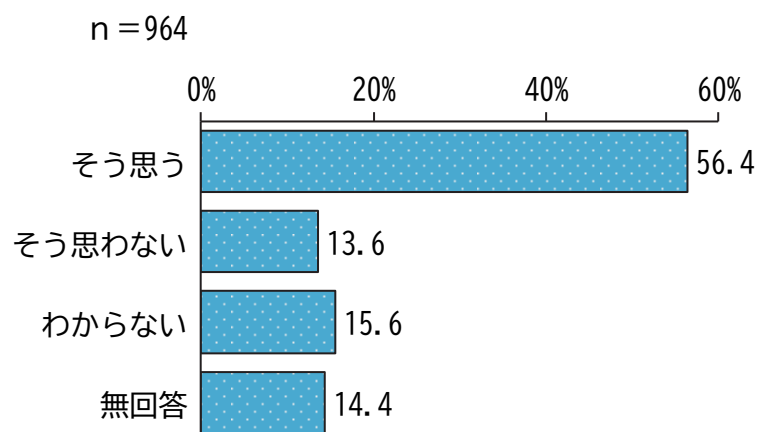
## 4. 訪問歯科診療をしてくれる歯科医師を見つけるのは難しい

在宅医療のイメージについて、訪問歯科診療をしてくれる歯科医師を見つけるのは難しいという設問は、「そう思う」が45.0%、「そう思わない」が17.9%となっています。



## 5. 家族に負担がかかる

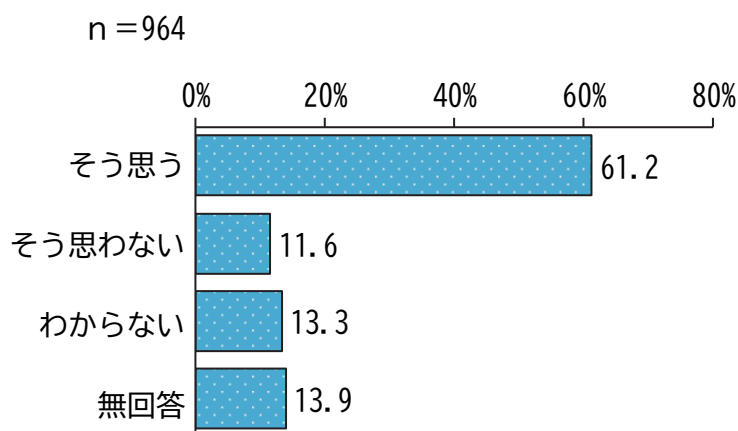
在宅医療のイメージについて、家族に負担がかかるという設問は、「そう思う」が56.4%、「そう思わない」が13.6%となっています。



## 第2章 在宅介護実態調査

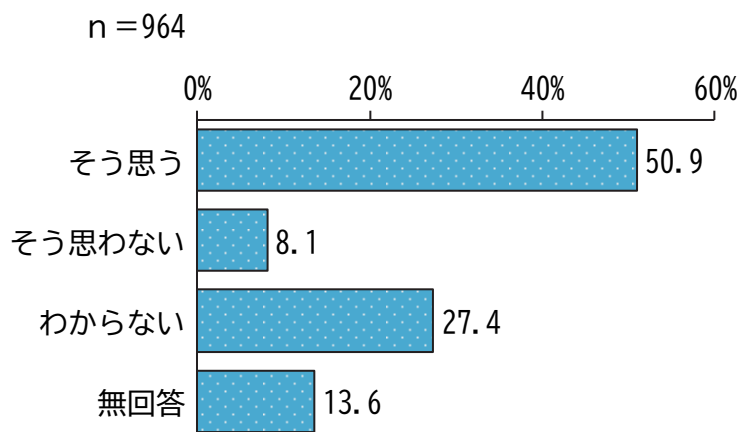
### 6. 部屋や風呂・トイレなど住まいの環境が整っている必要がある

在宅医療のイメージについて、部屋や風呂・トイレなど住まいの環境が整っている必要があるという設問は、「そう思う」が61.2%、「そう思わない」が11.6%となっています。



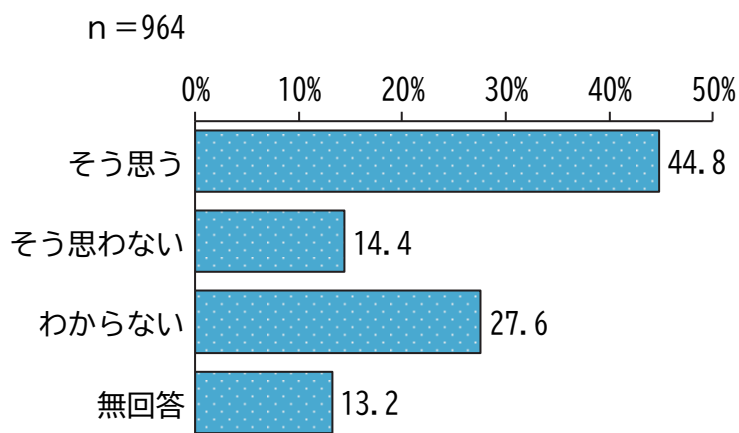
### 7. 費用が高額になる

在宅医療のイメージについて、費用が高額になるという設問は、「そう思う」が50.9%、「そう思わない」が8.1%となっています。



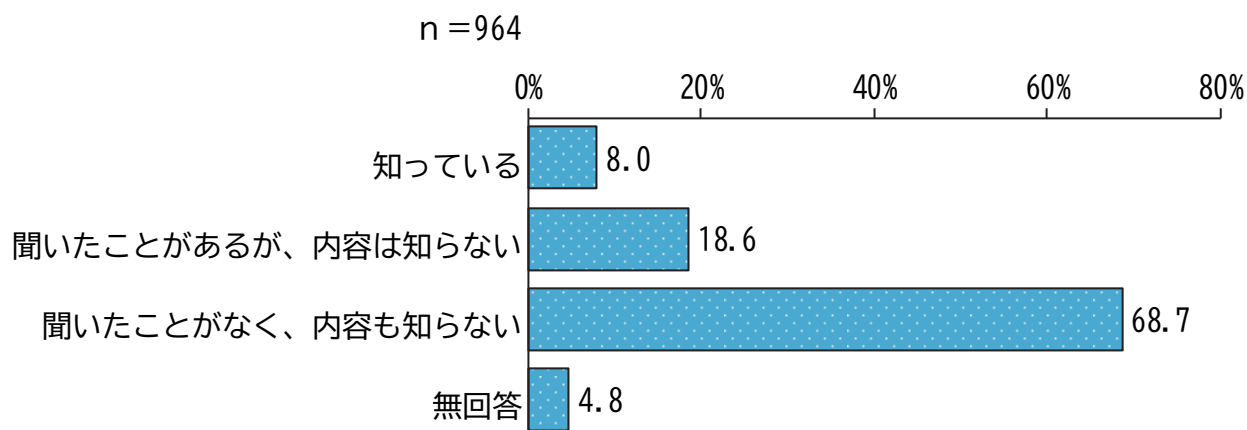
## 8. 在宅では満足のいく最期を迎えられるか不安である

在宅医療のイメージについて、在宅では満足のいく最期を迎えられるか不安であるという設問は、「そう思う」が44.8%、「そう思わない」が14.4%となっています。



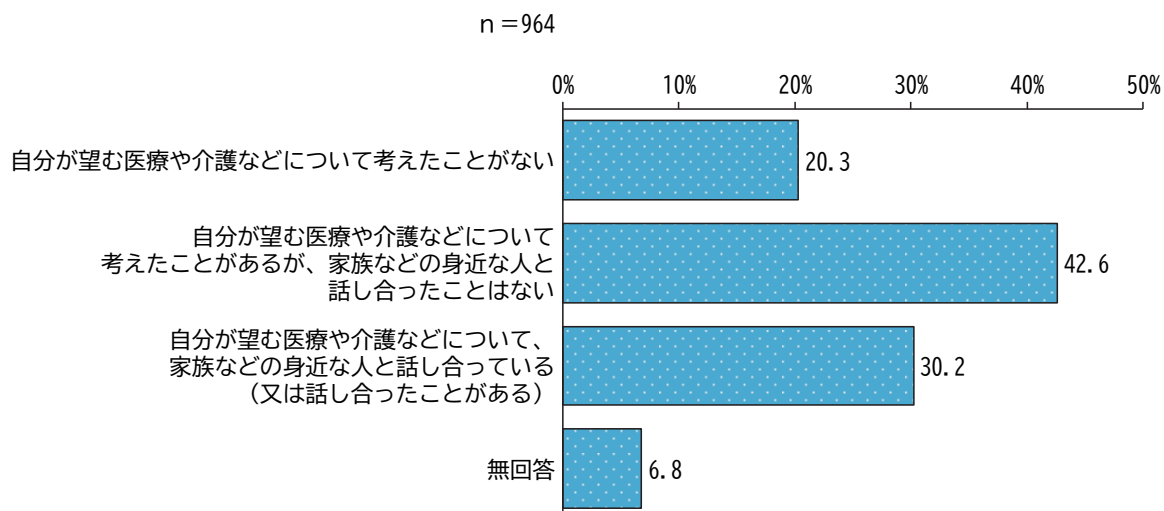
問2 あなたは人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)を聞いた事がありますか。また内容について知っていますか。(1つを選択)

人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)の認知度については、「聞いたことがなく、内容も知らない」が68.7%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが、内容は知らない」が18.6%、「知っている」が8.0%となっています。



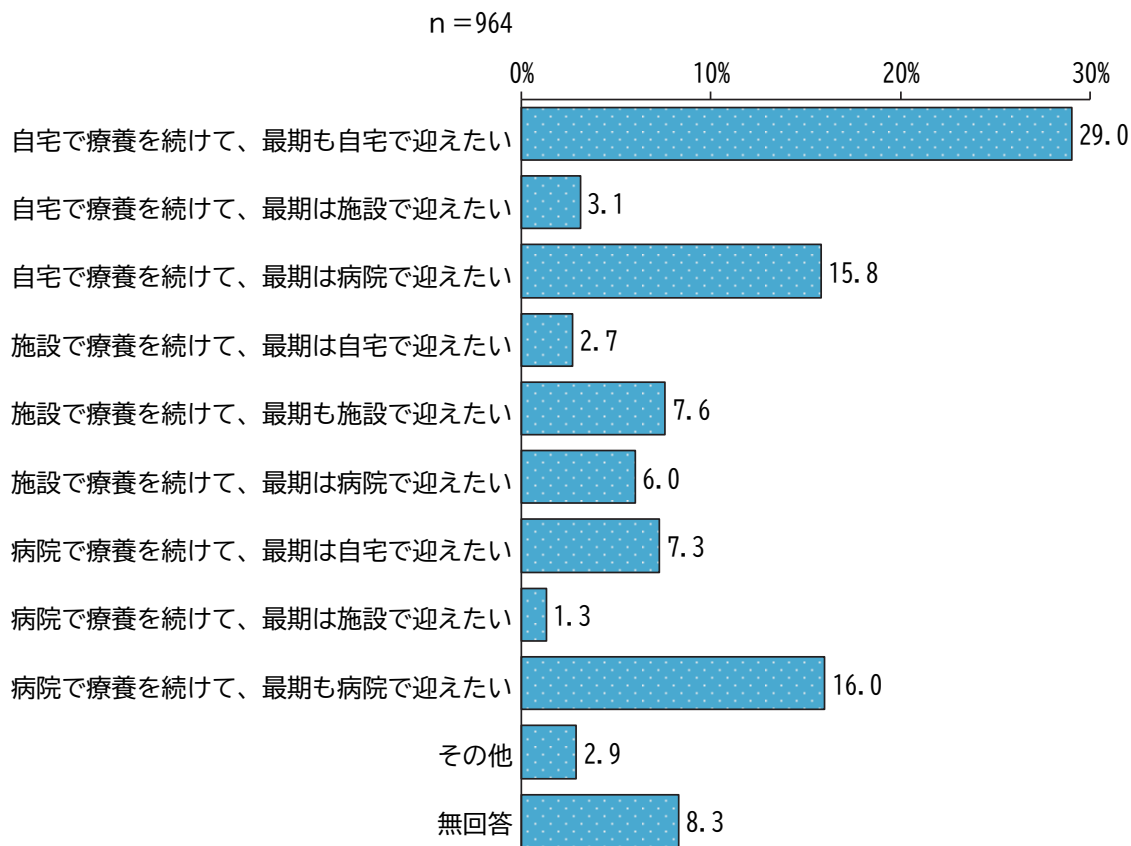
問3 人生会議（ACP）について、現在のご自身の状況に近い内容を選択してください。  
（1つを選択）

現在のご自身の状況に近い内容については、「自分が望む医療や介護などについて考えたことがあるが、家族などの身近な人と話し合ったことはない」が42.6%と最も多く、次いで「自分が望む医療や介護などについて、家族などの身近な人と話し合っている（又は話し合ったことがある）」が30.2%、「自分が望む医療や介護などについて考えたことがない」が20.3%となっています。



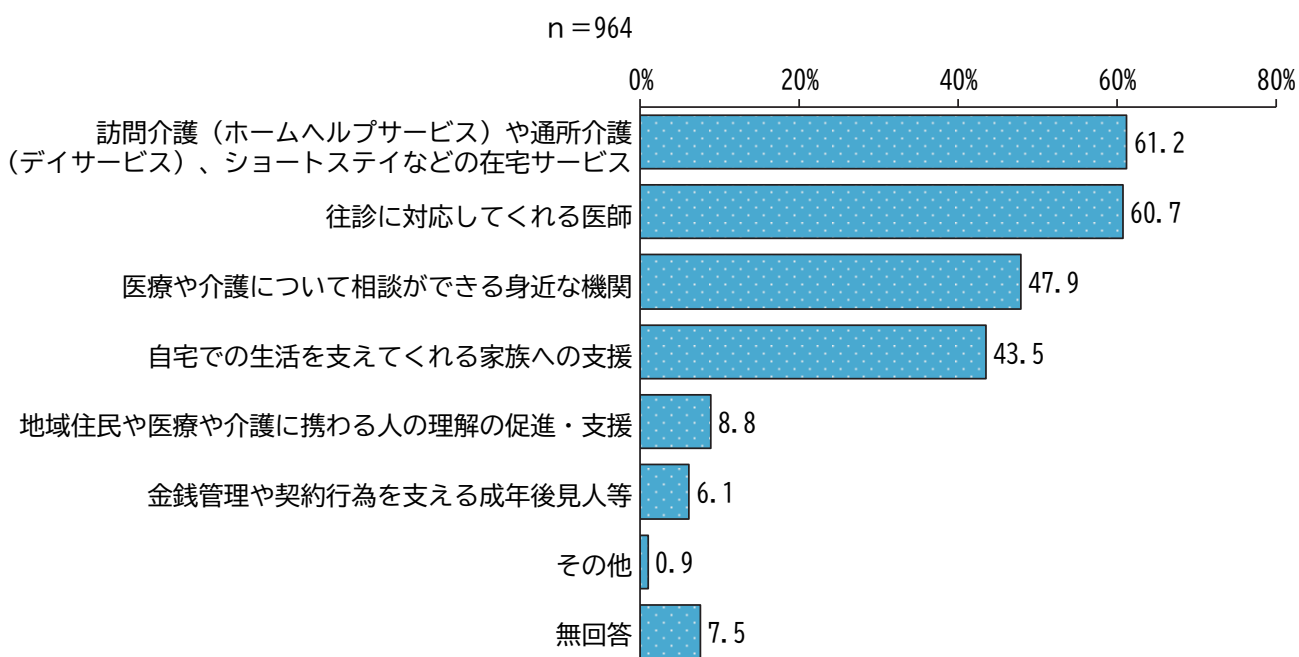
問4 あなたが病気やその時の状態により常に医療や介護が必要になった時、どこで生活し、どこで最期を迎えたいと希望しますか。(1つを選択)

医療や介護が必要になった時に最期を迎えたい場所については、「自宅で療養を続けて、最期も自宅で迎えたい」が29.0%と最も多く、次いで「病院で療養を続けて、最期も病院で迎えたい」が16.0%、「自宅で療養を続けて、最期は病院で迎えたい」が15.8%となっています。



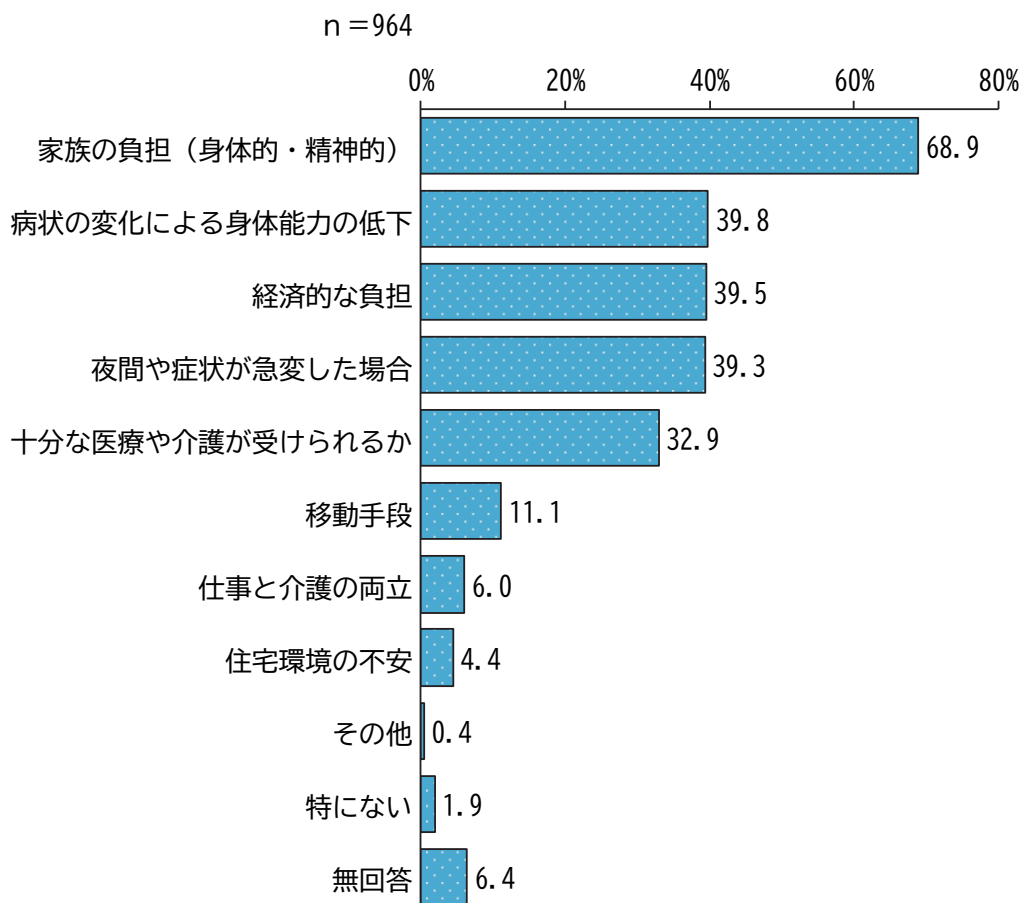
問5 自宅で医療や介護を受けながら生活し続けるために必要なものは何だと思えますか。(3つまで選択可)

自宅で医療や介護を受けながら生活し続けるために必要なものについては、「訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）、ショートステイなどの在宅サービス」が61.2%と最も多く、次いで「往診に対応してくれる医師」が60.7%、「医療や介護について相談ができる身近な機関」が47.9%となっています。



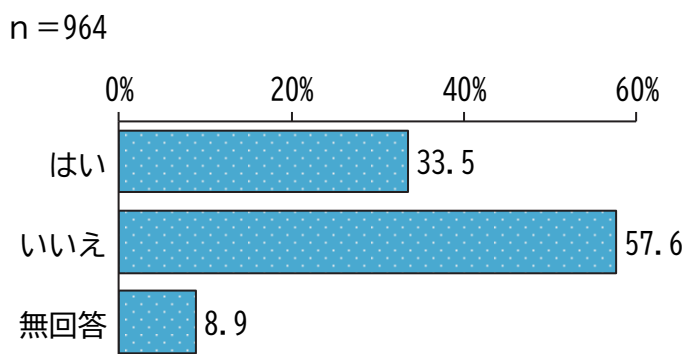
問6 あなたが自宅で医療や介護を受けながら生活するとなった場合、特に心配や不安に思われることを選んでください。(3つまで選択可)

自宅で医療や介護を受けながら生活するとなった場合、特に心配や不安に思われることについては、「家族の負担(身体的・精神的)」が68.9%と最も多く、次いで「病状の変化による身体能力の低下」が39.8%、「経済的な負担」が39.5%となっています。



問7 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(知っていましたか。)

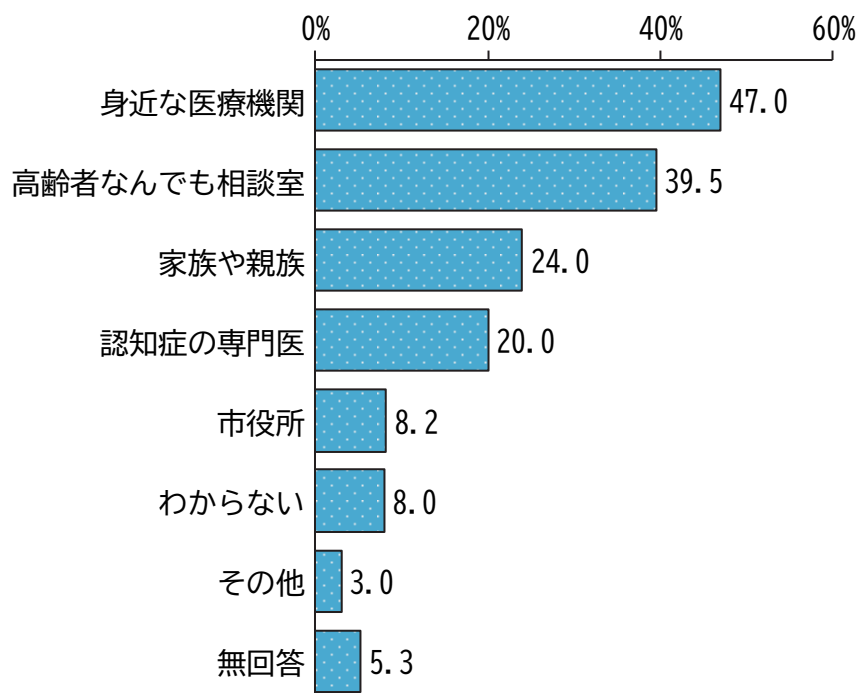
認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい」が33.5%、「いいえ」が57.6%となっています。



問8 あなたやご家族が認知症かもしれないと心配になったら、どこに相談しますか。または相談しましたか。(2つまで選択可)

認知症が疑われる場合の相談場所については、「身近な医療機関」が47.0%と最も多く、次いで「高齢者なんでも相談室」が39.5%、「家族や親族」が24.0%となっています。

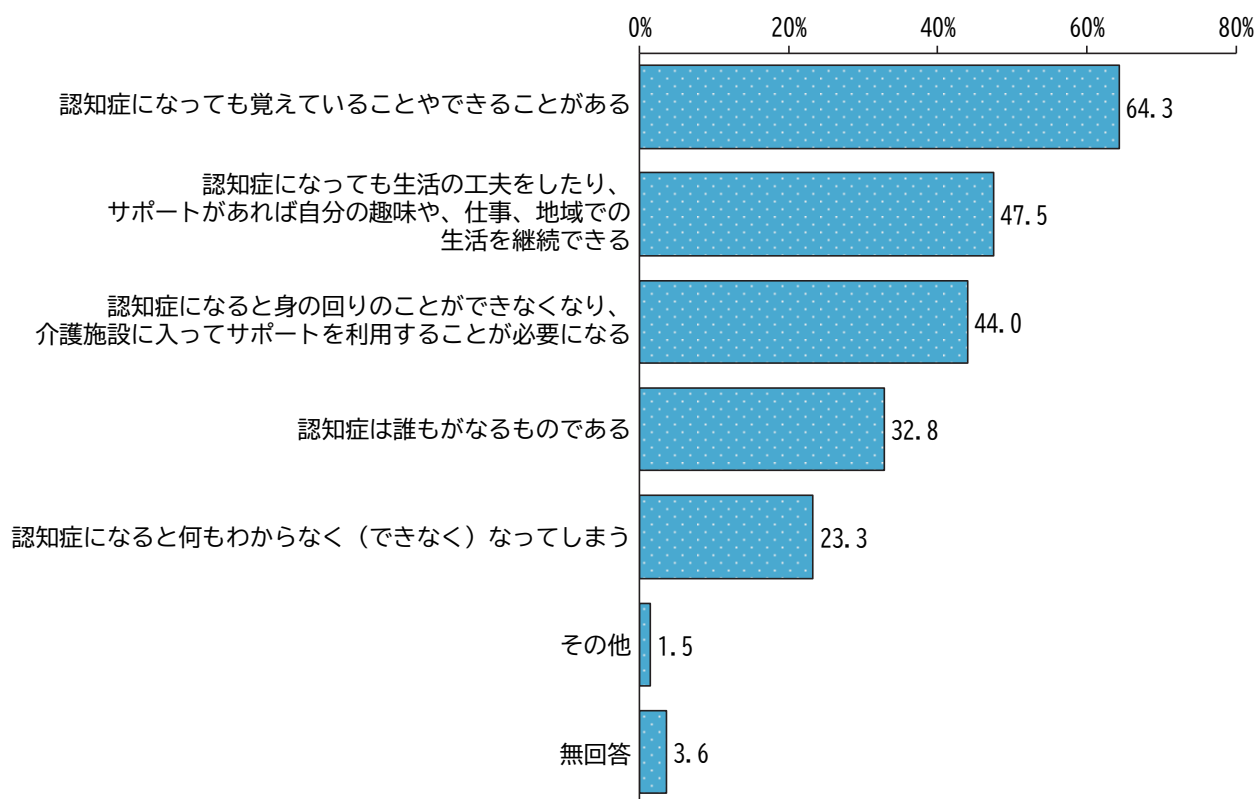
n = 964



## 問9 あなたが思う認知症のイメージを教えてください。(3つまで選択可)

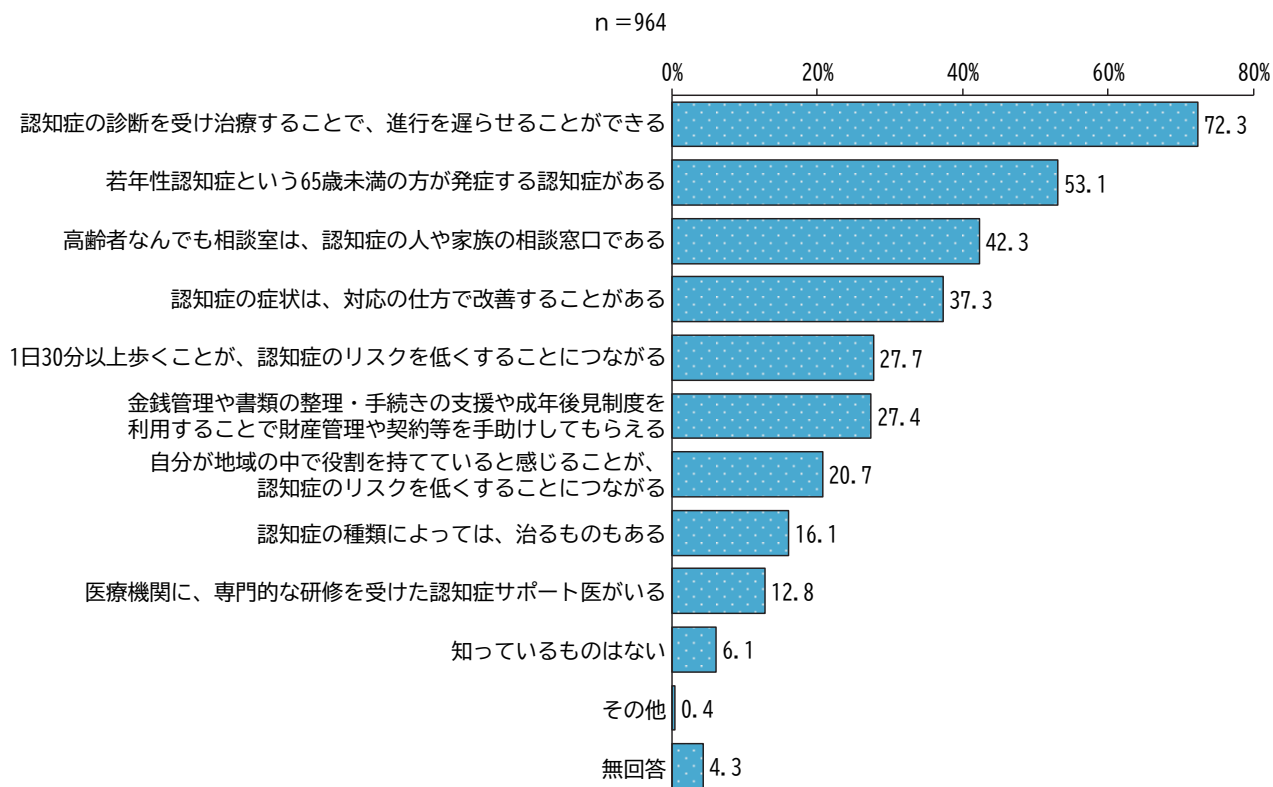
認知症のイメージについては、「認知症になっても覚えていることやできることがある」が64.3%と最も多く、次いで「認知症になっても生活の工夫をしたり、サポートがあれば自分の趣味や、仕事、地域での生活を継続できる」が47.5%、「認知症になると身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が44.0%となっています。

n=964



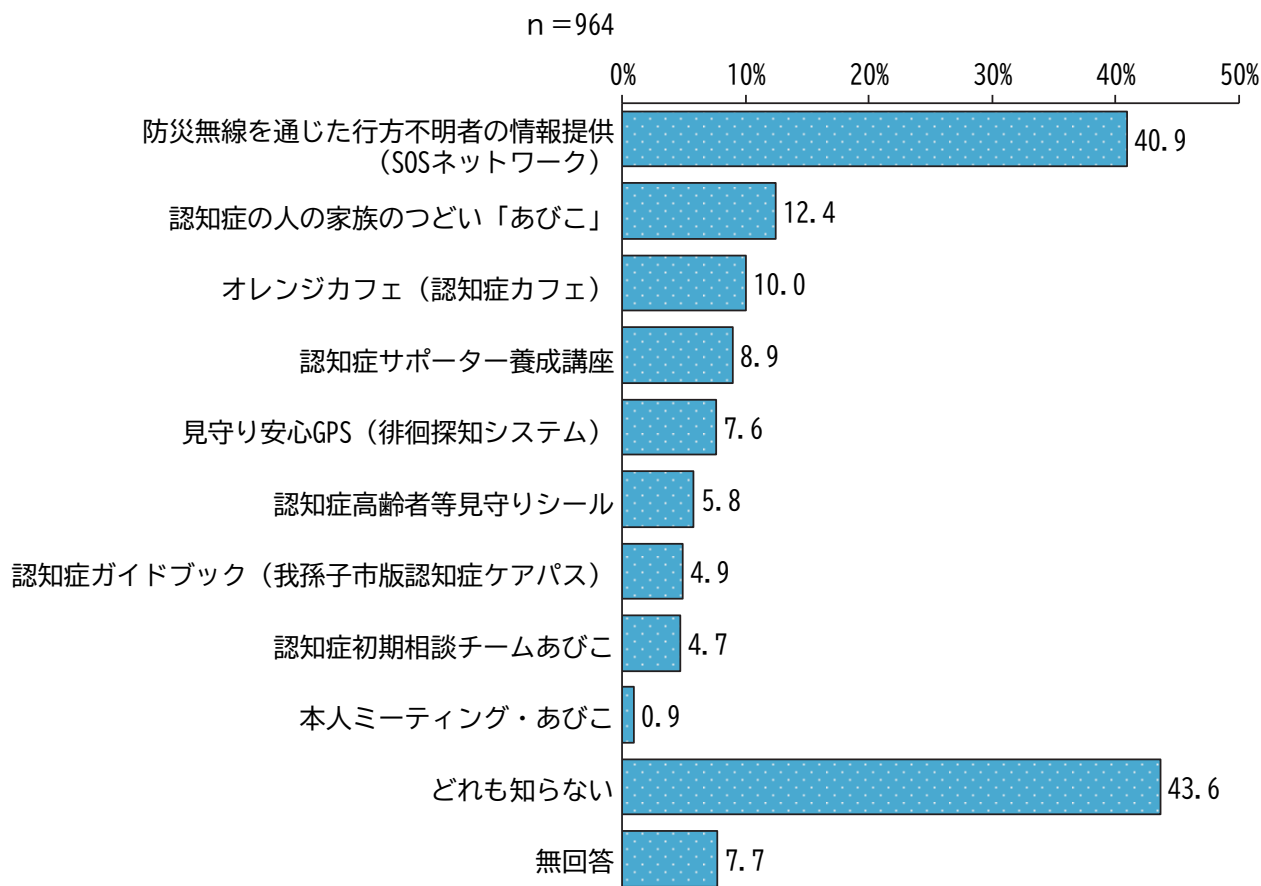
問10 認知症のケアや支援制度について知っているものをあげてください。(複数回答可)

認知症のケアや支援制度については、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が72.3%と最も多く、次いで「若年性認知症という65歳未満の方が発症する認知症がある」が53.1%、「高齢者なんでも相談室は、認知症の人や家族の相談窓口である」が42.3%となっています。



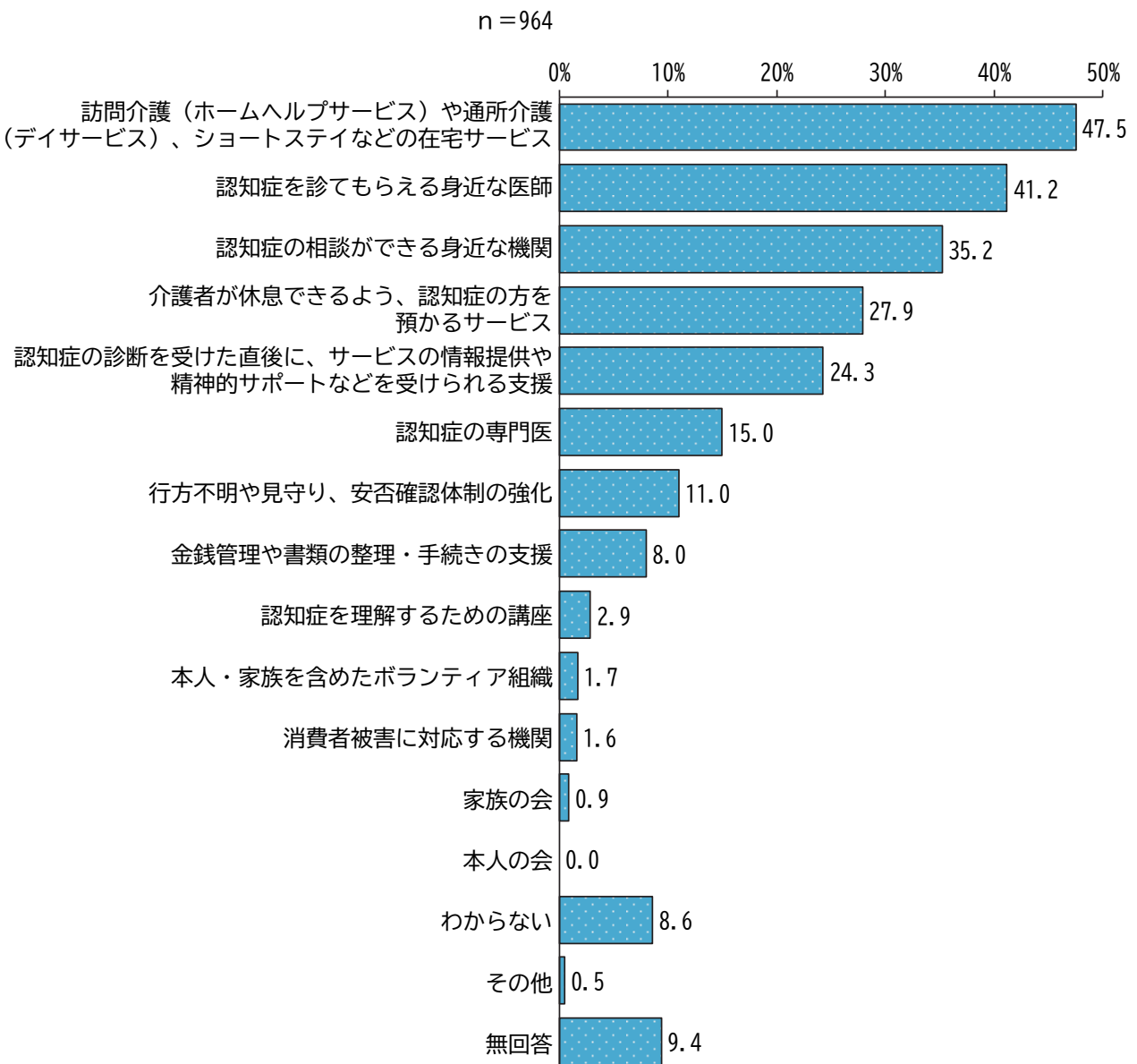
## 問11 市が実施している認知症関係の事業を知っていますか。(複数回答可)

市が実施している認知症関係事業の認知度については、「どれも知らない」が43.6%と最も多く、次いで「防災無線を通じた行方不明者の情報提供（SOSネットワーク）」が40.9%、「認知症の人の家族のつどい「あびこ」」が12.4%となっています。



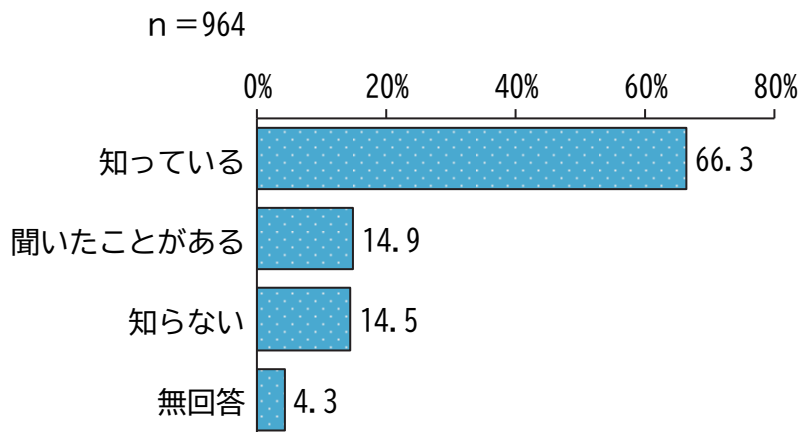
問12 認知症の方が、自宅で生活し続けるために必要なものは何だと思えますか。  
 (または何ですか。)(3つまで選択可)

認知症の方が自宅で生活するために必要なものについては、「訪問介護(ホームヘルプサービス)や通所介護(デイサービス)、ショートステイなどの在宅サービス」が47.5%と最も多く、次いで「認知症を診てもらえる身近な医師」が41.2%、「認知症の相談ができる身近な機関」が35.2%となっています。



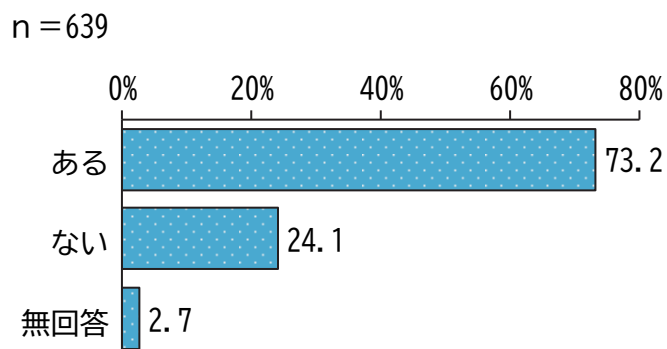
**問13 高齢者なんでも相談室を知っていますか。(1つを選択)**

高齢者なんでも相談室の認知度については、「知っている」が66.3%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が14.9%、「知らない」が14.5%となっています。

**問14 問13で「1」と回答した方にお伺いします。**

高齢者なんでも相談室になにか相談をしたことがありますか。(1つを選択)

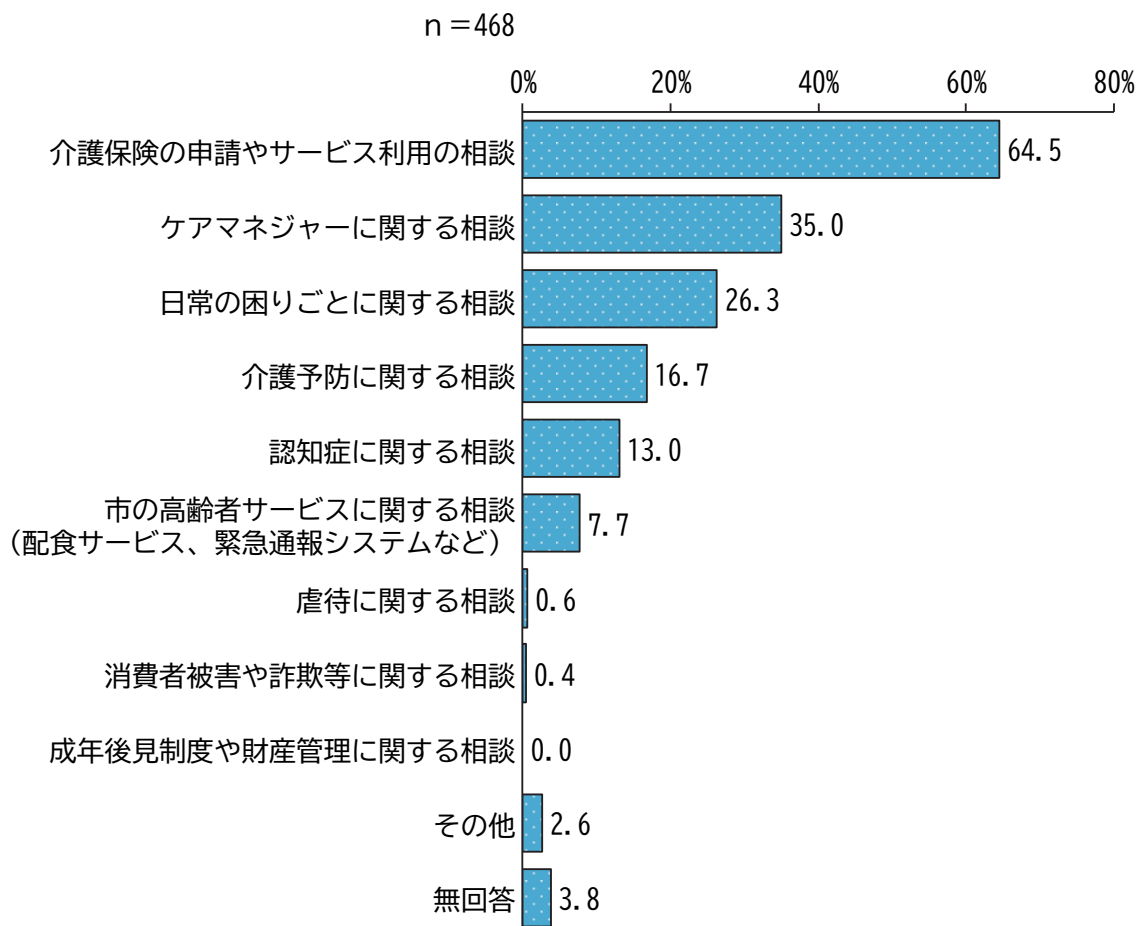
高齢者なんでも相談室の利用の有無については、「ある」が73.2%、「ない」が24.1%となっています。



問15 問14で「1」と回答した方にお伺いします。

高齢者なんでも相談室にどんな相談をしましたか。(複数選択可)

高齢者なんでも相談室にした相談内容については、「介護保険の申請やサービス利用の相談」が64.5%と最も多く、次いで「ケアマネジャーに関する相談」が35.0%、「日常の困りごとに関する相談」が26.3%となっています。

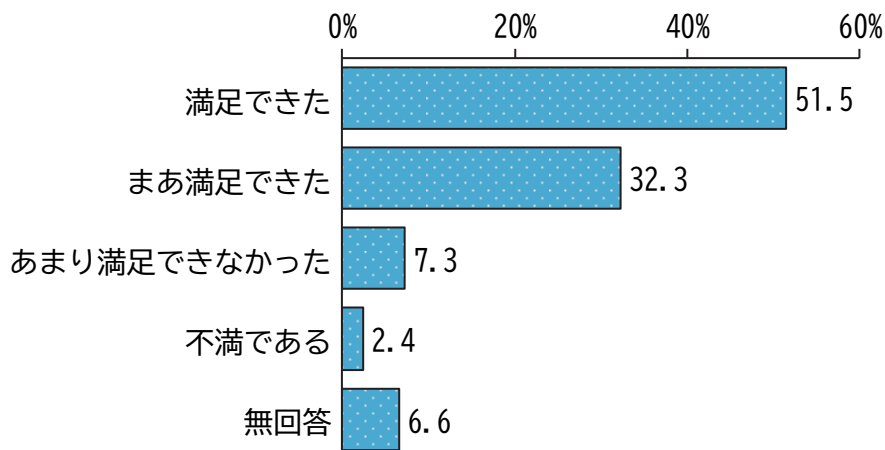


問 16 問 14 で「1」と回答した方にお伺いします。

高齢者なんでも相談室に相談した結果はいかがでしたか。(1つを選択)

高齢者なんでも相談室に相談した結果については、「満足できた」が 51.5%と最も多く、次いで「まあ満足できた」が 32.3%、「あまり満足できなかった」が 7.3%となっています。

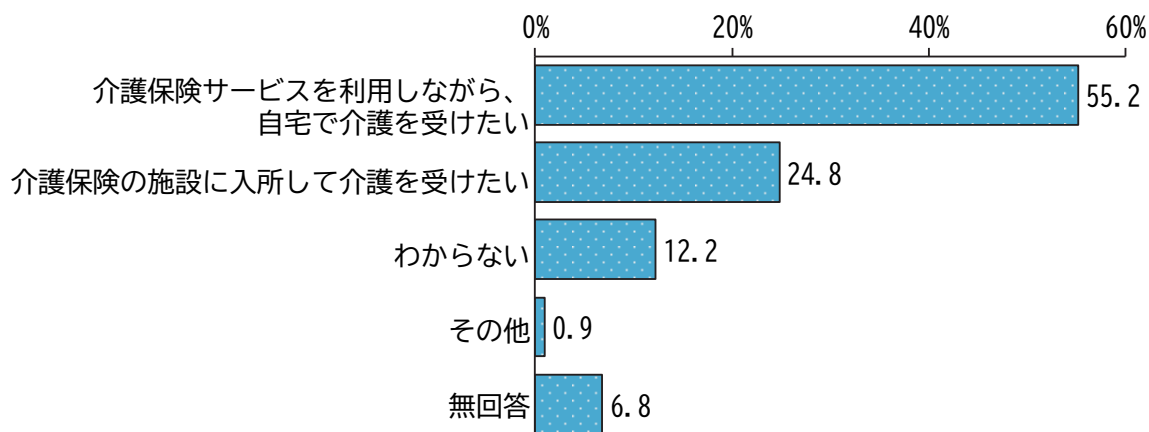
n = 468



問 17 介護が必要となったら、どのような介護を受けたいとお考えですか。また、現在介護を受けている方は、今後どのような介護を受けたいとお考えですか。(1つを選択)

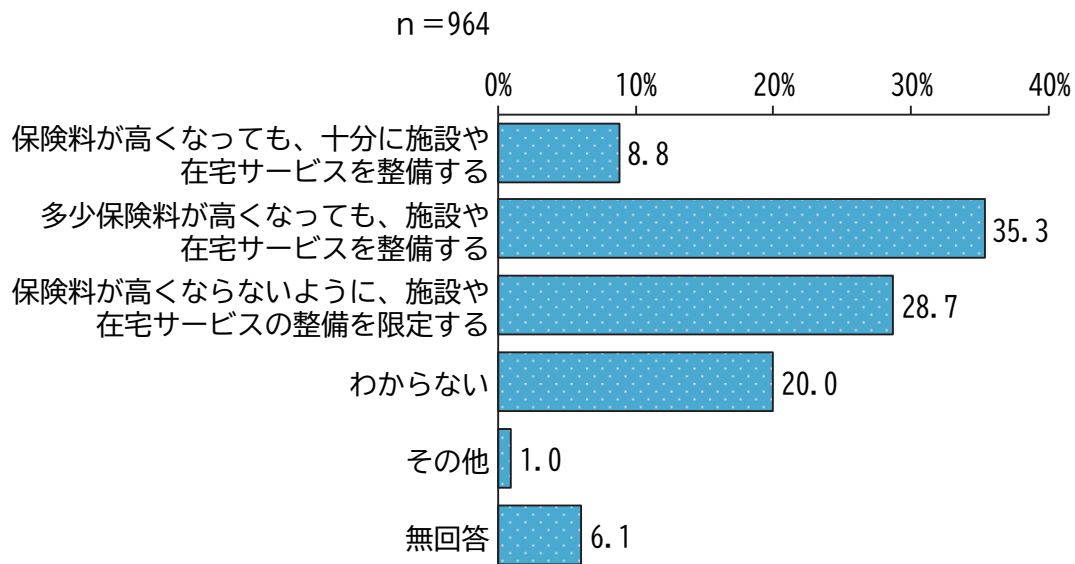
介護を受ける際の考え方については、「介護保険サービスを利用しながら、自宅で介護を受けたい」が 55.2%、「介護保険の施設に入所して介護を受けたい」が 24.8%となっています。

n = 964



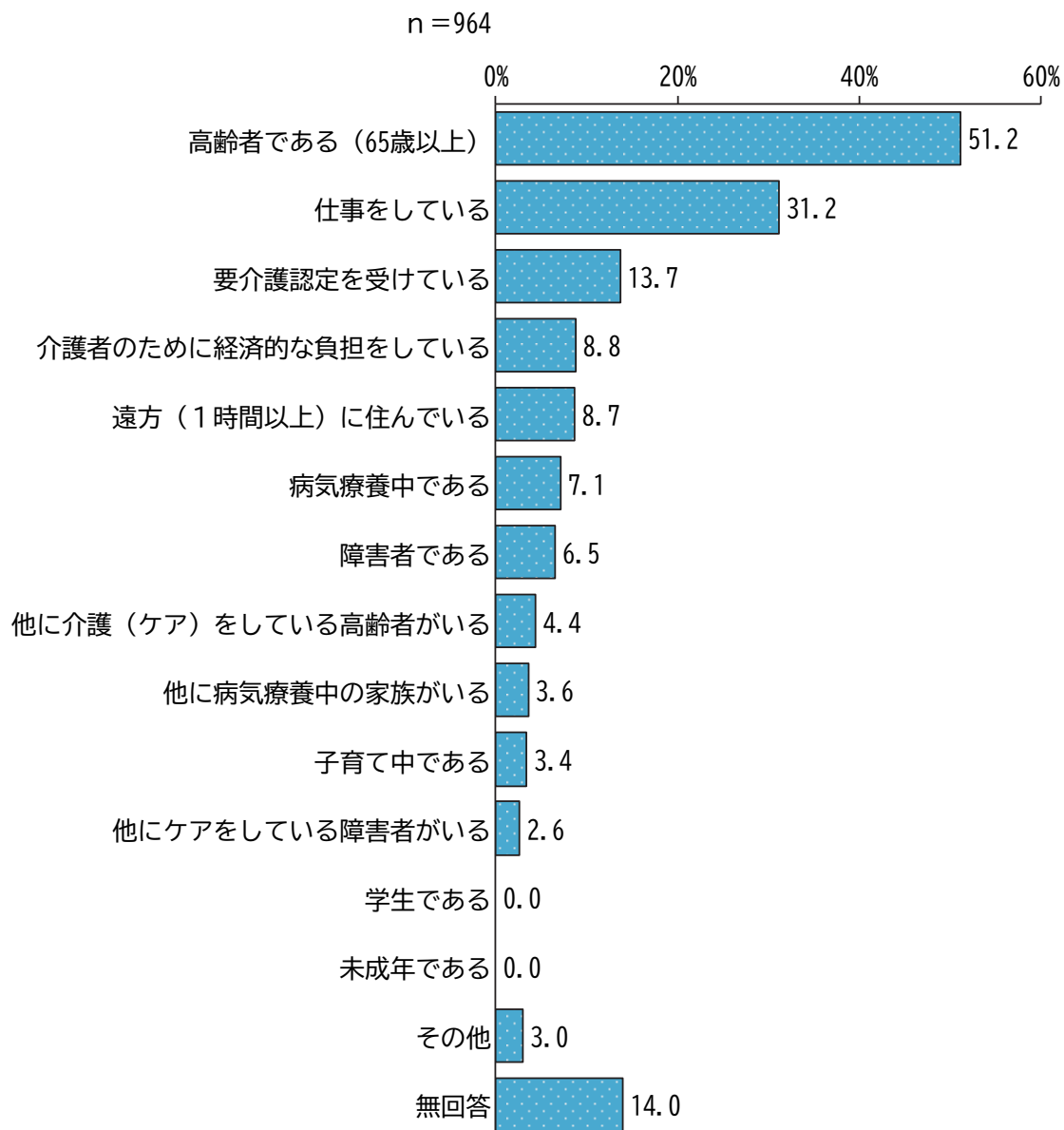
問 18 介護保険制度では、保険料と介護保険サービスの利用については関連がありますが、あなたの考えに最も近いのはどれですか。(1つを選択)

介護保険制度の考え方については、「保険料が高くなっても、十分に施設や在宅サービスを整備する」の8.8%と、「多少保険料が高くなっても、施設や在宅サービスを整備する」の35.3%を合わせた「保険料が高くなっても、整備する」が44.1%となっています。



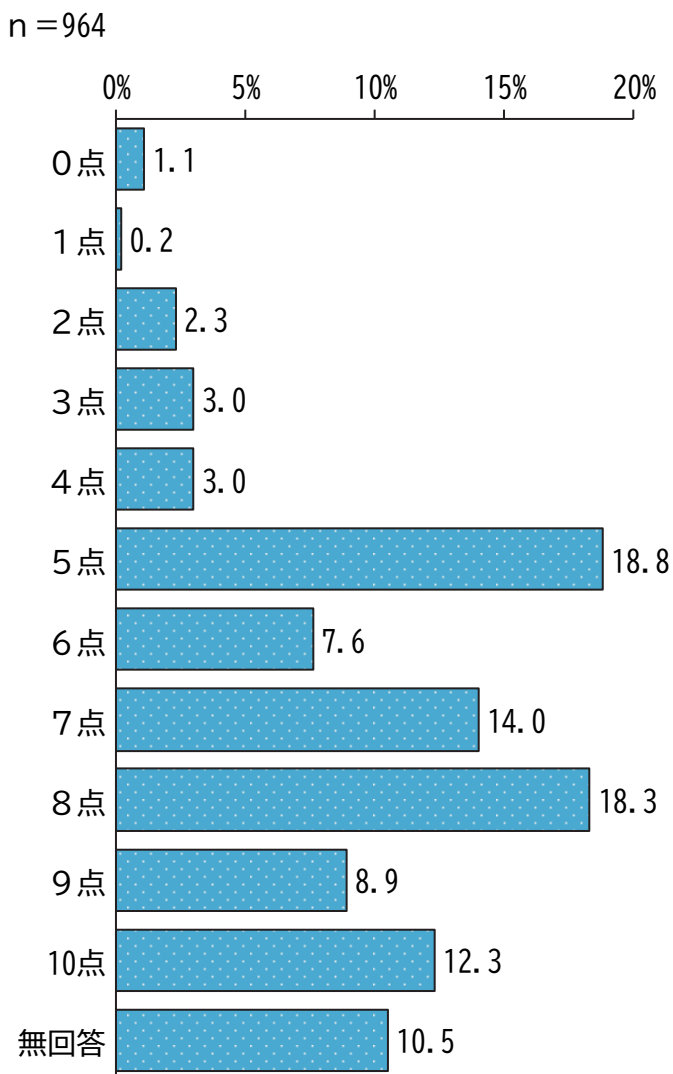
## 問19 主な介護者の状況にあてはまるものについてご回答ください。(複数選択可)

主な介護者の状況については、「高齢者である(65歳以上)」が51.2%と最も多く、次いで「仕事をしている」が31.2%、「要介護認定を受けている」が13.7%となっています。



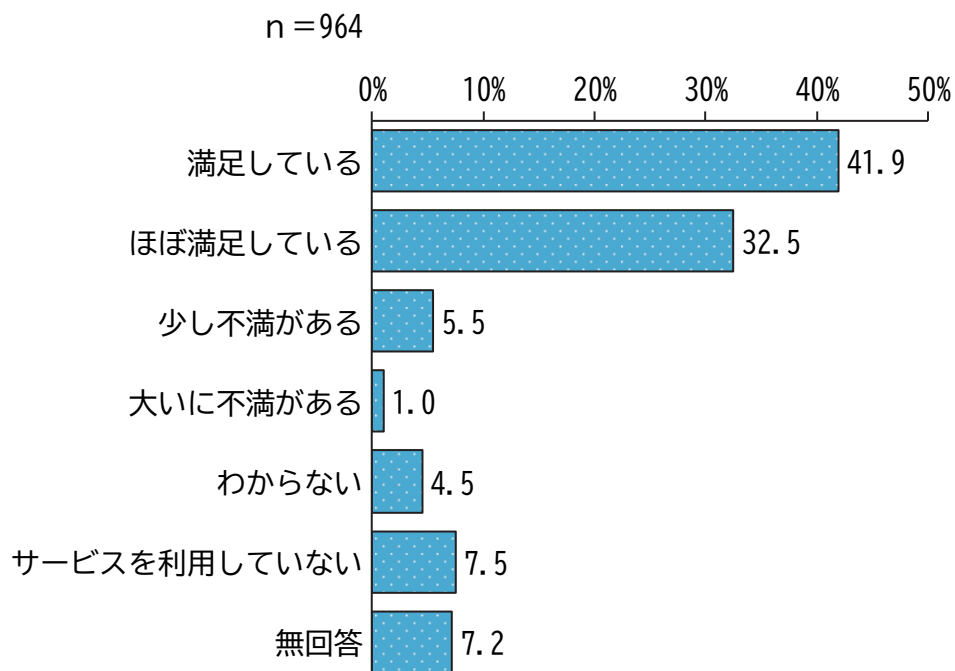
問20 あなたは、今現在、どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまるものに○を付けてください。）

現在の幸福度については、「5点」が18.8%と最も多く、次いで「8点」が18.3%、「7点」が14.0%となっています。



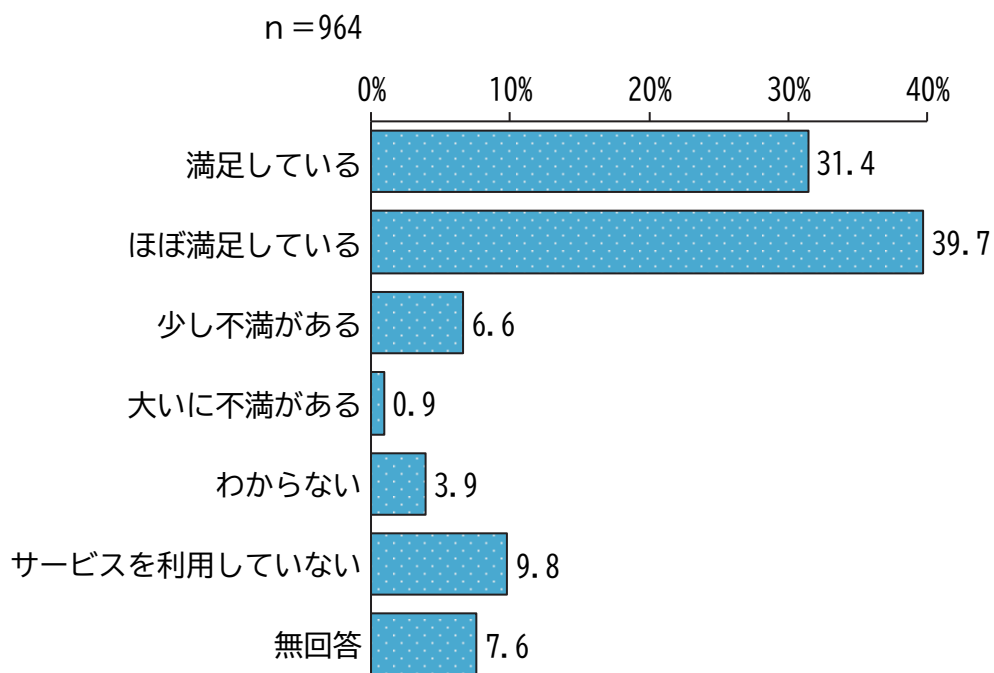
問 21 介護保険を利用するにあたって、ケアマネジャーの対応に満足していますか。  
(1つを選択)

ケアマネジャーの対応については、「満足している」が41.9%と最も多く、次いで「ほぼ満足している」が32.5%、「サービスを利用していない」が7.5%となっています。



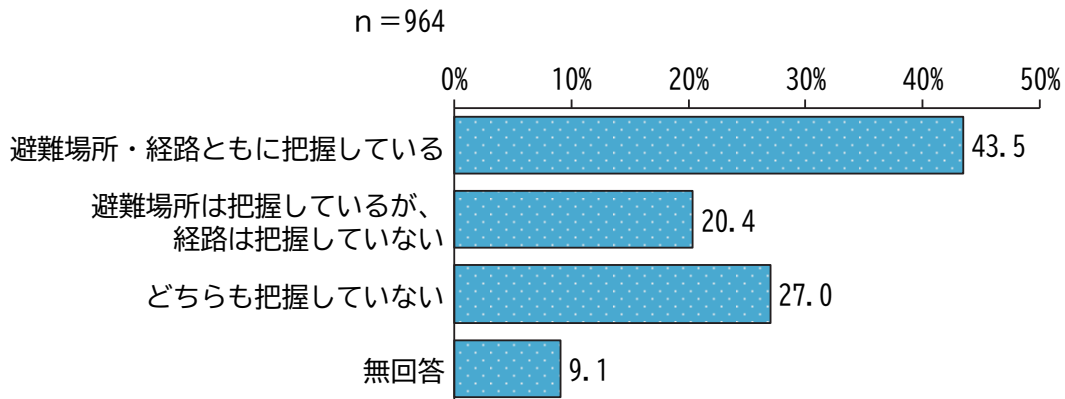
問 22 現在利用しているサービスに満足していますか。(1つを選択)

現在利用しているサービスの満足度については、「ほぼ満足している」が39.7%と最も多く、次いで「満足している」が31.4%、「サービスを利用していない」が9.8%となっています。



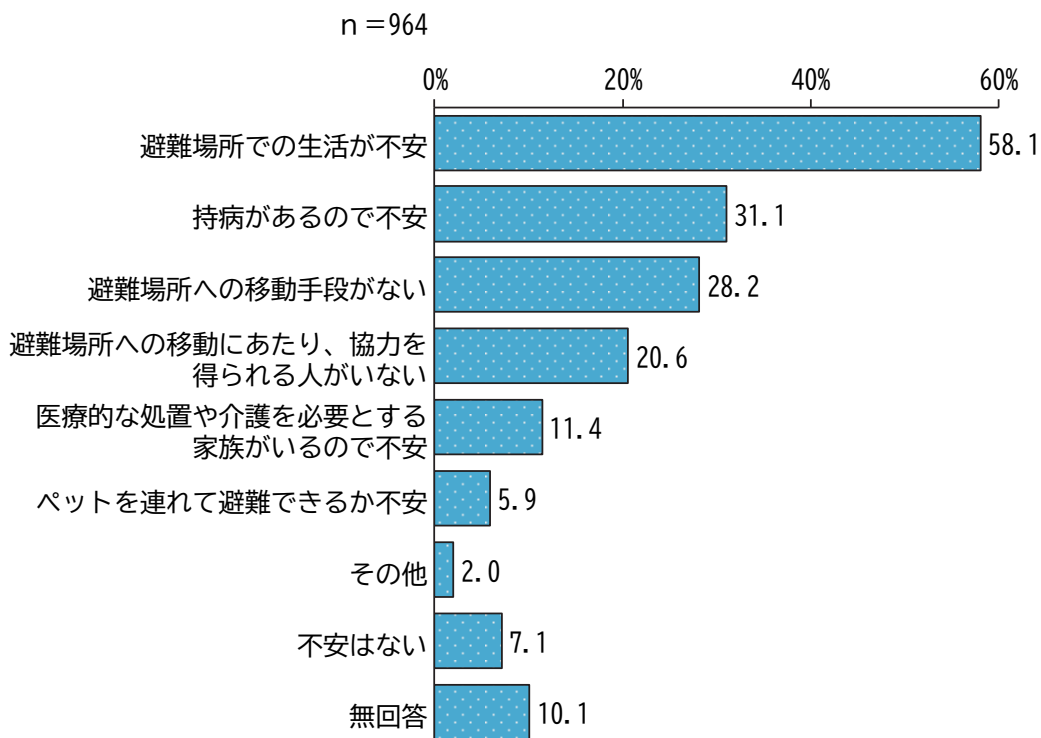
問 23 あなたは地域の避難場所・経路を把握していますか。(1つを選択)

地域の避難場所・経路については、「避難場所・経路ともに把握している」が 43.5%と最も多く、次いで「どちらも把握していない」が 27.0%、「避難場所は把握しているが、経路は把握していない」が 20.4%となっています。



問 24 避難するにあたり不安はありますか。(複数選択可)

避難するにあたり不安に感じていることについては、「避難場所での生活が不安」が 58.1%と最も多く、次いで「持病があるので不安」が 31.1%、「避難場所への移動手段がない」が 28.2%となっています。



## 第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

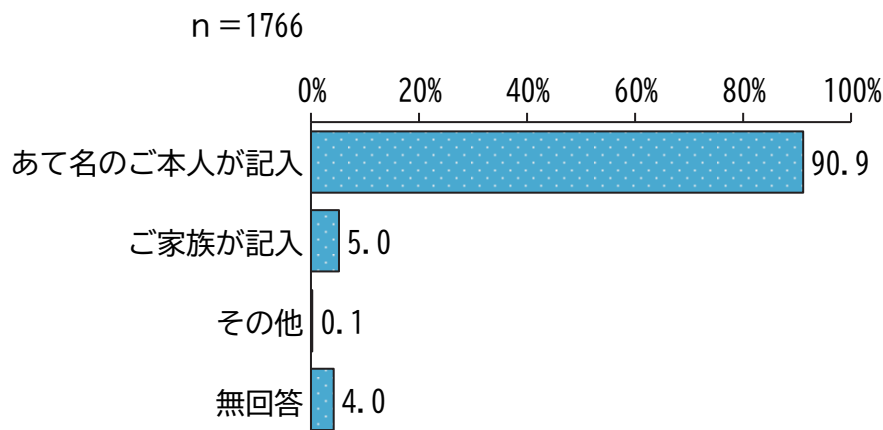
---



## 1 調査票の記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

調査票の記入者については、「あて名のご本人が記入」が90.9%、「ご家族が記入」が5.0%となっています。

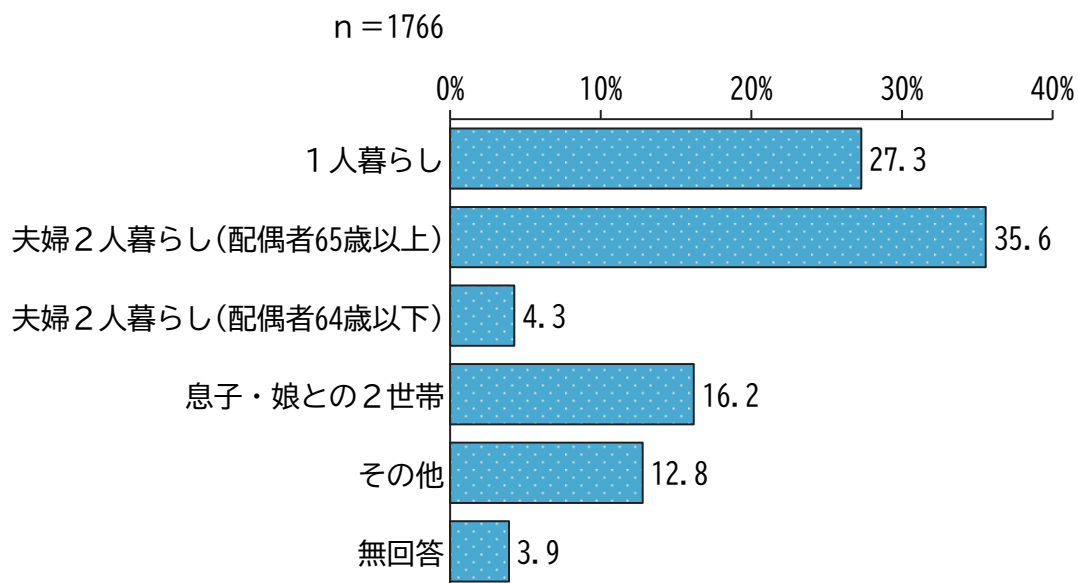


## 2 設問別の回答結果

### 問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。

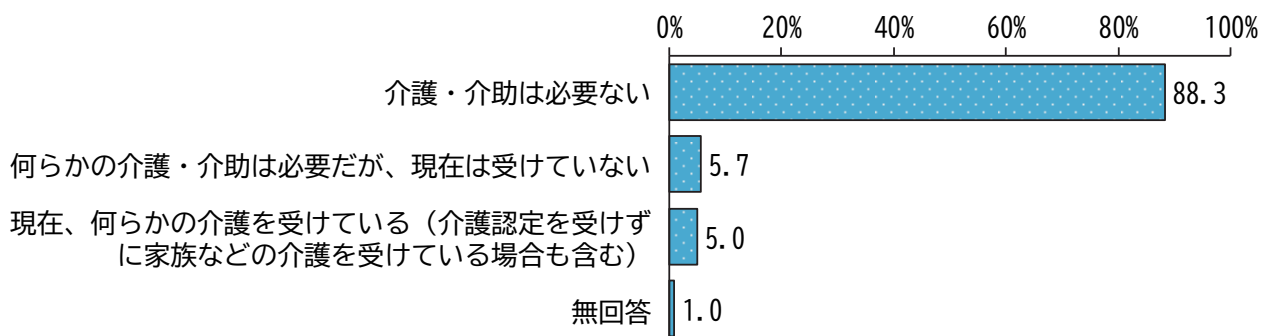
家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が35.6%と最も多く、次いで「1人暮らし」が27.3%、「息子・娘との2世帯」が16.2%となっています。



(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が88.3%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.7%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が5.0%となっています。

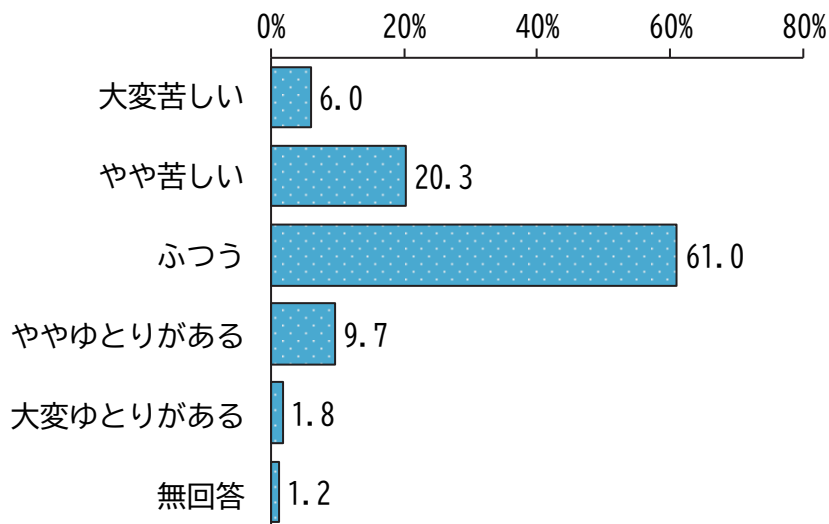
n = 1766



(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

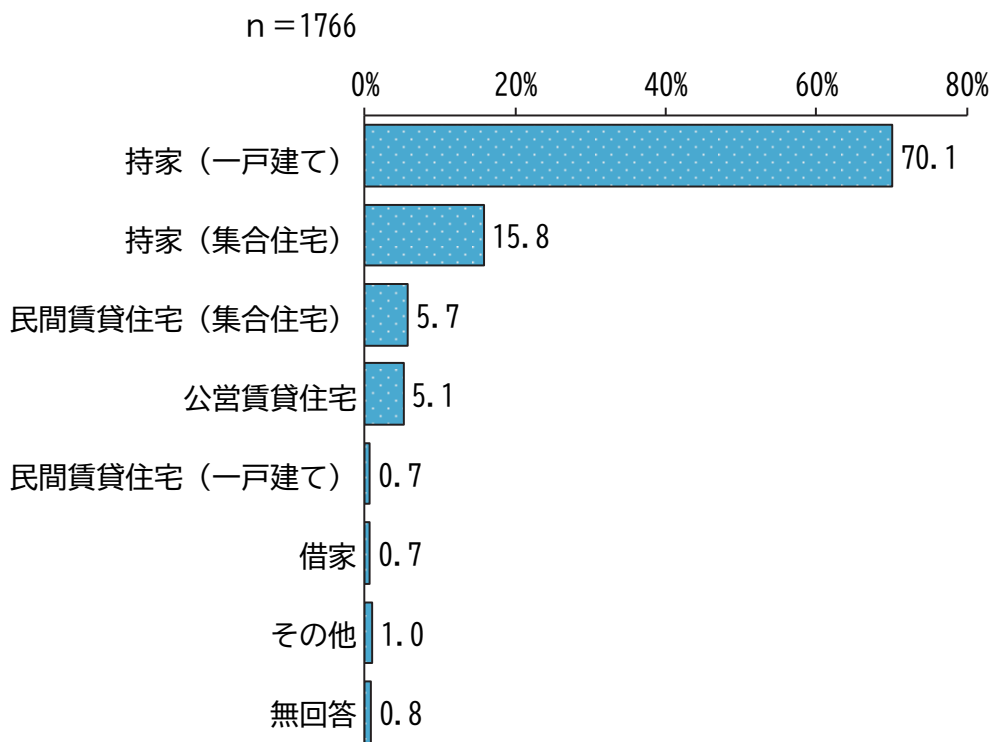
経済状況については、「ふつう」が61.0%と最も多く、次いで「やや苦しい」が20.3%、「ややゆとりがある」が9.7%となっています。

n = 1766



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

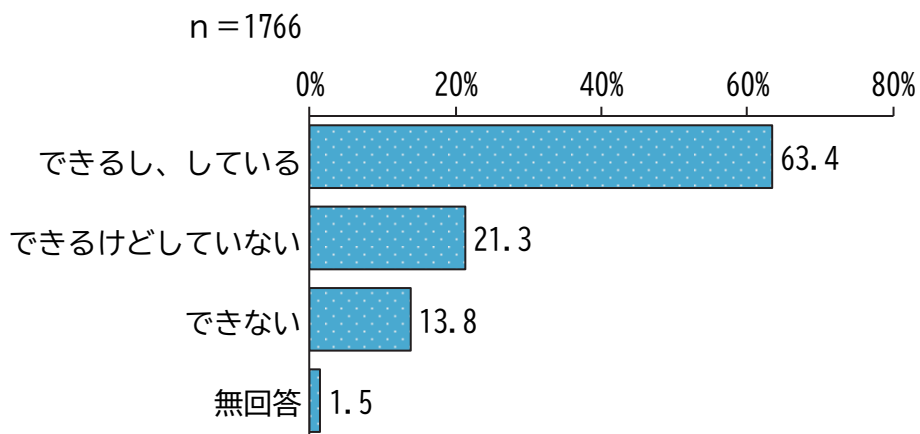
住宅の種別については、「持家(一戸建て)」が70.1%と最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が15.8%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が5.7%となっています。



問2 からだを動かすことについて

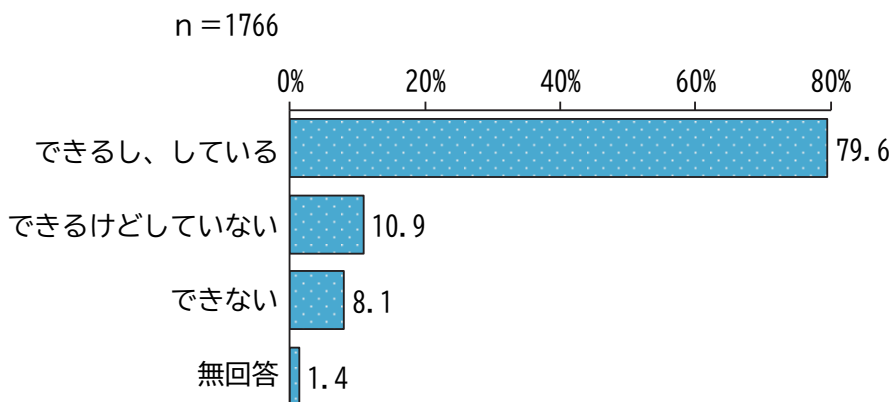
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかについては、「できるし、している」が63.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.3%、「できない」が13.8%となっています。



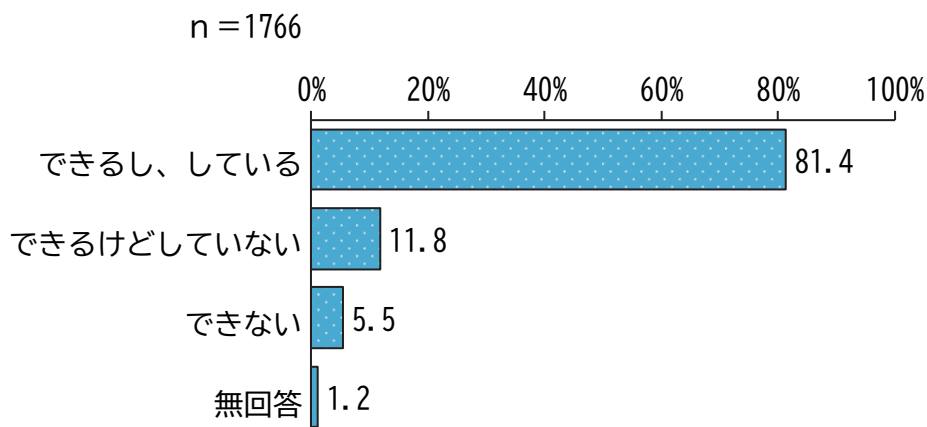
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

何もつかまらずに椅子から立ち上がれるかについては、「できるし、している」が79.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.9%、「できない」が8.1%となっています。



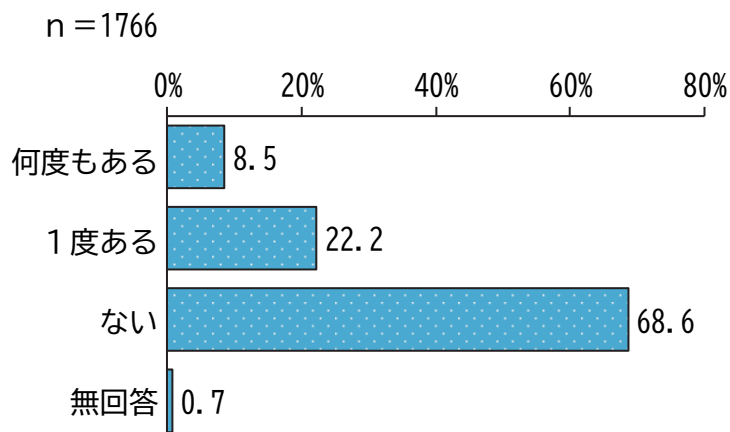
(3) 15分位続けて歩いていますか。

15分位続けて歩けるかについては、「できるし、している」が81.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が5.5%となっています。



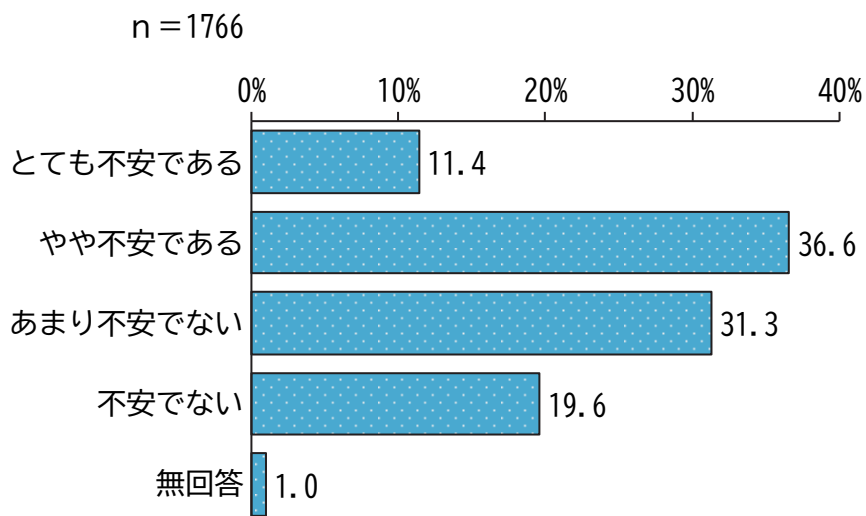
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

過去1年間の転んだ経験については、「ない」が68.6%と最も多く、次いで「1度ある」が22.2%、「何度もある」が8.5%となっています。



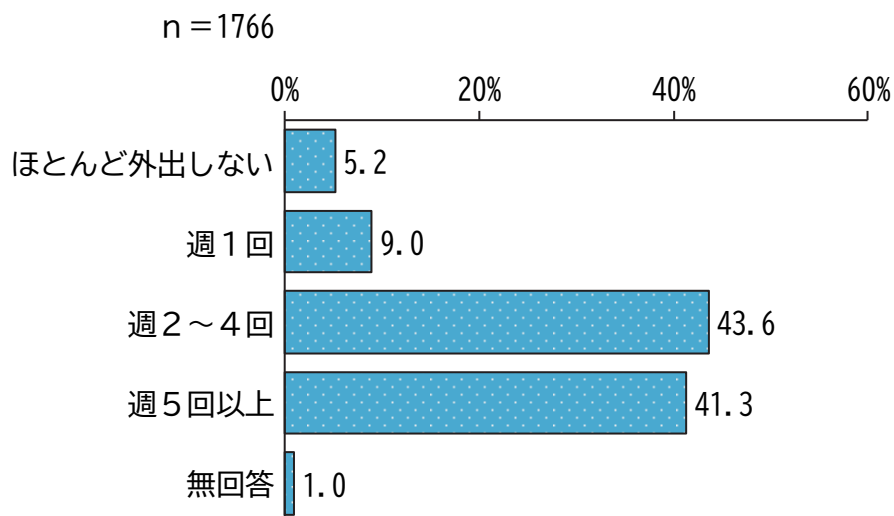
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。

転倒に対する不安については、「やや不安である」が36.6%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が31.3%、「不安でない」が19.6%となっています。



(6) 週に1回以上は外出していますか。

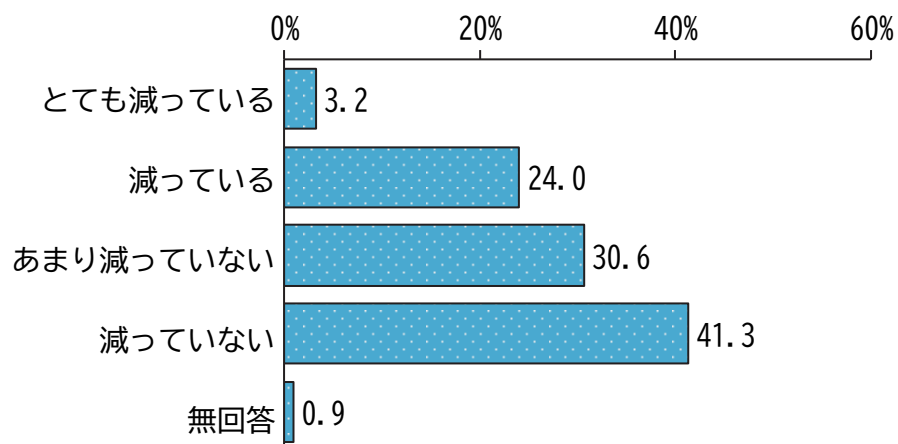
外出の頻度については、「週2~4回」が43.6%と最も多く、次いで「週5回以上」が41.3%、「週1回」が9.0%となっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

昨年と比較した外出の頻度については、「減っていない」が41.3%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が30.6%、「減っている」が24.0%となっています。

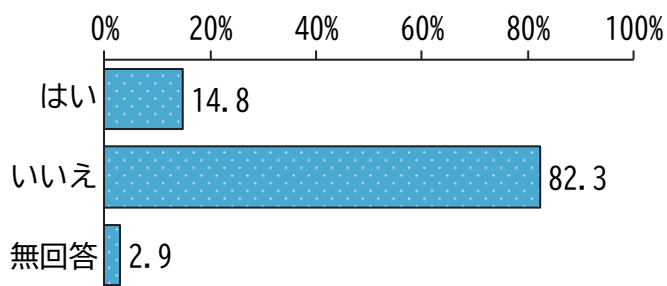
n = 1766



(8) 外出を控えていますか。

外出を控えているかについては、「いいえ」が82.3%、「はい」が14.8%となっています。

n = 1766

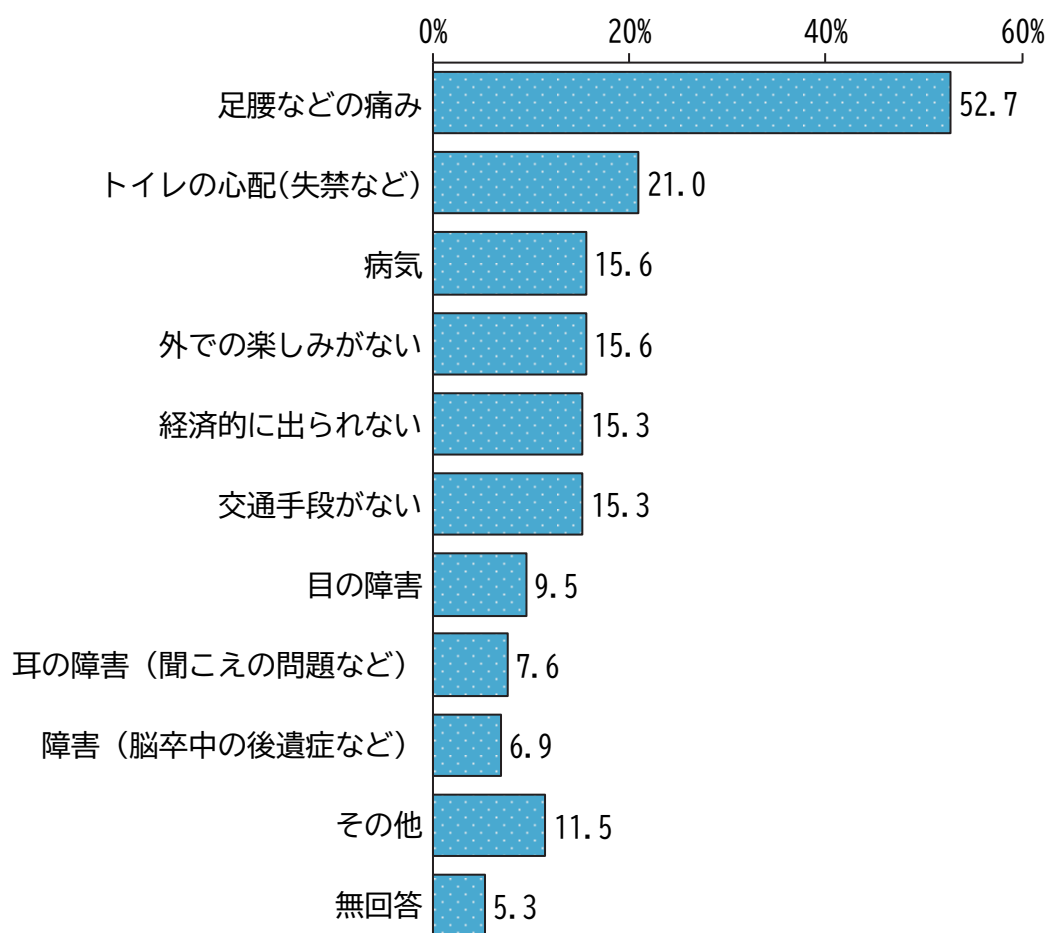


(8) ① (8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ

外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

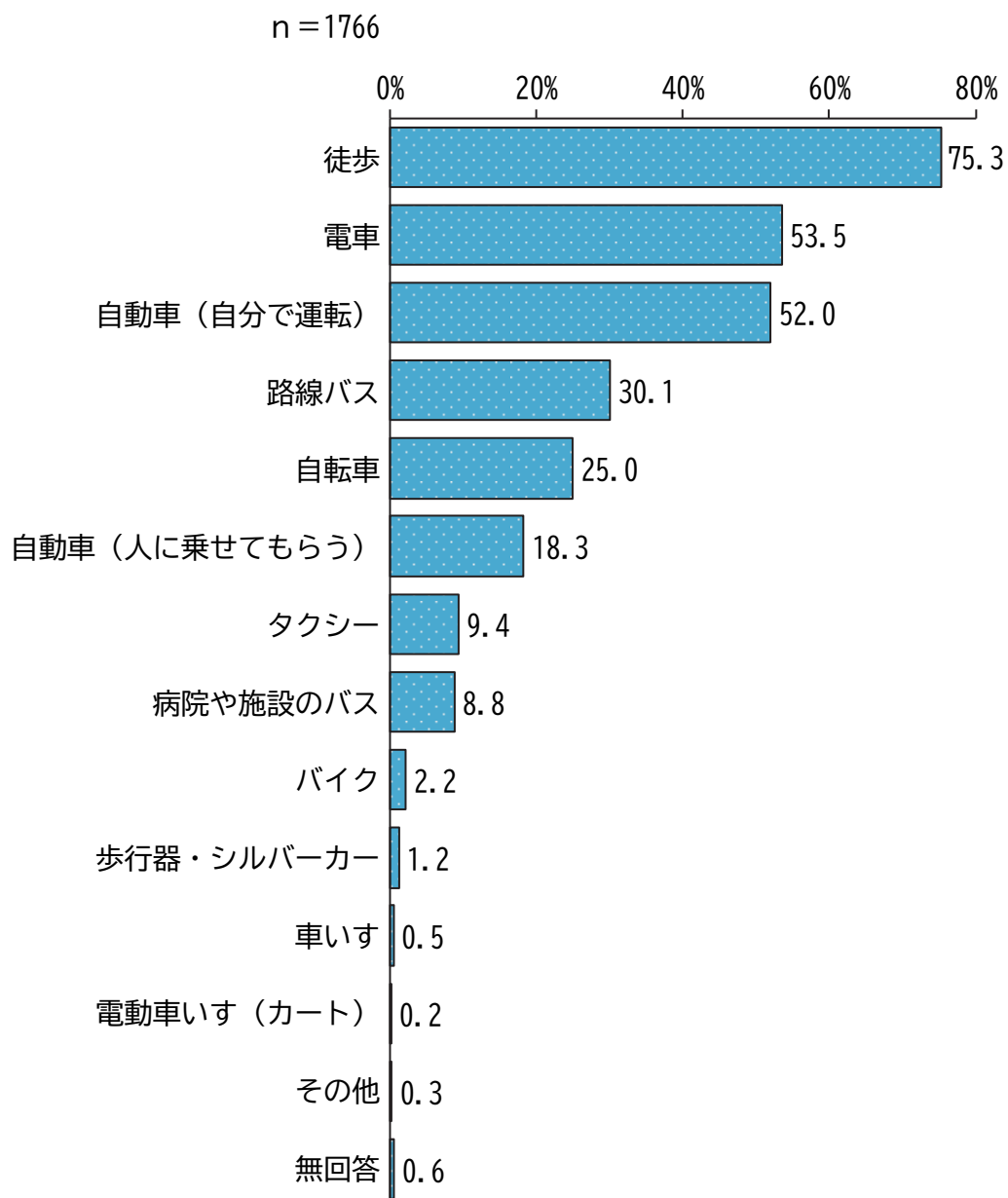
外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が52.7%と最も多く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が21.0%、「病気」「外での楽しみがない」が各15.6%となっています。

n=262



(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

外出時の移動手段については、「徒歩」が75.3%と最も多く、次いで「電車」が53.5%、「自動車(自分で運転)」が52.0%となっています。

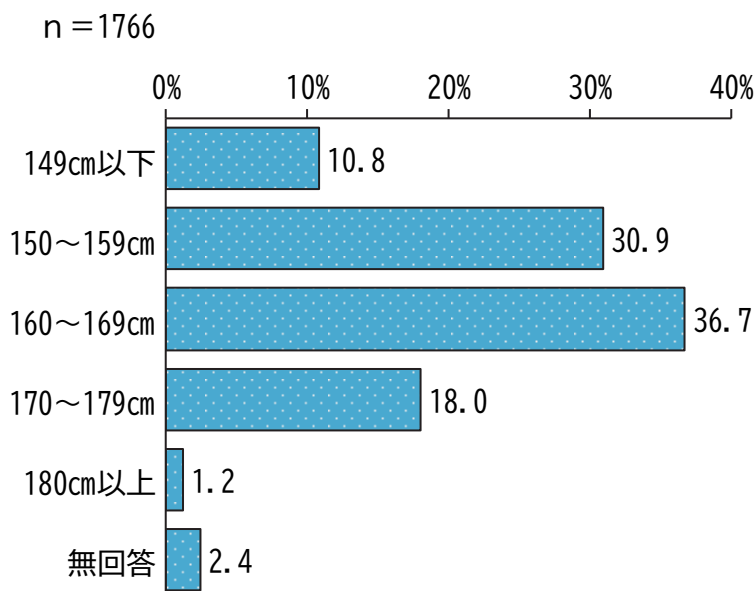


## 問3 食べることについて

## (1) 身長・体重

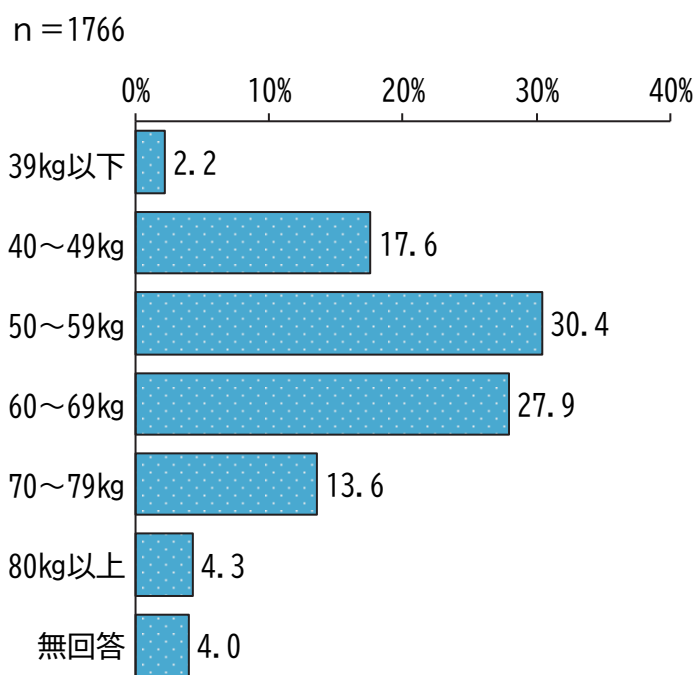
## 1. 身長

身長については、「160～169cm」が36.7%と最も多く、次いで「150～159cm」が30.9%、「170～179cm」が18.0%となっています。



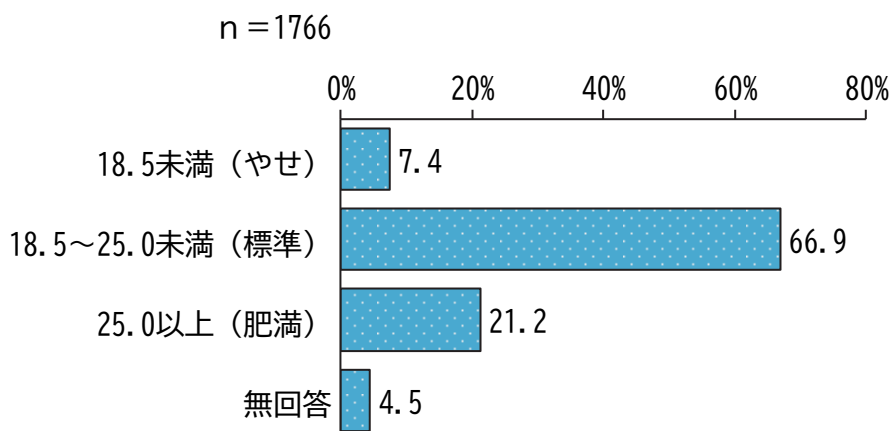
## 2. 体重

体重については、「50～59kg」が30.4%と最も多く、次いで「60～69kg」が27.9%、「40～49kg」が17.6%となっています。



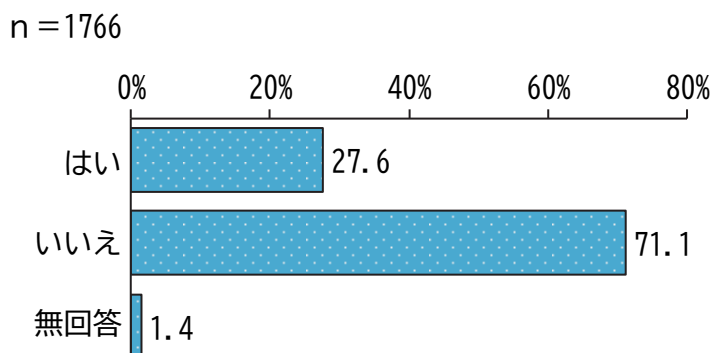
### 3. BMI

BMIについては、18.5～25.0未満（標準）」が66.9%と最も多く、次いで「25.0以上（肥満）」が21.2%、「18.5未満（やせ）」が7.4%となっています。



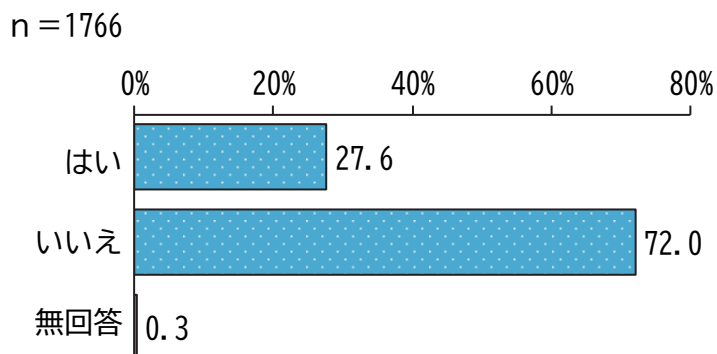
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が71.1%、「はい」が27.6%となっています。



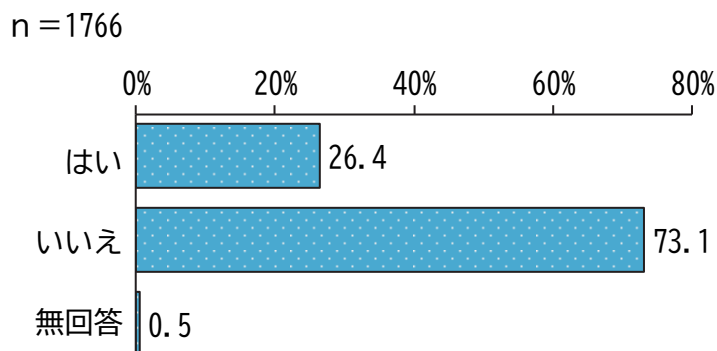
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。

お茶等でむせることがあるかについては、「いいえ」が72.0%、「はい」が27.6%となっています。



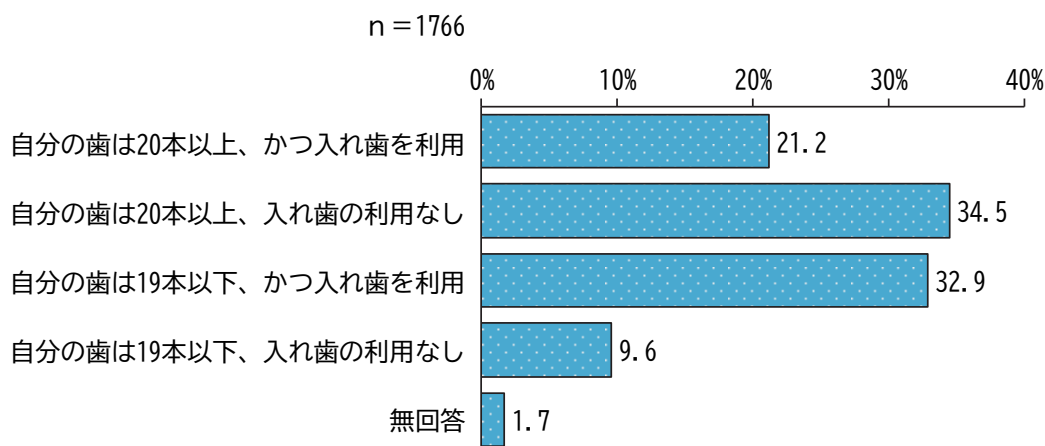
(4) 口の渇きが気になりますか。

口の渇きが気になるかについては、「いいえ」が73.1%、「はい」が26.4%となっています。



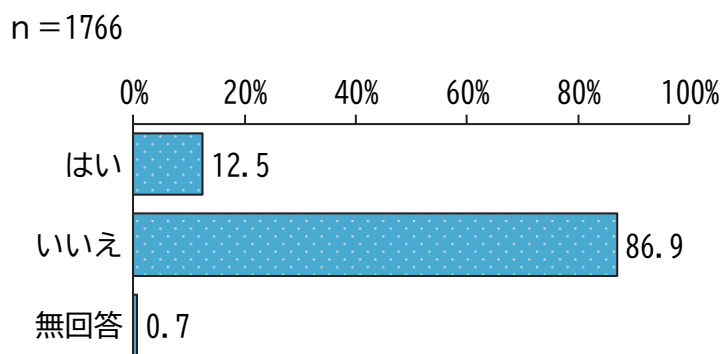
(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 34.5%と最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 32.9%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 21.2%となっています。



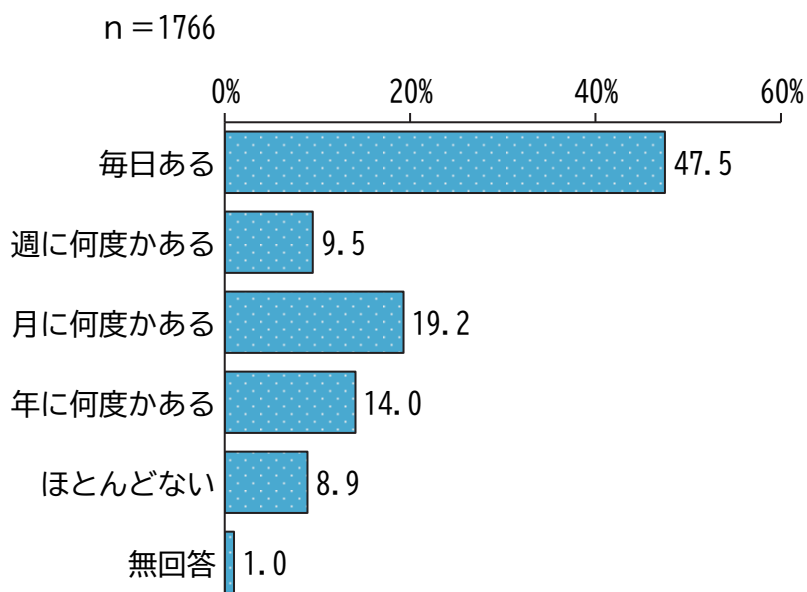
(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「いいえ」が86.9%、「はい」が12.5%となっています。



(7) どなたかと食事をとる機会がありますか。

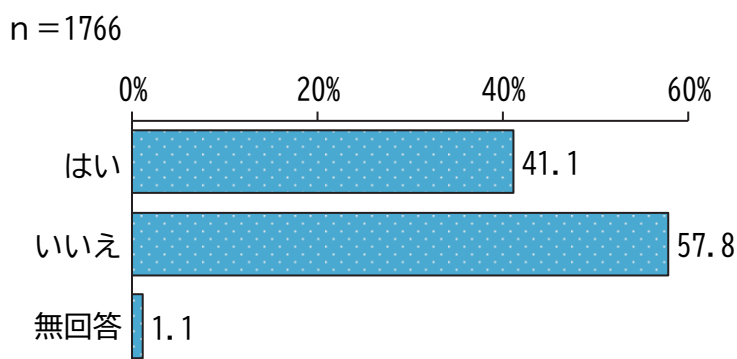
誰かとの食事の機会については、「毎日ある」が47.5%と最も多く、次いで「月に何度かある」が19.2%、「年に何度かある」が14.0%となっています。



問4 毎日の生活について

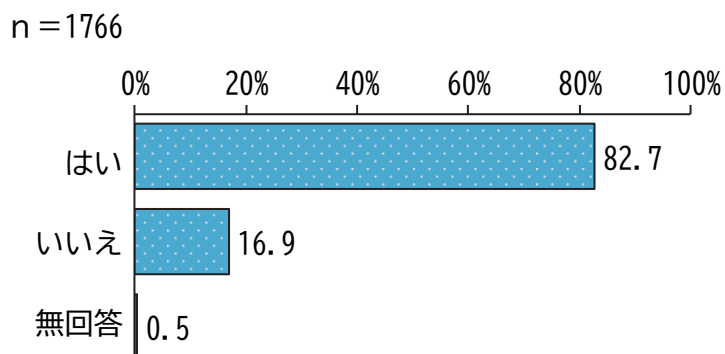
(1) 物忘れが多いと感じますか。

物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が57.8%、「はい」が41.1%となっています。



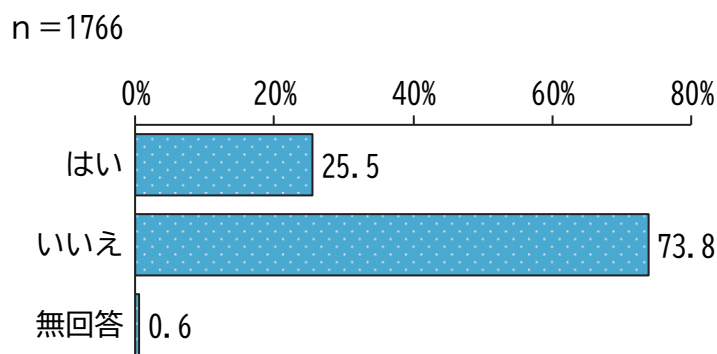
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

自分で電話をかけられるかについては、「はい」が82.7%、「いいえ」が16.9%となっています。



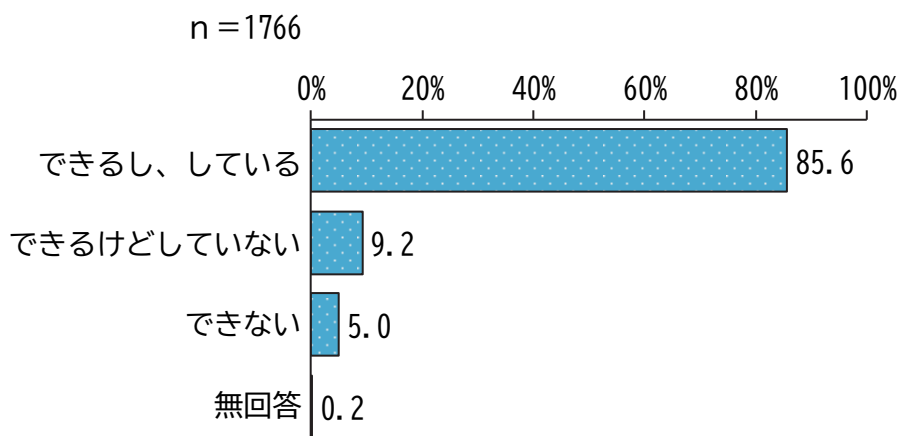
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。

今日の日付がわからない時があるかについては、「いいえ」が73.8%、「はい」が25.5%となっています。



(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

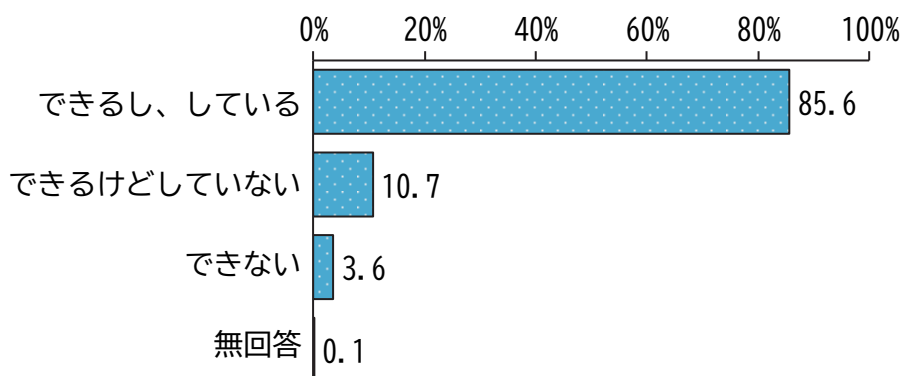
公共交通を使用して1人で外出できるかについては、「できるし、している」が85.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が9.2%、「できない」が5.0%となっています。



(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

日用品等の買い物をしているかについては、「できるし、している」が85.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.7%、「できない」が3.6%となっています。

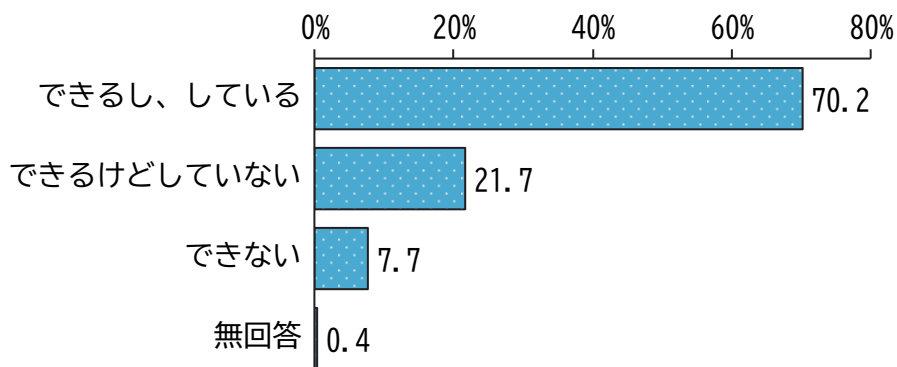
n = 1766



(6) 自分で食事の用意をしていますか。

食事の用意については、「できるし、している」が70.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.7%、「できない」が7.7%となっています。

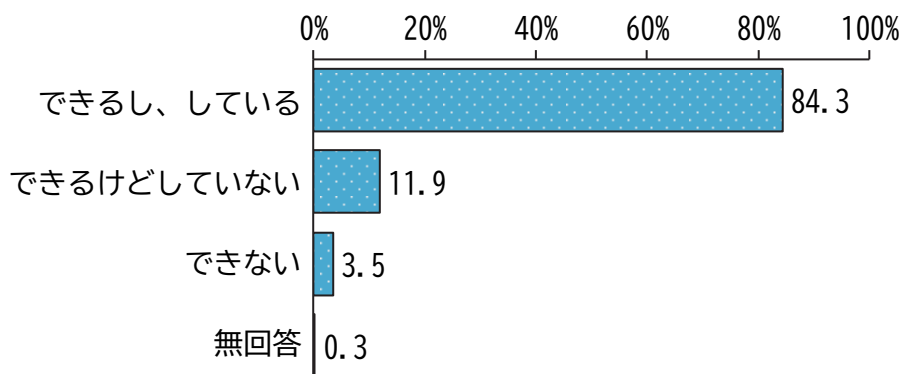
n = 1766



(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。

請求書払いについては、「できるし、している」が84.3%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.9%、「できない」が3.5%となっています。

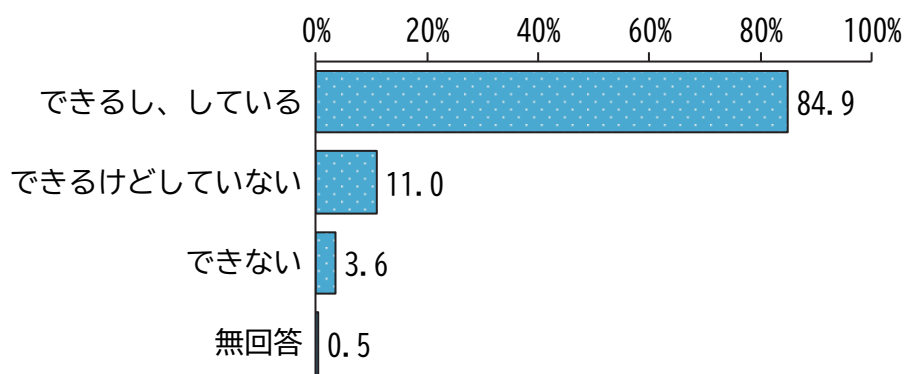
n = 1766



(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

預貯金の出し入れについては、「できるし、している」が84.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.0%、「できない」が3.6%となっています。

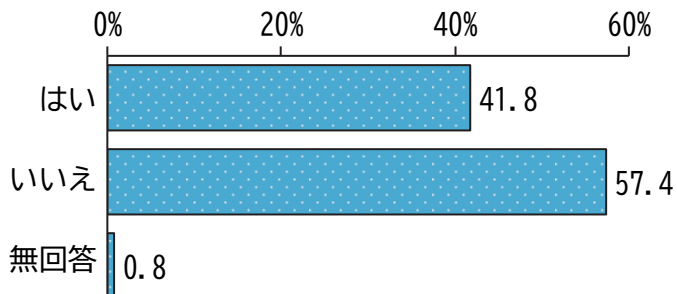
n = 1766



(9) 友人の家を訪ねていますか。

友人の家を訪問しているかについては、「いいえ」が57.4%、「はい」が41.8%となっています。

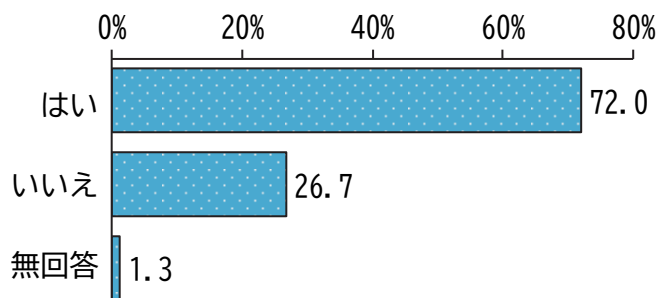
n = 1766



(10) 家族や友人の相談にのっていますか。

相談にのることがあるかについては、「はい」が72.0%、「いいえ」が26.7%となっています。

n = 1766

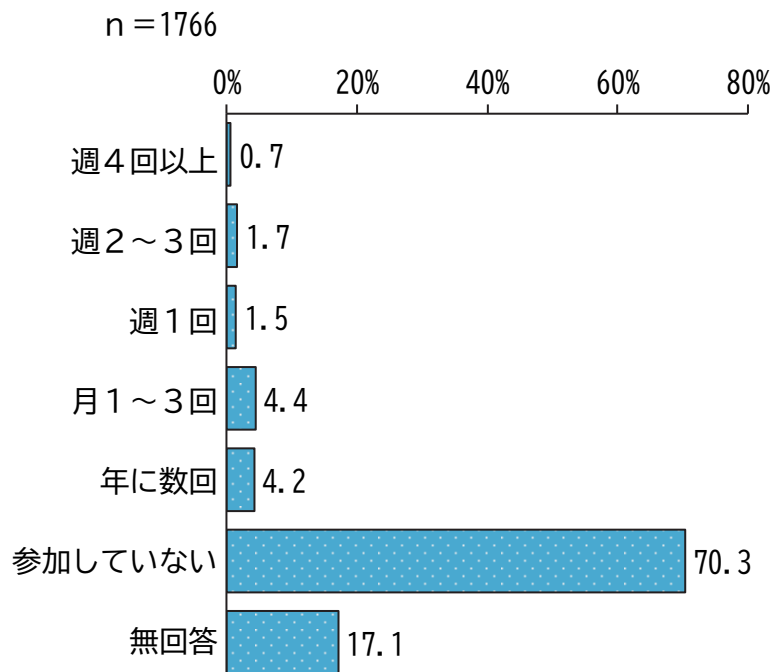


問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

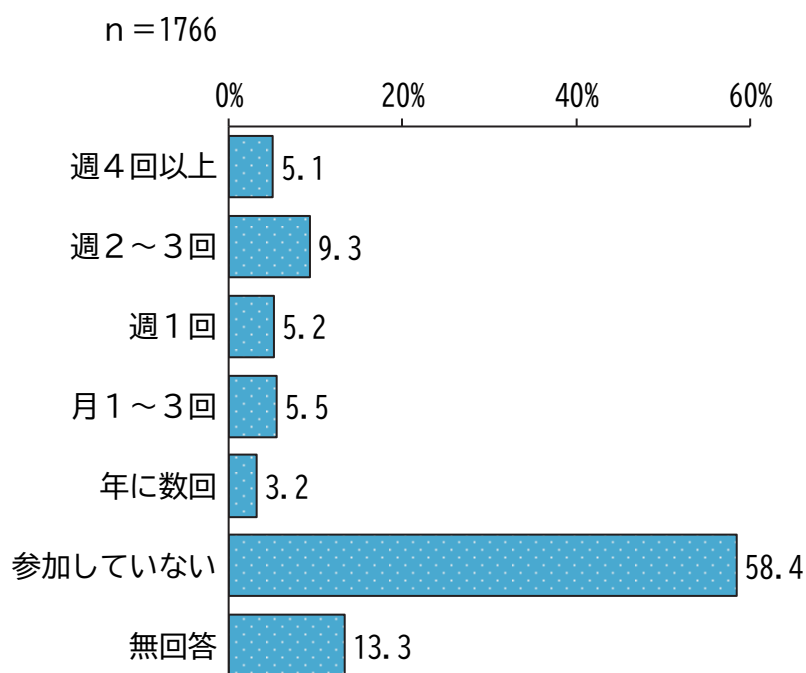
① ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加頻度については、「参加していない」が70.3%と最も多く、次いで「月1～3回」が4.4%、「年に数回」が4.2%となっています。



② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度については、「参加していない」が58.4%と最も多く、次いで「週2～3回」が9.3%、「月1～3回」が5.5%となっています。

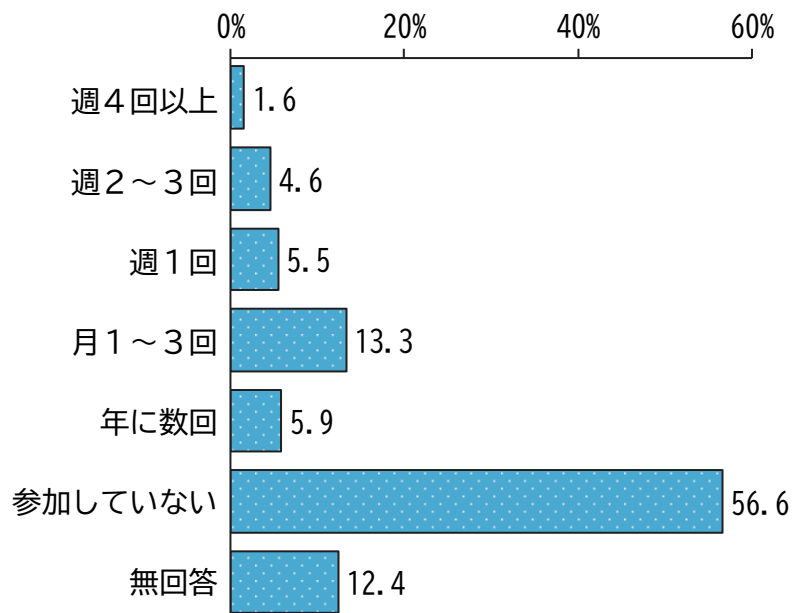


### 第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

#### ③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加頻度については、「参加していない」が56.6%と最も多く、次いで「月1～3回」が13.3%、「年に数回」が5.9%となっています。

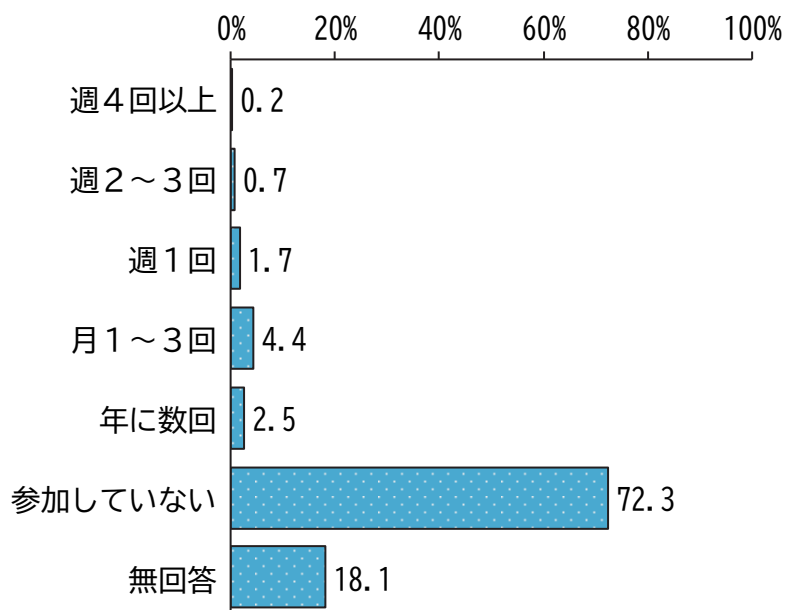
n = 1766



#### ④ 学習・教養サークル

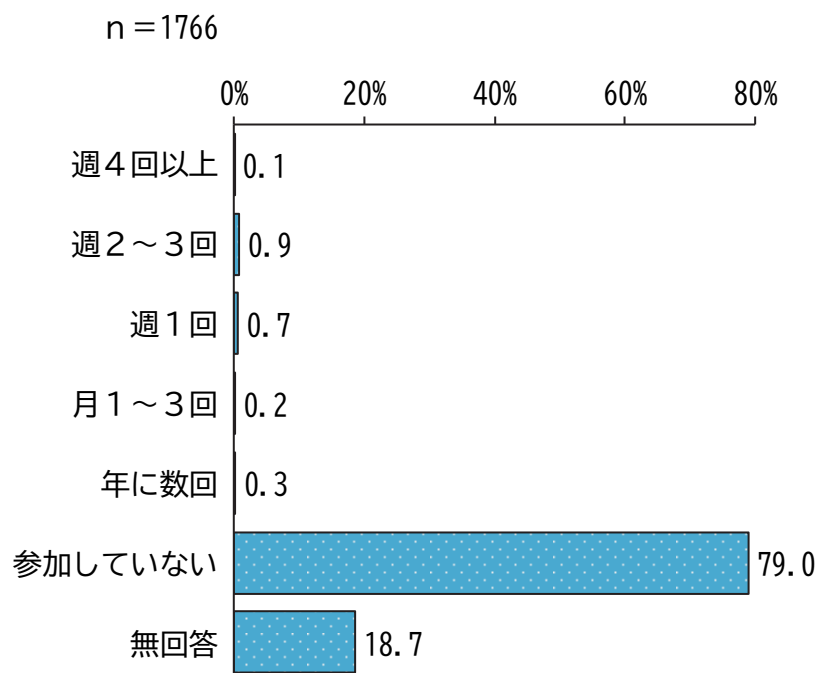
学習・教養サークルへの参加頻度については、「参加していない」が72.3%と最も多く、次いで「月1～3回」が4.4%、「年に数回」が2.5%となっています。

n = 1766



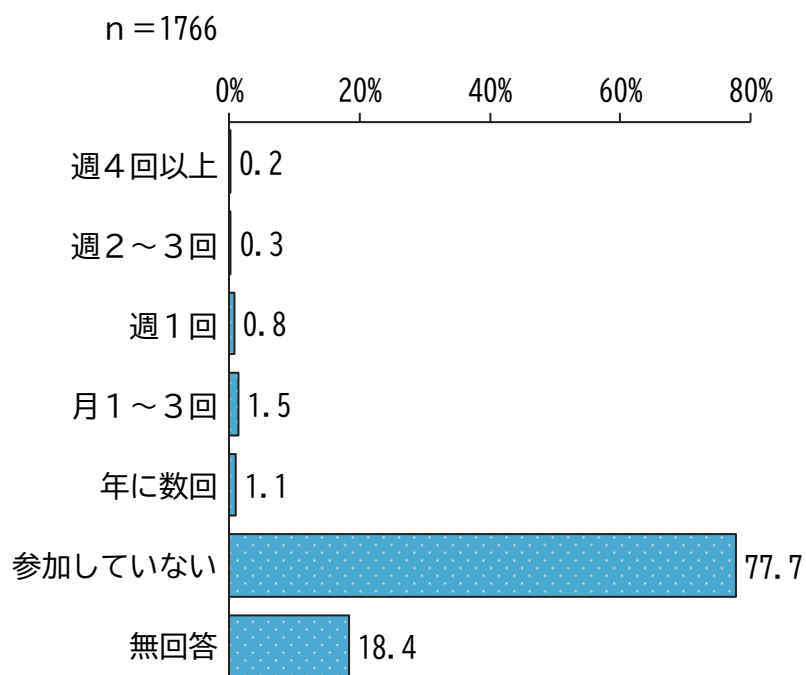
⑤ きらめきデイサービスなど介護予防のための通いの場

きらめきデイサービスなど介護予防のための通いの場への参加頻度については、「参加していない」が79.0%と最も多く、次いで「週2～3回」が0.9%、「週1回」が0.7%となっています。



⑥ 老人クラブ

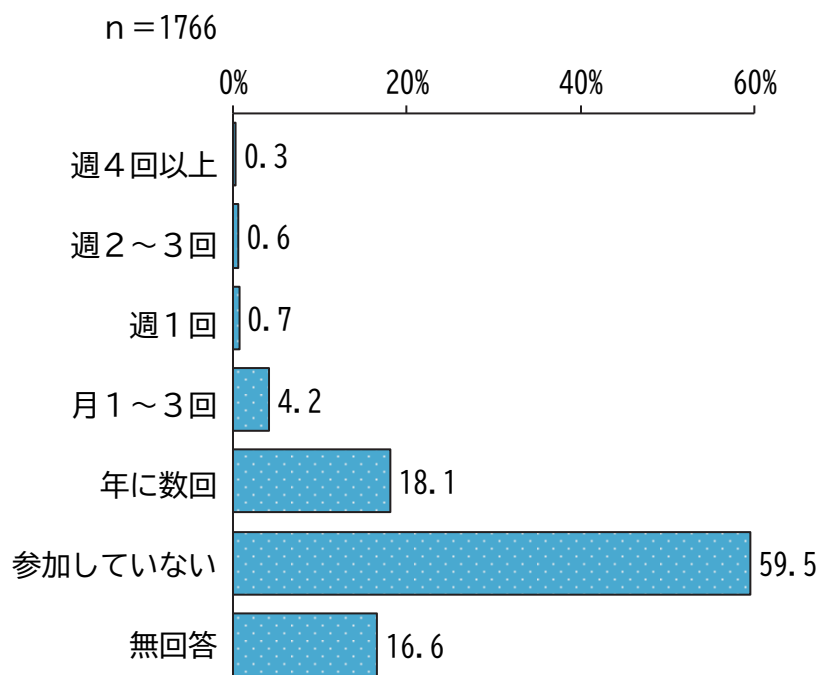
老人クラブへの参加頻度については、「参加していない」が77.7%と最も多く、次いで「月1～3回」が1.5%、「年に数回」が1.1%となっています。



### 第3章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

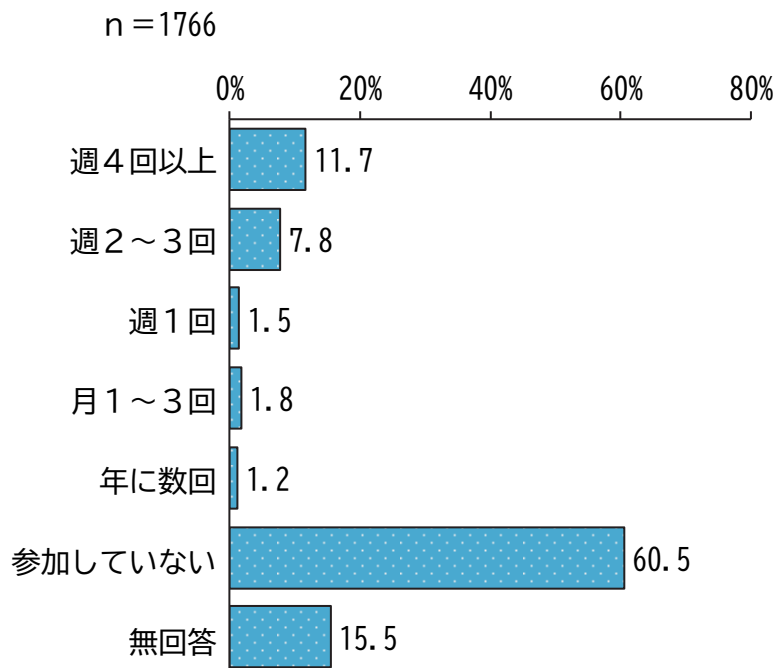
#### ⑦ 町内会・自治会

町内会・自治会への参加頻度については、「参加していない」が59.5%と最も多く、次いで「年に数回」が18.1%、「月1～3回」が4.2%となっています。



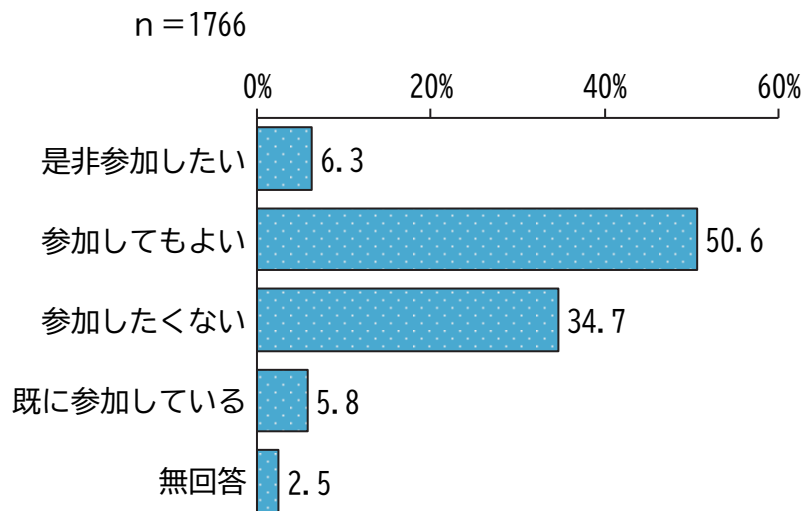
#### ⑧ 収入のある仕事

収入のある仕事への参加頻度については、「参加していない」が60.5%と最も多く、次いで「週4回以上」が11.7%、「週2～3回」が7.8%となっています。



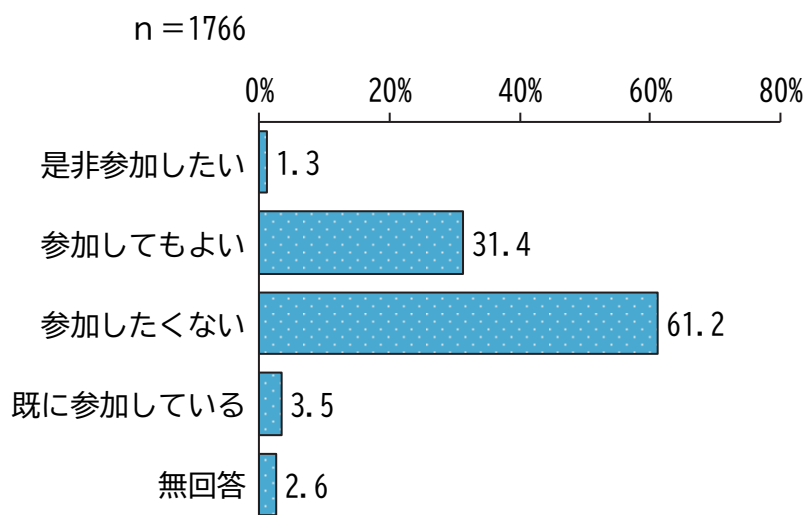
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意欲については、「参加してもよい」が50.6%と最も多く、次いで「参加したくない」が34.7%、「是非参加したい」が6.3%となっています。



(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

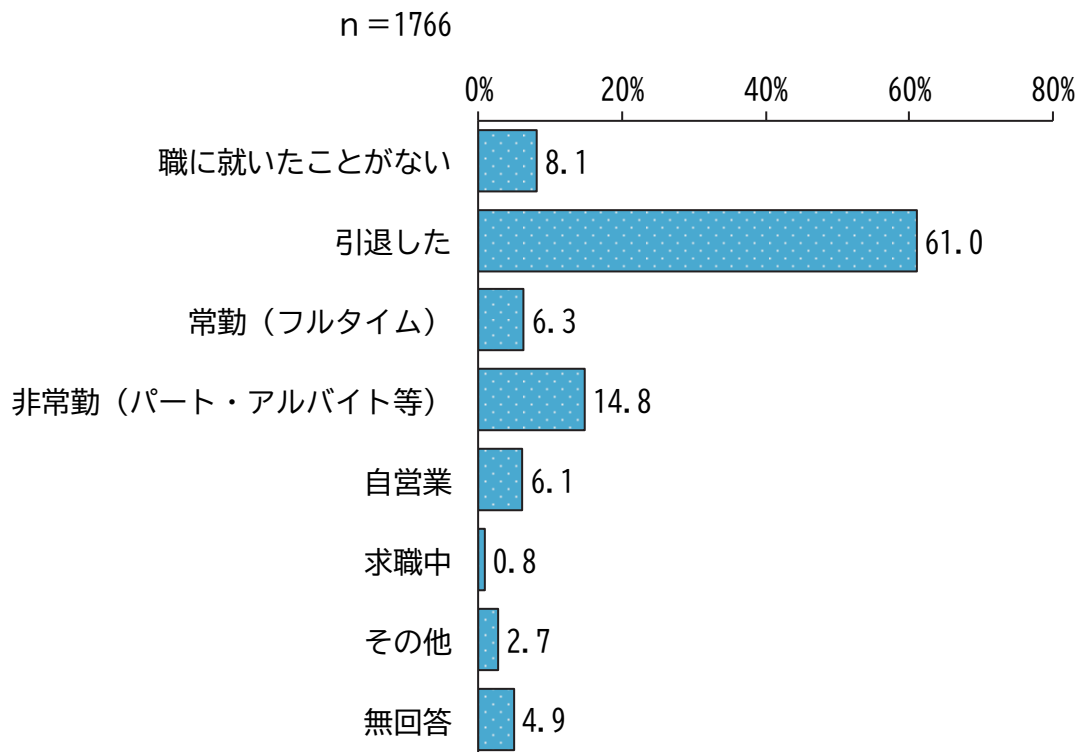
健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営での参加意欲については、「参加したくない」が61.2%と最も多く、次いで「参加してもよい」が31.4%、「既に参加している」が3.5%となっています。



問6 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも)

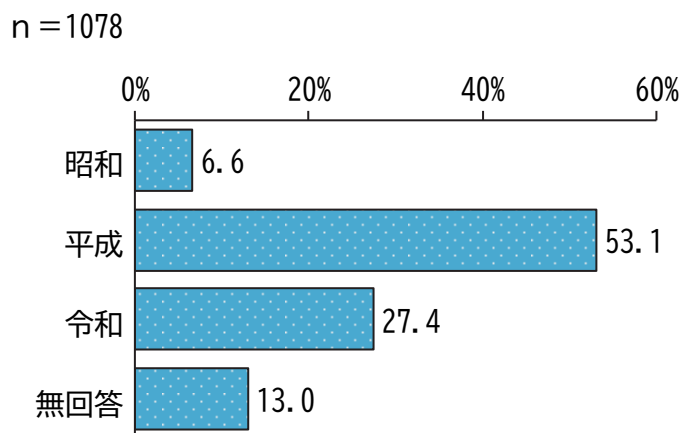
現在の就労状況については、「引退した」が61.0%と最も多く、次いで「非常勤(パート・アルバイト等)」が14.8%、「職に就いたことがない」が8.1%となっています。



(2) ① (1)において「2. 引退した」の方のみ

あなたはいつ引退しましたか。

引退した時期については、「平成」が53.1%と最も多く、次いで「令和」が27.4%、「昭和」が6.6%となっています。

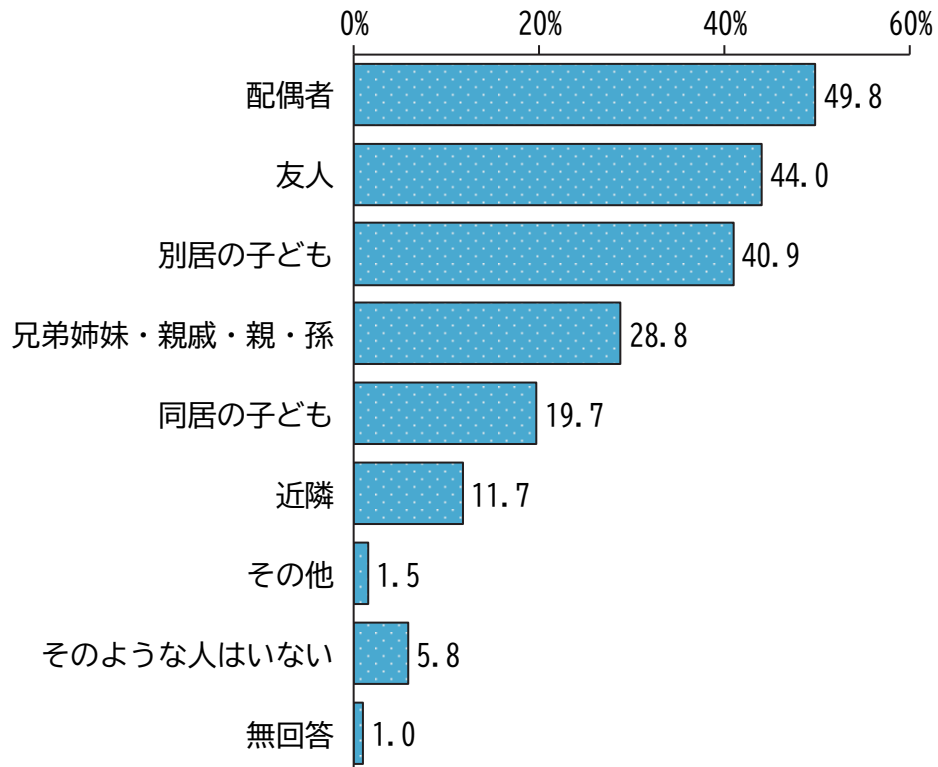


問7 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が49.8%と最も多く、次いで「友人」が44.0%、「別居の子ども」が40.9%となっています。

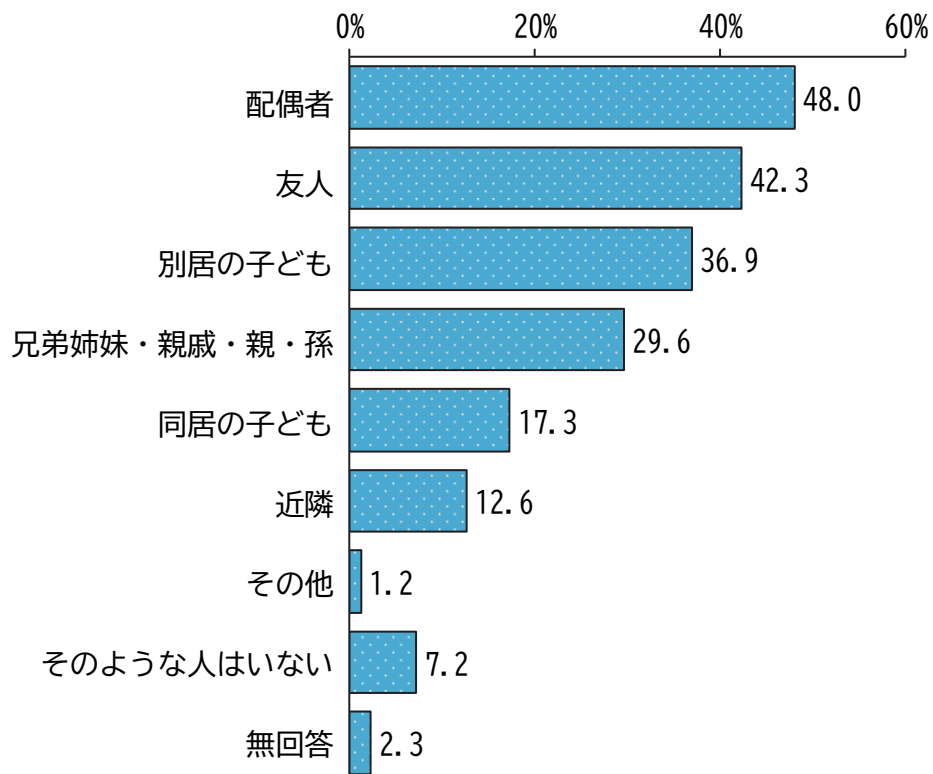
n = 1766



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が48.0%と最も多く、次いで「友人」が42.3%、「別居の子ども」が36.9%となっています。

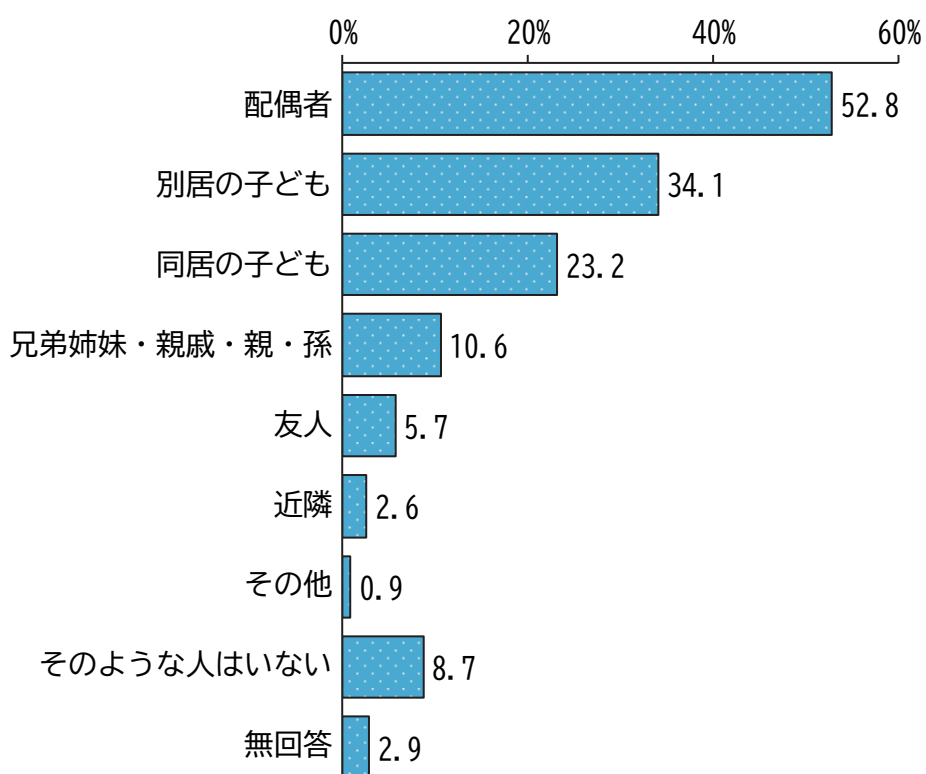
n = 1766



(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

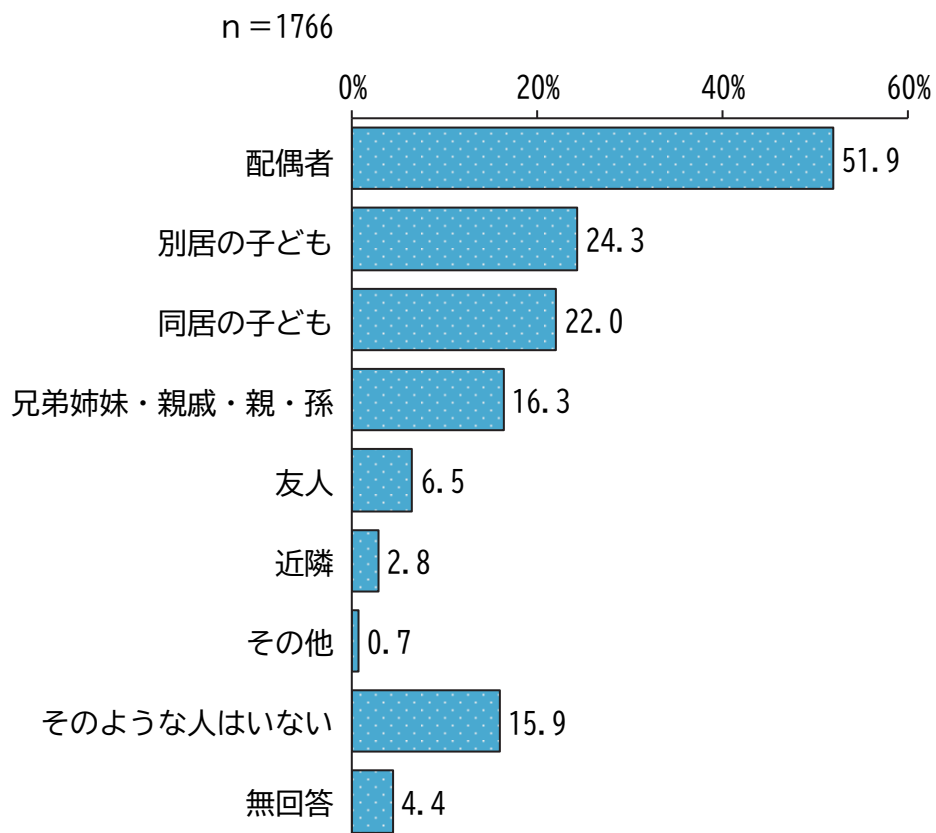
看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が52.8%と最も多く、次いで「別居の子ども」が34.1%、「同居の子ども」が23.2%となっています。

n = 1766



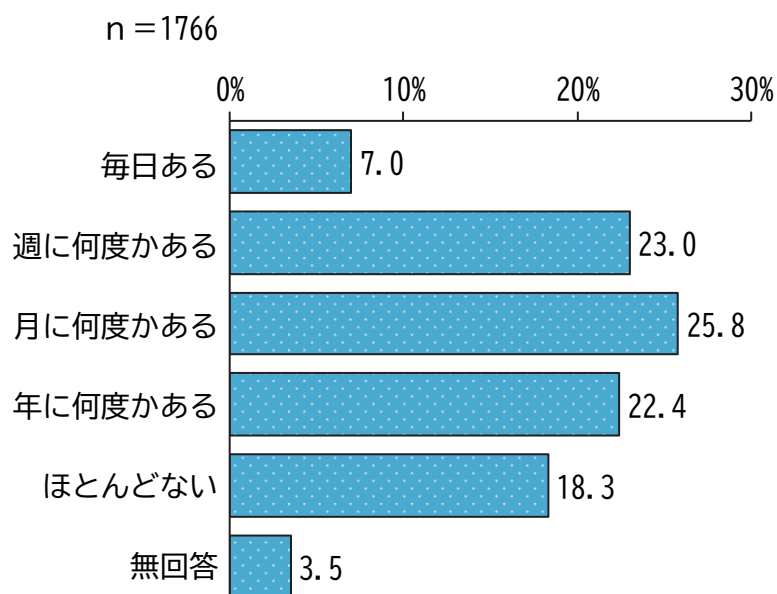
(4) 反対に、看病や世話をしあける人。(いくつでも)

看病や世話をしあける人については、「配偶者」が51.9%と最も多く、次いで「別居の子ども」が24.3%、「同居の子ども」が22.0%となっています。



(5) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

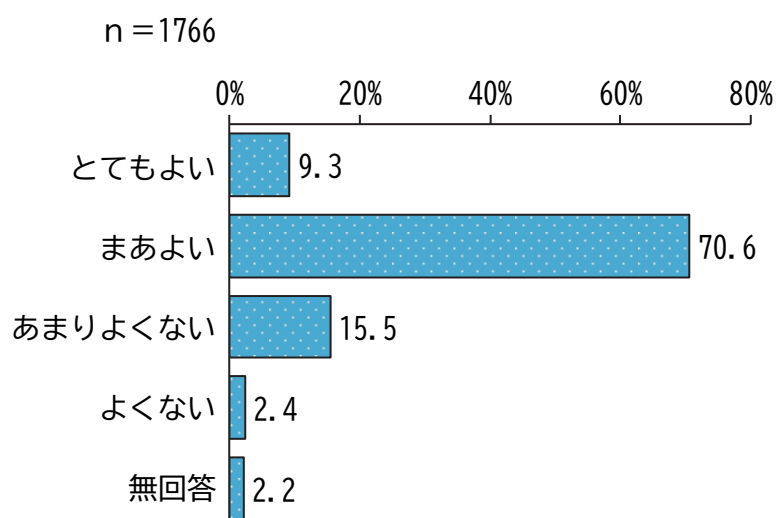
友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が25.8%と最も多く、次いで「週に何度かある」が23.0%、「年に何度かある」が22.4%となっています。



問8 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

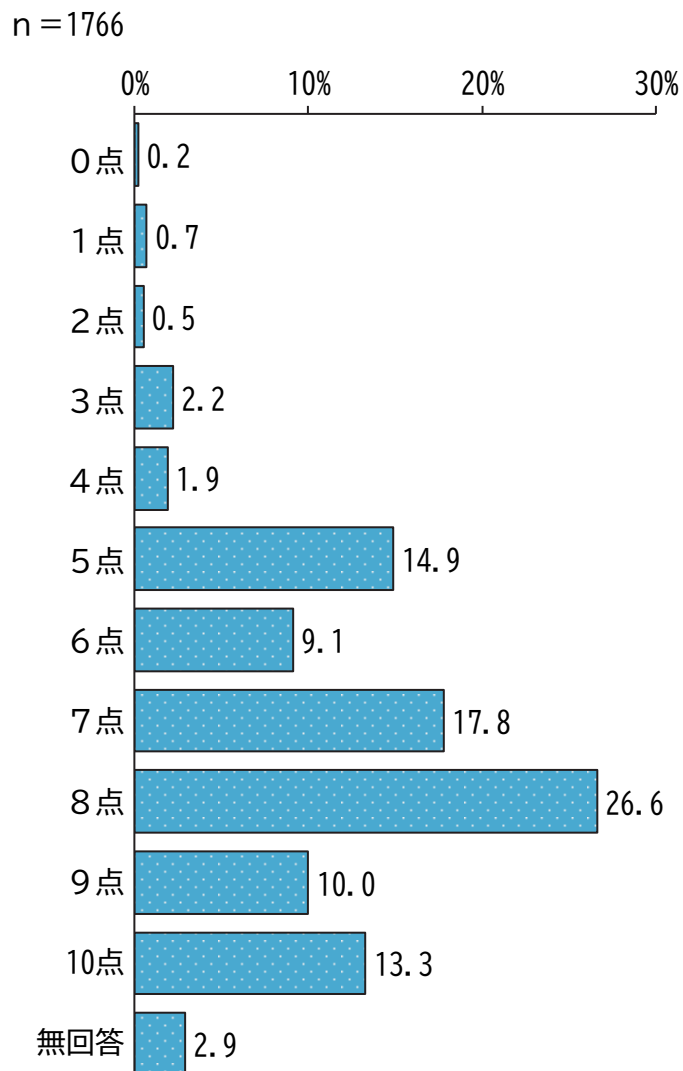
健康状態については、「まあよい」が70.6%と最も多く、次いで「あまりよくない」が15.5%、「とてもよい」が9.3%となっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

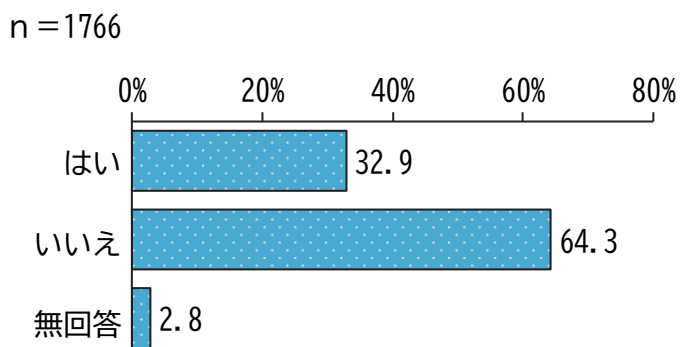
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

現在の幸福度については、「8点」が26.6%と最も多く、次いで「7点」が17.8%、「5点」が14.9%となっています。



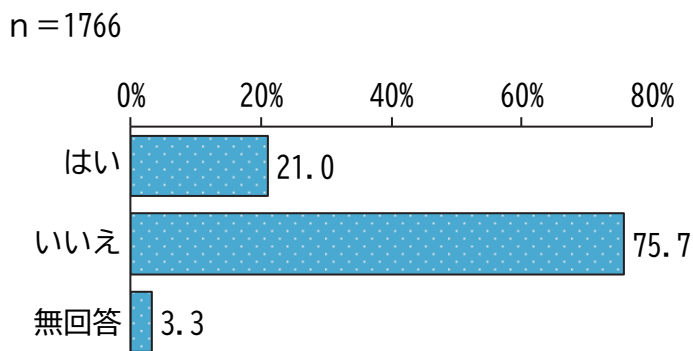
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになることがあるかについては、「いいえ」が64.3%、「はい」が32.9%となっています。



(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

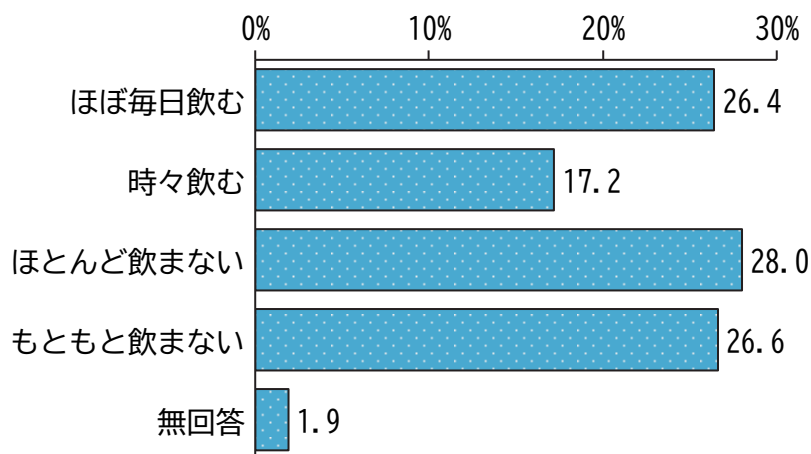
どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあるかについては、「いいえ」が75.7%、「はい」が21.0%となっています。



(5) お酒は飲みますか。

飲酒をするかについては、「ほとんど飲まない」が28.0%と最も多く、次いで「もともと飲まない」が26.6%、「ほぼ毎日飲む」が26.4%となっています。

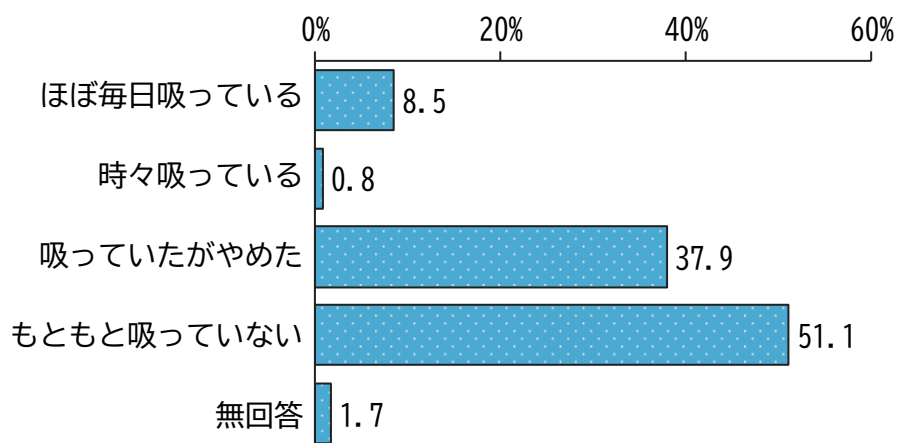
n = 1766



(6) タバコは吸っていますか。

喫煙をするかについては、「もともと吸っていない」が51.1%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が37.9%、「ほぼ毎日吸っている」が8.5%となっています。

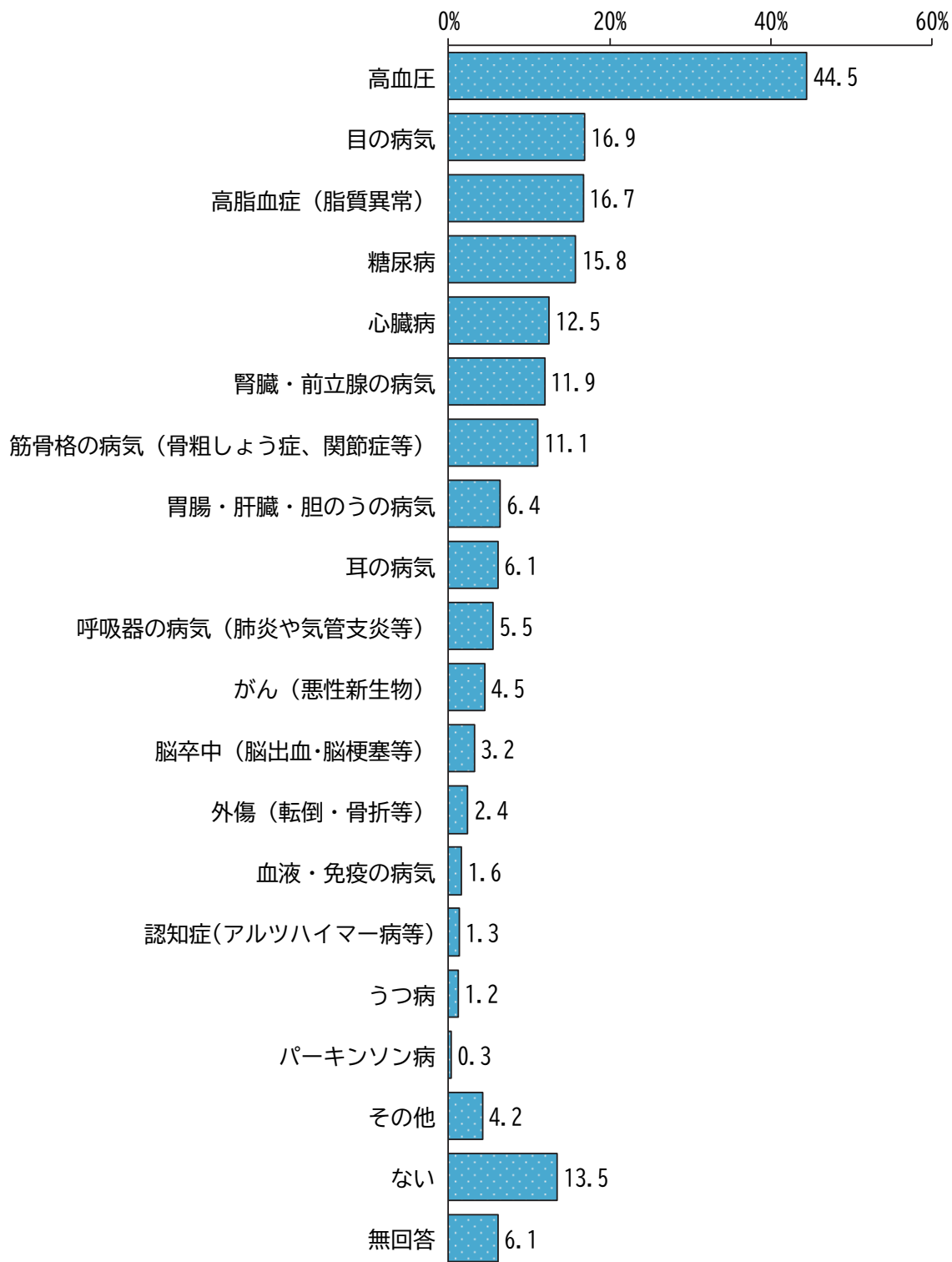
n = 1766



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

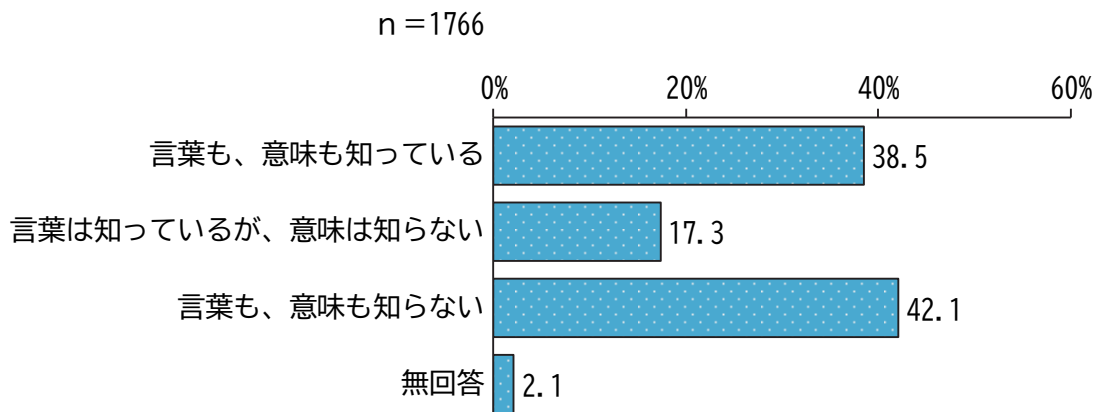
治療中や後遺症のある病気については、「高血圧」が44.5%と最も多く、次いで「目の病気」が16.9%、「高脂血症（脂質異常）」が16.7%となっています。

n = 1766



(8) フレイルについて、知っていますか。

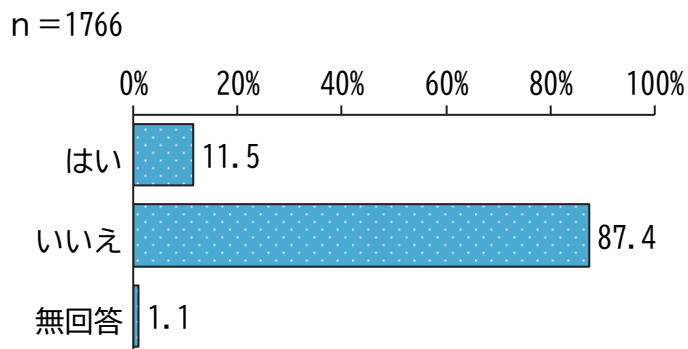
フレイルの認知度については、「言葉も、意味も知らない」が42.1%と最も多く、次いで「言葉も、意味も知っている」が38.5%、「言葉は知っているが、意味は知らない」が17.3%となっています。



問9 認知症について

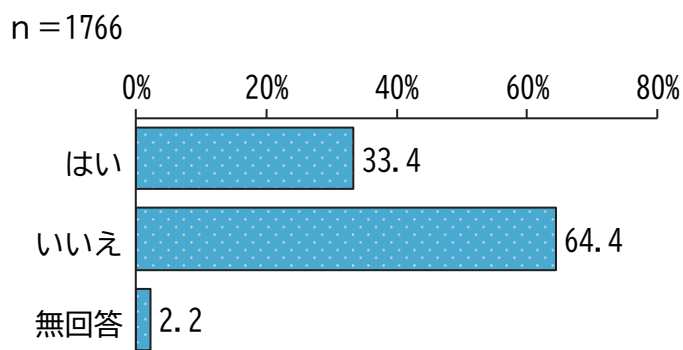
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

自分もしくは家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「いいえ」が87.4%、「はい」が11.5%となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

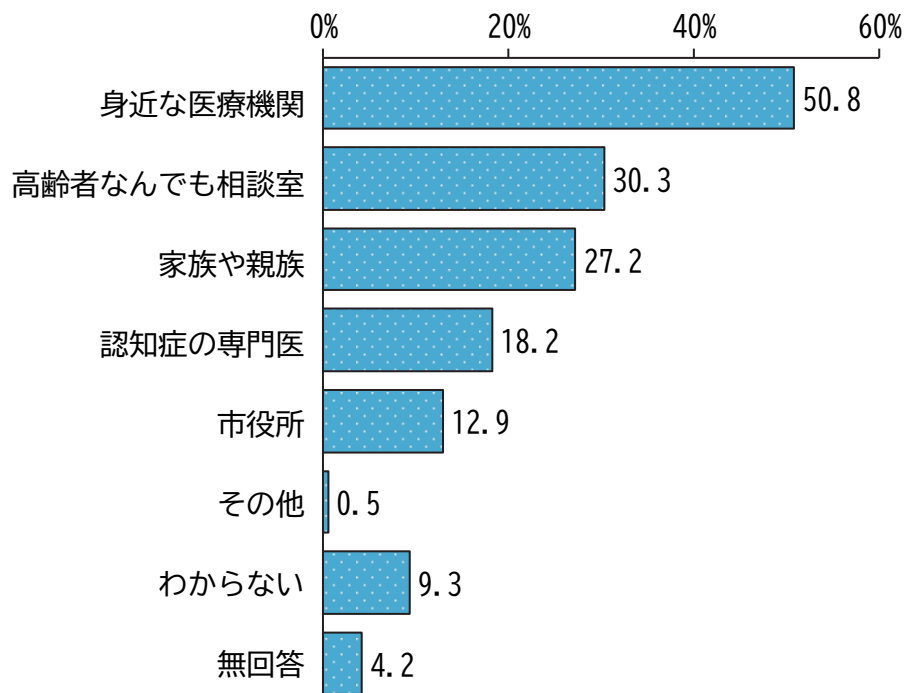
認知症に関する相談窓口の認知度については、「いいえ」が64.4%、「はい」が33.4%となっています。



(3) あなたやご家族が認知症かもしれないと心配になったら、どこに相談しますか。または相談しましたか。(2つまで選択可)

認知症について相談する場所については、「身近な医療機関」が50.8%と最も多く、次いで「高齢者なんでも相談室」が30.3%、「家族や親族」が27.2%となっています。

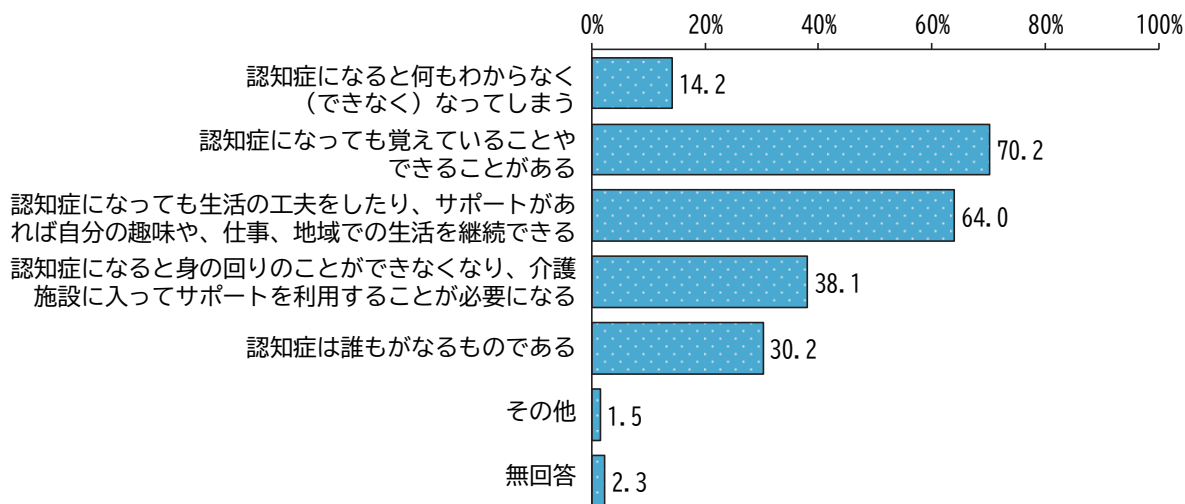
n = 1766



(4) あなたが思う認知症のイメージを教えてください。(3つまで選択可)

認知症のイメージについては、「認知症になっても覚えていることやできることがある」が70.2%と最も多く、次いで「認知症になっても生活の工夫をしたり、サポートがあれば自分の趣味や、仕事、地域での生活を継続できる」が64.0%、「認知症になると身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が38.1%となっています。

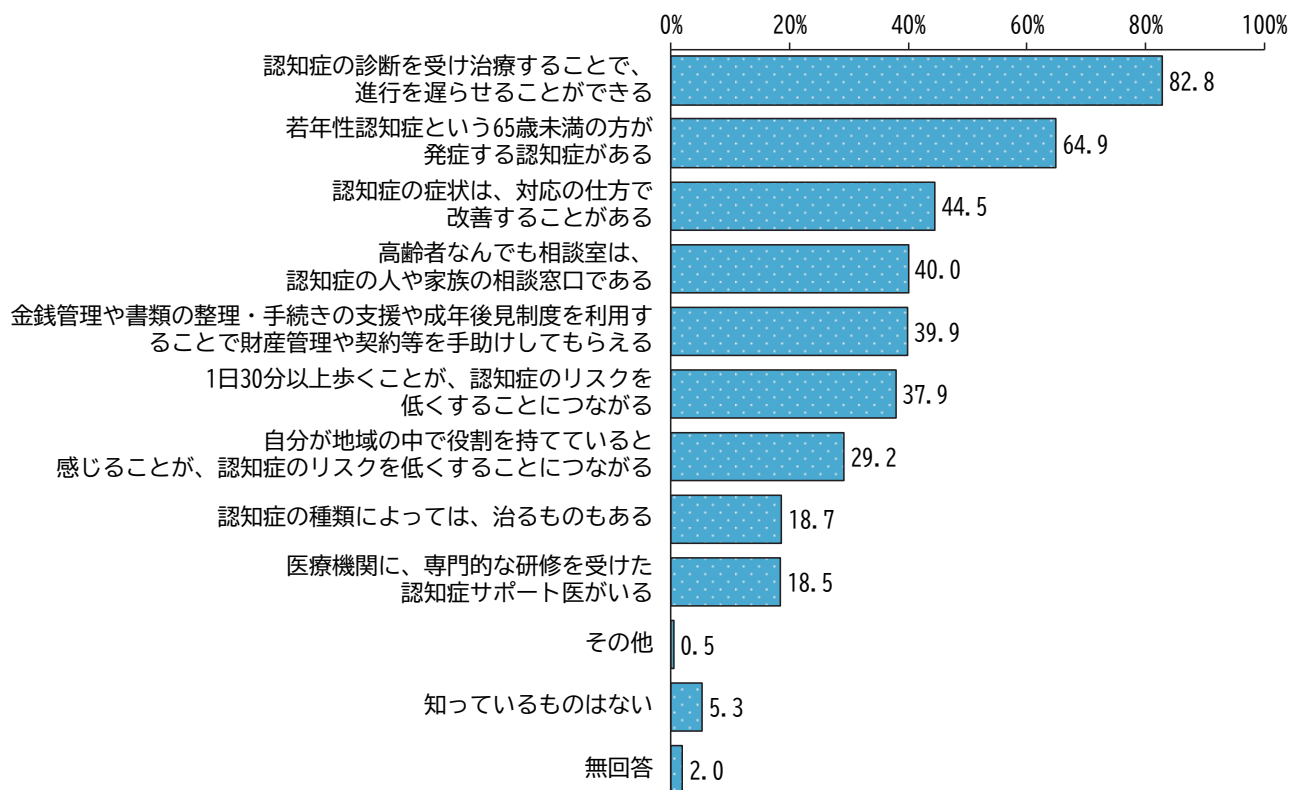
n = 1766



(5) 認知症のケアや支援制度について知っているものをあげてください。(いくつでも)

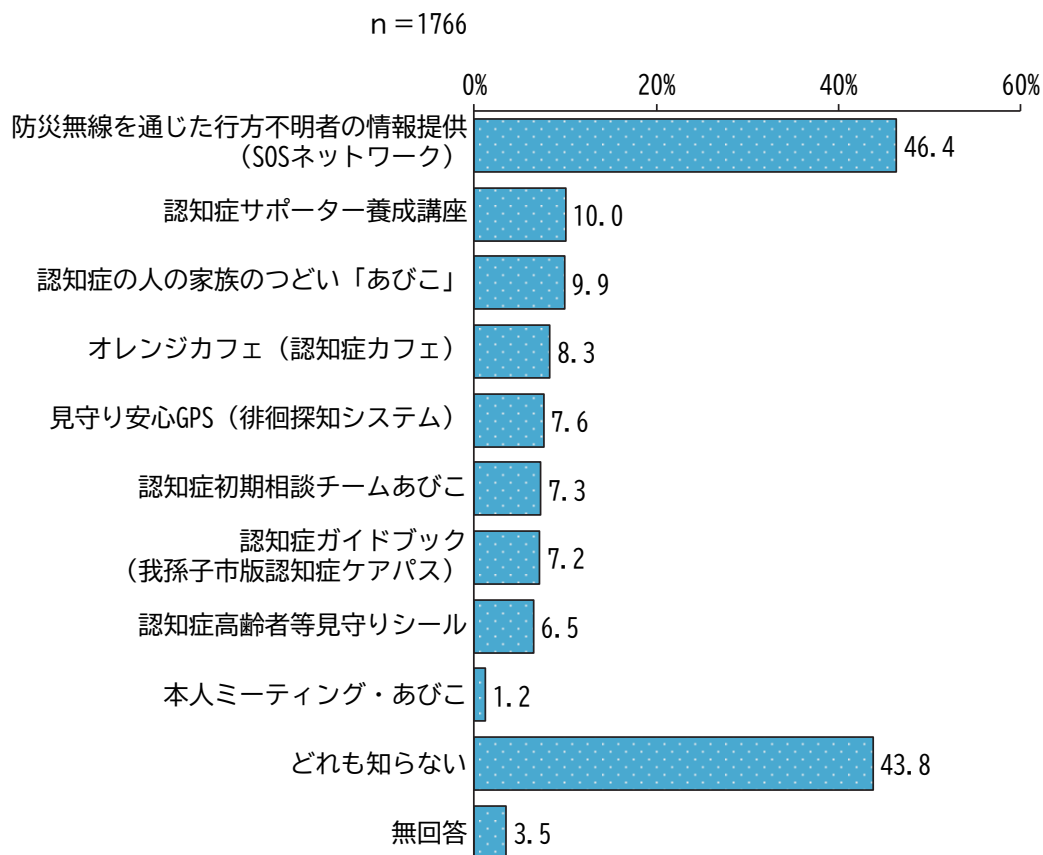
認知症のケアや支援制度については、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が82.8%と最も多く、次いで「若年性認知症という65歳未満の方が発症する認知症がある」が64.9%、「認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある」が44.5%となっています。

n = 1766



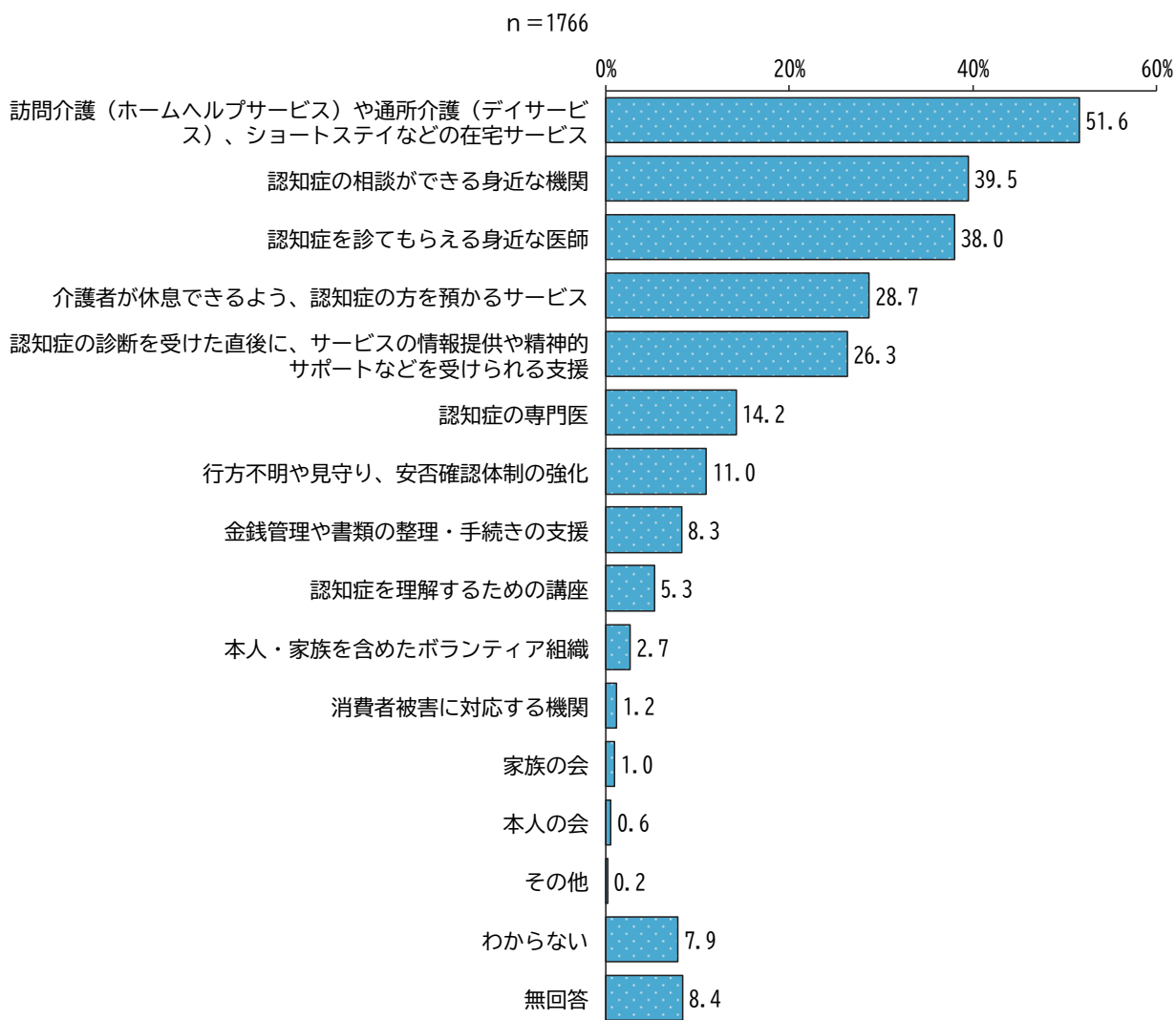
(6) 市が実施している認知症関係の事業を知っていますか。(いくつでも)

市が実施している認知症関係事業の認知度については、「防災無線を通じた行方不明者の情報提供(SOSネットワーク)」が46.4%と最も多く、次いで「どれも知らない」が43.8%、「認知症サポーター養成講座」が10.0%となっています。



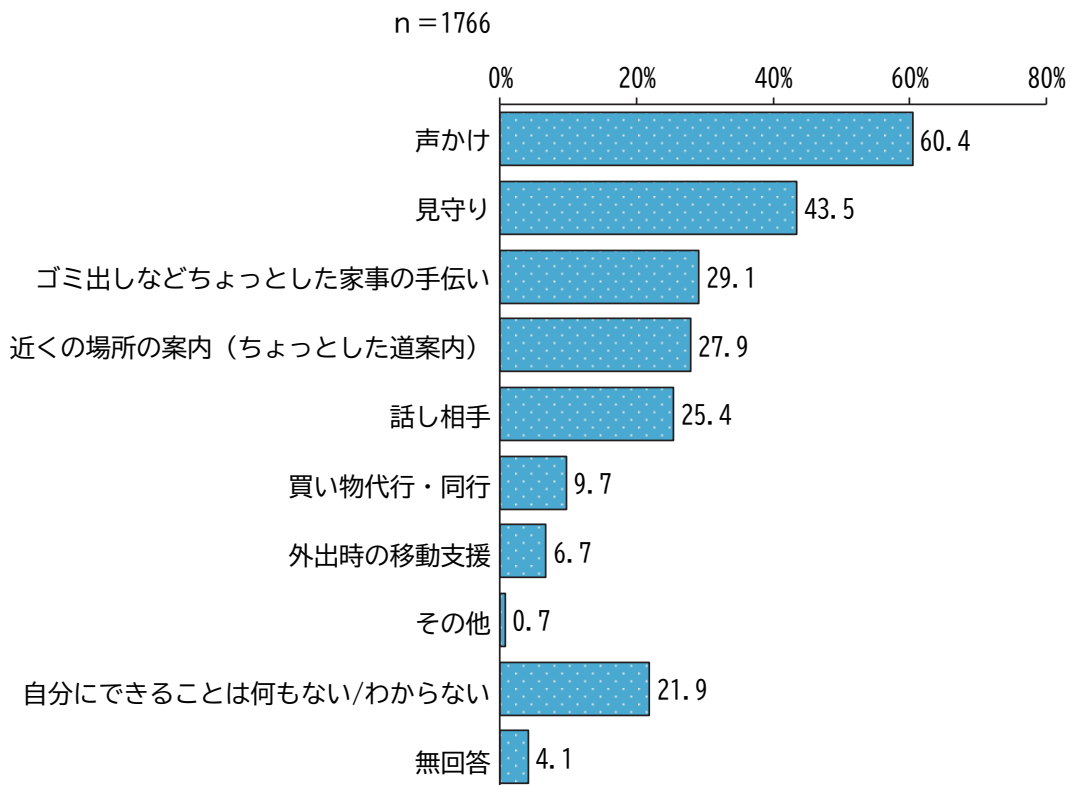
(7) 認知症の方が、自宅で生活し続けるために必要なものは何だと思いますか。(3つまで選択可)

認知症の方が自宅で生活するために必要なものについては、「訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）、ショートステイなどの在宅サービス」が 51.6%と最も多く、次いで「認知症の相談ができる身近な機関」が 39.5%、「認知症を診てもらえる身近な医師」が 38.0%となっています。



(8) あなたが地域で暮らす認知症の人にできる(できそうな)支援についてお答えください。  
(いくつでも)

地域で暮らす認知症の人にできる支援については、「声かけ」が60.4%と最も多く、次いで「見守り」が43.5%、「ゴミ出しなどちょっとした家事の手伝い」が29.1%となっています。

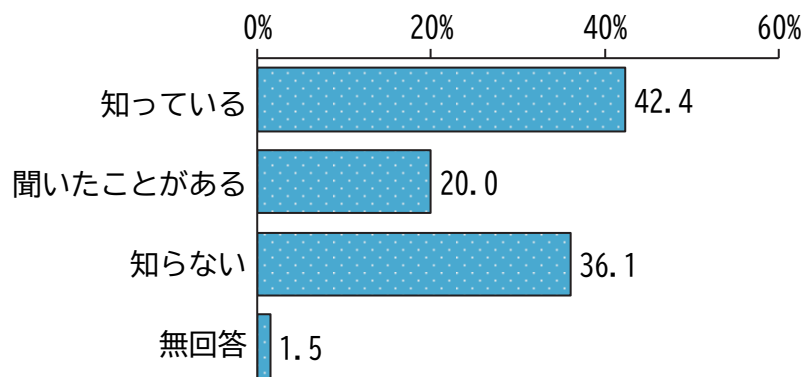


問10 高齢者なんでも相談室について

(1) 高齢者なんでも相談室を知っていますか。

高齢者なんでも相談室の認知度については、「知っている」が42.4%と最も多く、次いで「知らない」が36.1%、「聞いたことがある」が20.0%となっています。

n = 1766

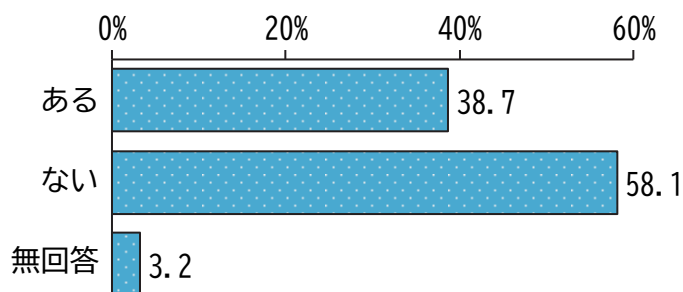


(2) (1)において「1. 知っている」の方のみ

高齢者なんでも相談室になにか相談をしたことがありますか。

高齢者なんでも相談室に相談したことがあるかについては、「ない」が58.1%、「ある」が38.7%となっています。

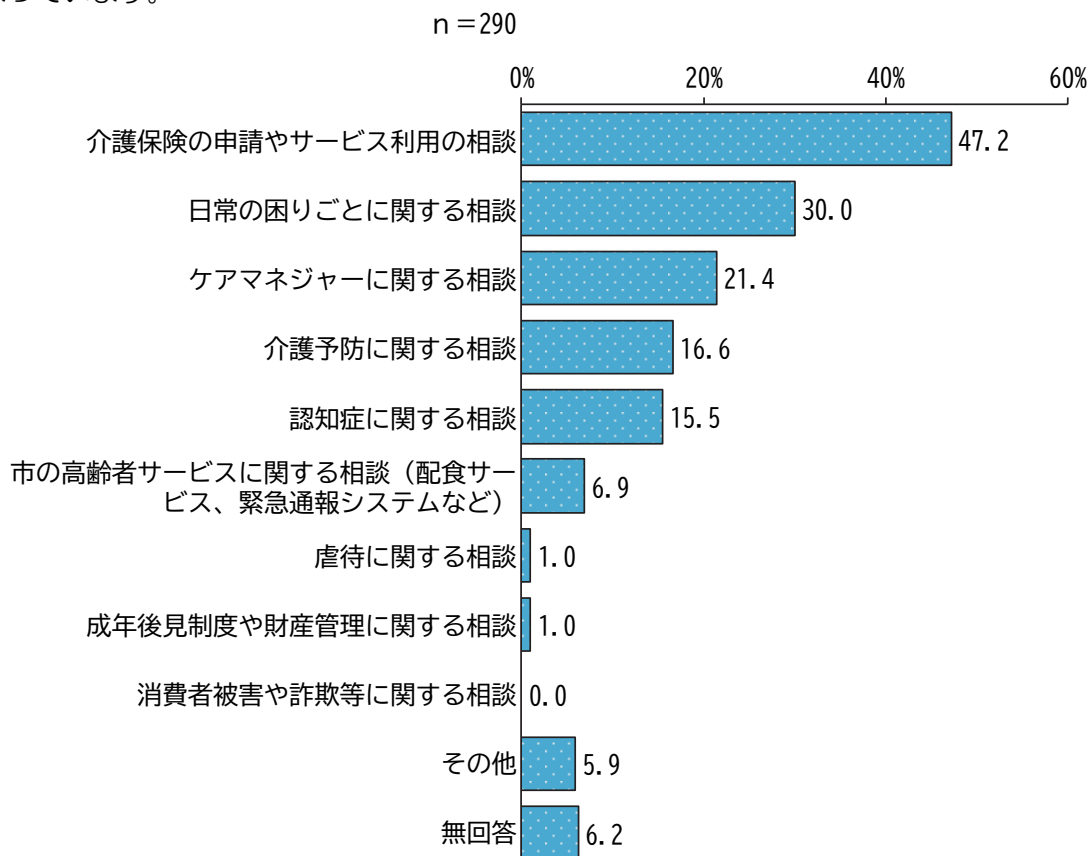
n = 749



(3) (2)において「1. ある」の方のみ

高齢者なんでも相談室にどんな相談をしましたか。(いくつでも)

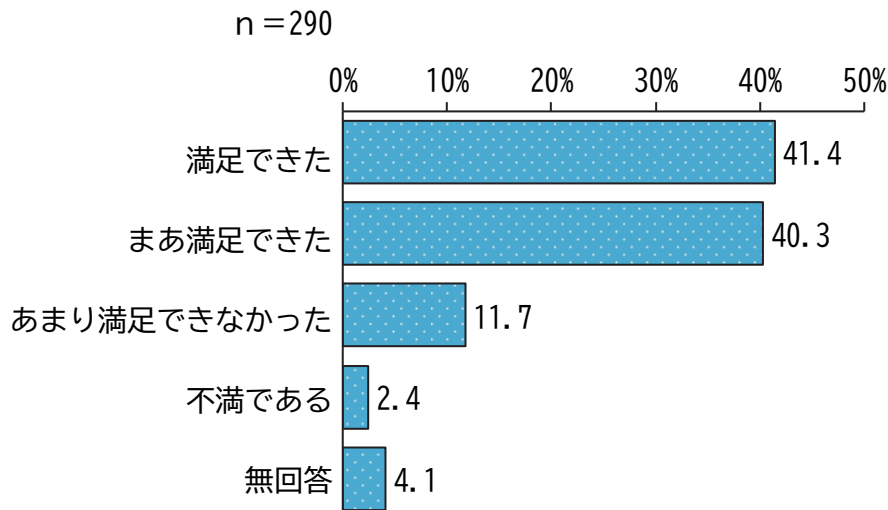
高齢者なんでも相談室に相談した内容については、「介護保険の申請やサービス利用の相談」が47.2%と最も多く、次いで「日常の困りごとに関する相談」が30.0%、「ケアマネジャーに関する相談」が21.4%となっています。



(4) (2)において「1. ある」の方のみ

高齢者なんでも相談室に相談した結果はいかがでしたか。

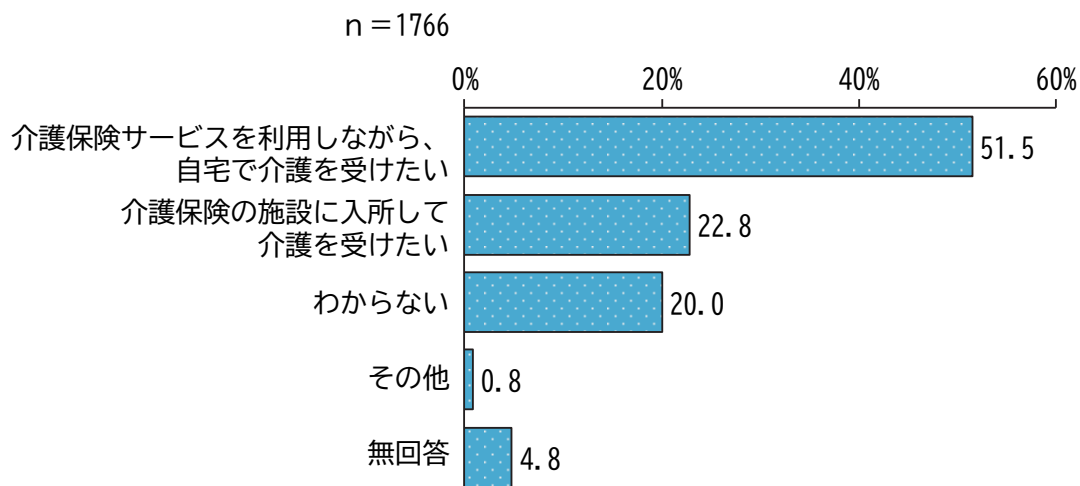
高齢者なんでも相談室に相談した結果については、「満足できた」が41.4%と最も多く、次いで「まあ満足できた」が40.3%、「あまり満足できなかった」が11.7%となっています。



問11 介護について

(1) 介護が必要となったら、どのような介護を受けたいとお考えですか。また、現在介護を受けている方は、今後どのような介護を受けたいとお考えですか。

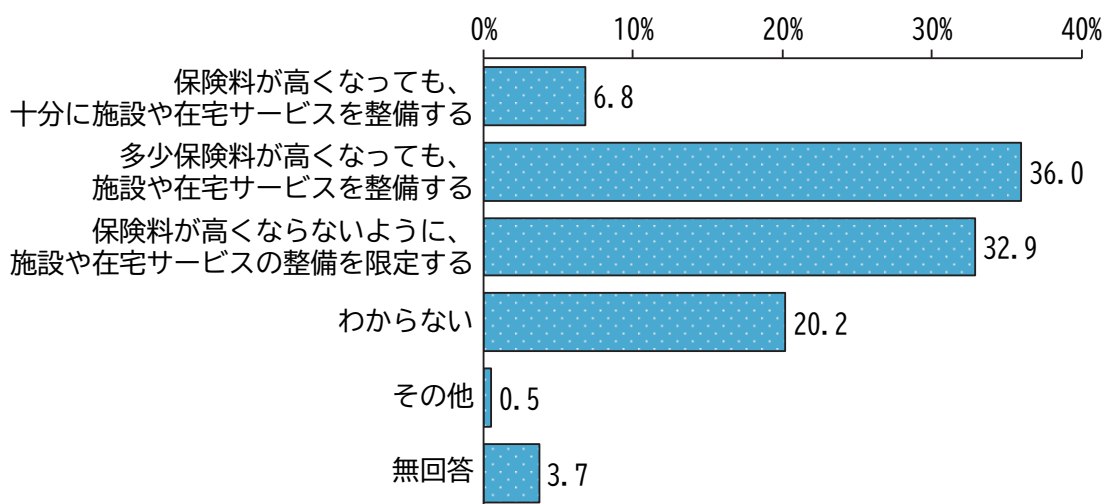
受けたい介護については、「介護保険サービスを利用しながら、自宅で介護を受けたい」が51.5%、「介護保険の施設に入所して介護を受けたい」が22.8%となっています。



(2) 介護保険制度では、保険料と介護保険サービスの利用については関連がありますが、あなたの考えに最も近いのはどれですか。

介護保険制度の考え方については、「保険料が高くなっても、十分に施設や在宅サービスを整備する」の6.8%と、「多少保険料が高くなっても、施設や在宅サービスを整備する」の36.0%を合わせた「保険料が高くなっても、整備する」が42.8%となっています。

n = 1766

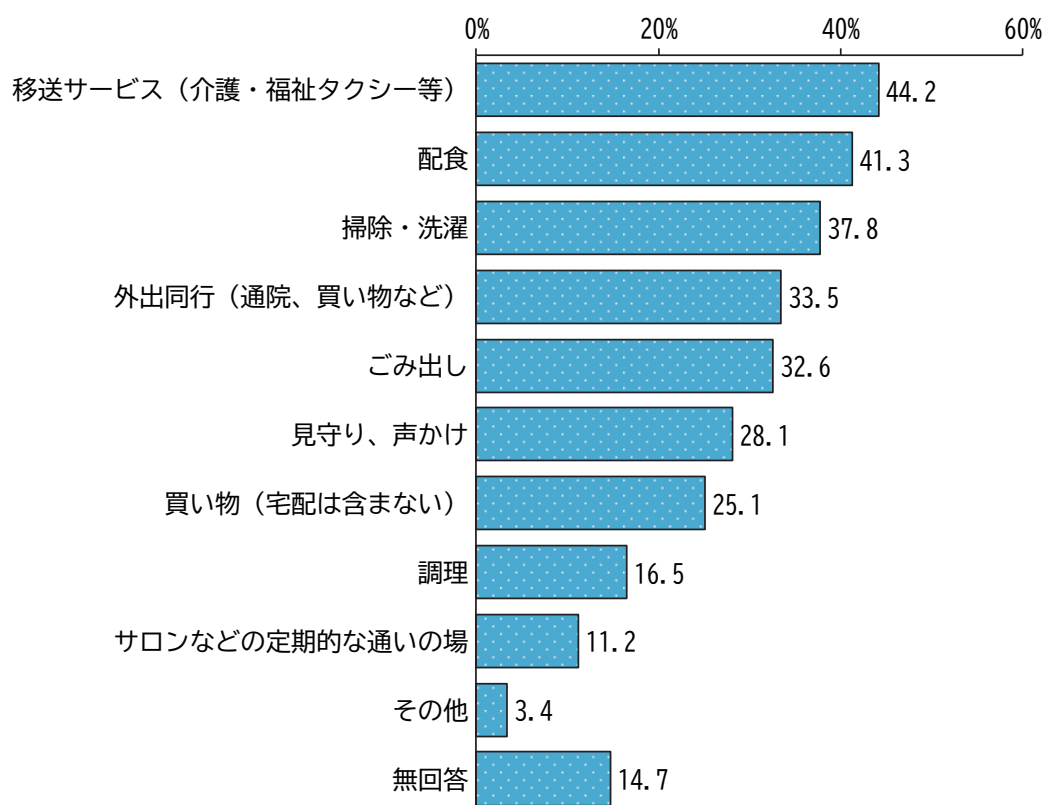


問12 在宅サービスについて

(1) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（いくつでも）

在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が44.2%と最も多く、次いで「配食」が41.3%、「掃除・洗濯」が37.8%となっています。

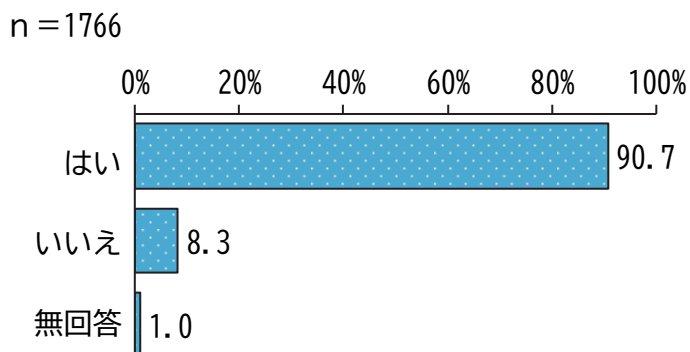
n = 1766



問13 食べることやからだを動かすことについて

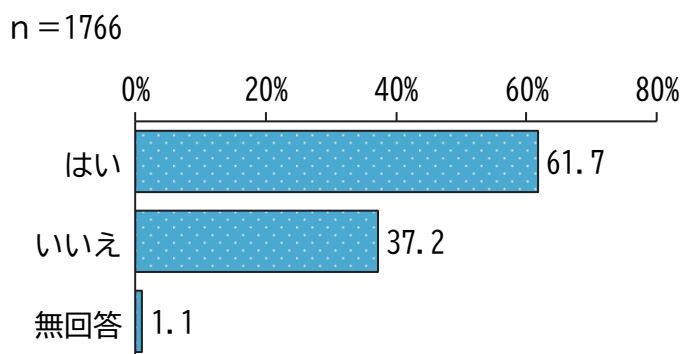
(1) 1日3食きちんと食べていますか。

食事は1日3食とるかについては、「はい」が90.7%、「いいえ」が8.3%となっています。



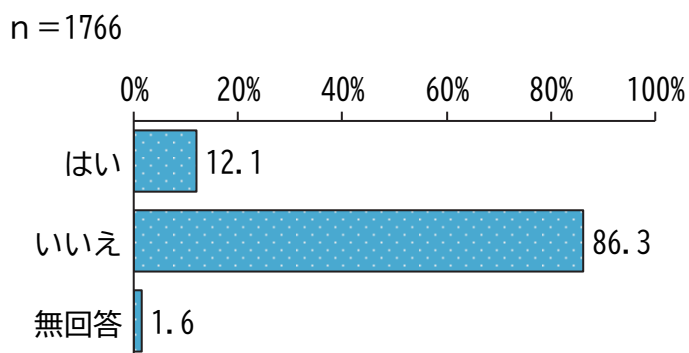
(2) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。

歩行速度が遅くなったかについては、「はい」が61.7%、「いいえ」が37.2%となっています。



(3) 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか。

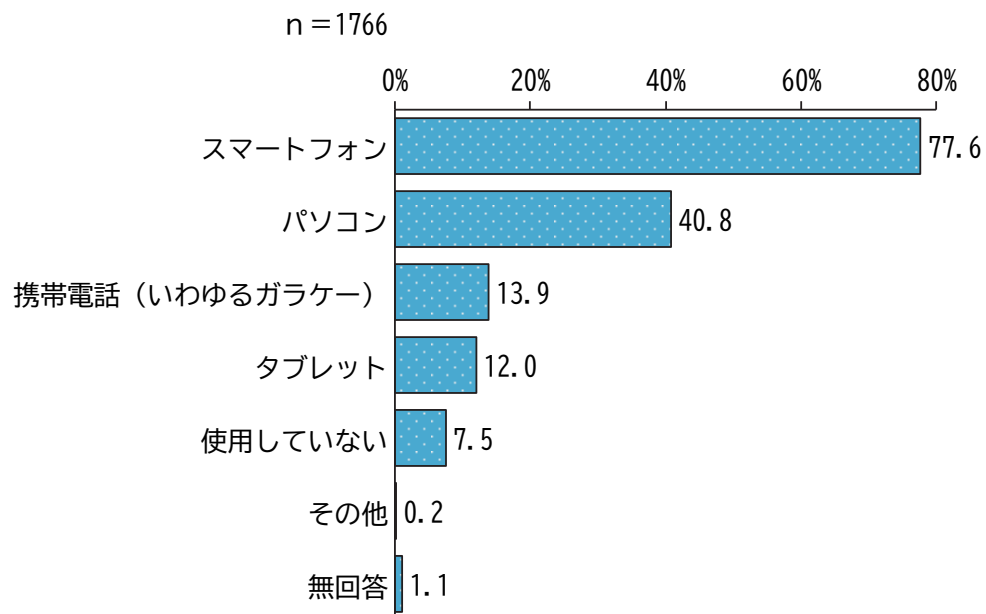
物忘れがあるとされるかについては、「いいえ」が86.3%、「はい」が12.1%となっています。



## 問14 情報通信機器の使用について

(1) 固定電話以外に情報通信機器を使用していますか。(いくつでも)

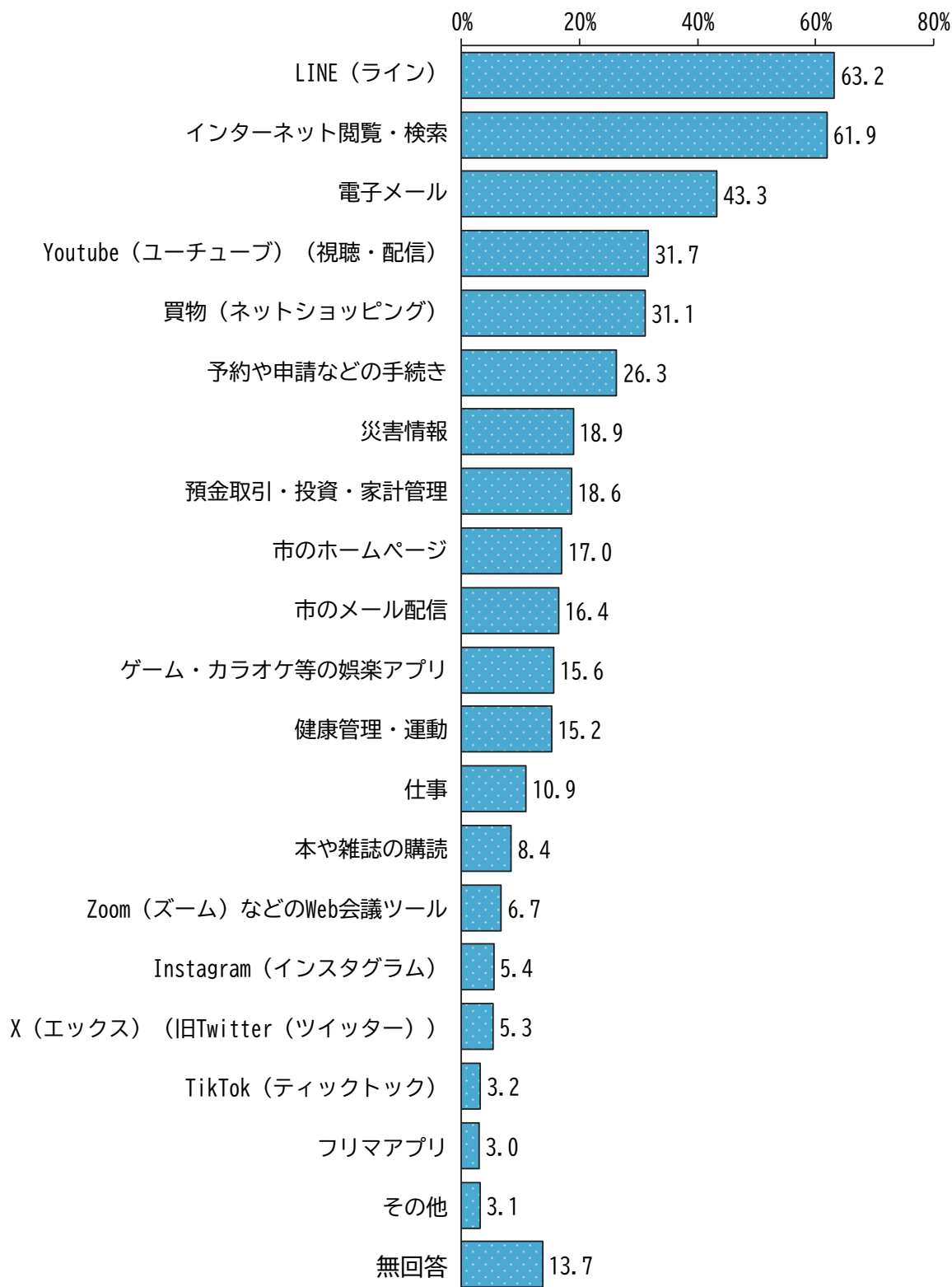
固定電話以外の情報通信機器の使用については、「スマートフォン」が77.6%と最も多く、次いで「パソコン」が40.8%、「携帯電話（いわゆるガラケー）」が13.9%となっています。



(2) 情報通信機器を使用してどんなことをしていますか。(いくつでも)

情報通信機器を使用して行うことについては、「LINE (ライン)」が63.2%と最も多く、次いで「インターネット閲覧・検索」が61.9%、「電子メール」が43.3%となっています。

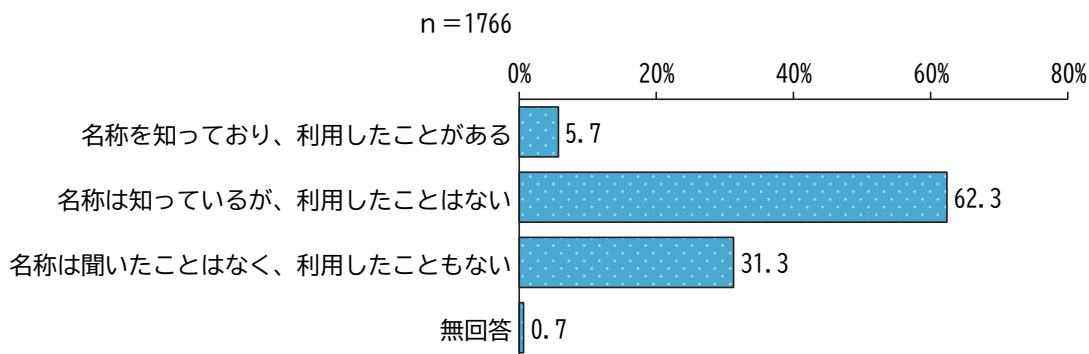
n = 1766



問15 高齢者福祉センターつつじ荘について

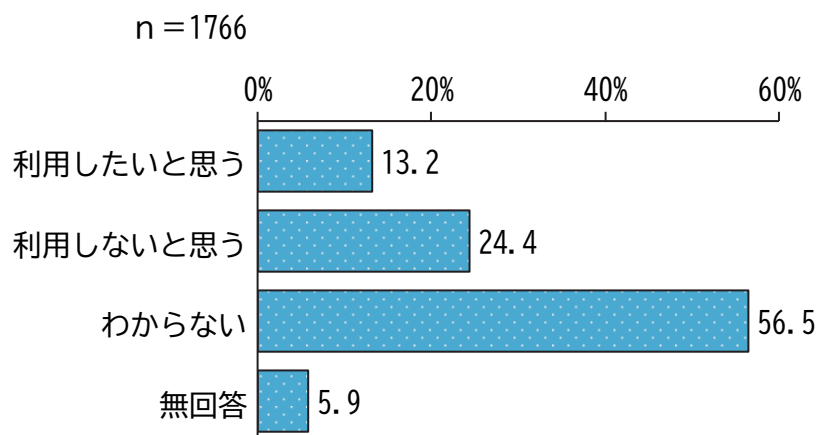
(1) 高齢者福祉センターつつじ荘を知っていますか、また利用したことはありますか。

高齢者福祉センターつつじ荘の認知度については、「名称は知っているが、利用したことはない」が62.3%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはなく、利用したこともない」が31.3%、「名称を知っており、利用したことがある」が5.7%となっています。



(2) 今後、高齢者福祉センターつつじ荘を利用したいと思いますか。(○はひとつ)

今後の高齢者福祉センターつつじ荘の利用については、「利用しないと思う」が24.4%、「利用したいと思う」が13.2%となっています。

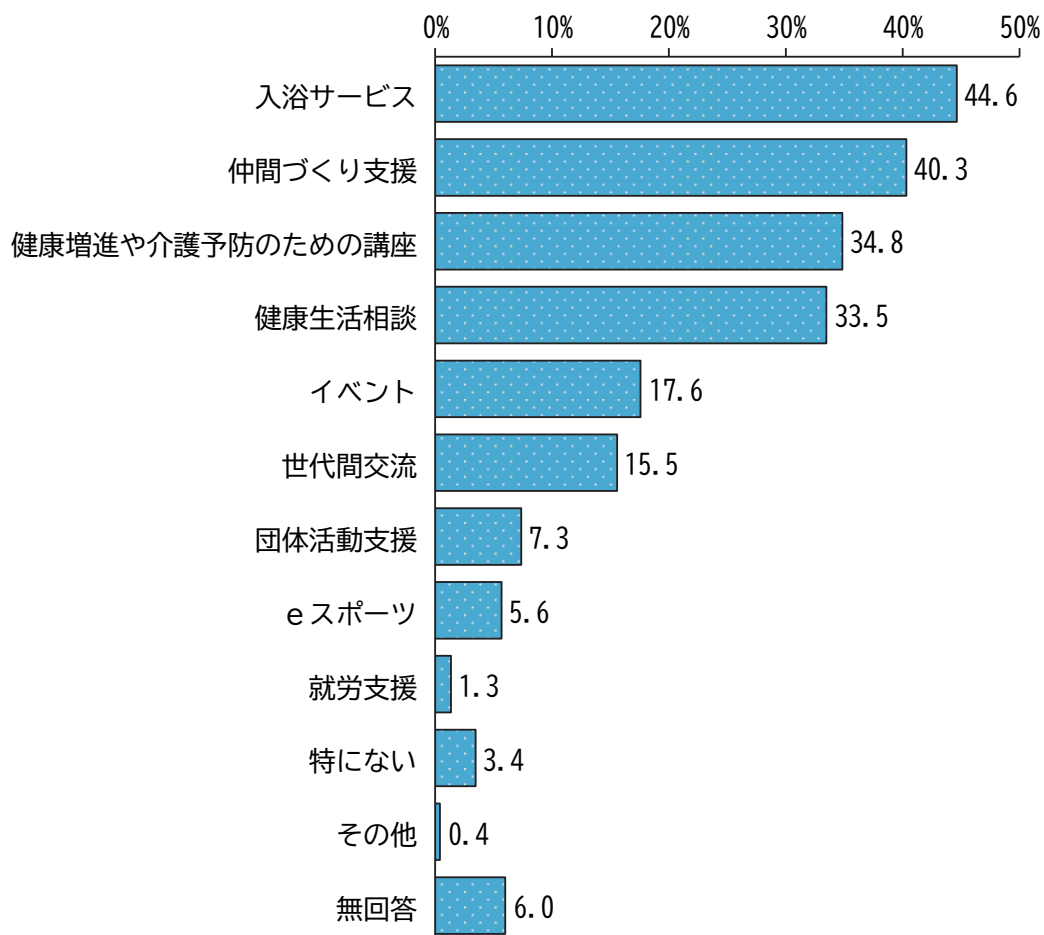


(3) (2)において「1.利用したいと思う」の方のみ

今後、高齢者福祉センターつつじ荘に求めることを教えてください。(3つまで選択可)

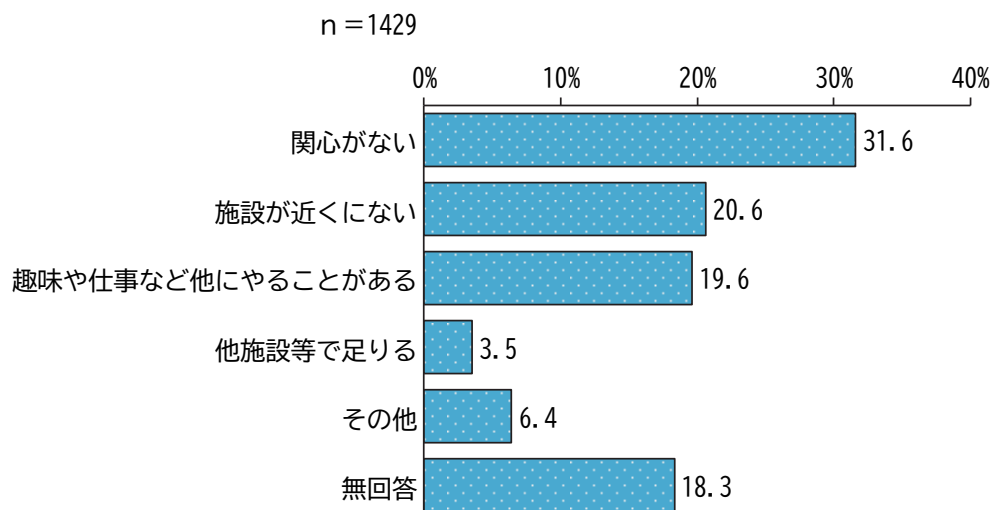
高齢者福祉センターつつじ荘に求めることについては、「入浴サービス」が44.6%と最も多く、次いで「仲間づくり支援」が40.3%、「健康増進や介護予防のための講座」が34.8%となっています。

n=233



(4) (2)において「2.利用しないと思う」及び「3.わからない」の方のみ  
どのような理由からですか。

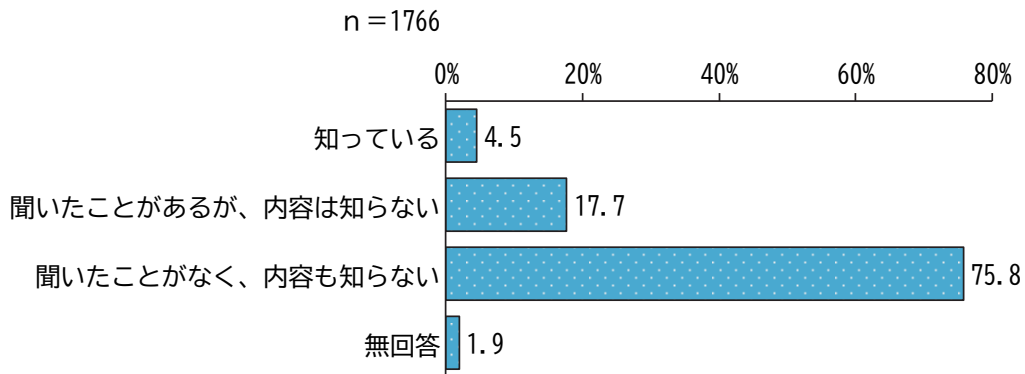
利用しない理由については、「関心がない」が31.6%と最も多く、次いで「施設が近くにない」が20.6%、「趣味や仕事など他にやることがある」が19.6%となっています。



問16 在宅医療について

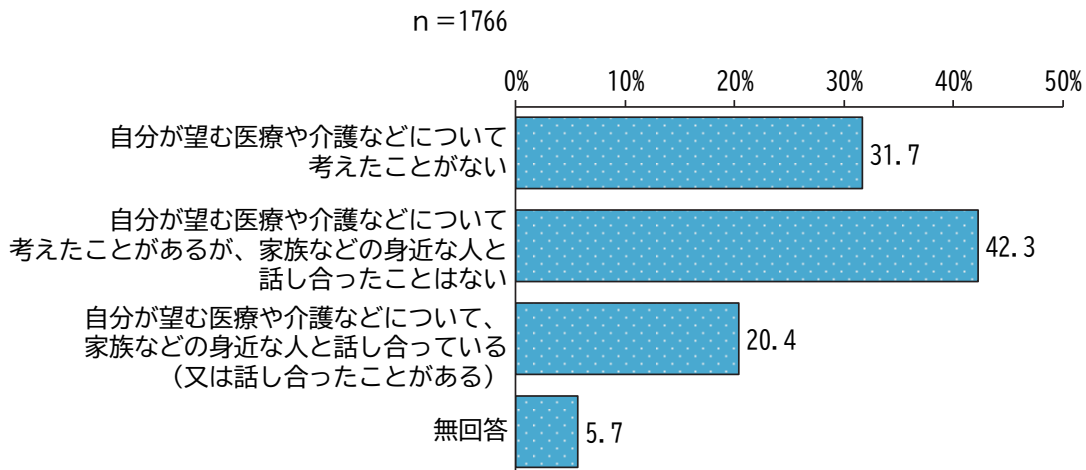
(1) あなたは人生会議（ACP:アドバンス・ケア・プランニング）を聞いた事がありますか。また内容について知っていますか。

人生会議（ACP:アドバンス・ケア・プランニング）の認知度については、「聞いたことがなく、内容も知らない」が75.8%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが、内容は知らない」が17.7%、「知っている」が4.5%となっています。



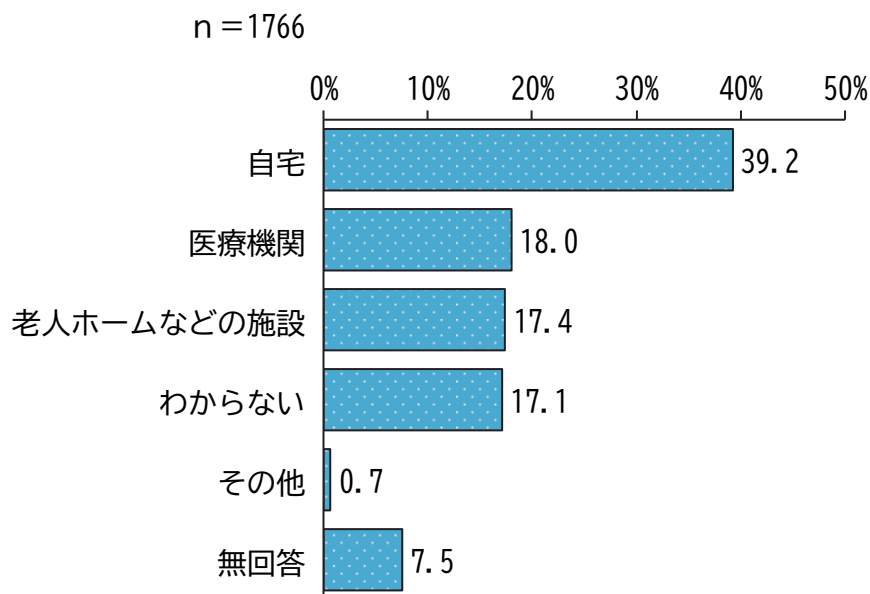
(2) 人生会議（ACP）について、現在のご自身の状況に近い内容を選択してください。

現在のご自身の状況に近い内容については、「自分が望む医療や介護などについて考えたことがあるが、家族などの身近な人と話し合ったことはない」が42.3%と最も多く、次いで「自分が望む医療や介護などについて考えたことがない」が31.7%、「自分が望む医療や介護などについて、家族などの身近な人と話し合っている（又は話し合ったことがある）」が20.4%となっています。



(3) あなたが病気やその時の状態により常に医療や介護が必要になった時、どこで生活したいと希望しますか。

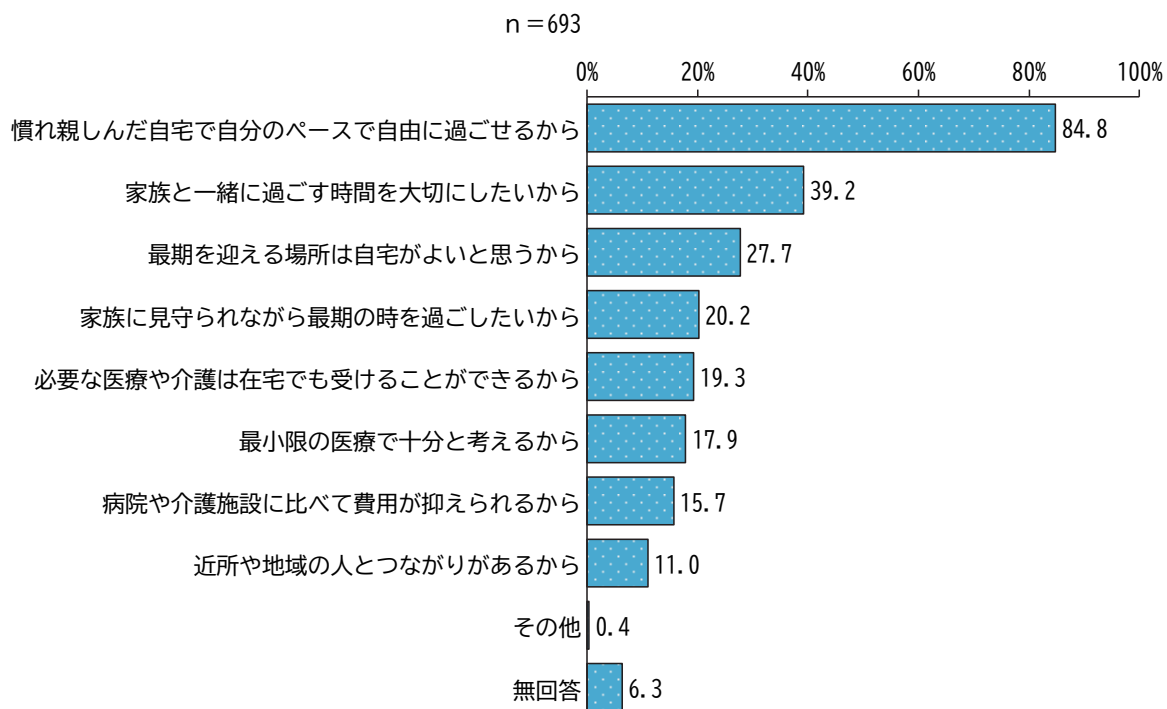
医療や介護が必要になった時に生活したい場所については、「自宅」が39.2%と最も多く、次いで「医療機関」が18.0%、「老人ホームなどの施設」が17.4%となっています。



(4) (3)において「1. 自宅」の方のみ

自宅で生活したいと思うのはどのような理由からですか。(3つまで選択可)

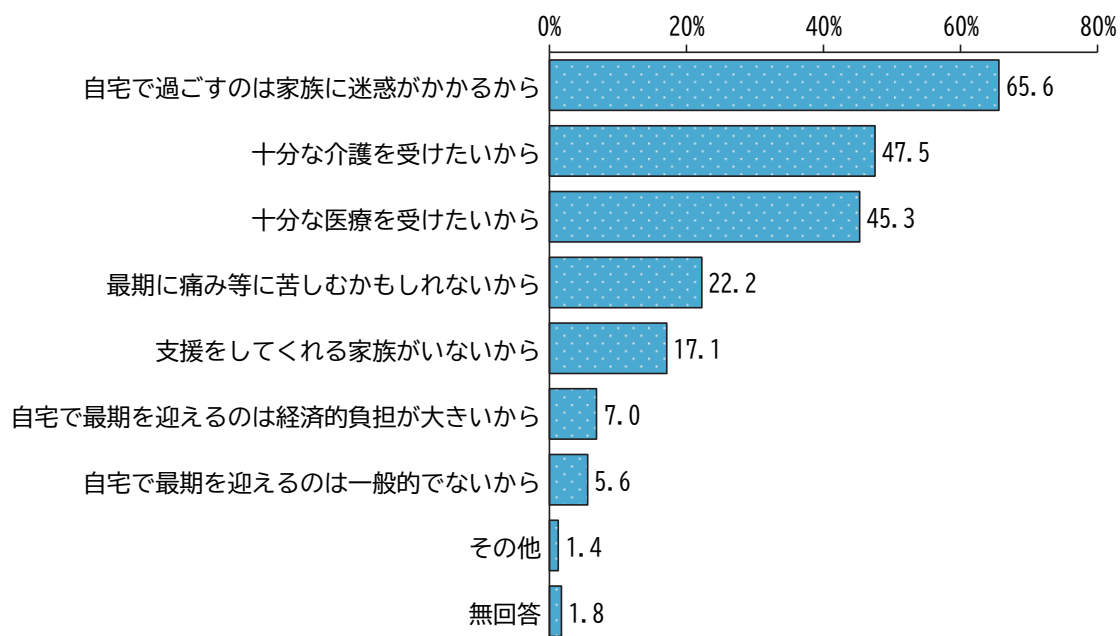
自宅で生活したい理由については、「慣れ親しんだ自宅で自分のペースで自由に過ごせるから」が84.8%と最も多く、次いで「家族と一緒に過ごす時間を大切にしたいから」が39.2%、「最期を迎える場所は自宅がよいと思うから」が27.7%となっています。



(5) (3)において「2. 医療機関」及び「3. 老人ホームなどの施設」の方のみ  
 今のお考えに近いものを選んでください(3つまで選択可)

現在の考え方については、「自宅で過ごすのは家族に迷惑がかかるから」が65.6%と最も多く、次いで「十分な介護を受けたいから」が47.5%、「十分な医療を受けたいから」が45.3%となっています。

n = 625

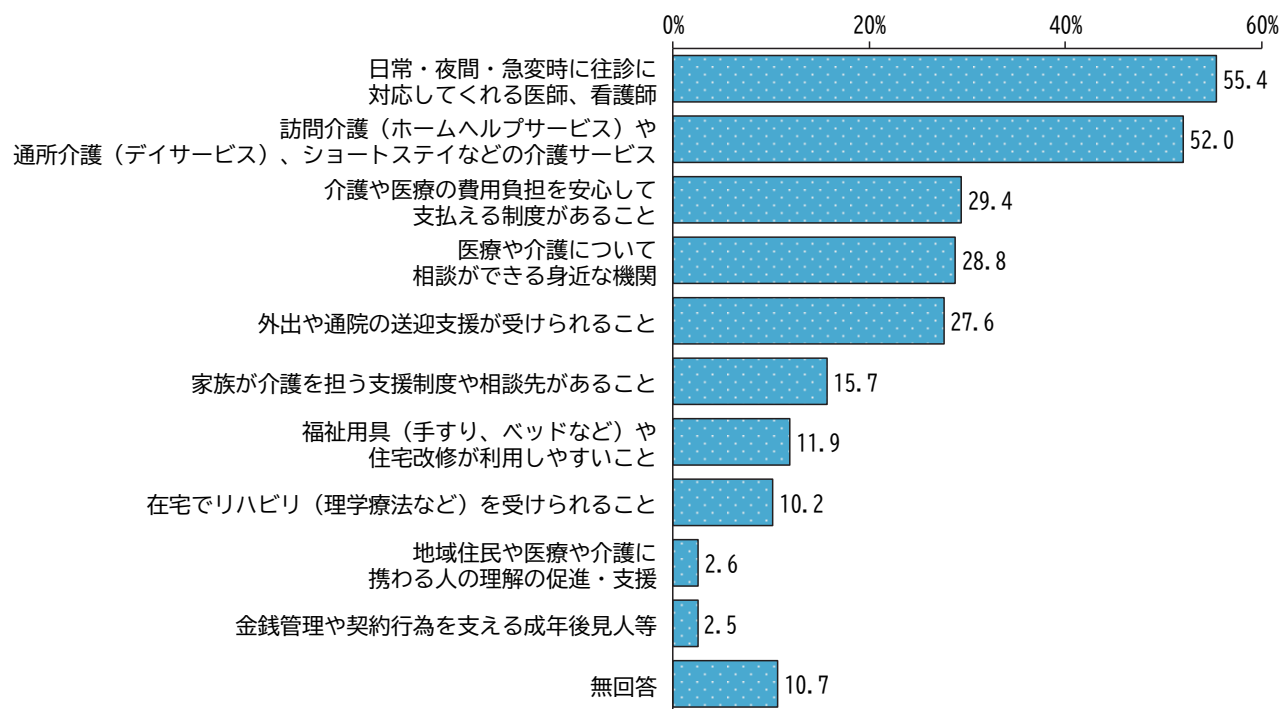


(6) 自宅で医療や介護を受けながら生活し続けるために必要なものは何だと思いますか。

(3つまで選択可)

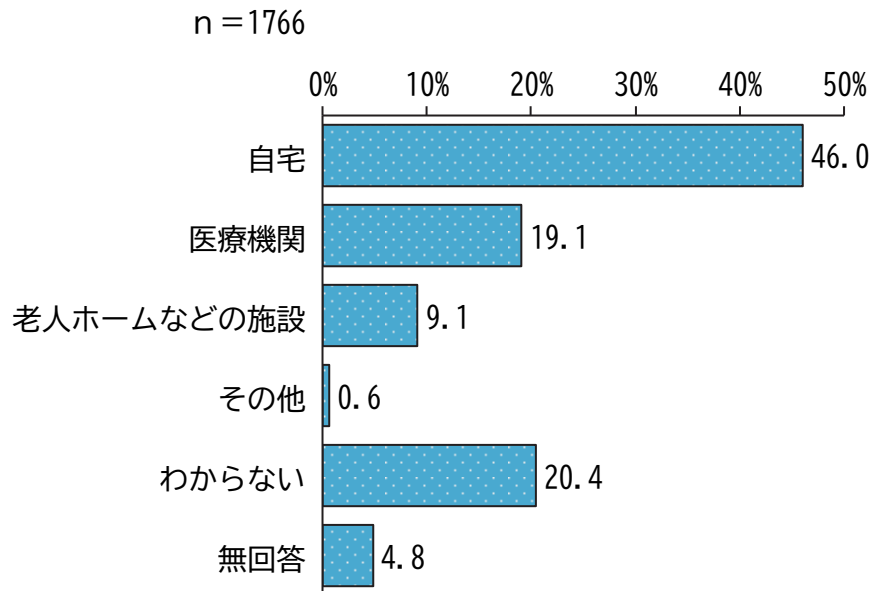
自宅で医療や介護を受けながら生活し続けるために必要なものについては、「日常・夜間・急変時に往診に対応してくれる医師、看護師」が55.4%と最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）、ショートステイなどの介護サービス」が52.0%、「介護や医療の費用負担を安心して支払える制度があること」が29.4%となっています。

n=1766



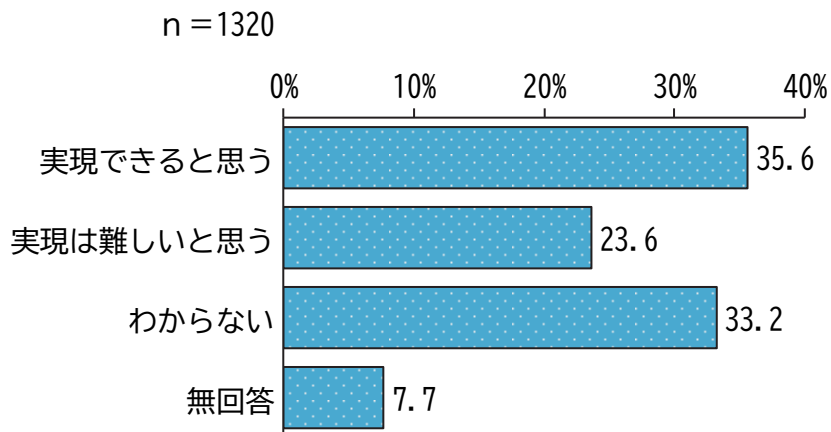
(7) あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと希望しますか。

人生の最期を迎えたい場所については、「自宅」が46.0%と最も多く、次いで「医療機関」が19.1%、「老人ホームなどの施設」が9.1%、となっています。



(8) (7)において「1. 自宅」～「4. その他」の方のみ回答した場所では実現できると思いますか。

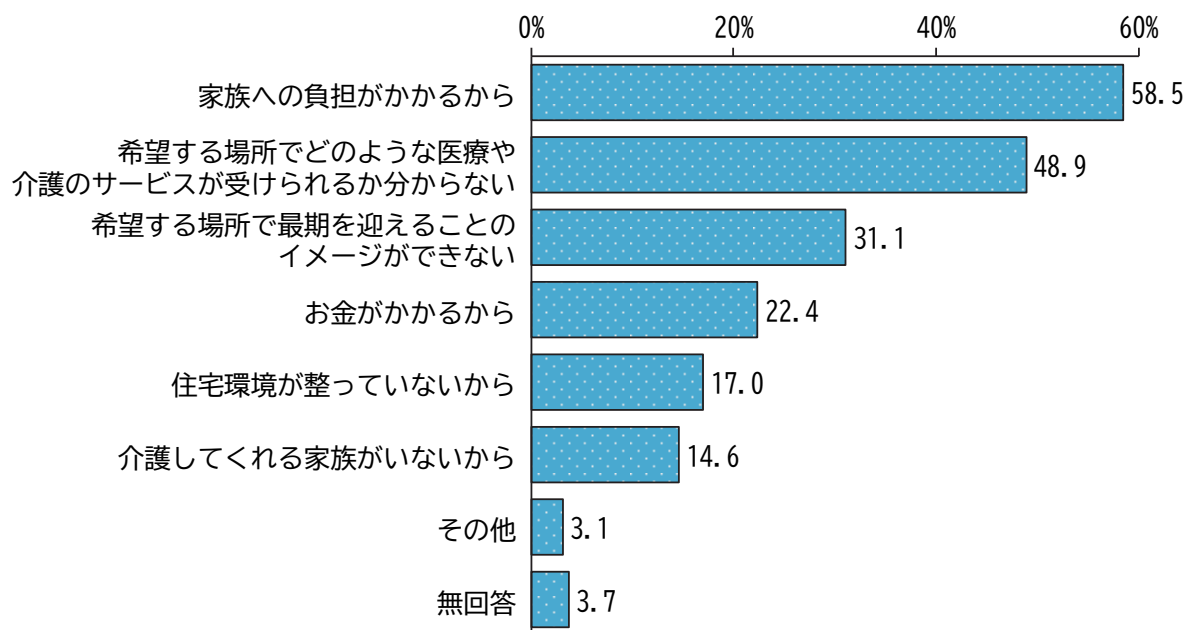
希望する人生の最期を迎えたい場所が実現できるかについては、「実現できると思う」が35.6%、「実現は難しいと思う」が23.6%となっています。



(9) (8)において「2. 実現は難しいと思う」及び「3. わからない」の方のみ  
 どのような理由からですか。(3つまで選択可)

実現が難しいと思う理由については、「家族への負担がかかるから」が58.5%と最も多く、次いで「希望する場所でどのような医療や介護のサービスが受けられるか分からない」が48.9%、「希望する場所で最期を迎えることのイメージができない」が31.1%となっています。

n=749



### 3 リスク判定

#### 1 調査の目的

「日常生活圏域ニーズ調査」は、地域の高齢者の現状を把握することで、地域課題を把握（地域診断）して地域の目標を設定すると同時に、介護予防事業に誘導すべき高齢者のスクリーニングに活用することを目的としています。「見える化」システムを導入した分析を行う「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の補完においても地域診断および個別介入（介護予防事業に適した高齢者の抽出）を行いました。

この調査の個々の設問の回答がどうであったかということより、幾つかの設問から各リスクの状態を判断していきます。判定するリスク項目は、「運動器の機能低下」、「転倒リスク」、「閉じこもり傾向」、「うつ傾向」、「低栄養状態」、「口腔機能の低下」、「認知機能の低下」、「手段的日常生活動作（Instrumental Activities of Daily Living）」の8つの項目について行います。

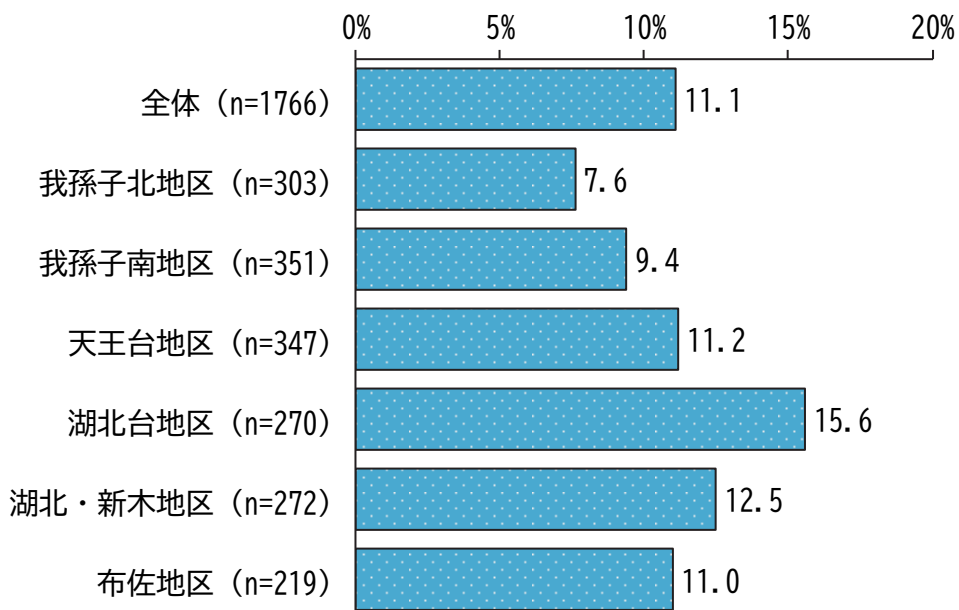
#### （1）運動器の機能低下

リスク該当者：下記の設問で、3問以上該当する選択肢が回答された場合

	設問内容	該当する選択肢
問2（1）	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2（2）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2（3）	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問2（4）	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問2（5）	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

運動器の機能低下について、全体では11.1%となっています。

日常生活圏域別に比較すると、「湖北台地区」が15.6%と最も多く、次いで「湖北・新木地区」が12.5%、「天王台地区」が10.5%となっています。



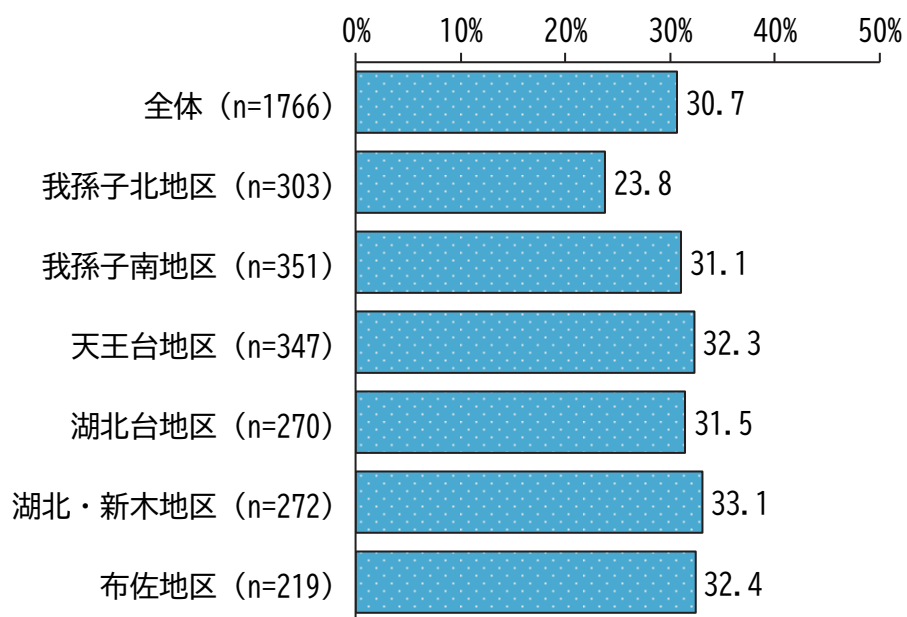
(2) 転倒リスク

リスク該当者：下記の設問で、該当する選択肢が回答された場合

	設問内容	該当する選択肢
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

転倒リスクについて、全体では30.7%となっています。

日常生活圏域別に比較すると、「湖北・新木地区」が33.1%と最も多く、次いで「布佐地区」が32.4%、「天王台南地区」が32.3%となっています。



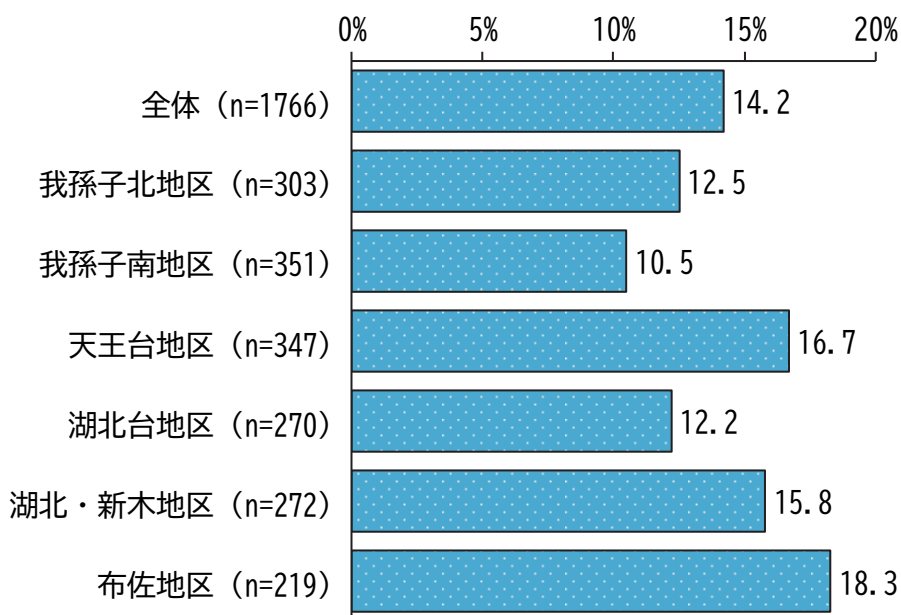
(3) 閉じこもり傾向

リスク該当者：下記の設問で、該当する選択肢が回答された場合

	設問内容	該当する選択肢
問2(6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

閉じこもり傾向について、全体では14.2%となっています。

日常生活圏域別に比較すると、「布佐地区」が18.3%と最も多く、次いで「天王台地区」が16.7%、「湖北・新木地区」が15.8%となっています。



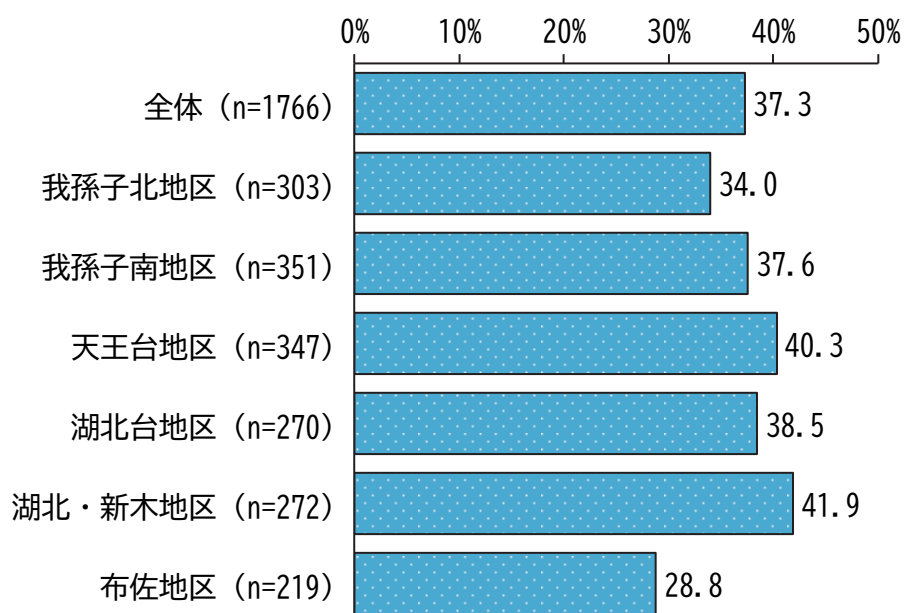
(4) うつ傾向

リスク該当者：下記の設問で、いずれか1つでも該当する選択肢が回答された場合

	設問内容	該当する選択肢
問8(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問8(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

うつ傾向について、全体では37.3%となっています。

日常生活圏域別に比較すると、「湖北・新木地区」が41.9%と最も多く、次いで「天王台地区」が40.3%、「湖北台地区」が38.5%となっています。



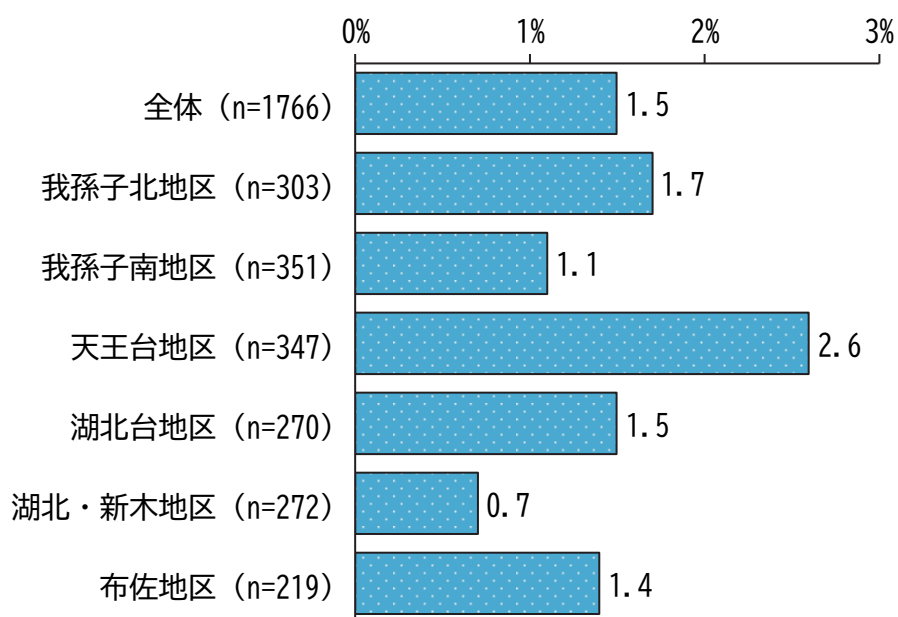
(5) 低栄養状態

リスク該当者：下記の設問で、該当する選択肢が回答された場合

	設問内容	該当する選択肢
問3(1)	身長・体重	BMI < 18.5
問3(6)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

低栄養状態について、全体では1.5%となっています。

日常生活圏域別に比較すると、「天王台地区」が2.6%と最も多く、次いで「我孫子北地区」が1.7%、「湖北台地区」が1.5%となっています。



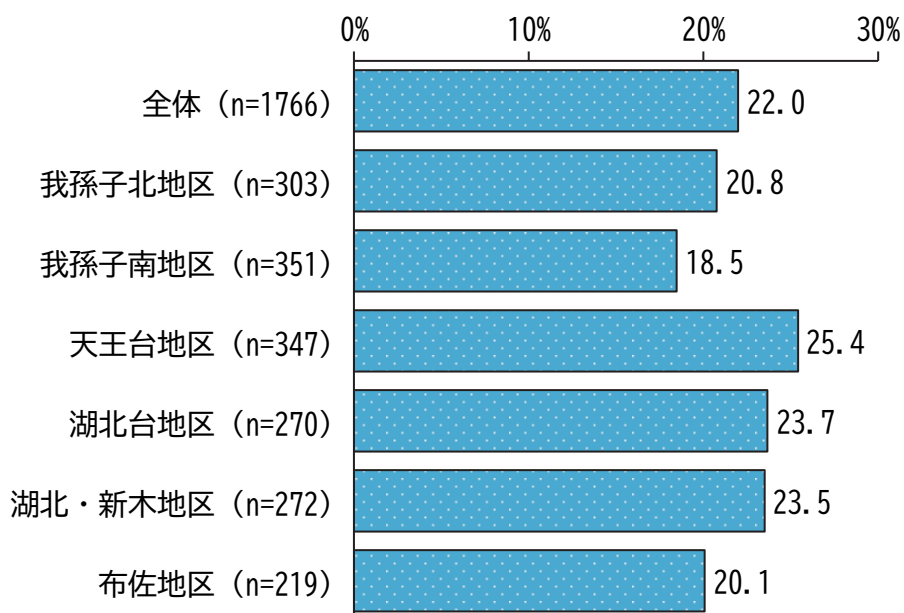
## (6) 口腔機能の低下

リスク該当者：下記の設問で、2問以上該当する選択肢が回答された場合

	設問内容	該当する選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問3(4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい

口腔機能の低下について、全体では22.0%となっています。

日常生活圏域別に比較すると、「天王台地区」が25.4%と最も多く、次いで「湖北台地区」が23.7%、「湖北・新木地区」が23.5%となっています。



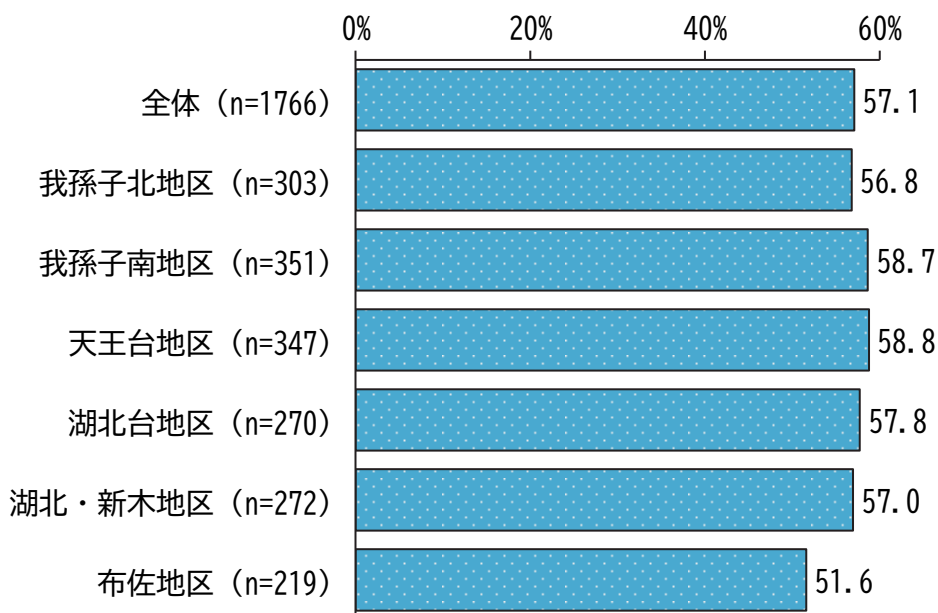
(7) 認知機能の低下

リスク該当者：下記の設問で、該当する選択肢が回答された場合

	設問内容	該当する選択肢
問4(1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい
問4(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	2. いいえ
問4(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい

認知機能の低下について、全体では57.1%となっています。

日常生活圏域別に比較すると、「天王台地区」が58.8%と最も多く、次いで「我孫子南地区」が58.7%、「湖北台地区」が57.8%となっています。



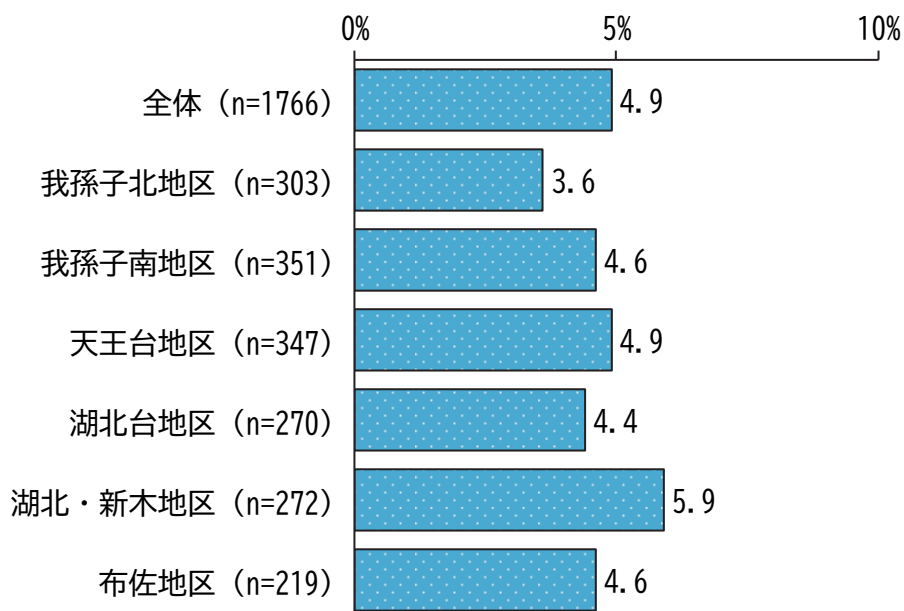
(8) 手段的日常生活動作 (IADL)

リスク該当者：下記の設問で、該当する選択肢を1点として、合計が3点以下の場合

	設問内容	該当する選択肢
問4(4)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している 2. できるけどしていない ↓ 1点
問4(5)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問4(6)	自分で食事の用意をしていますか。	
問4(7)	自分で請求書の支払いをしていますか。	
問4(8)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

手段的日常生活動作 (IADL) について、全体では 4.9% となっています。

日常生活圏域別に比較すると、「湖北・新木地区」が 5.9% と最も多く、次いで「天王台地区」が 4.9%、「我孫子南地区」と「布佐地区」がともに 4.6% となっています。





## 第4章 特別養護老人ホーム入所待機者に 関する調査

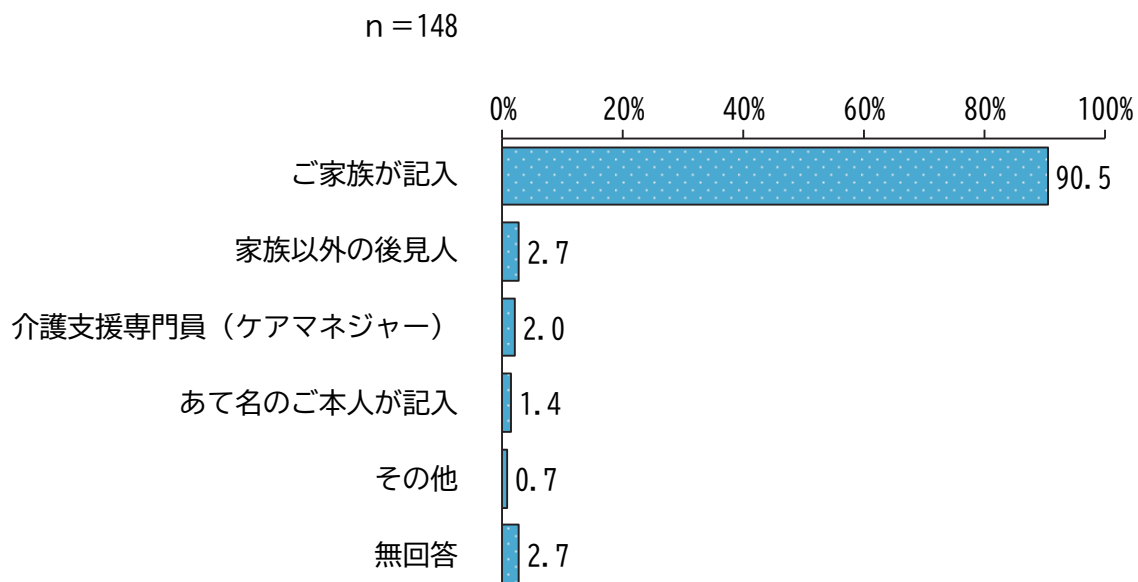
---



## 1 調査票の記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

調査票の記入者については、「ご家族が記入」が90.5%と最も多く、次いで「家族以外の後見人」が2.7%、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が2.0%となっています。

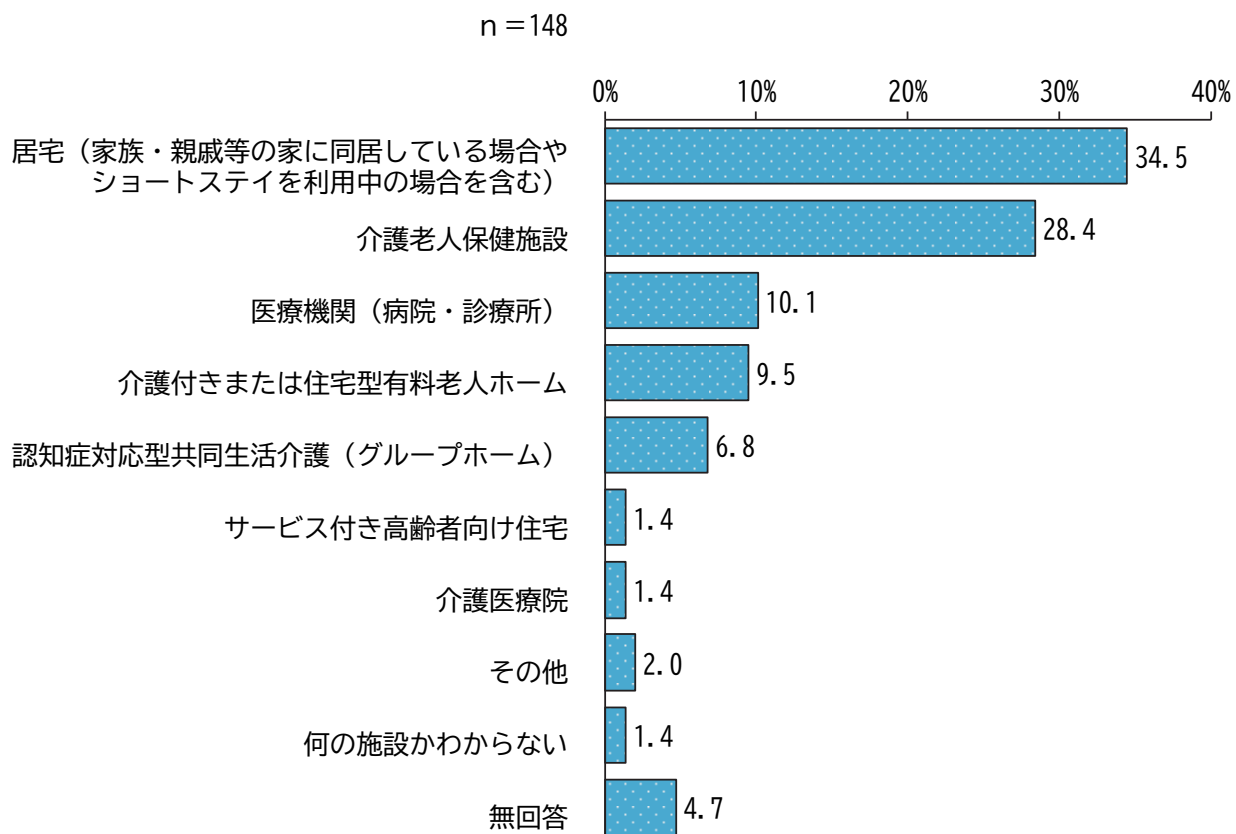


## 2 設問別の回答結果

### 問1 ご本人（入所予定者）やご家族の生活状況について

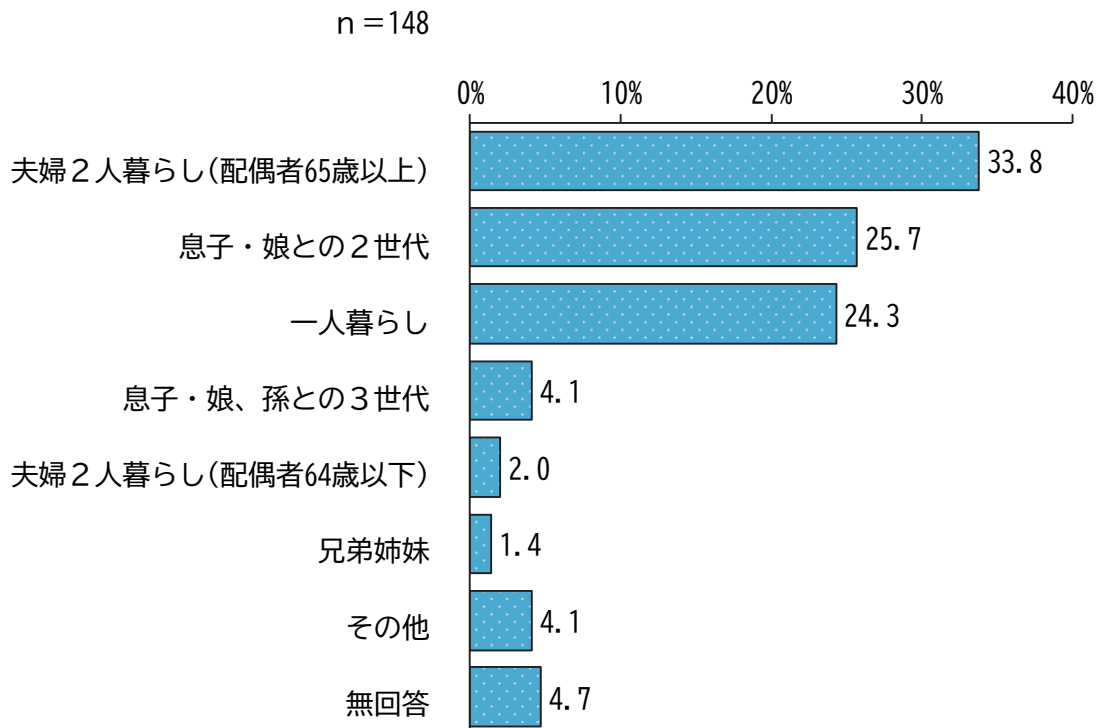
(1) ご本人（入所予定者）は、現在どちらで生活していますか。（1つを選択）

入所待機者の約6割は、施設・病院等に入所、入院しており、居宅で入所待機されている方は34.5%となっています。



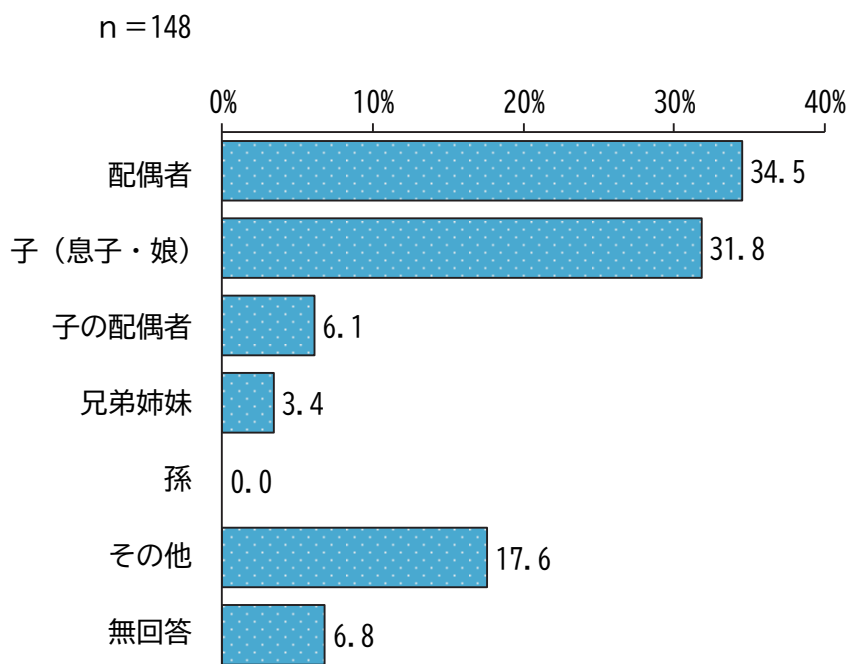
(2) ご本人(入所予定者)の家族構成をお教えてください。(1つを選択)

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が33.8%と最も多く、次いで「息子・娘との2世代」が25.7%、「一人暮らし」が24.3%となっています。



(3) ご本人(入所予定者)の介護を主に(一番長い時間)行っているのはどなたですか。(1つを選択)

主な介護者については、「配偶者」が34.5%と最も多く、次いで「子(息子・娘)」が31.8%、「子の配偶者」が6.1%となっています。

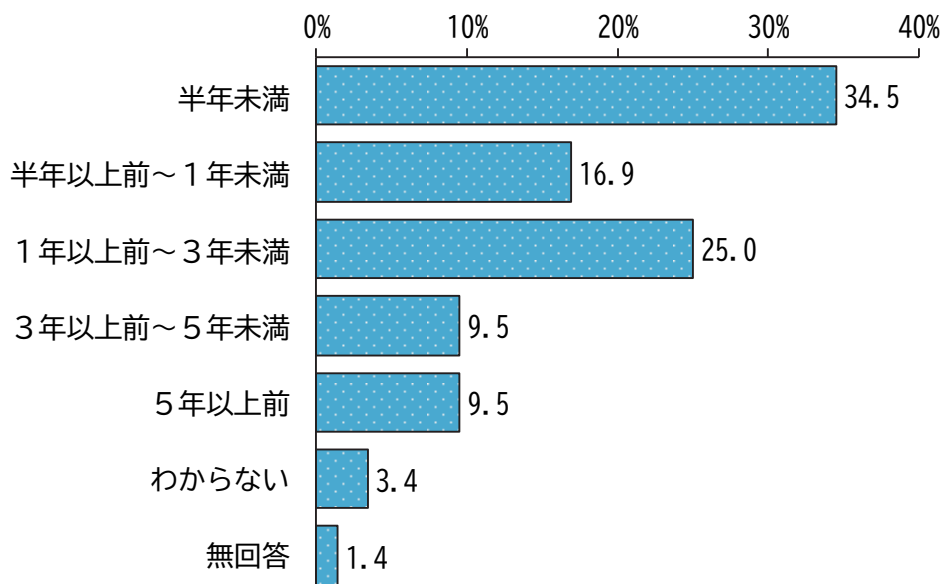


問2 特別養護老人ホームの入所申込みについて

(1) 特別養護老人ホームの入所を初めて申し込んだのはいつですか。(1つを選択)

入所申込日については、「半年未満」が34.5%と最も多く、次いで「1年以上前～3年未満」が25.0%、「半年以上前～1年未満」が16.9%となっています。

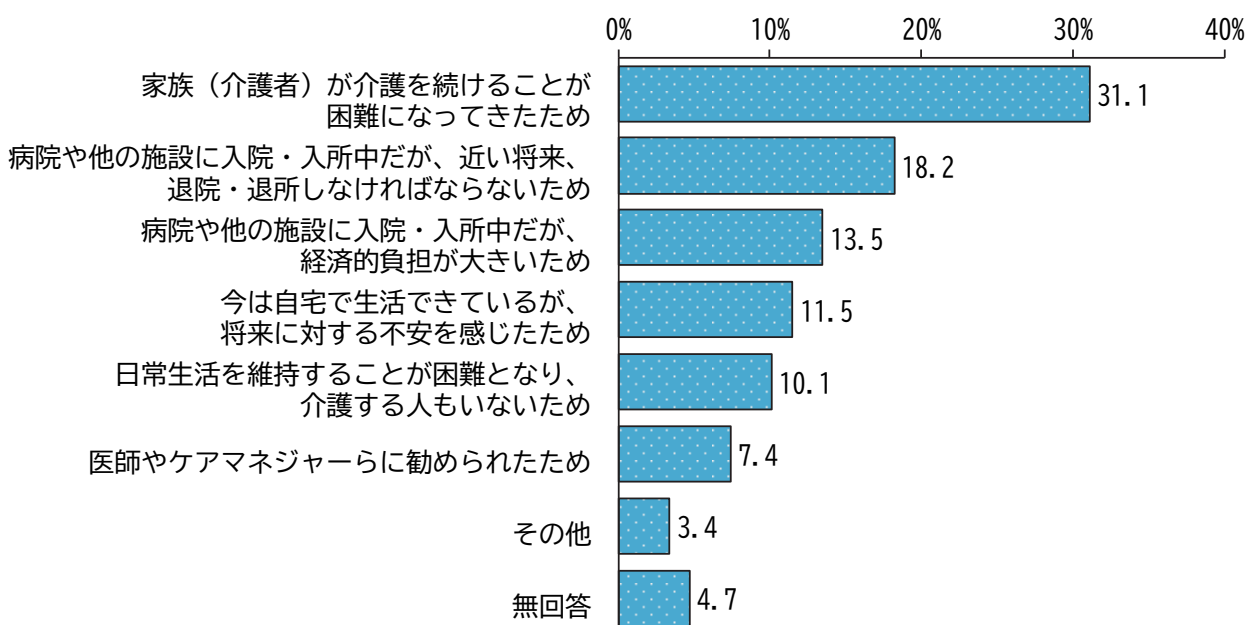
n = 148



(2) 特別養護老人ホームに申し込みをされた理由を教えてください。(1つを選択)

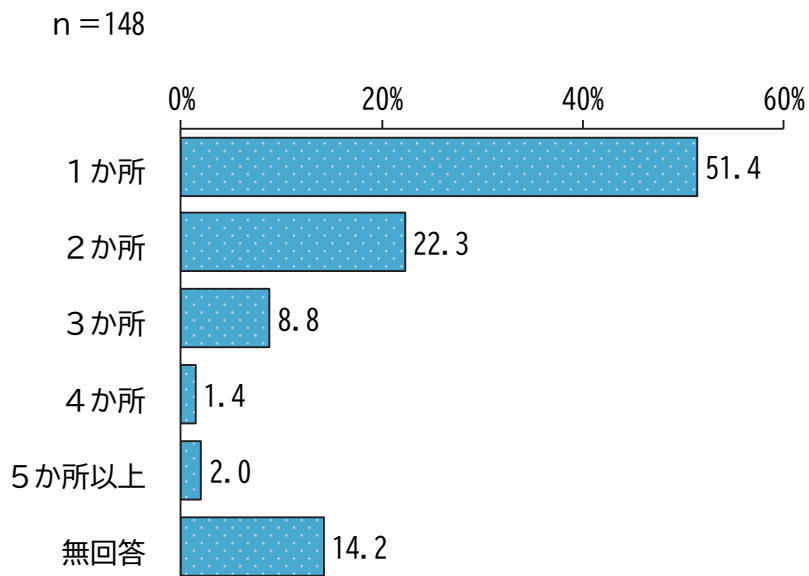
申込理由については、「家族（介護者）が介護を続けることが困難になってきたため」が31.1%と最も多く、次いで「病院や他の施設に入院・入所中だが、近い将来、退院・退所しなければならないため」が18.2%、「病院や他の施設に入院・入所中だが、経済的負担が大きい」ため」が13.5%となっています。

n = 148



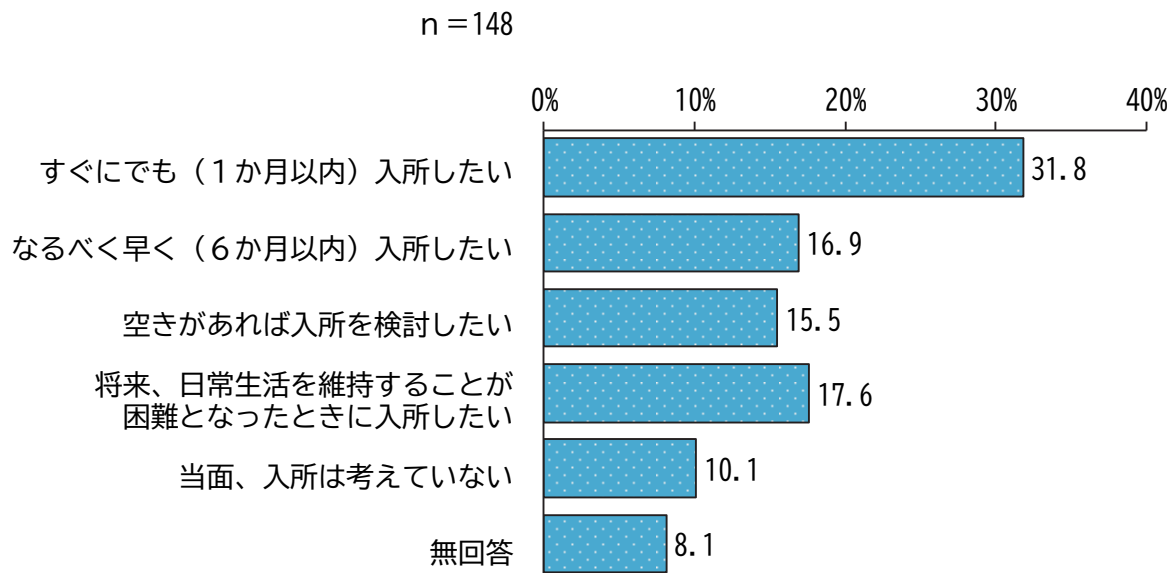
(3) 現在、何か所の特別養護老人ホームへ入所申込みをしていますか。(1つを選択)

申込箇所数については、「1か所」が51.4%、「2か所」が22.3%、「3か所」が8.8%となっています。



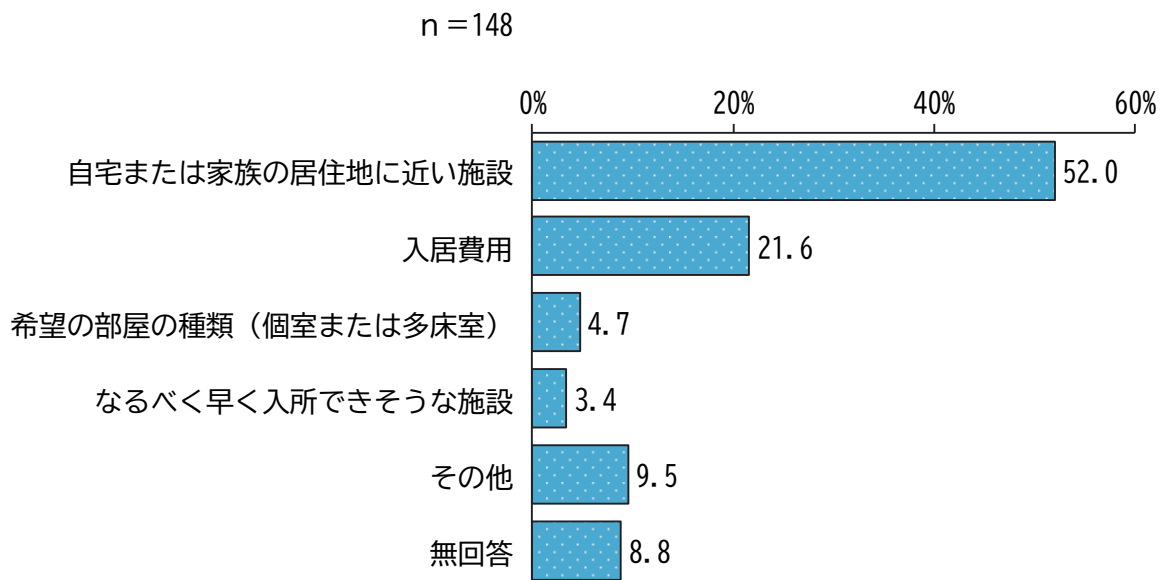
(4) 特別養護老人ホームにはいつから入所したいですか。(1つを選択)

入所希望日については、「すぐにでも(1か月以内)入所したい」の31.8%と、「なるべく早く(6か月以内)入所したい」の16.9%を合わせると、48.7%の方が積極的に入所したいと考えています。



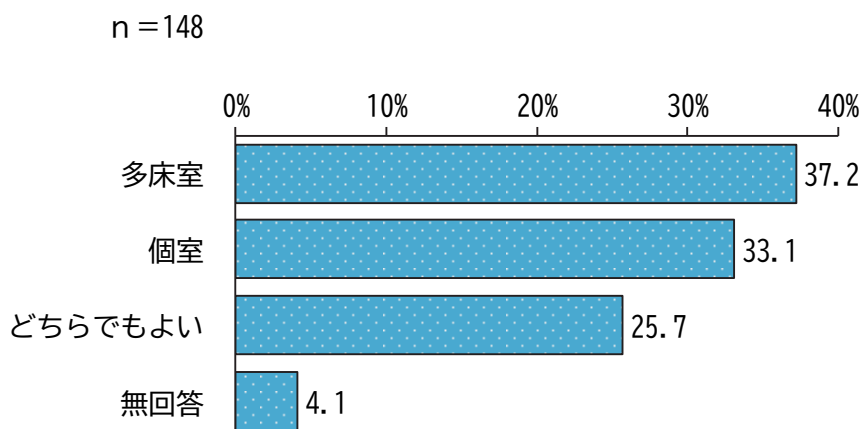
(5) 特別養護老人ホームに申し込む際に、最も重要と考えたことは何ですか。(1つを選択)

申し込む際の重要な点については、「自宅または家族の居住地に近い施設」が52.0%と最も多く、次いで「入居費用」が21.6%、「希望の部屋の種類(個室または多床室)」が4.7%となっています。



(6) 入所できるならばどちらの部屋の種類を希望されますか。(1つを選択)

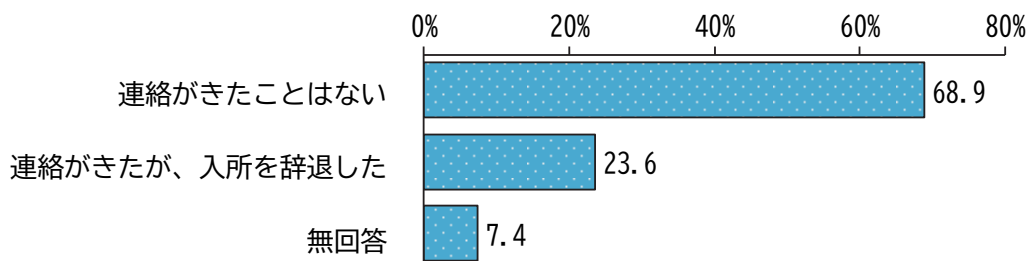
部屋の希望については、「多床室」が37.2%、「個室」が33.1%、「どちらでもよい」が25.7%となっています。



(7) 入所申込後、施設から「入所できます」との連絡がきたことがありますか。(1つを選択)

施設からの入所の連絡については、「連絡がきたことはない」が68.9%、「連絡がきたが、入所を辞退した」が23.6%となっています。

n = 148

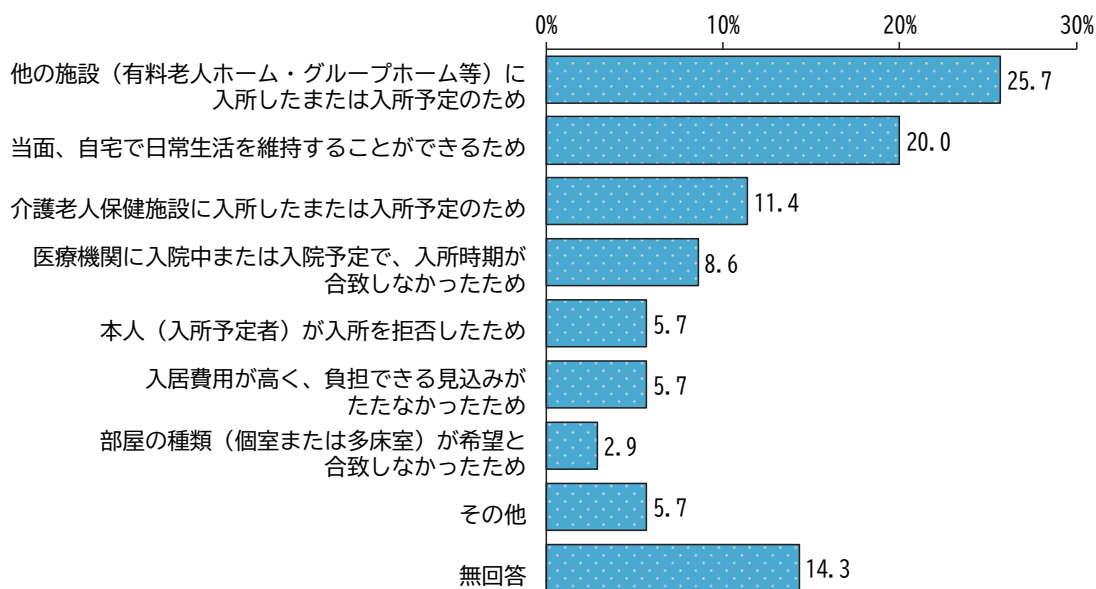


(7) ① (7)で「2」に○を選ばれた方にお伺いします。

入所を辞退された理由は何ですか。(1つを選択)

入所を辞退した理由については、「他の施設(有料老人ホーム・グループホーム等)に入所したまたは入所予定のため」が25.7%と最も多く、次いで「当面、自宅で日常生活を維持することができるため」が20.0%、「介護老人保健施設に入所したまたは入所予定のため」が11.4%となっています。

n = 35





## 第5章 介護サービス事業所調査

---

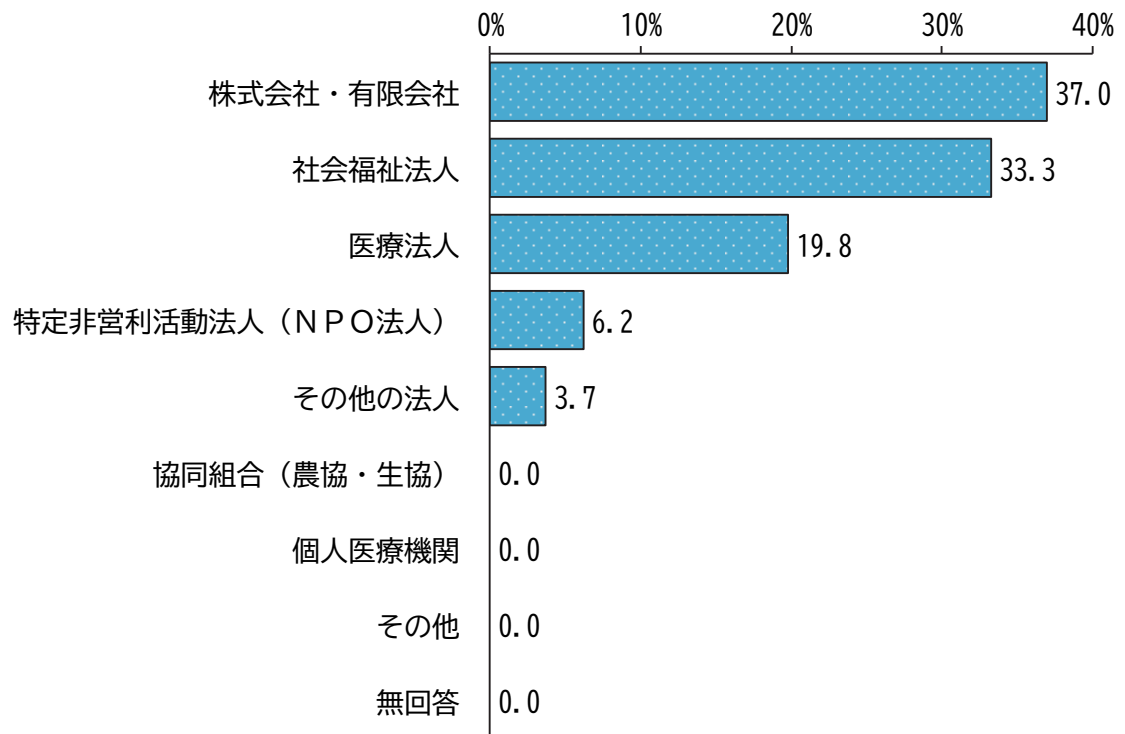


## 1 事業所の概要について

問1 貴事業所の経営主体は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

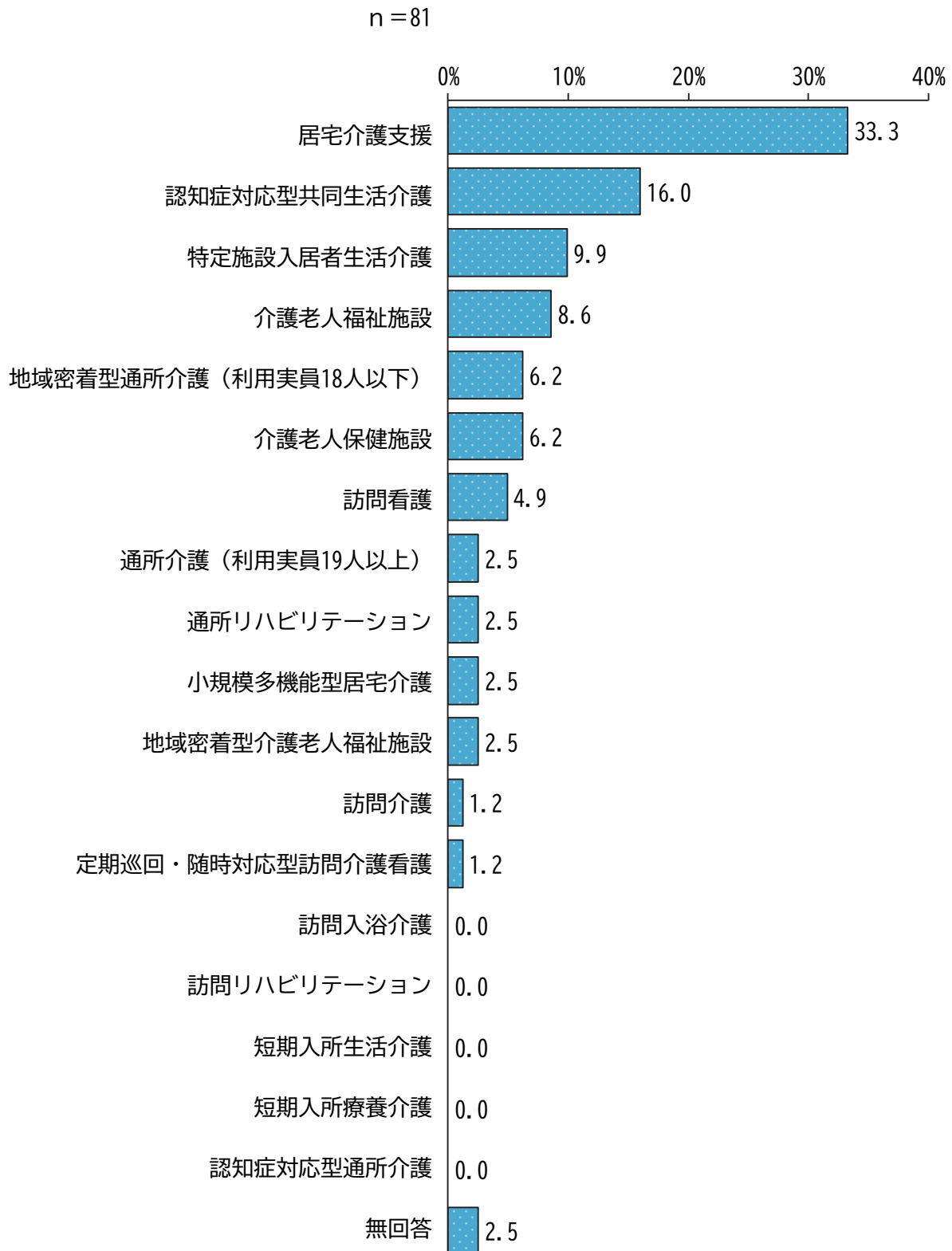
経営主体については、「株式会社・有限会社」が37.0%と最も多く、次いで「社会福祉法人」が33.3%、「医療法人」が19.8%となっています。

n=81



問2 貴事業所で実施している介護サービスの種類は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

介護サービスの種類については、「居宅介護支援」が33.3%と最も多く、次いで「認知症対応型共同生活介護」が16.0%、「特定施設入居者生活介護」が9.9%となっています。



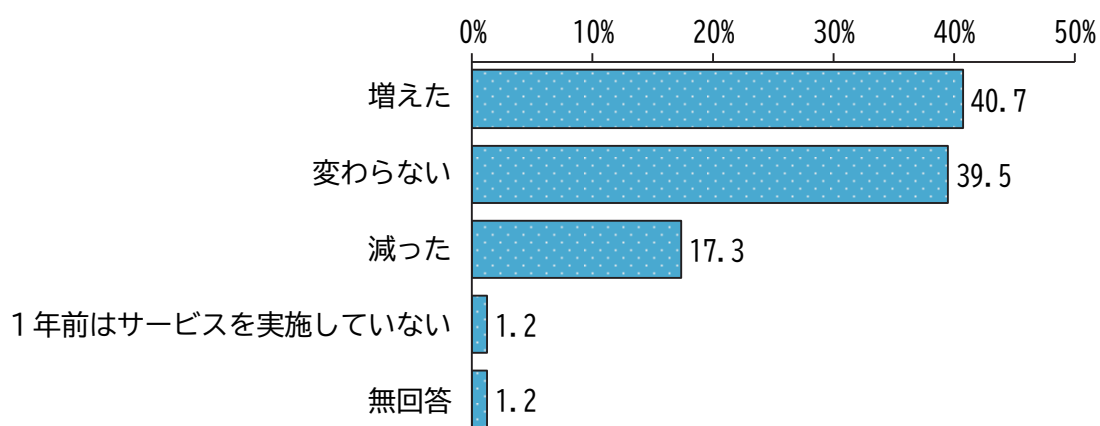
## 2 事業所の運営状況について

問3 貴事業所の利用者（入所者）数と新規利用（入所）申込者数は1年前と比べてどのようになっていますか。（それぞれに○は1つ）

### ① 利用者（入所者）数

1年前と比較した利用者（入所者）数については、「増えた」が40.7%と最も多く、次いで「変わらない」が39.5%、「減った」が17.3%となっています。

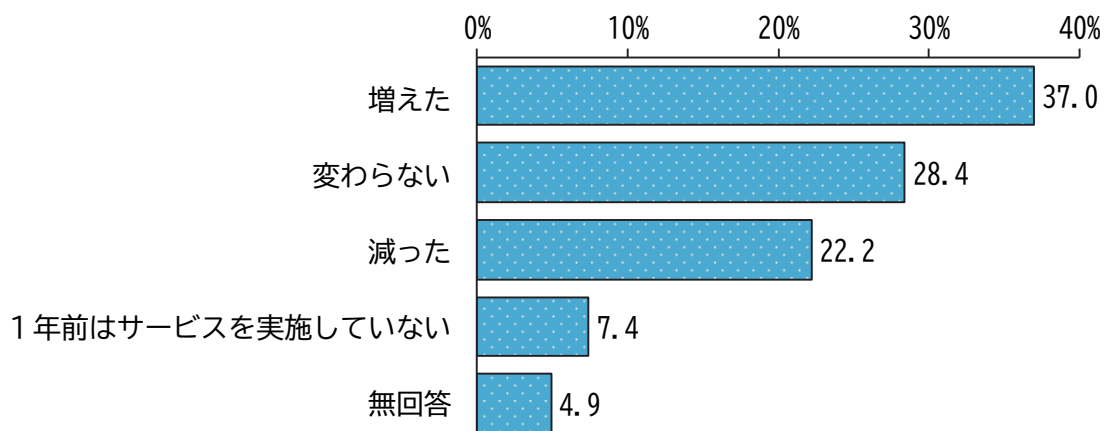
n = 81



### ② 新規利用（入所）申込者数

1年前と比較した新規利用（入所）申込者数については、「増えた」が37.0%と最も多く、次いで「変わらない」が28.4%、「減った」が22.2%となっています。

n = 81



問4 現在の利用者数を、要介護度別にお書きください。

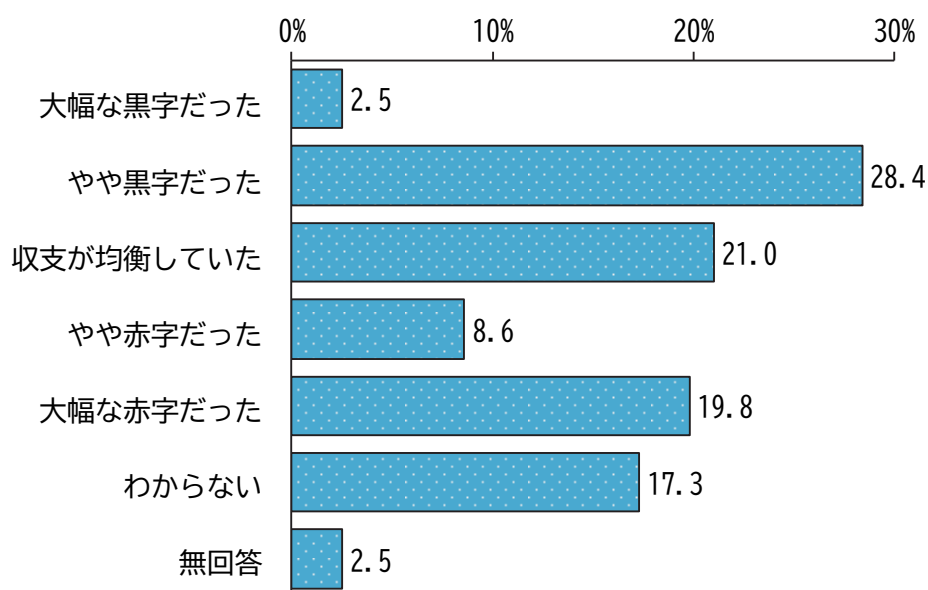
要介護度別の利用者数については、「要介護1」が1,387人と最も多く、次いで「要介護2」が1,204人、「要介護3」が981人となっています。

事業所数=81		合計値（人）				
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
575	826	1,387	1,204	981	833	533

問5 令和6年度の総事業の収支はどのような状況でしたか。（○は1つ）

令和6年度の総事業の収支については、「やや黒字だった」が28.4%と最も多く、次いで「収支が均衡していた」が21.0%、「大幅な赤字だった」が19.8%となっています。

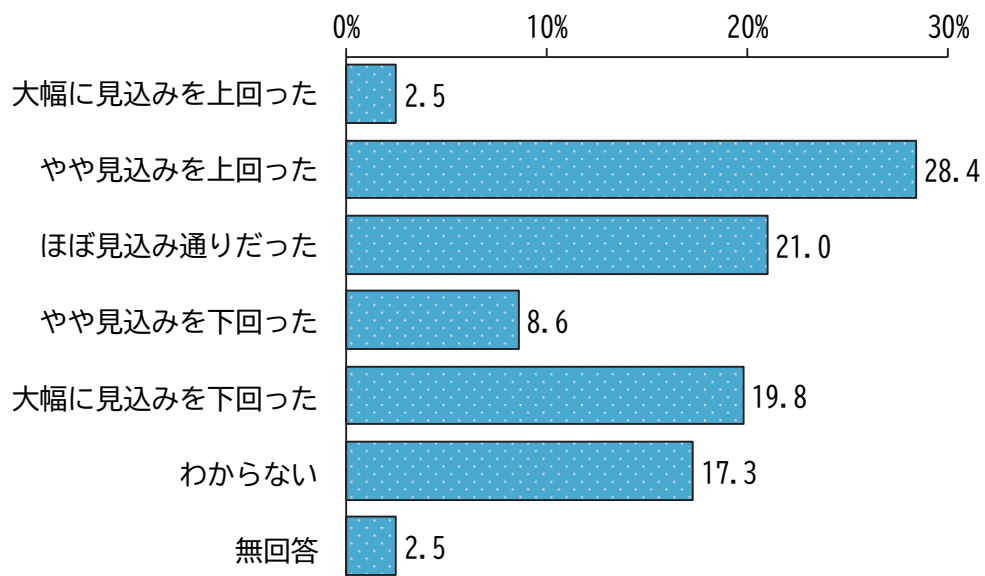
n=81



## 問6 令和6年度の収益は、当初の見込みと比較してどのような状況でしたか。(〇は1つ)

令和6年度の収益の見込みについては、「やや見込みを上回った」が28.4%と最も多く、次いで「ほぼ見込み通りだった」が21.0%、「大幅に見込みを下回った」が19.8%となっています。

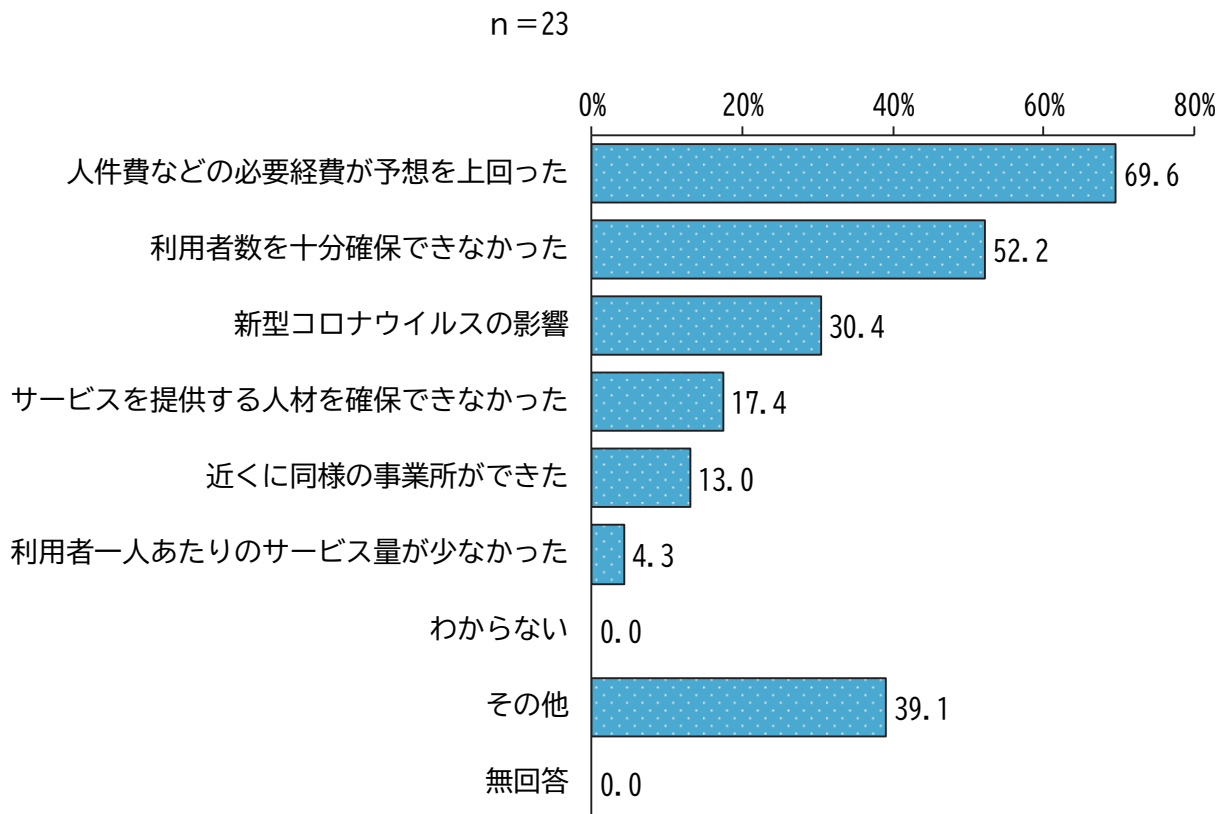
n=81



問7 問6で「4」、「5」と回答した事業所にお聞きします。

収益が当初の見込みを下回った理由をどのようにお考えですか。(〇はいくつでも)

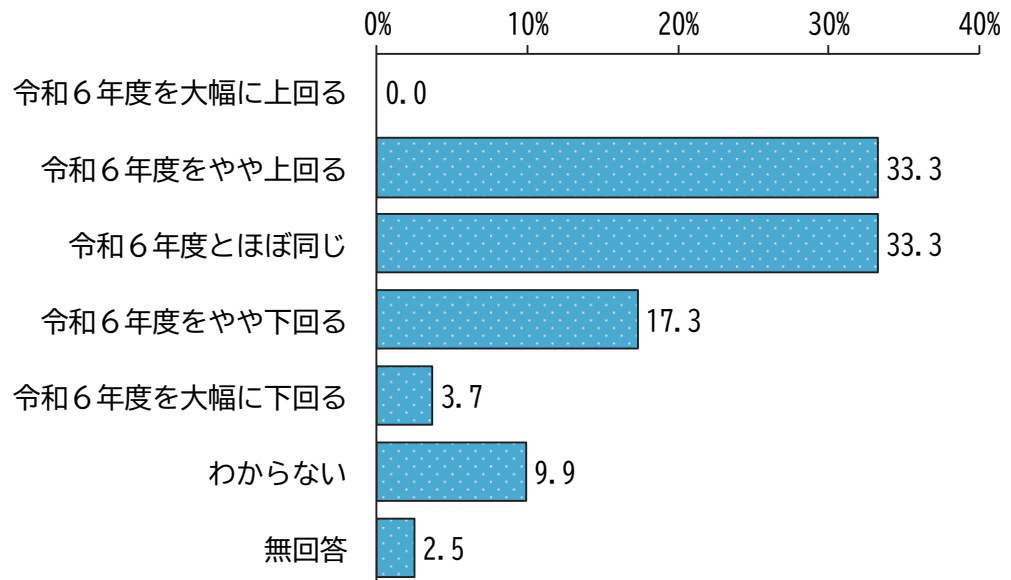
収益が当初の見込みを下回った理由については、「人件費などの必要経費が予想を上回った」が69.6%と最も多く、次いで「利用者数を十分確保できなかった」が52.2%、「新型コロナウイルスの影響」が30.4%となっています。



問8 令和7年度の収益は、令和6年度と比べてどのような状況が見込まれますか。(〇は1つ)

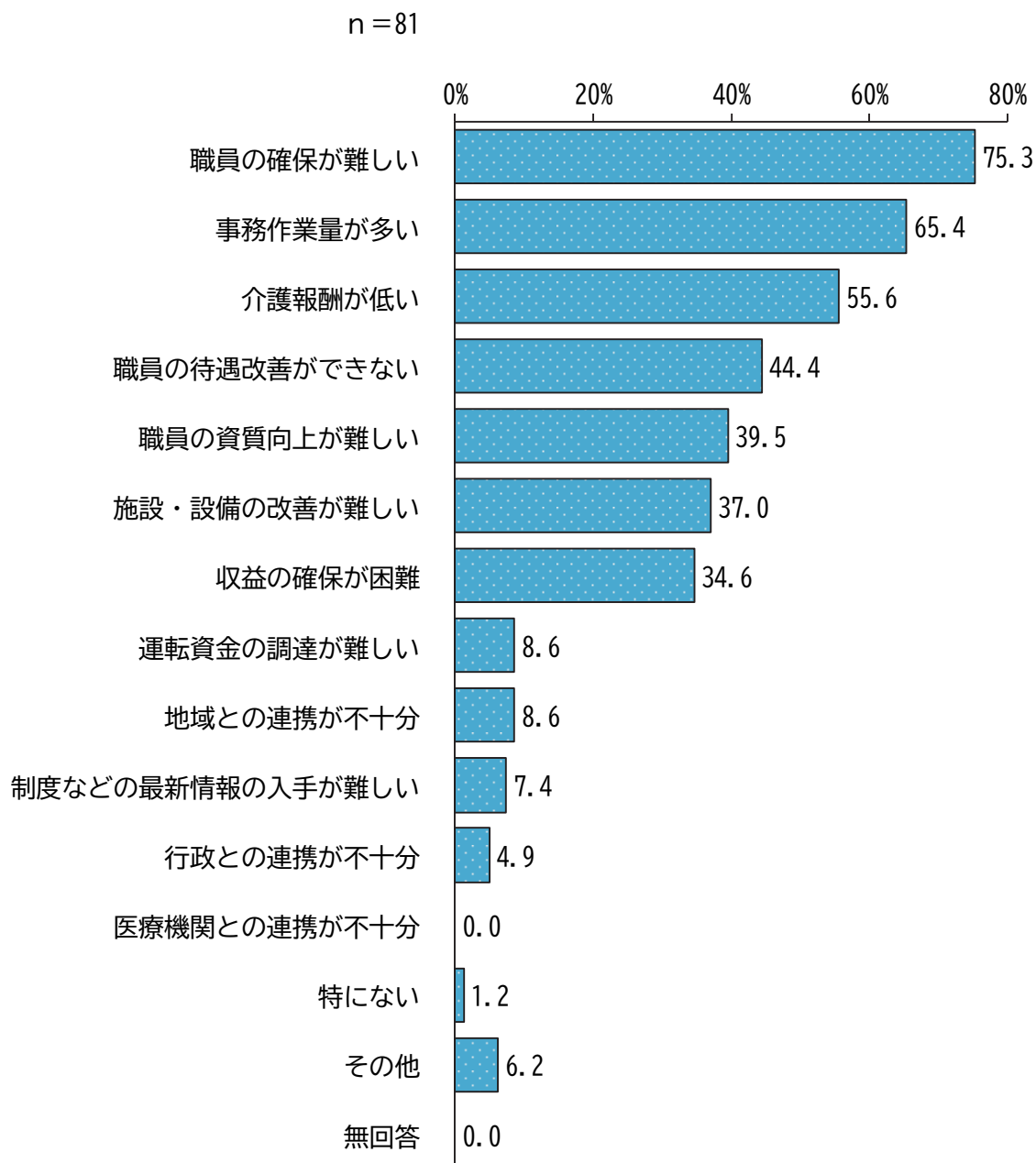
令和7年度の収益の見込みについては、「令和6年度をやや上回る」と「令和6年度とほぼ同じ」が33.3%と最も多く、次いで「令和6年度をやや下回る」が17.3%となっています。

n=81



問9 事業を経営していく上で、どのような問題がありますか。(〇はいくつでも)

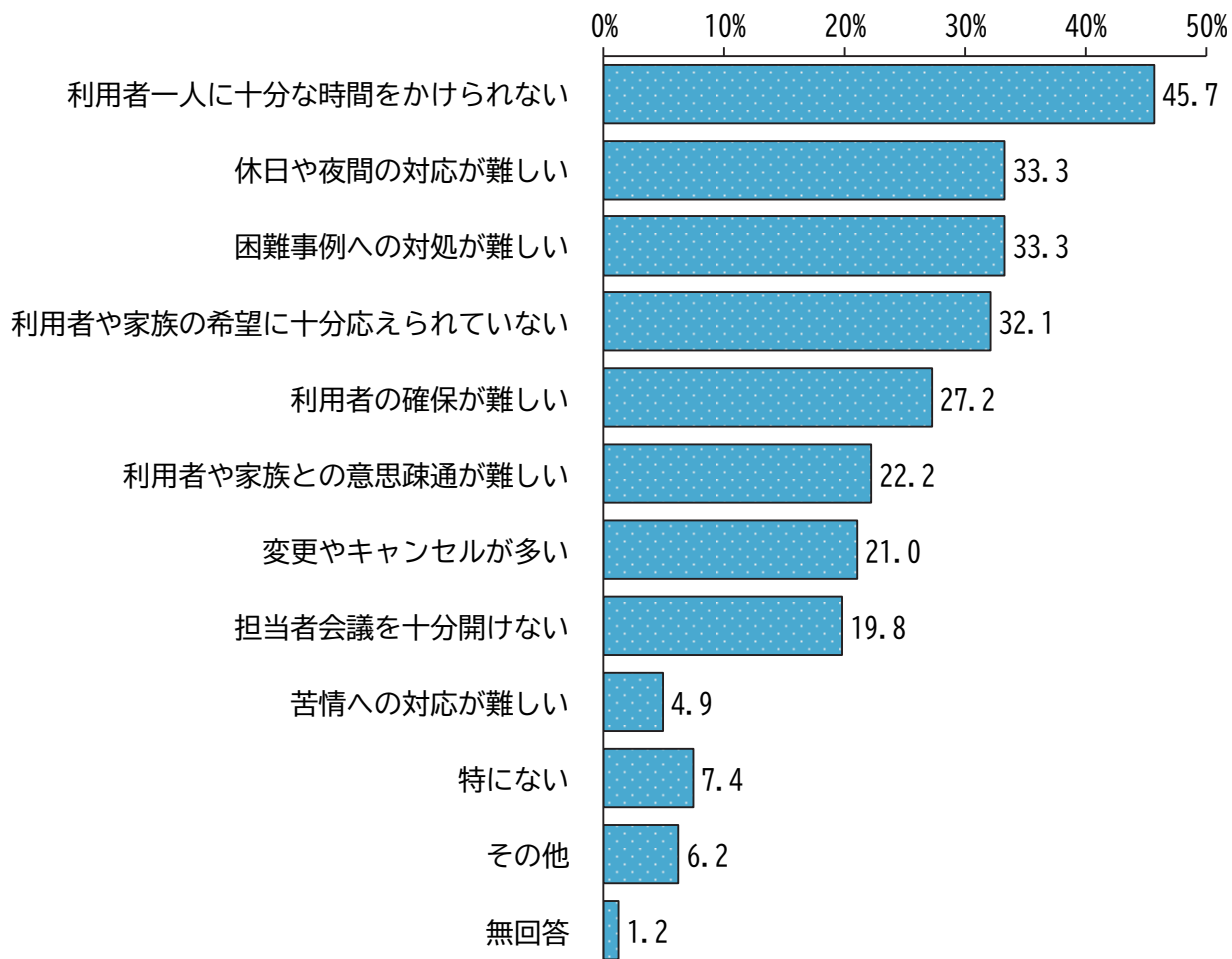
経営していく上での問題については、「職員の確保が難しい」が75.3%と最も多く、次いで「事務作業量が多い」が65.4%、「介護報酬が低い」が55.6%となっています。



問10 サービスを提供する上で、どのような問題がありますか。(〇はいくつでも)

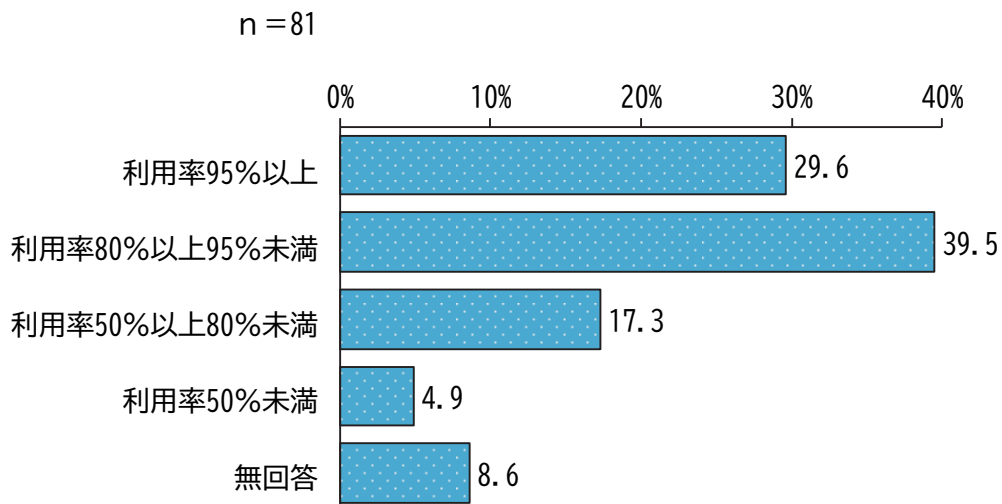
サービスを提供する上での問題については、「利用者一人に十分な時間をかけられない」が45.7%と最も多く、次いで「休日や夜間の対応が難しい」と「困難事例への対応が難しい」が33.3%、「利用者や家族の希望に十分応えられていない」が32.1%となっています。

n = 81



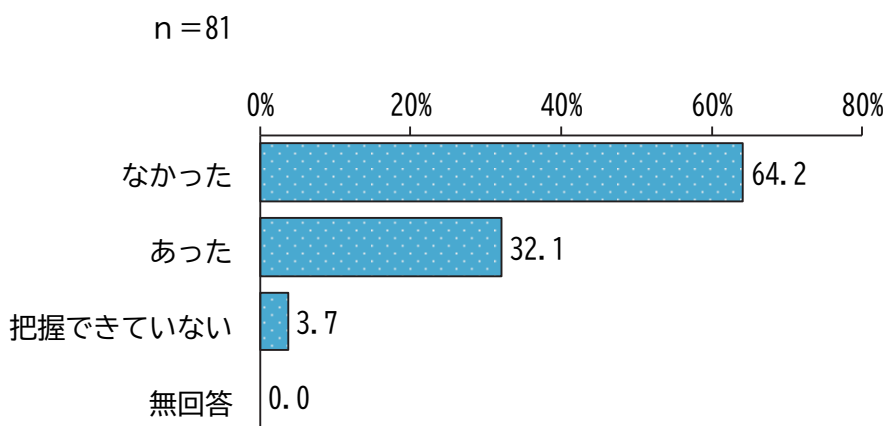
問 11 貴事業所利用率をお伺いします。(問2で選んだ介護サービスの種類について、直近3か月の平均利用率に〇を1つお書きください。)

事業所利用率については、「利用率80%以上95%未満」が39.5%と最も多く、次いで「利用率95%以上」が29.6%、「利用率50%以上80%未満」が17.3%となっています。



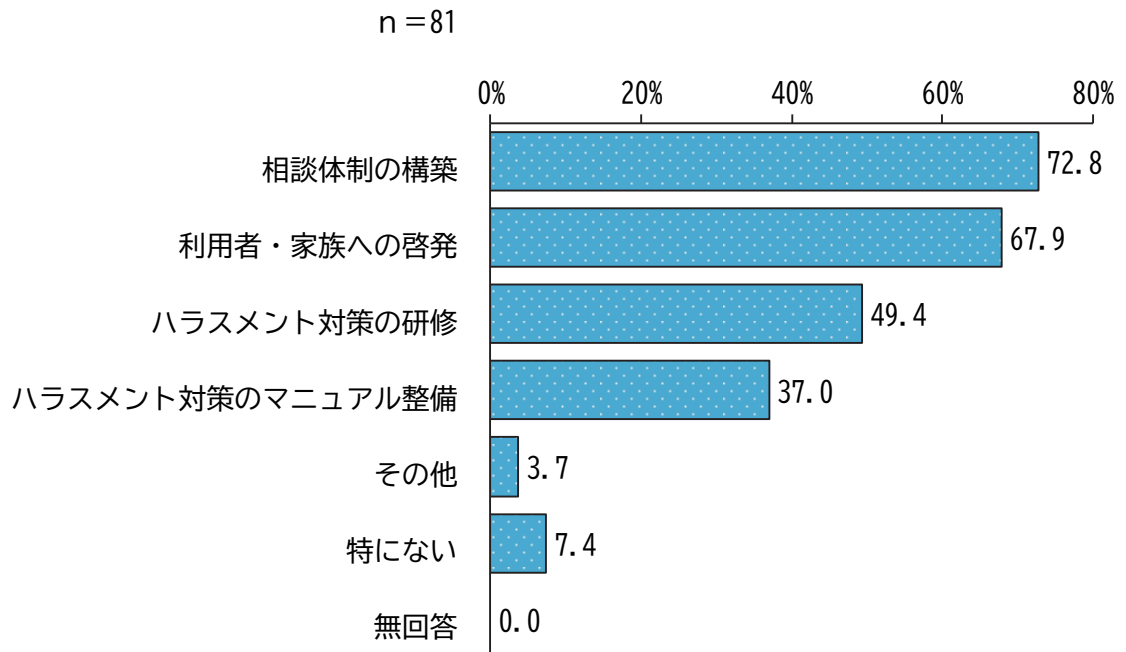
問 12 過去1年間（令和6年12月1日から令和7年11月30日）に、貴事業所の従業員に対する利用者・家族等からのハラスメント（セクハラ、パワハラ、カスハラ等）について、従業員等から相談や報告等ありましたか。（〇は1つ）

利用者・家族等からのハラスメントについては、「あった」が32.1%、「なかった」が64.2%となっています。



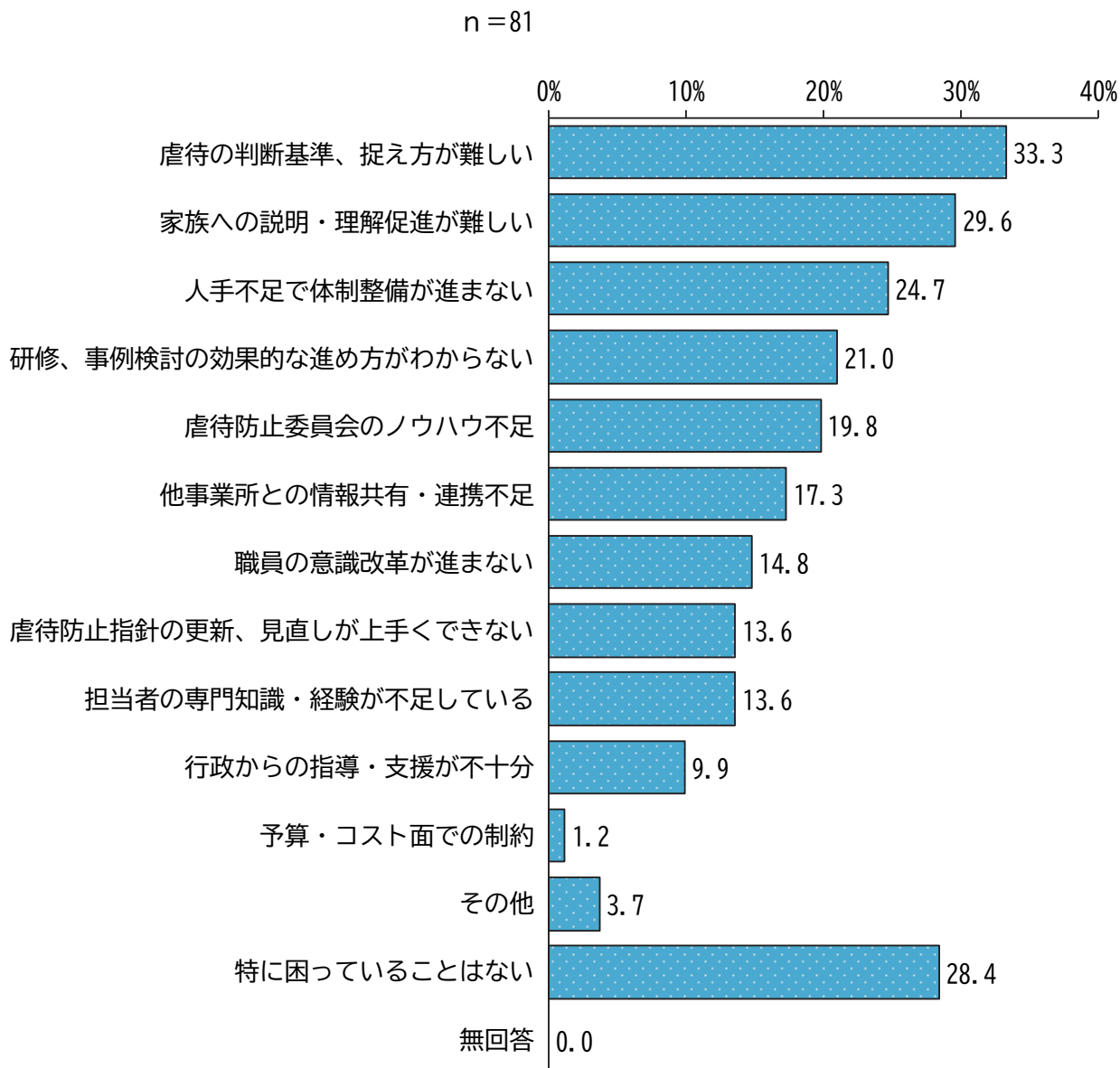
問13 ハラスメントに対して、どのような公的支援が必要ですか。(〇はいくつでも)

ハラスメントに対する必要な公的支援については、「相談体制の構築」が72.8%と最も多く、次いで「利用者・家族への啓発」が67.9%、「ハラスメント対策の研修」が49.4%となっています。



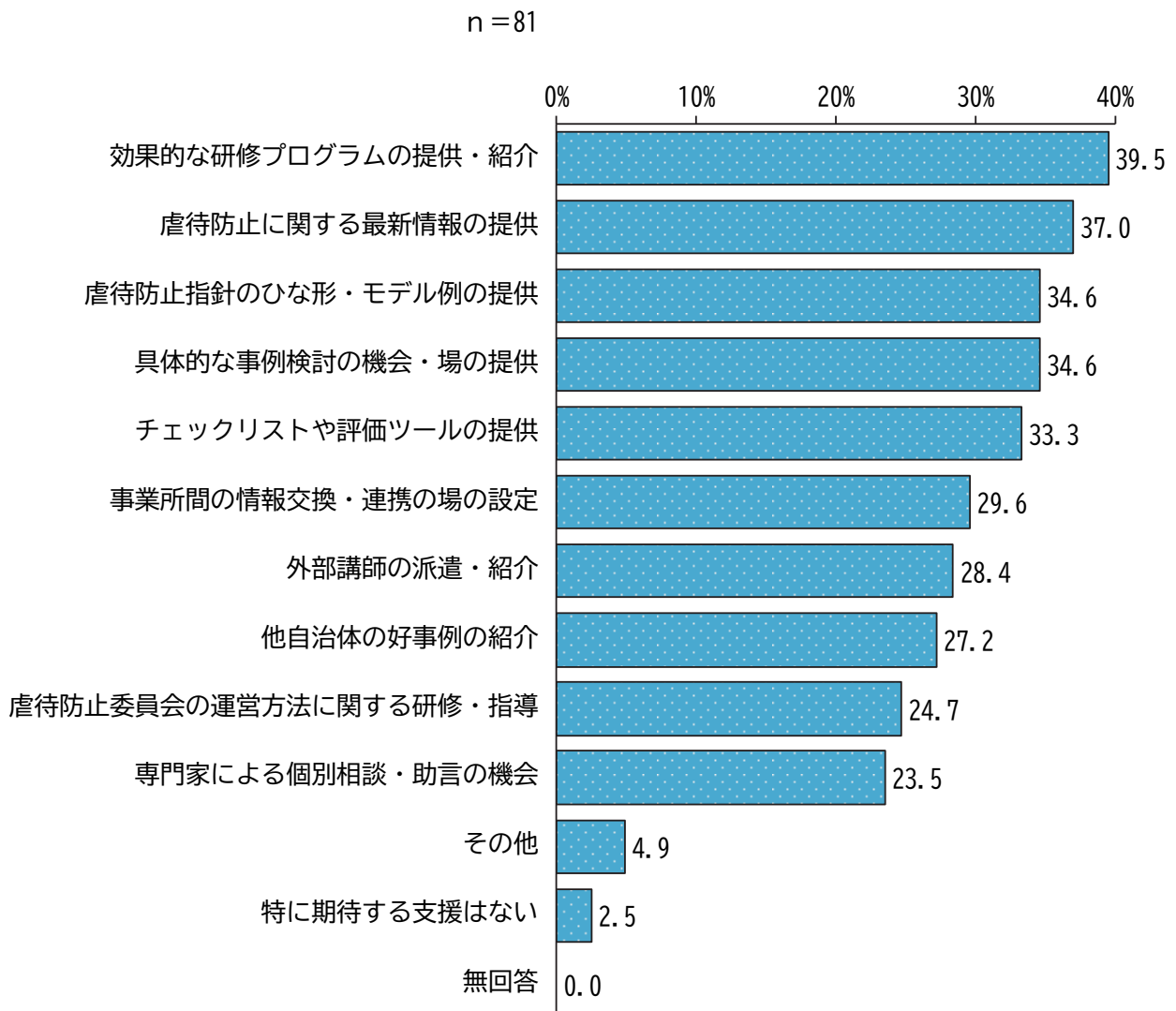
問14 虐待防止の取り組みを進めるうえで、現在困っていることはありますか。  
 (〇はいくつでも)

虐待防止の取り組みを進めるうえで、困っていることについては、「虐待の判断基準、捉え方が難しい」が33.3%と最も多く、次いで「家族への説明・理解促進が難しい」が29.6%、「人手不足で体制整備が進まない」が24.7%となっています。



問15 虐待防止の取り組みをより効果的に進めるために、どのような支援を期待しますか。  
(〇はいくつでも)

虐待防止の取り組みをより効果的に進めるために、どのような支援を期待しているかについては、「効果的な研修プログラムの提供・紹介」が39.5%と最も多く、次いで「虐待防止に関する最新情報の提供」が37.0%、「虐待防止指針のひな形・モデル例の提供」と「チェックリストや評価ツールの提供」が34.6%となっています。



### 3 職員体制や人材育成について

問 16 貴事業所の職員の実人数をお書きください。

職員の実人数については、「常勤専従」が991人、「常勤兼務」が190人、「非常勤」が719人となっています。

事業所数=81		合計値（人）	
常勤専従	常勤兼務	非常勤	
991	190	719	

問 17 貴事業所における令和6年12月～令和7年11月の採用者・退職者を職種別に実人数でお書きください。

介護職員・訪問介護員の採用者で最も多いのは、「常勤（正職員）」で147人となっており、退職者で最も多いのは「常勤（正職員）」で79人となっています。

生活相談員の採用者で最も多いのは、「常勤（正職員）」で18人となっており、退職者で最も多いのは「常勤（正職員）」で13人となっています。

看護職員の採用者で最も多いのは、「常勤（正職員）」で40人となっており、退職者で最も多いのは「常勤（正職員）」で25人となっています。

機能訓練指導員の採用者で最も多いのは、「非常勤職員（常勤以外）」で4人となっており、退職者で最も多いのは、「常勤（正職員）」で3人となっています。

介護支援専門員の採用者で最も多いのは、「常勤（正職員）」で28人となっており、退職者で最も多いのは、「常勤（正職員）」で11人となっています。

栄養士・管理栄養士の採用者で最も多いのは、「常勤（正職員）」で5人となっており、退職者で最も多いのは、「常勤（正職員）」で3人となっています。

事業所数=81

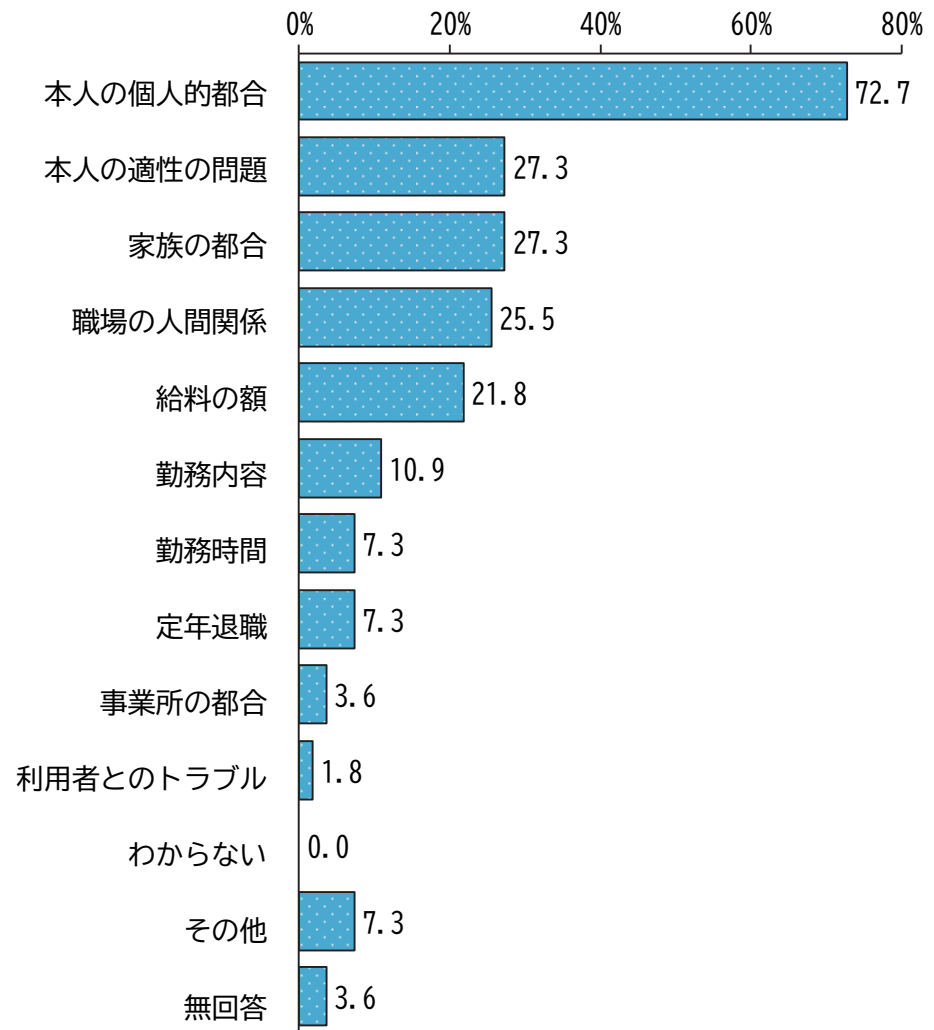
合計値（人）

職種		合計値（人）		
		常勤 （正職員）	常勤 （臨時職員）	非常勤職員 （常勤以外）
介護職員・訪問介護員	採用	147	4	102
	退職	79	5	66
生活相談員	採用	18	0	11
	退職	13	0	12
看護職員 （看護師、准看護師、保健師、助産師）	採用	40	0	25
	退職	25	0	18
機能訓練指導員	採用	3	2	4
	退職	3	0	2
介護支援専門員	採用	28	0	9
	退職	11	0	4
栄養士・管理栄養士	採用	5	0	0
	退職	3	0	0

問 18 令和6年12月～令和7年11月に退職者がいたと回答した事業所にお聞きします。  
退職した理由をわかる範囲でお答えください。(〇はいくつでも)

退職理由については、「本人の個人的都合」が72.7%と最も多く、次いで「本人の適性の問題」と「家族の都合」が27.3%、「職場の人間関係」が25.5%となっています。

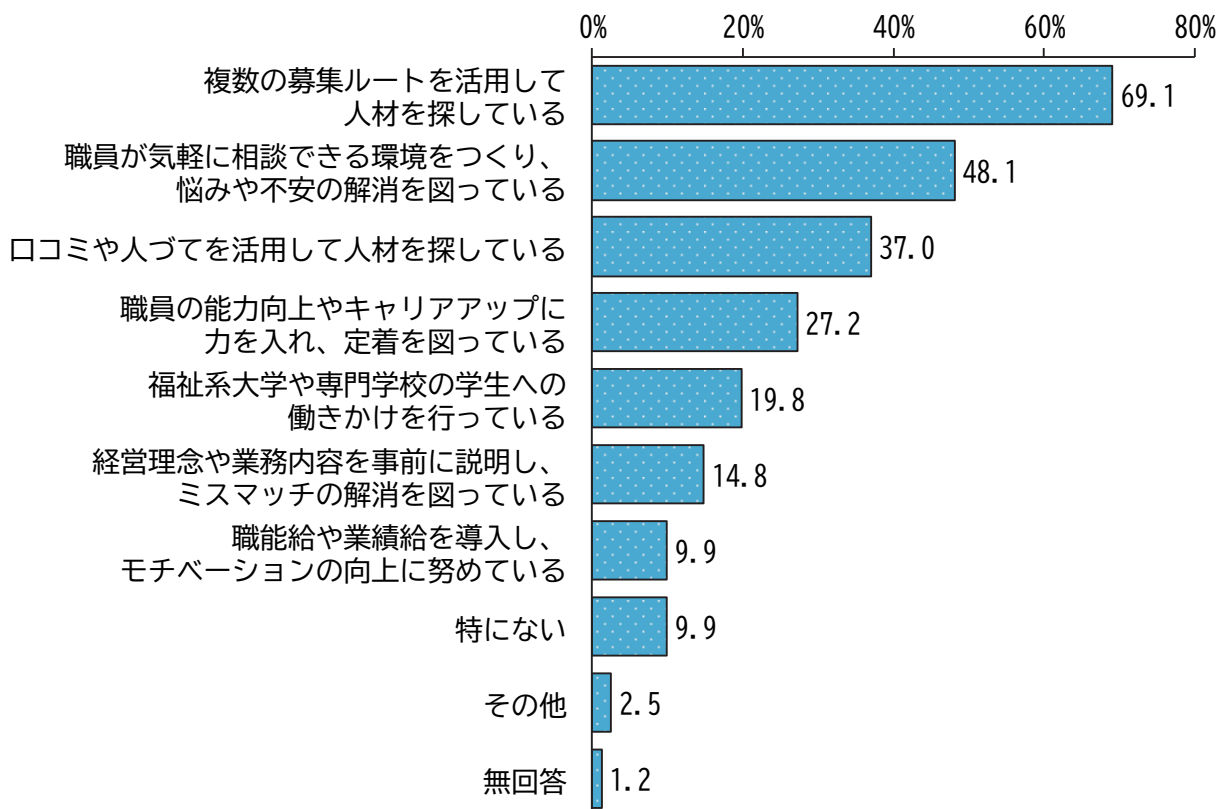
n = 55



問19 貴事業所では、人材確保に向けて、どのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

人材確保の取り組みについては、「複数の募集ルートを活用して人材を探している」が69.1%と最も多く、次いで「職員が気軽に相談できる環境をつくり、悩みや不安の解消を図っている」が48.1%、「口コミや人づてを活用して人材を探している」が37.0%となっています。

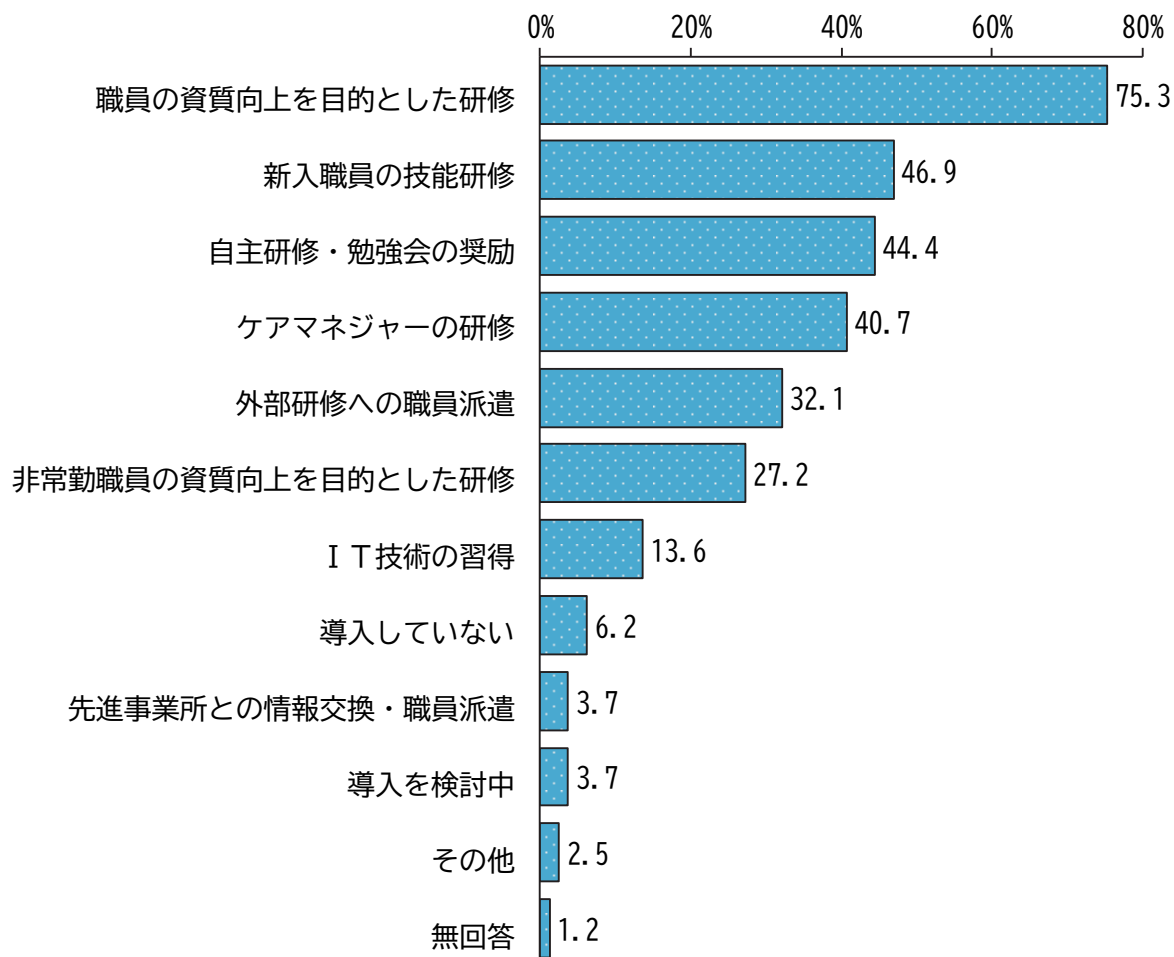
n = 81



問 20 貴事業所では、人材育成・教育制度を導入していますか。(〇はいくつでも)

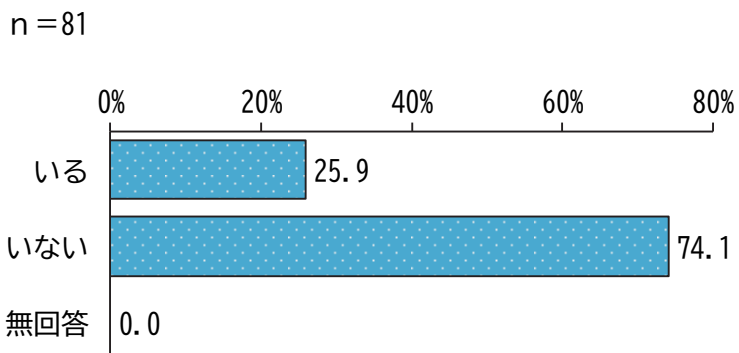
人材育成・教育制度の導入については、「職員の資質向上を目的とした研修」が75.3%と最も多く、次いで「新入職員の技能研修」が46.9%、「自主研修・勉強会の奨励」が44.4%となっています。

n = 81



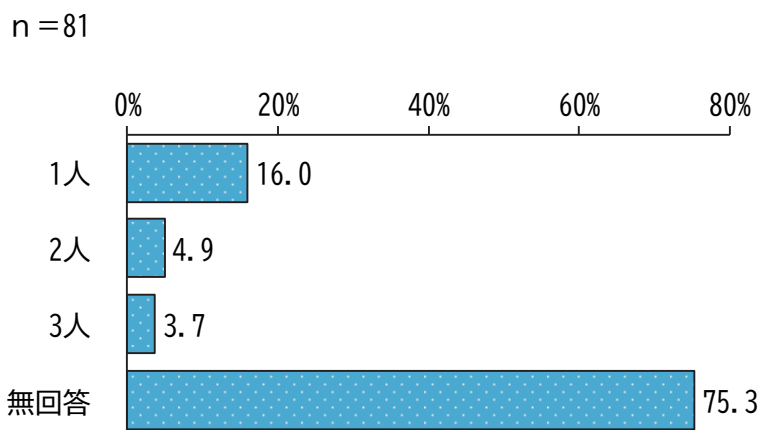
問 21 貴事業所では、介護支援専門員の資格を保持しているが、失効している職員はいますか。  
いる場合は人数を記入してください。(○は1つ)。

介護支援専門員の資格が失効している職員については、「いる」が25.9%、「いない」が74.1%となっています。



人数

介護支援専門員の資格が失効している職員の数については、「1人」が16.0%、「2人」が4.9%、「3人」が3.7%となっています。

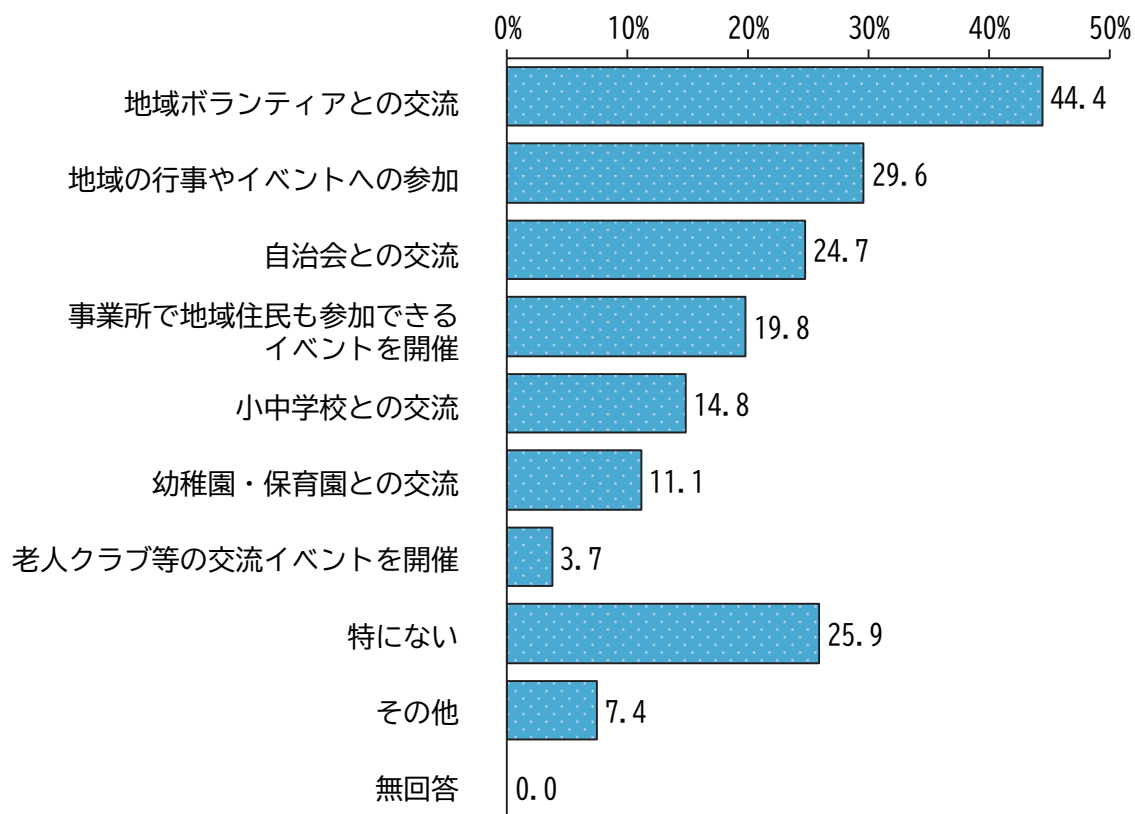


## 4 地域とのつながりについて

問 22 貴事業所では、地域との交流がありますか。(〇はいくつでも)

地域との交流については、「地域ボランティアとの交流」が 44.4%と最も多く、次いで「地域の行事やイベントへの参加」が 29.6%、「自治会との交流」が 24.7%となっています。

n = 81

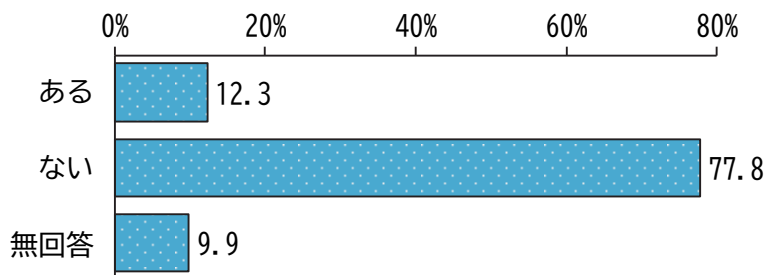


## 5 人材の確保・外国人労働者雇用について

問 23 貴事業所では、人材不足から介護従事者が確保できないことなどを理由として、自主的に空床を発生させたり、利用者の利用を断ったりしたことがありますか。(○は1つ)

人材不足を理由に利用を断ったことがあるかについては、「ある」が12.3%、「ない」が77.8%となっています。

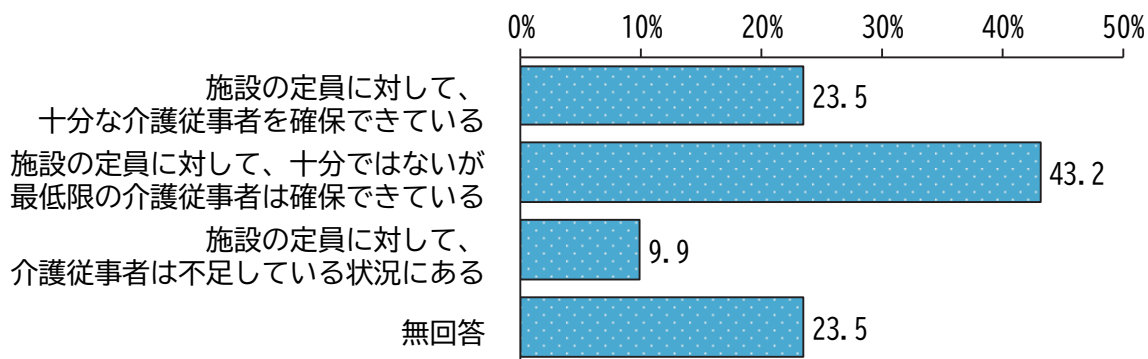
n=81



問 24 貴事業所では、現在、施設の定員に対して必要な介護従事者を確保できていますか。(○は1つ)

定員に対する介護従事者の確保については、「施設の定員に対して、十分ではないが最低限の介護従事者は確保できている」が43.2%と最も多く、次いで「施設の定員に対して、十分な介護従事者を確保できている」が23.5%、「施設の定員に対して、介護従事者は不足している状況にある」が9.9%となっています。

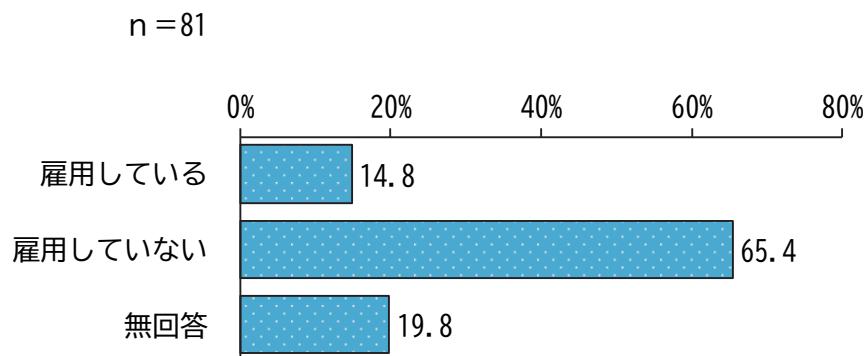
n=81



問 25 貴事業所では、介護助手を雇用していますか。(○は1つ)。

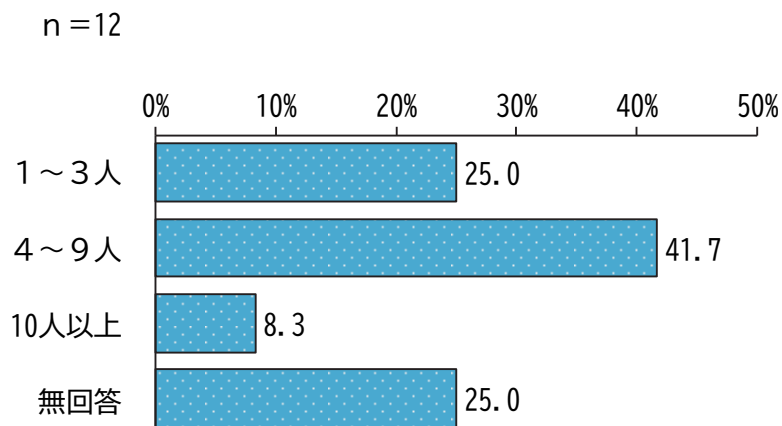
① 雇用の有無

介護助手の雇用については、「雇用している」が14.8%、「雇用していない」が65.4%となっています。



② 雇用の人数

介護助手の雇用については、「1～3人」が25.0%、「4～9人」が41.7%、「10人以上」が8.3%となっています。



問 26 問 25 で「1. 雇用している」と回答した事業所にお聞きします。  
雇用している介護助手の方の年齢をご記入ください。

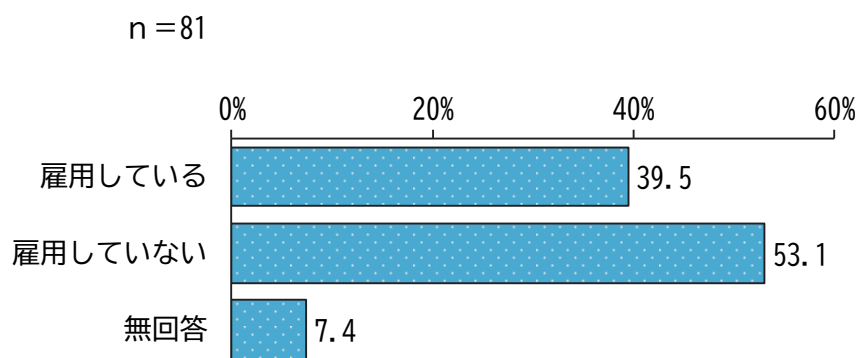
介護助手の年齢については、「60代」が19人と最も多く、次いで「50代」が18人、「70代以上」が14人となっています。

事業所数=81							合計値(人)	
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	わからない	
2	6	4	5	18	19	14	15	

問 27 貴事業所では、介護従事者として外国人労働者を雇用していますか。(○は1つ)

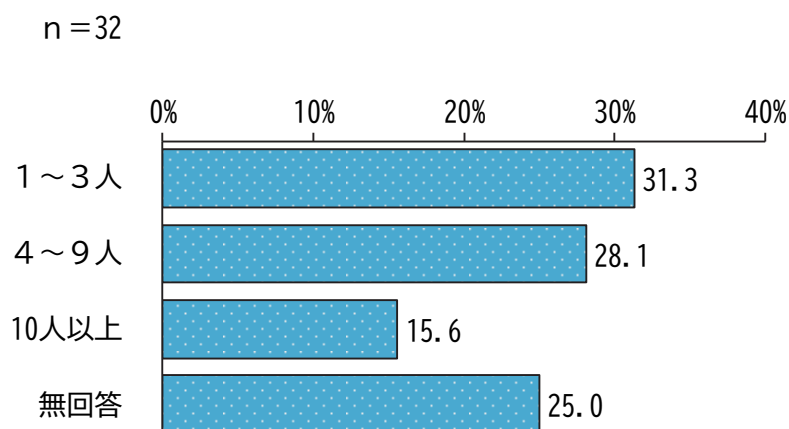
① 雇用の有無

外国人労働者の雇用の有無については、「雇用している」が39.5%、「雇用していない」が53.1%となっています。



② 雇用人数

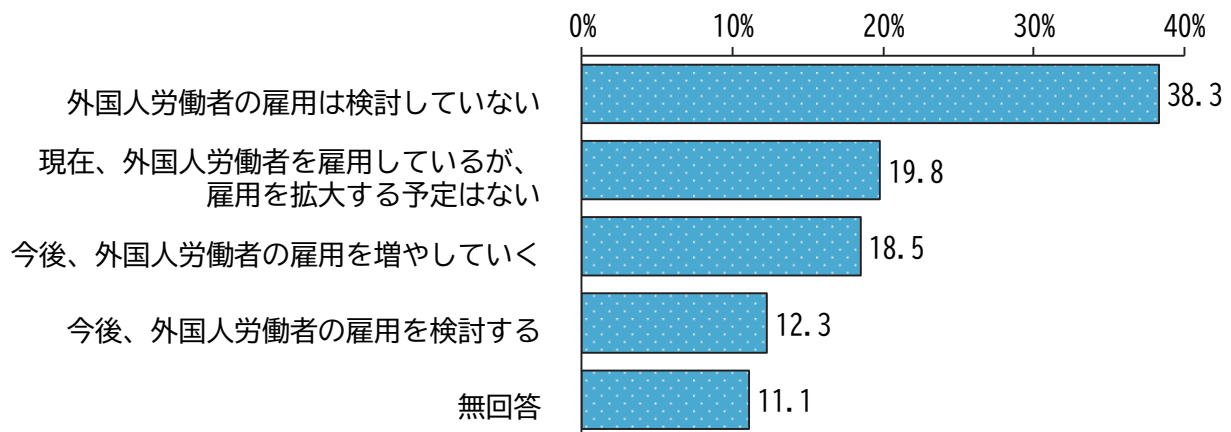
外国人労働者の雇用人数については、「1～3人」が31.3%、「4～9人」が28.1%、「10人以上」が15.6%となっています。



問 28 貴事業所では、人材の確保にあたり、今後、介護従事者として外国人労働者の雇用を拡大していく予定はありますか。(〇は1つ)

外国人労働者の雇用の拡大については、「外国人労働者の雇用は検討していない」が 38.3%と最も多く、次いで「現在、外国人労働者を雇用しているが、雇用を拡大する予定はない」が 19.8%、「今後、外国人労働者の雇用を増やしていく」が 18.5%となっています。

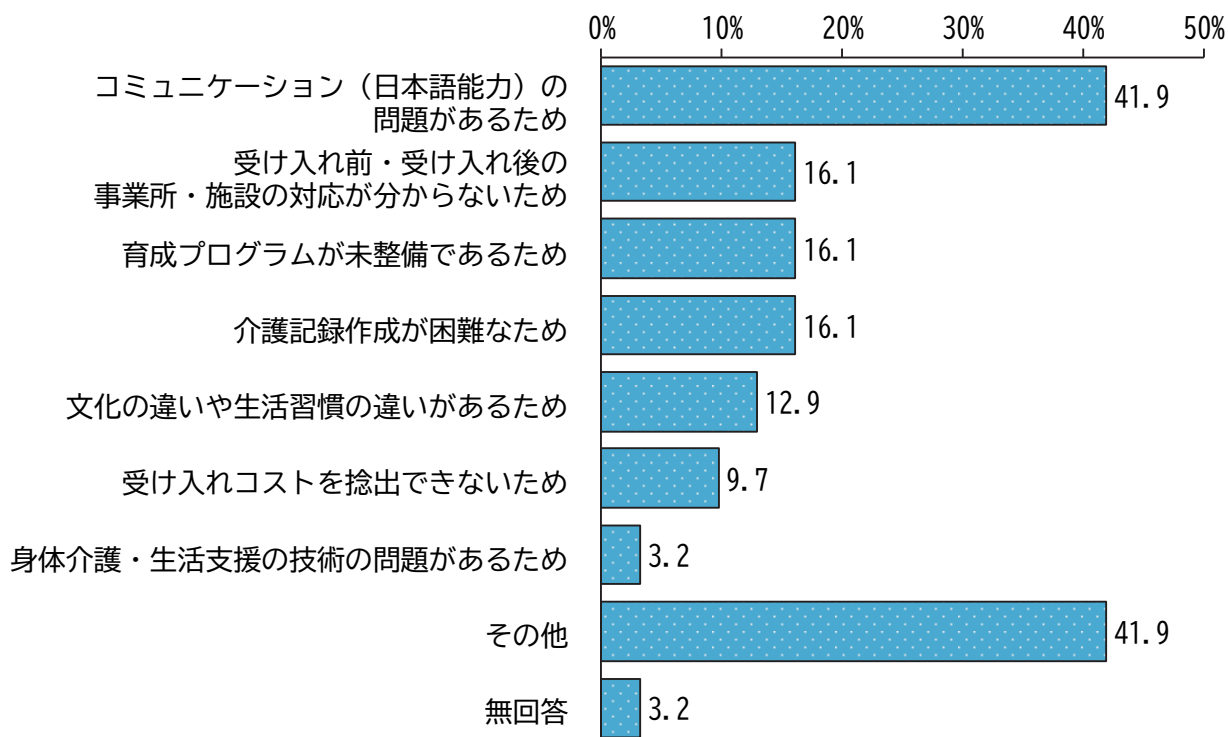
n = 81



問 29 問 28 で「4. 外国人労働者の雇用は検討していない」と回答した事業所にお聞きします。  
 今後受け入れるつもりがない理由について教えてください。(〇は3つまで)

外国人労働者を受け入れるつもりがない理由については、「コミュニケーション（日本語能力）の問題があるため」が41.9%と最も多く、次いで「受け入れ前・受け入れ後の事業所・施設の対応が分からないため」と「育成プログラムが未整備であるため」と「介護記録作成が困難なため」が16.1%、「文化の違いや生活習慣の違いがあるため」が12.9%となっています。

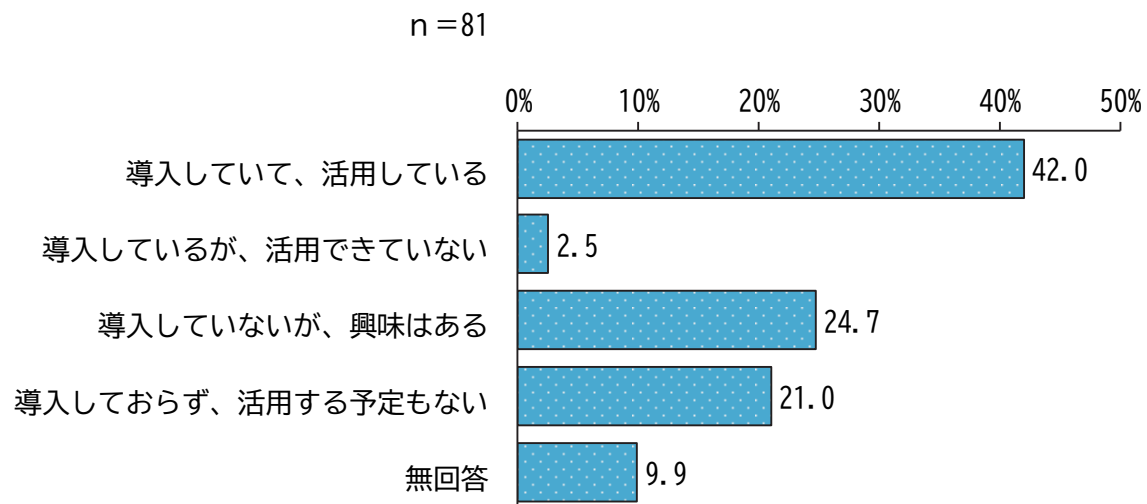
n = 31



## 6 ICTについて

問30 貴事業所ではICT機器や介護ロボットを導入していますか。(〇は1つ)

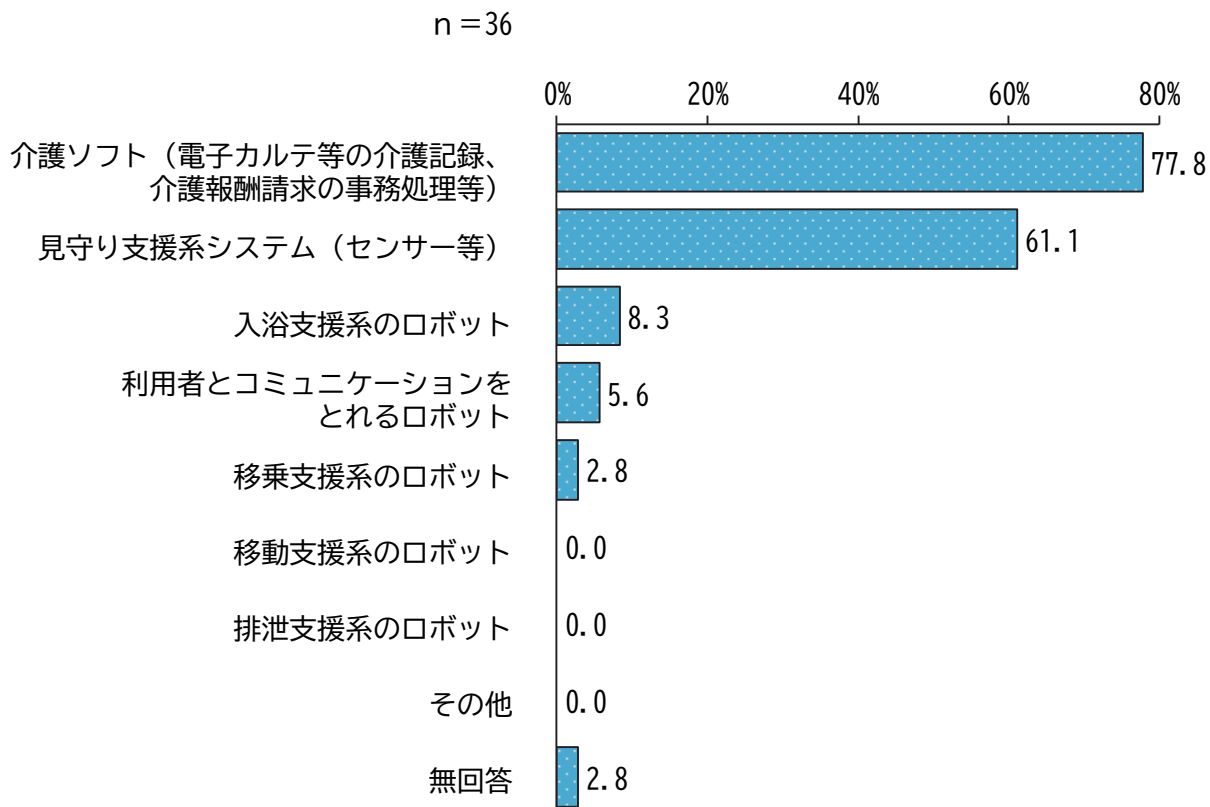
ICT機器や介護ロボットの導入については、「導入していて、活用している」が42.0%と最も多く、次いで「導入していないが、興味はある」が24.7%、「導入しておらず、活用する予定もない」が21.0%となっています。



問31 問30で「1」「2」と回答した事業所にお聞きします。

導入している機器に近いものを下記から選んでください。(〇はいくつでも)

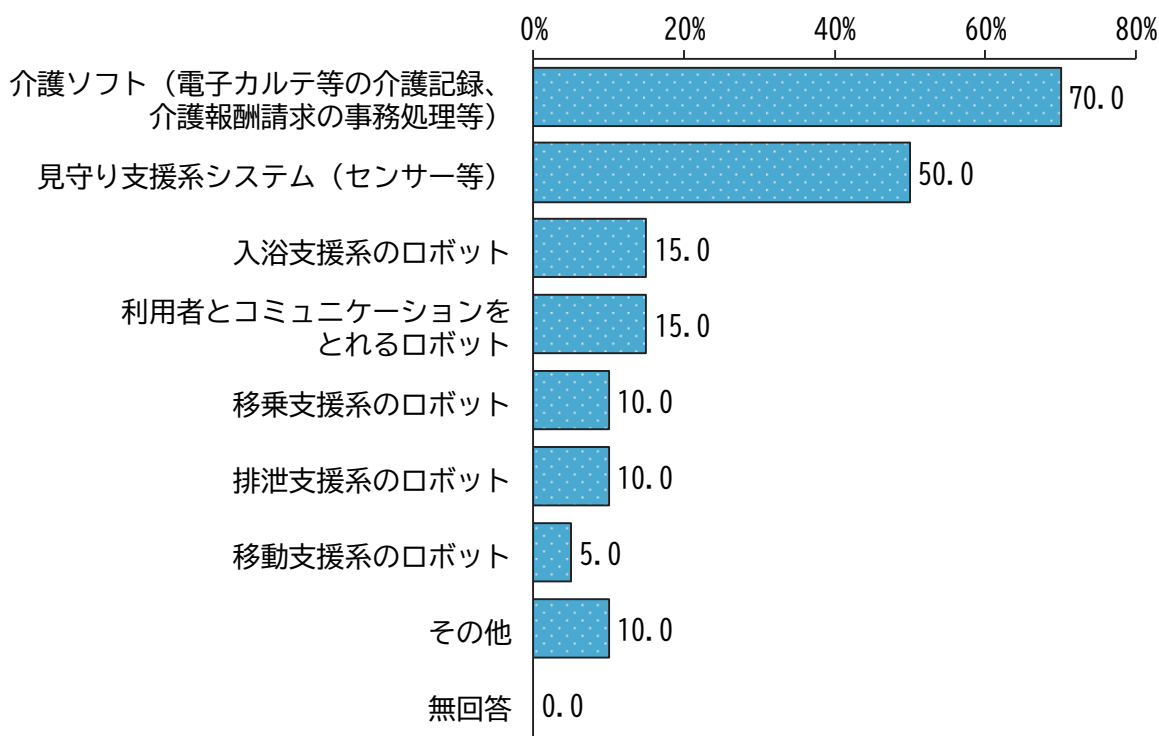
導入している機器については、「介護ソフト（電子カルテ等の介護記録、介護報酬請求の事務処理等）」が77.8%と最も多く、次いで「見守り支援系システム（センサー等）」が61.1%、「入浴支援系のロボット」が8.3%となっています。



問 32 問 30 で「3. 導入していないが、興味はある」と回答した事業所にお聞きします。  
導入したい機器に近いものを下記から選んでください。(〇は3つまで)

導入に興味のある機器については、「介護ソフト（電子カルテ等の介護記録、介護報酬請求の事務処理等）」が70.0%と最も多く、次いで「見守り支援系システム（センサー等）」が50.0%、「入浴支援系のロボット」と「利用者とのコミュニケーションをとれるロボット」が15.0%となっています。

n = 20

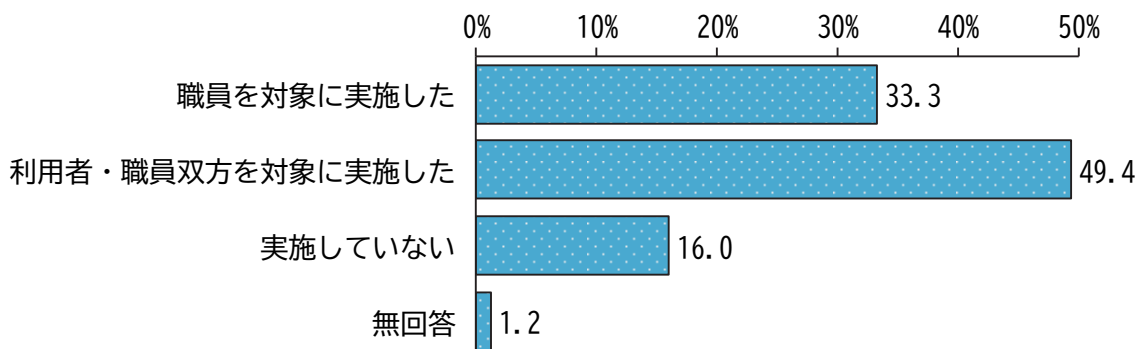


## 7 災害について

問 33 貴事業所では、この1年間に避難訓練を実施しましたか。(〇は1つ)

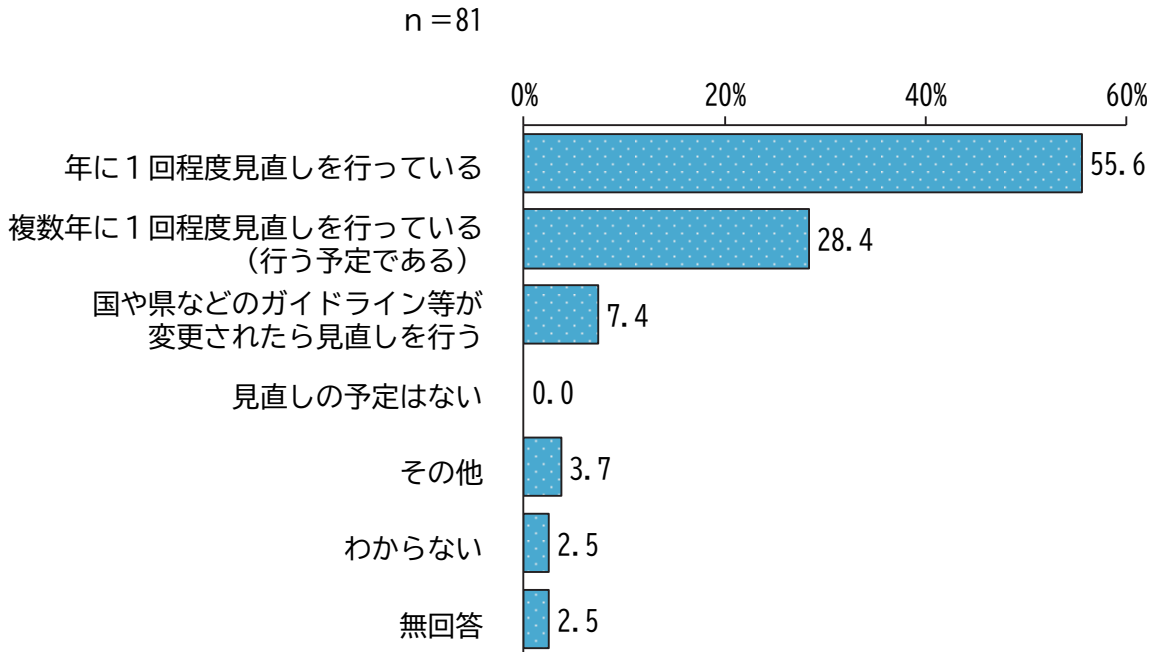
避難訓練の実施状況については、「利用者・職員双方を対象に実施した」が49.4%と最も多く、次いで「職員を対象に実施した」が33.3%、「実施していない」が16.0%となっています。

n = 81



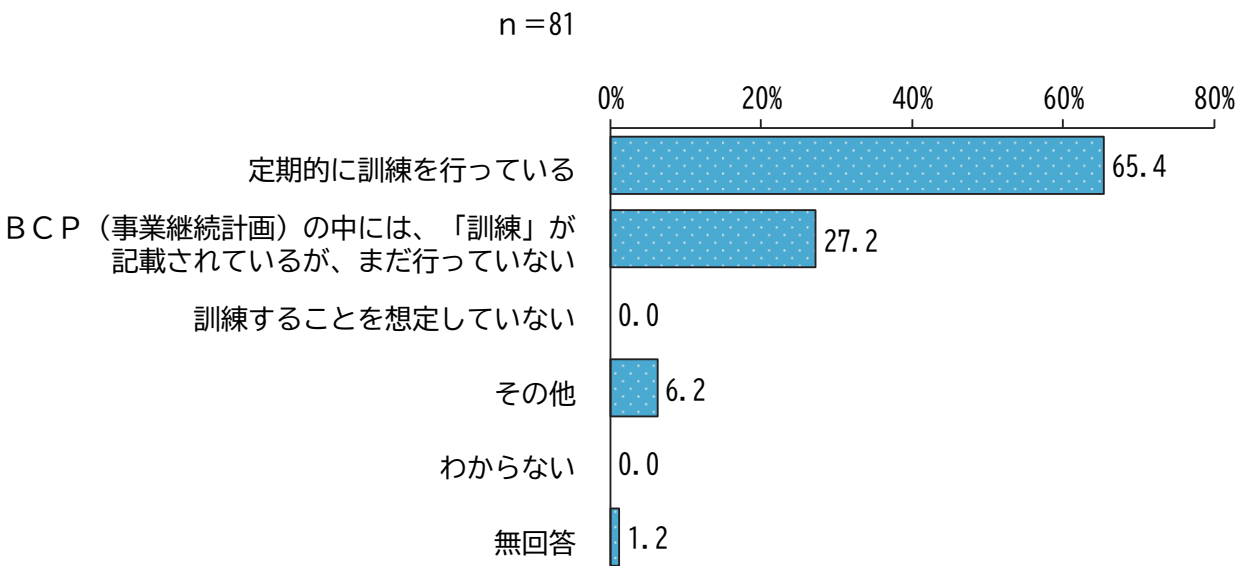
問 34 BCP（事業継続計画）の見直しは行っていますか。（○は1つ）

BCP（事業継続計画）の見直しについては、「年に1回程度見直しを行っている」が55.6%と最も多く、次いで「複数年に1回程度見直しを行っている（行う予定である）」が28.4%、「国や県などのガイドライン等が変更されたら見直しを行う」が7.4%となっています。



問 35 BCP（事業継続計画）に基づく訓練は行われていますか。（○は1つ）

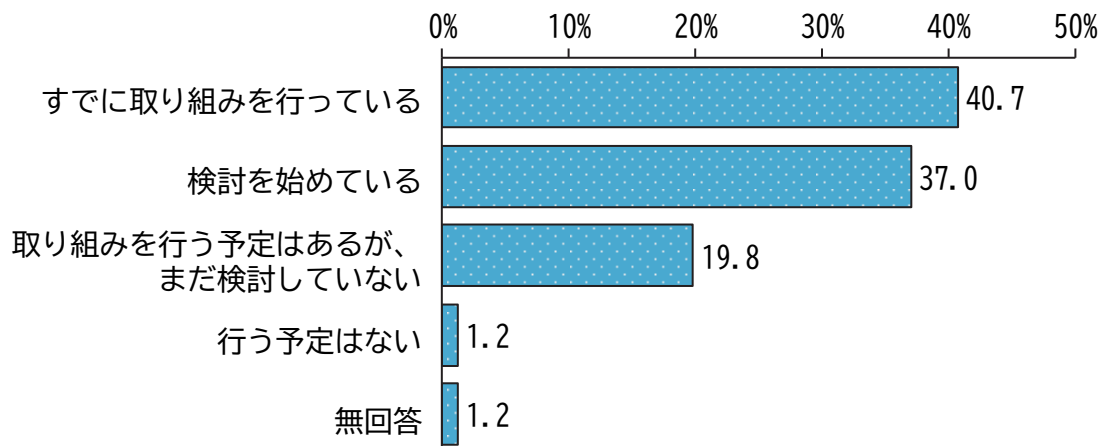
BCP（事業継続計画）に基づく訓練については、「定期的に訓練を行っている」が65.4%と最も多く、次いで「BCP（事業継続計画）の中には、「訓練」が記載されているが、まだ行っていない」が27.2%となっています。



問 37 大地震などの大規模災害が発生した際の事業継続について、取り組みを行っていますか。  
 (○は1つ)

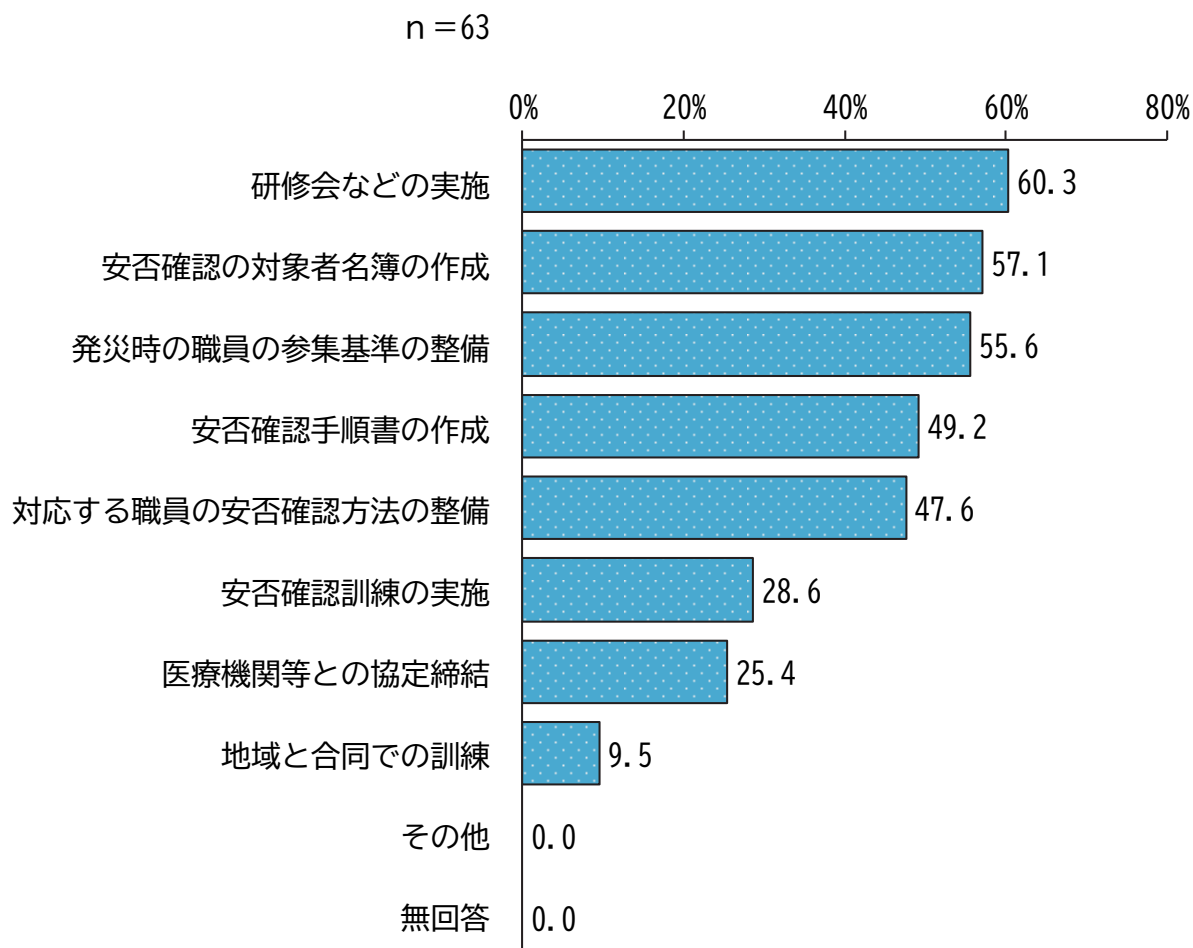
大規模災害が発生した際の事業継続への取り組みについては、「すでに取り組みを行っている」が40.7%と最も多く、次いで「検討を始めている」が37.0%、「取り組みを行う予定はあるが、まだ検討していない」が19.8%となっています。

n = 81



問 38 問 37 で「1」「2」と回答した事業所にお聞きします。  
 すでに行っている、または検討を行っている取り組みの内容を教えてください。  
 (〇はいくつでも)

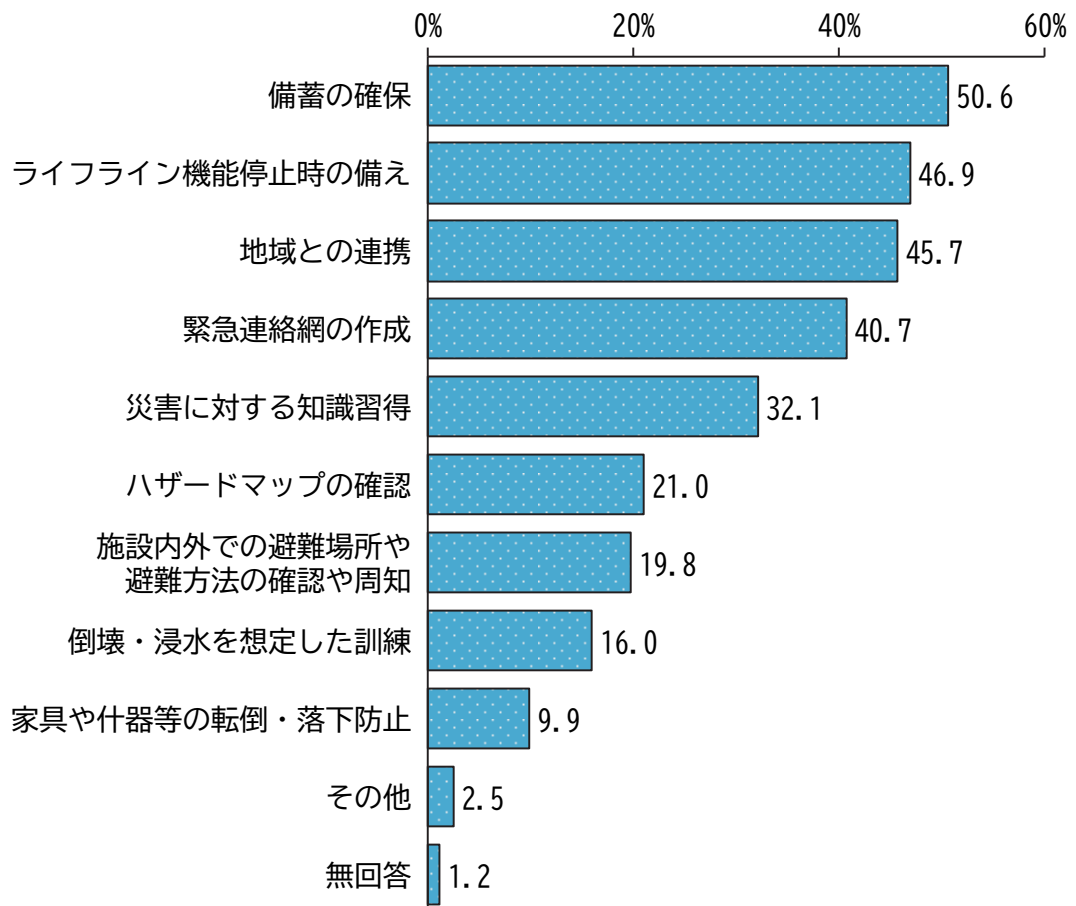
大規模災害が発生した際の事業継続への取り組み内容については、「研修会などの実施」が 60.3%と最も多く、次いで「安否確認の対象者名簿の作成」が 57.1%、「発災時の職員の参集基準の整備」が 55.6%となっています。



問 39 大地震や水害（河川氾濫・決壊や建物浸水）に対し、貴事業所ではどのような取り組みが必要と考えられていますか。（〇は3つまで）

大規模災害に対する必要な取り組みについては、「備蓄の確保」が 50.6%と最も多く、次いで「ライフライン機能停止時の備え」が 46.9%、「地域との連携」が 45.7%となっています。

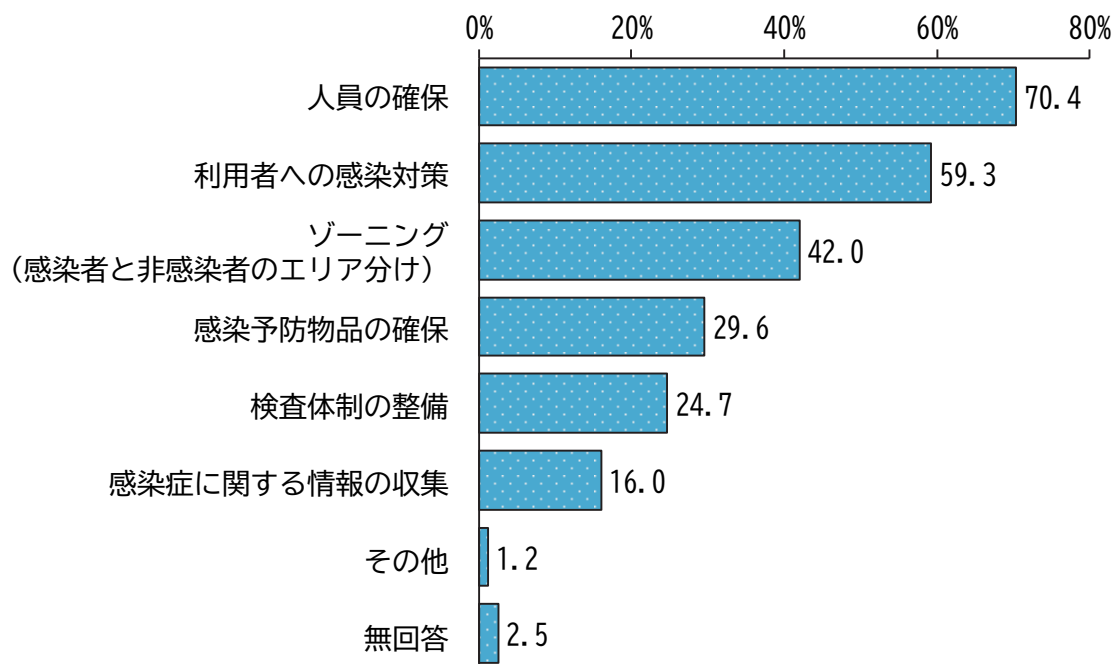
n = 81



問 40 新型コロナウイルス感染症などの感染症での対応で大変だと感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

新型コロナウイルス感染症の対応については、「人員の確保」が70.4%と最も多く、次いで「利用者への感染対策」が59.3%、「ゾーニング（感染者と非感染者のエリア分け）」が42.0%となっています。

n=81



## 第 6 章 介護支援専門員調査

---

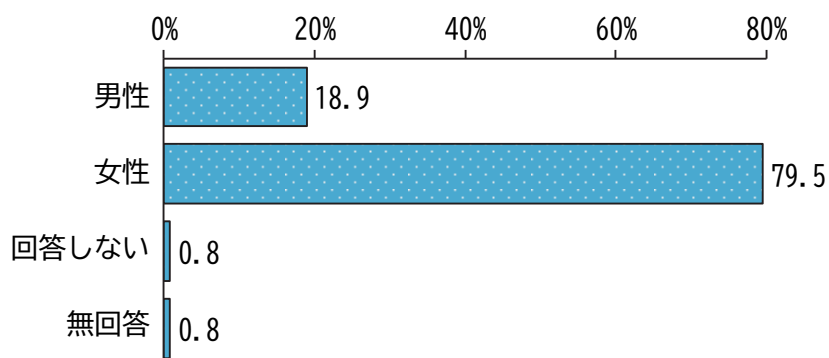


## 1 介護支援専門員としてのあなたご自身について

問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

性別については、「女性」が79.5%、「男性」が18.9%となっています。

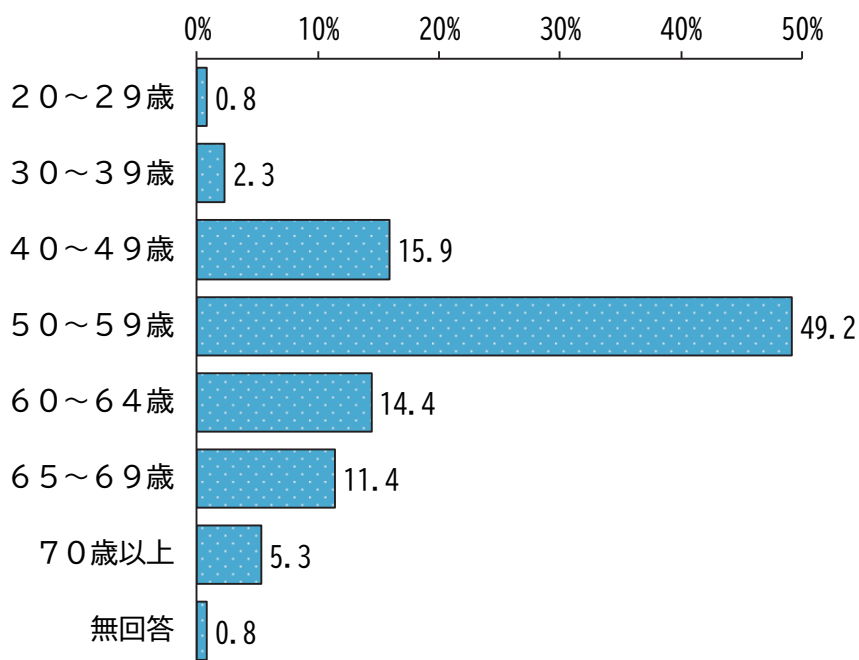
n = 132



問2 あなたの現在の年齢をお答えください。(〇は1つ)

年齢については、「50～59歳」が49.2%と最も多く、次いで「40～49歳」が15.9%、「60～64歳」が14.4%となっています。

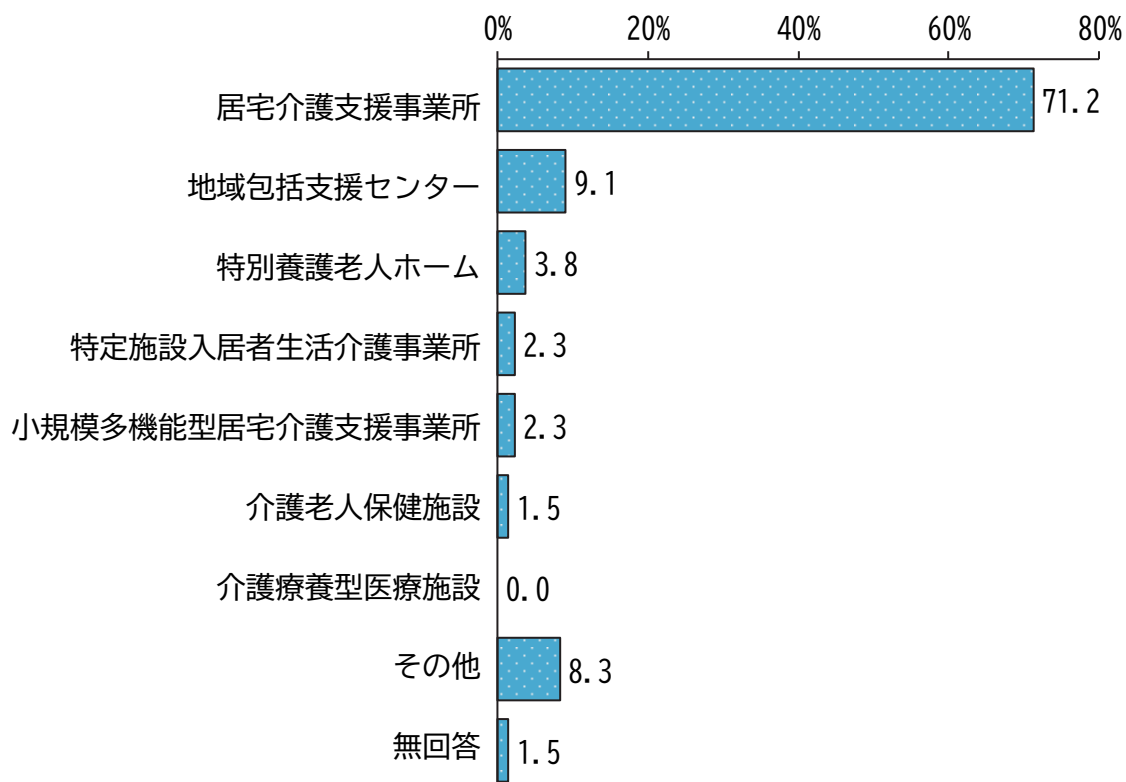
n = 132



問3 あなたが現在働いている事業所・施設の種別は次のうちどれですか。(〇は1つ)

働いている事業所・施設については、「居宅介護支援事業所」が71.2%と最も多く、次いで「地域包括支援センター」が9.1%、「特別養護老人ホーム」が3.8%となっています。

n = 132

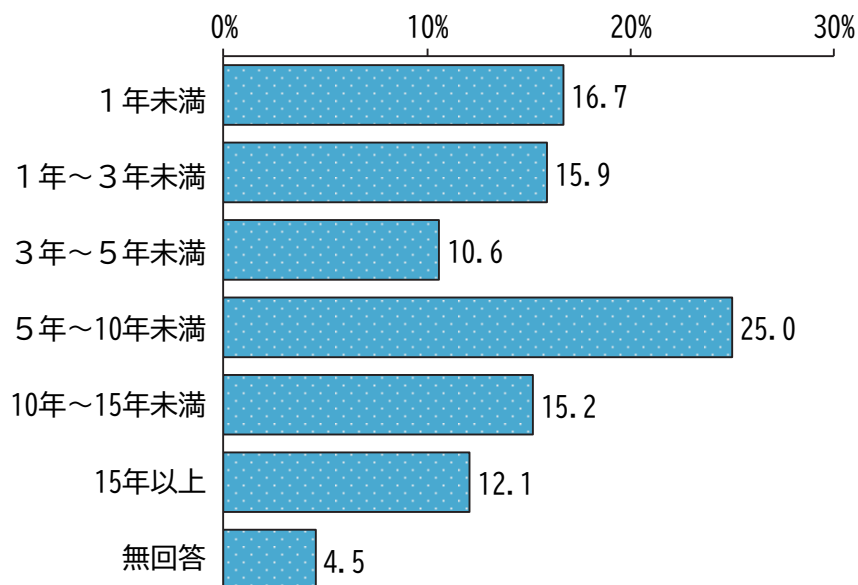


問4 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護支援専門員としての通算経験年数を教えてください。（おおよその数字を記入）

(1) 在籍年数

介護支援専門員としての在籍年数については、「5年～10年未満」が25.0%と最も多く、次いで「1年未満」が16.7%、「1年～3年未満」が15.9%となっています。

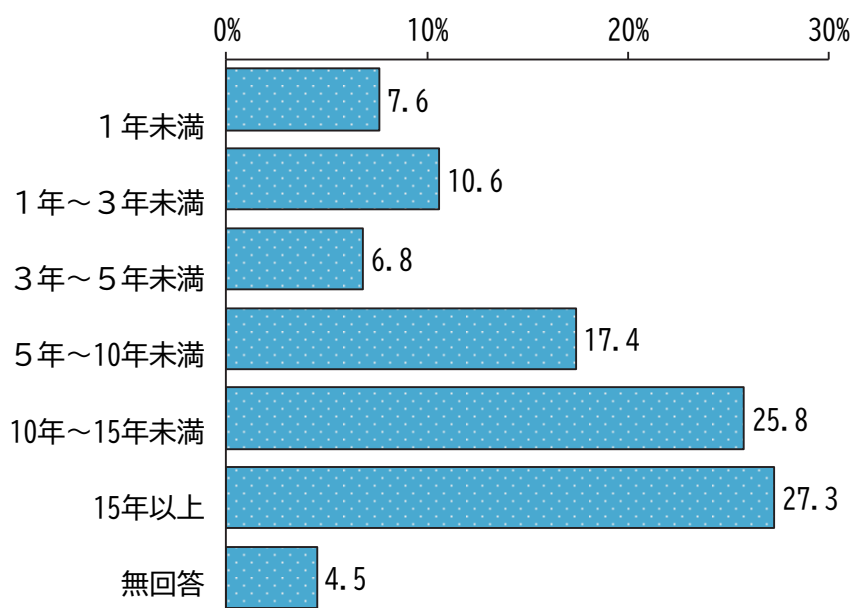
n=132



(2) 通算経験年数

介護支援専門員としての通算経験年数については、「15年以上」が27.3%と最も多く、次いで「10年～15年未満」が25.8%、「5年～10年未満」が17.4%となっています。

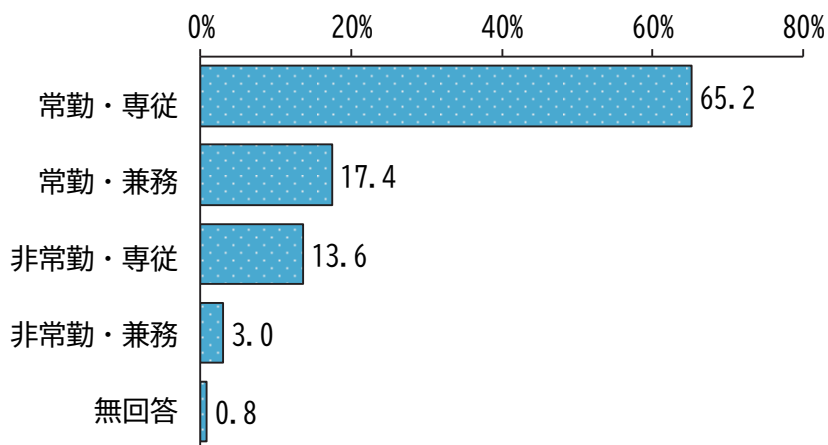
n=132



問5 あなたの現在の勤務形態は、次のうちどれですか。(○は1つ)

勤務形態については、「常勤・専従」が65.2%と最も多く、次いで「常勤・兼務」が17.4%、「非常勤・専従」が13.6%となっています。

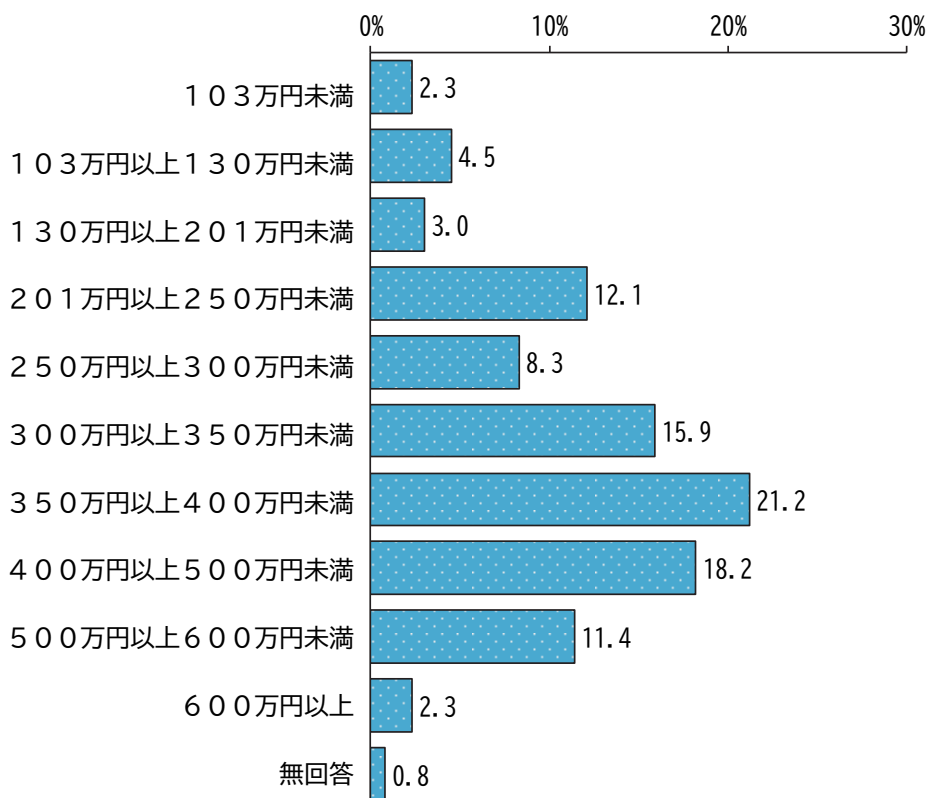
n = 132



問6 あなたの昨年の「総収入（年収）」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の場合は、1年間の年収を想定してお答えください。(○は1つ)

総収入については、「350万円以上400万円未満」が21.2%と最も多く、次いで「400万円以上500万円未満」が18.2%、「300万円以上350万円未満」が15.9%となっています。

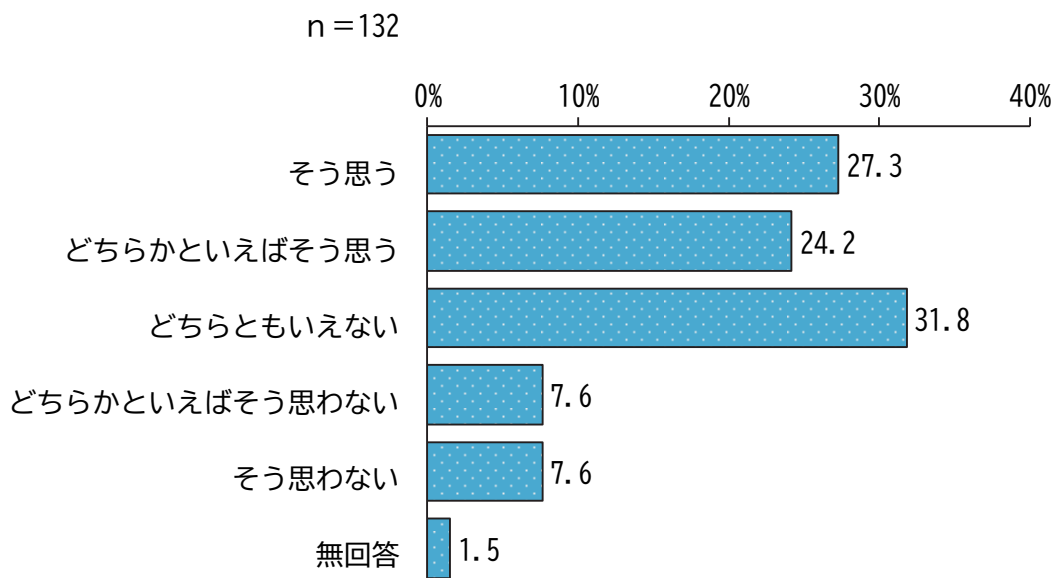
n = 132



問7 あなたが働く職場について伺います。(それぞれ〇は1つ)
--------------------------------

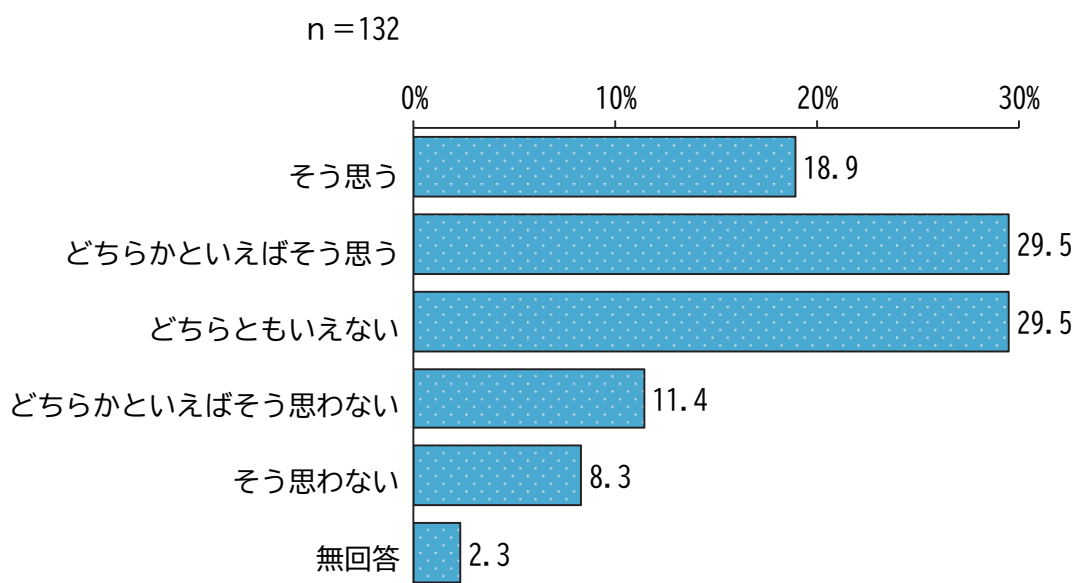
## A. 子育てがしやすい

子育てがしやすいかについては、「どちらともいえない」が31.8%と最も多く、次いで「そう思う」が27.3%、「どちらかといえばそう思う」が24.2%となっています。



## B. 介護との両立がしやすい

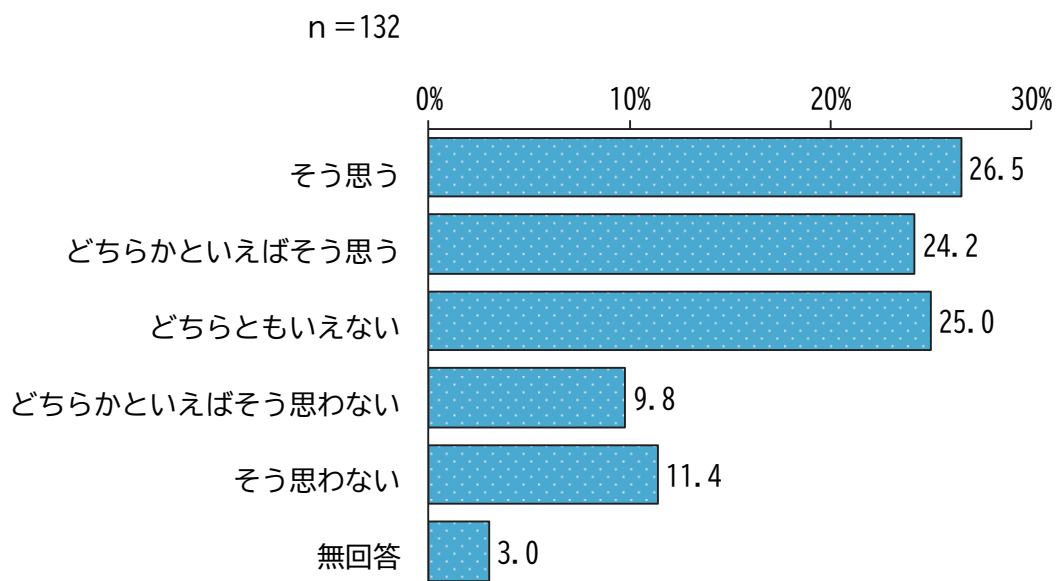
介護との両立がしやすいかについては、「どちらかといえばそう思う」と「どちらともいえない」が29.5%と最も多く、次いで「そう思う」が18.9%、「どちらかといえばそう思わない」が11.4%となっています。



## 第6章 介護支援専門員調査

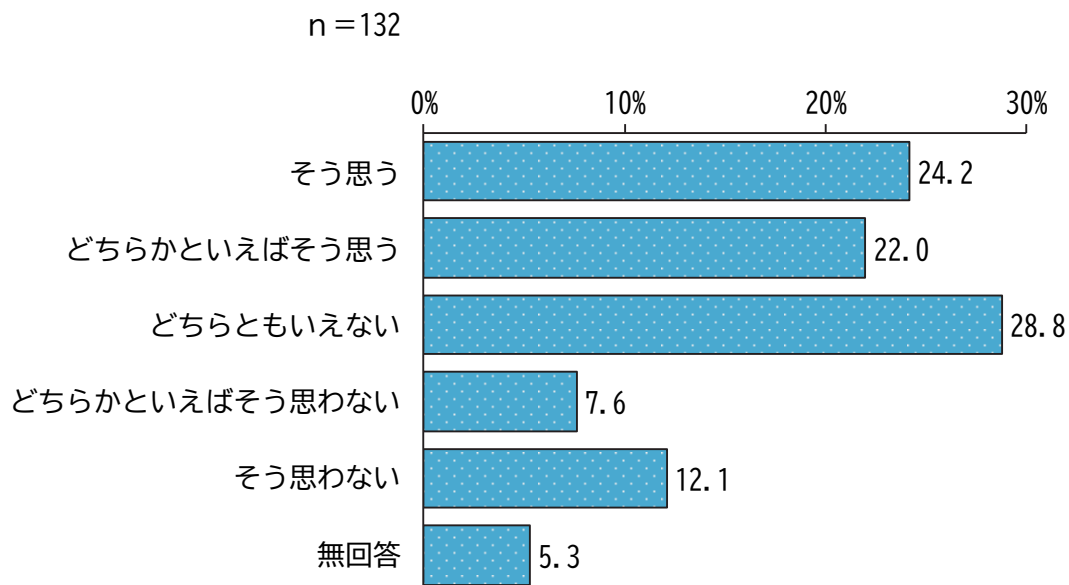
### C. 産前産後休暇がとりやすい

産前産後休暇がとりやすいかについては、「そう思う」が26.5%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が25.0%、「どちらかといえばそう思う」が24.2%となっています。



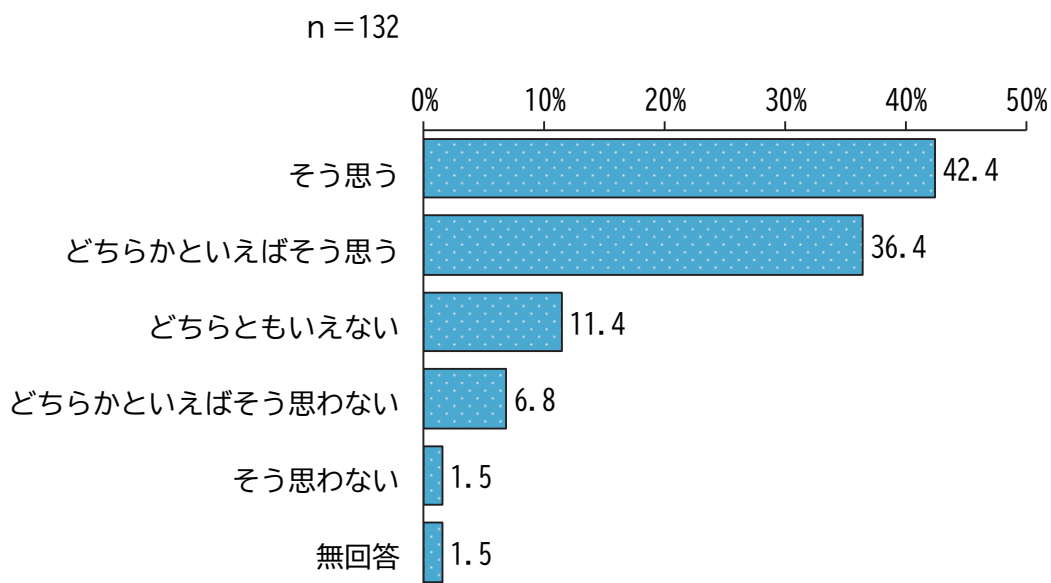
### D. 育児休暇がとりやすい

育児休暇がとりやすいかについては、「どちらともいえない」が28.8%と最も多く、次いで「そう思う」が24.2%、「どちらかといえばそう思う」が22.0%となっています。



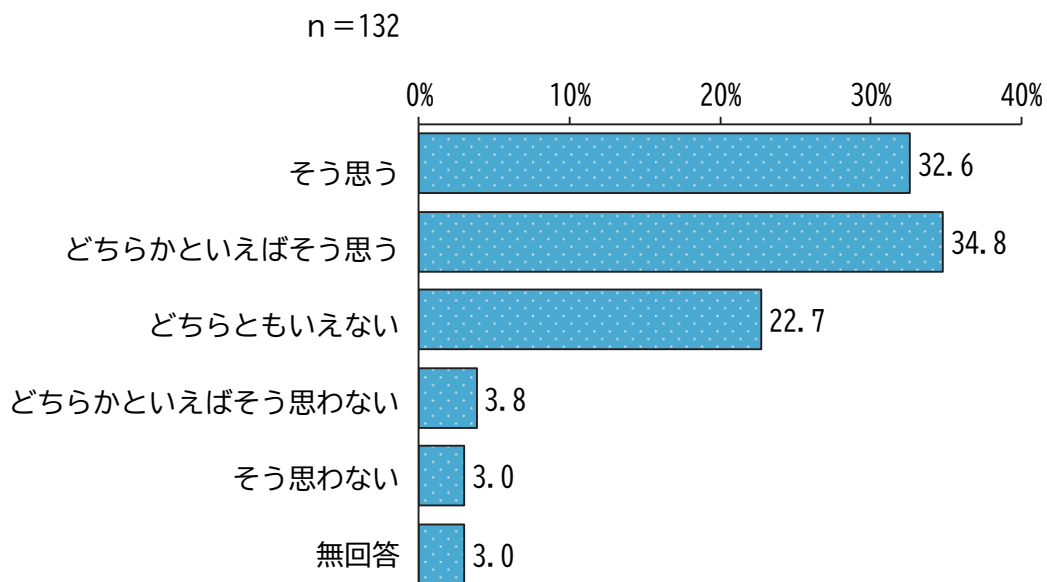
## E. 有給休暇がとりやすい

有給休暇がとりやすいかについては、「そう思う」が42.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が36.4%、「どちらともいえない」が11.4%となっています。



## F. 昇給や昇格、意思決定において男女が平等である

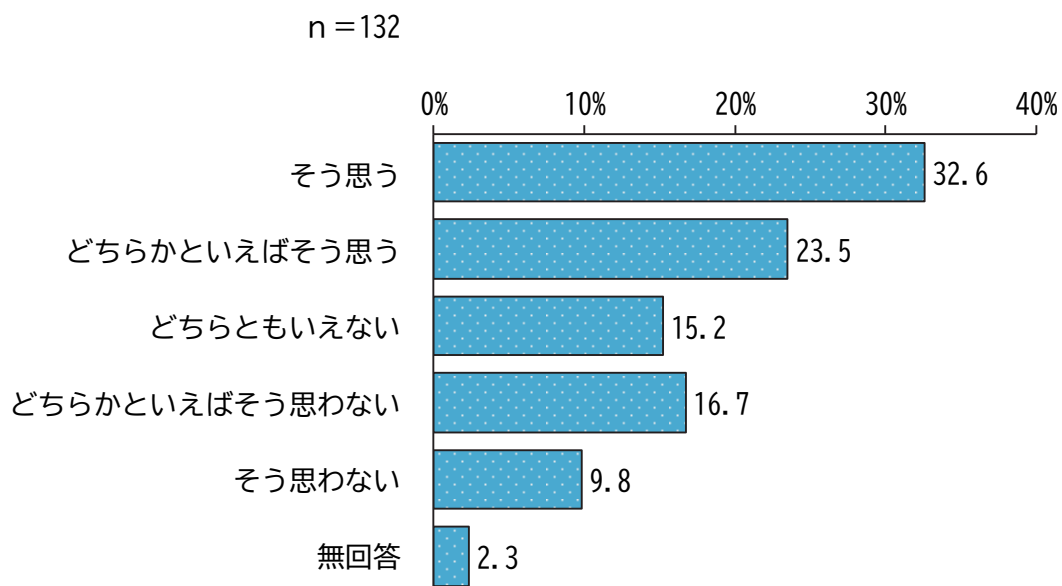
昇給や昇格、意思決定において男女が平等であるかについては、「どちらかといえばそう思う」が34.8%と最も多く、次いで「そう思う」が32.6%、「どちらともいえない」が22.7%となっています。



## 第6章 介護支援専門員調査

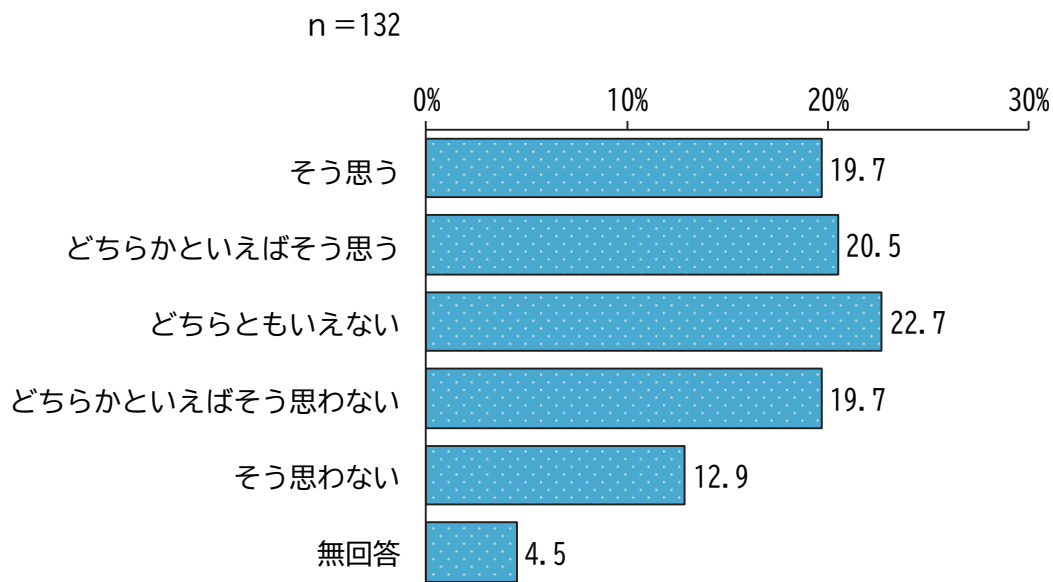
### G. サービス残業を行うことがある

サービス残業を行うことがあるかについては、「そう思う」が32.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.5%、「どちらかといえばそう思わない」が16.7%となっています。



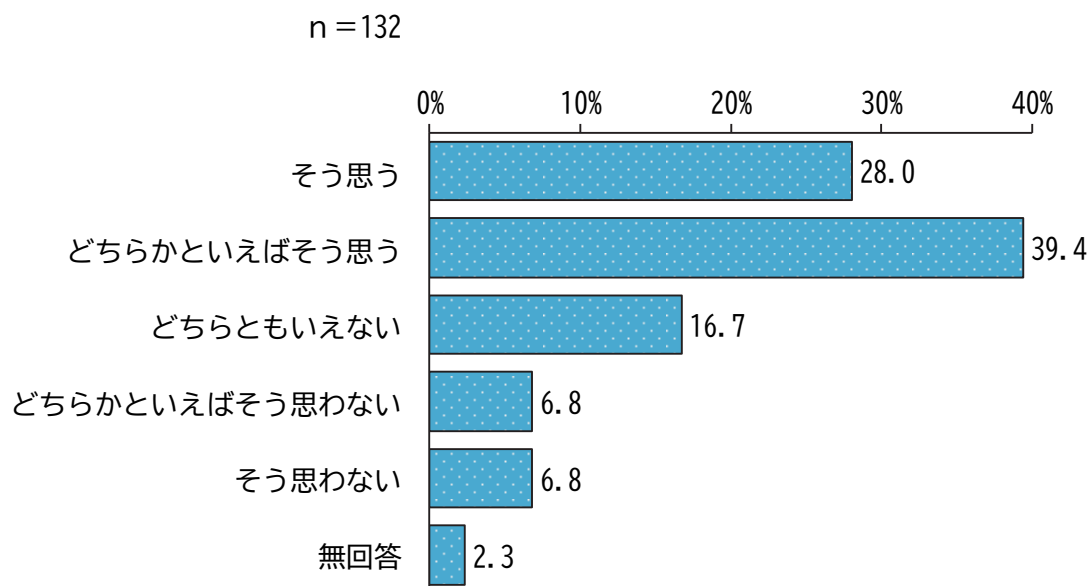
### H. 時間外勤務が多い

時間外勤務が多いかについては、「どちらともいえない」が22.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が20.5%、「そう思う」と「どちらかといえばそう思わない」が19.7%となっています。



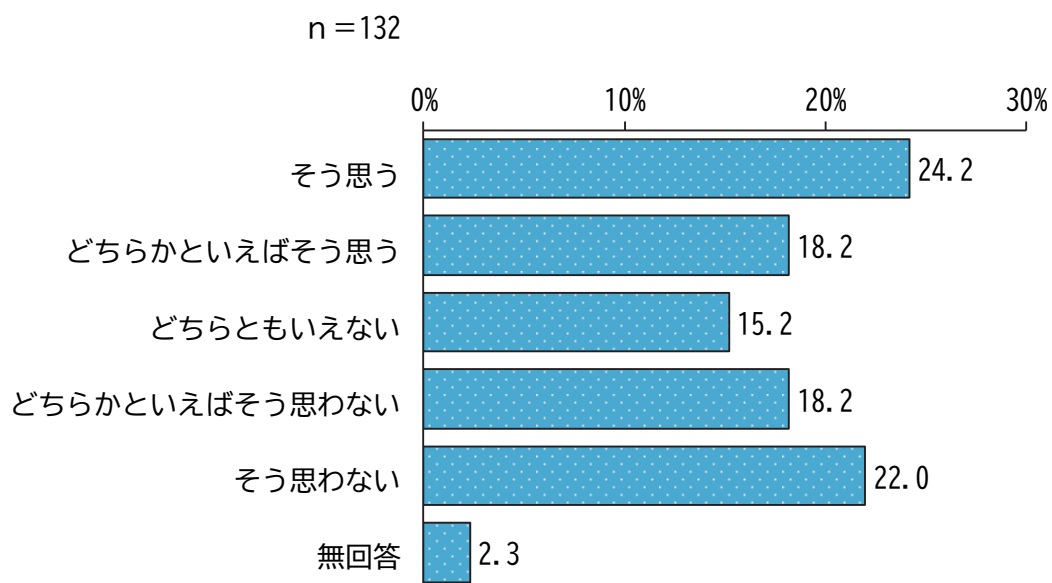
## I. ハラスメントに対する対策がなされている

ハラスメントに対する対策がなされているかについては、「どちらかといえばそう思う」が39.4%と最も多く、次いで「そう思う」が28.0%、「どちらともいえない」が16.7%となっています。



## J. テレワーク（Web会議や研修など）や在宅勤務の体制が整っている

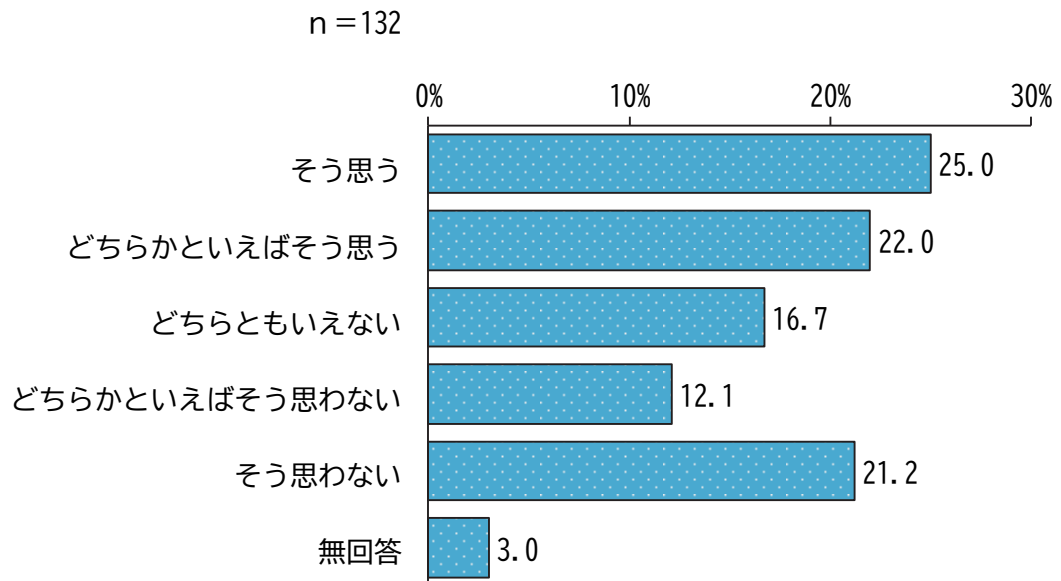
テレワーク（Web会議や研修など）や在宅勤務の体制が整っているかについては、「そう思う」が24.2%と最も多く、次いで「そう思わない」が22.0%、「どちらかといえばそう思う」と「どちらかといえばそう思わない」が18.2%となっています。



## 第6章 介護支援専門員調査

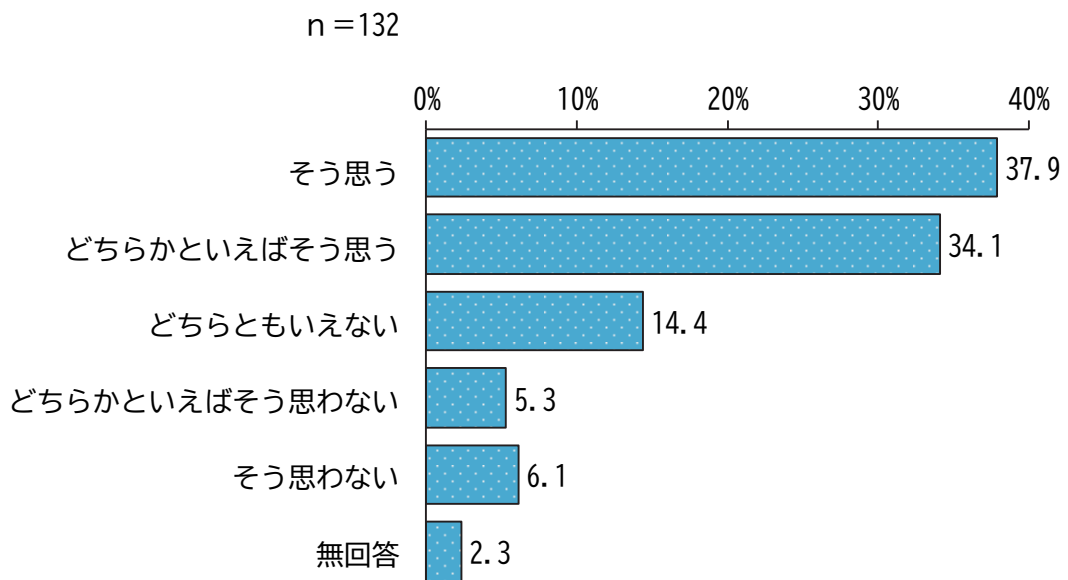
### K. 時短勤務やフレックスなど個人への配慮がなされている

時短勤務やフレックスなど個人への配慮がなされているかについては、「そう思う」が25.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が22.0%、「そう思わない」が21.2%となっています。



### L. 研修会や交流会への参加など、スキルアップの機会が保証されている

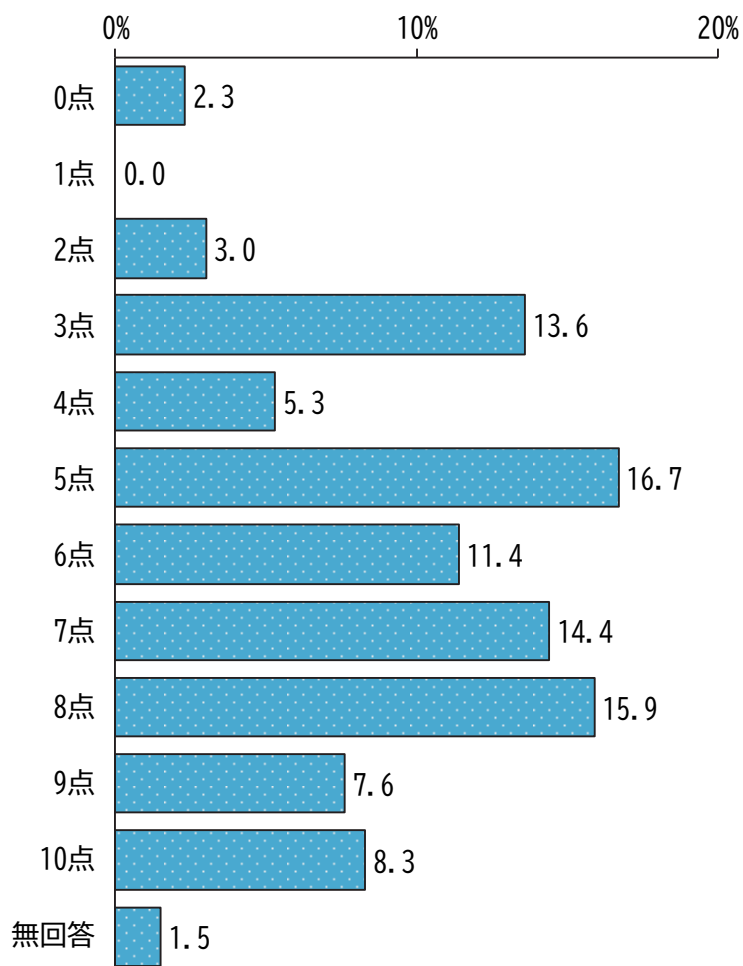
研修会や交流会への参加など、スキルアップの機会が保証されているかについては、「そう思う」が37.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.1%、「どちらともいえない」が14.4%となっています。



問8 あなたは今の労働環境にどの程度満足していますか。(○は1つ)

労働環境の満足度については、「5点」が16.7%と最も多く、次いで「8点」が15.9%、「7点」が14.4%となっています。

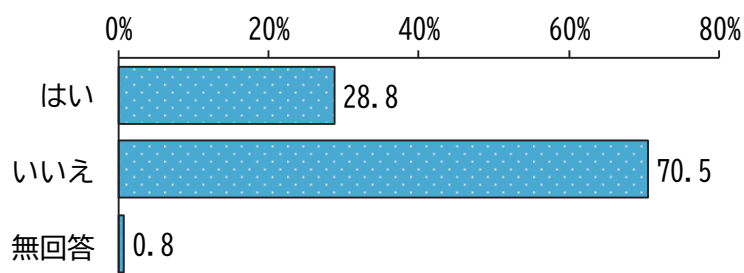
n = 132



問9 主任介護支援専門員の資格を持っていますか。(○は1つ)

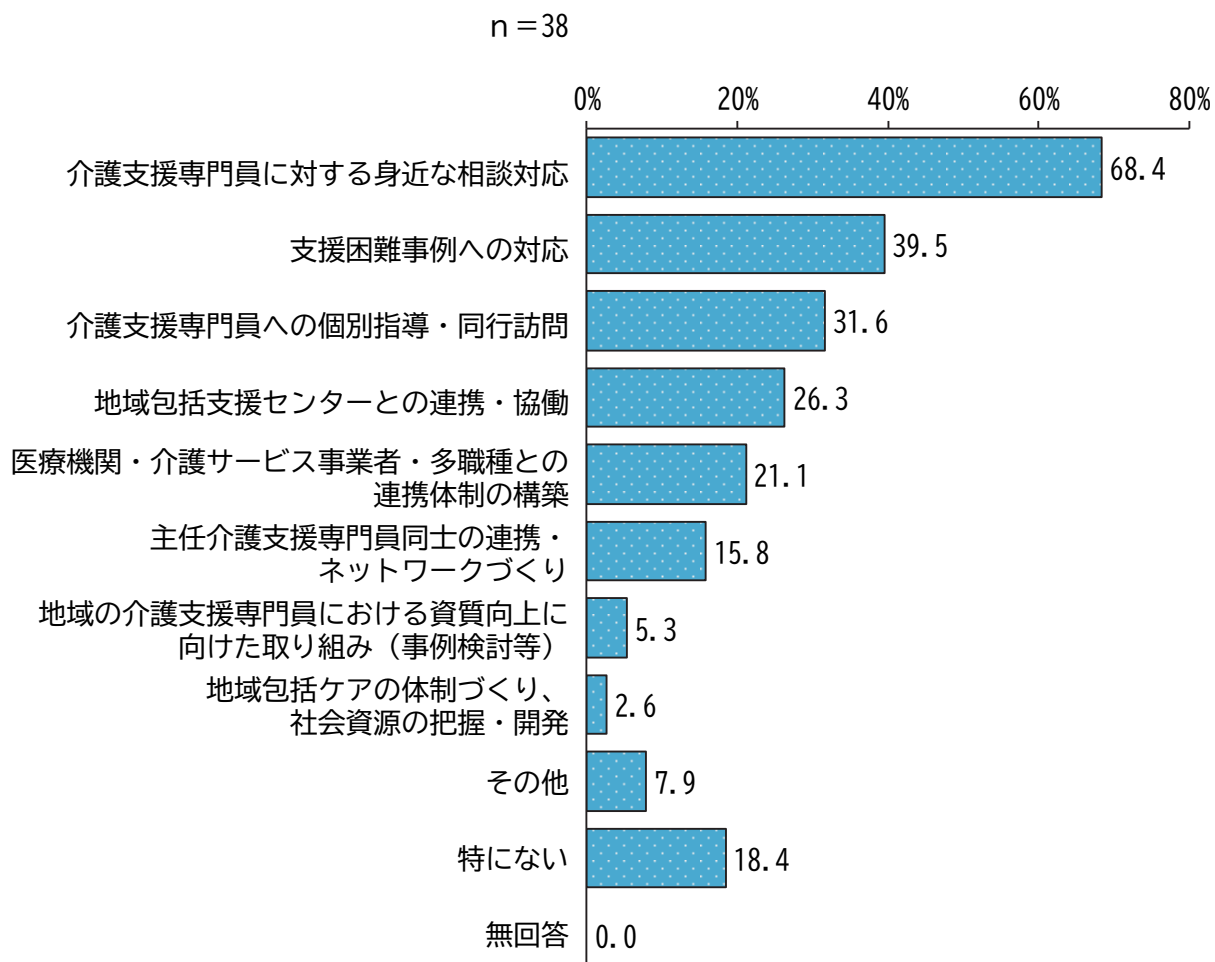
主任介護支援専門員の資格の有無については、「いいえ」が70.5%、「はい」が28.8%となっています。

n = 132



問9① ①～②は問9で「1. はい」と回答した方のみお答えください。  
主任介護支援専門員として行っている業務は何ですか。(主なもの3つまで〇)

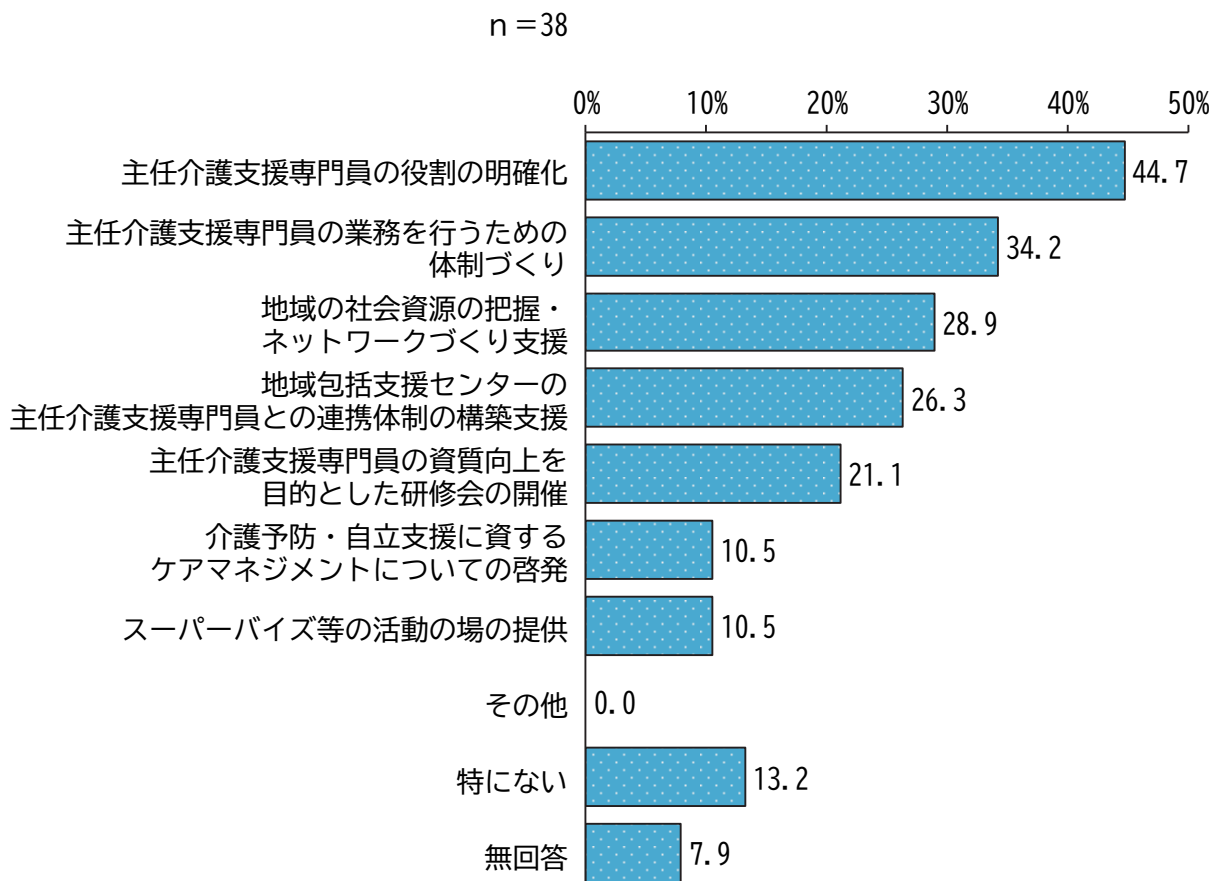
主任介護支援専門員として行っている業務については、「介護支援専門員に対する身近な相談対応」が68.4%と最も多く、次いで「支援困難事例への対応」が39.5%、「介護支援専門員への個別指導・同行訪問」が31.6%となっています。



問9② ①～②問9で「1. はい」と回答した方のみお答えください。

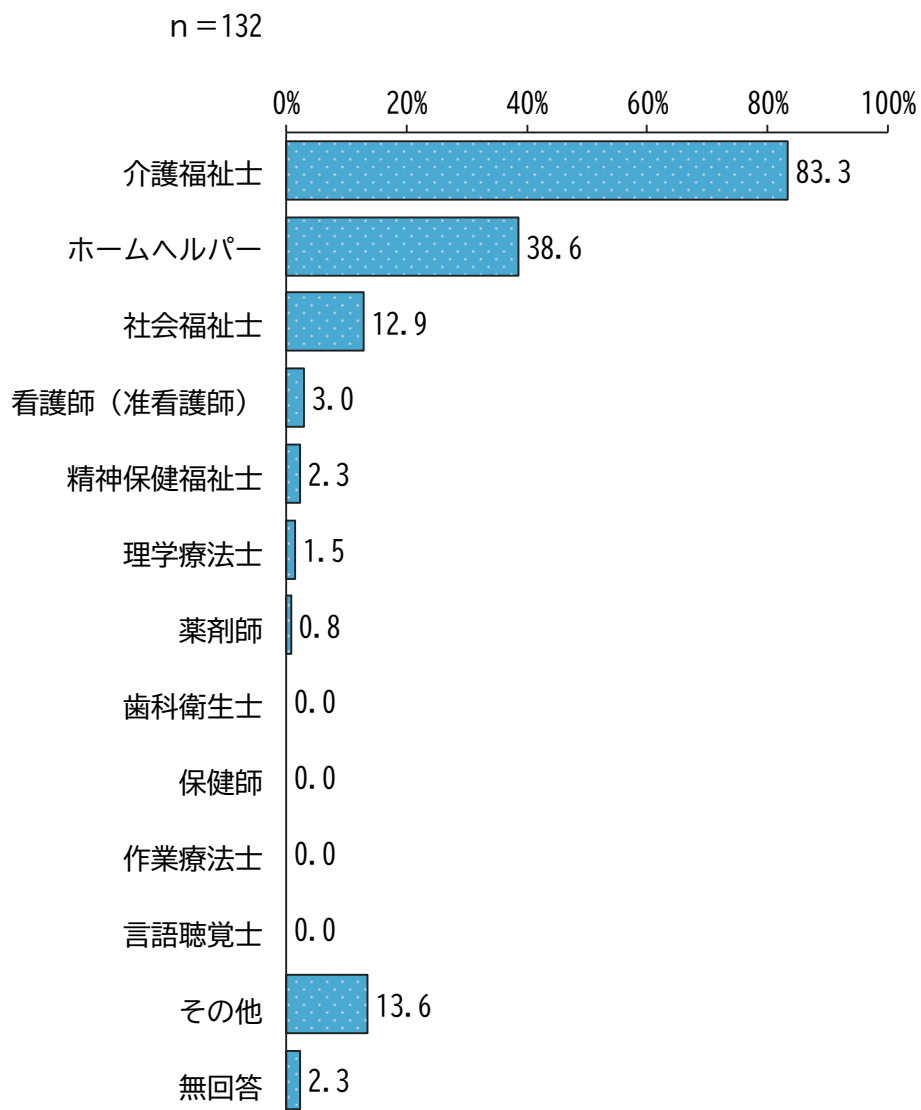
主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要ですか。(〇はいくつでも)

主任介護支援専門員として必要な支援の充実については、「主任介護支援専門員の役割の明確化」が44.7%と最も多く、次いで「主任介護支援専門員の業務を行うための体制づくり」が34.2%、「地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援」が28.9%となっています。



問10 介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。  
 (お持ちの資格すべてに○)

保健医療福祉関係の資格については、「介護福祉士」が83.3%と最も多く、次いで「ホームヘルパー」が38.6%、「社会福祉士」が12.9%となっています。

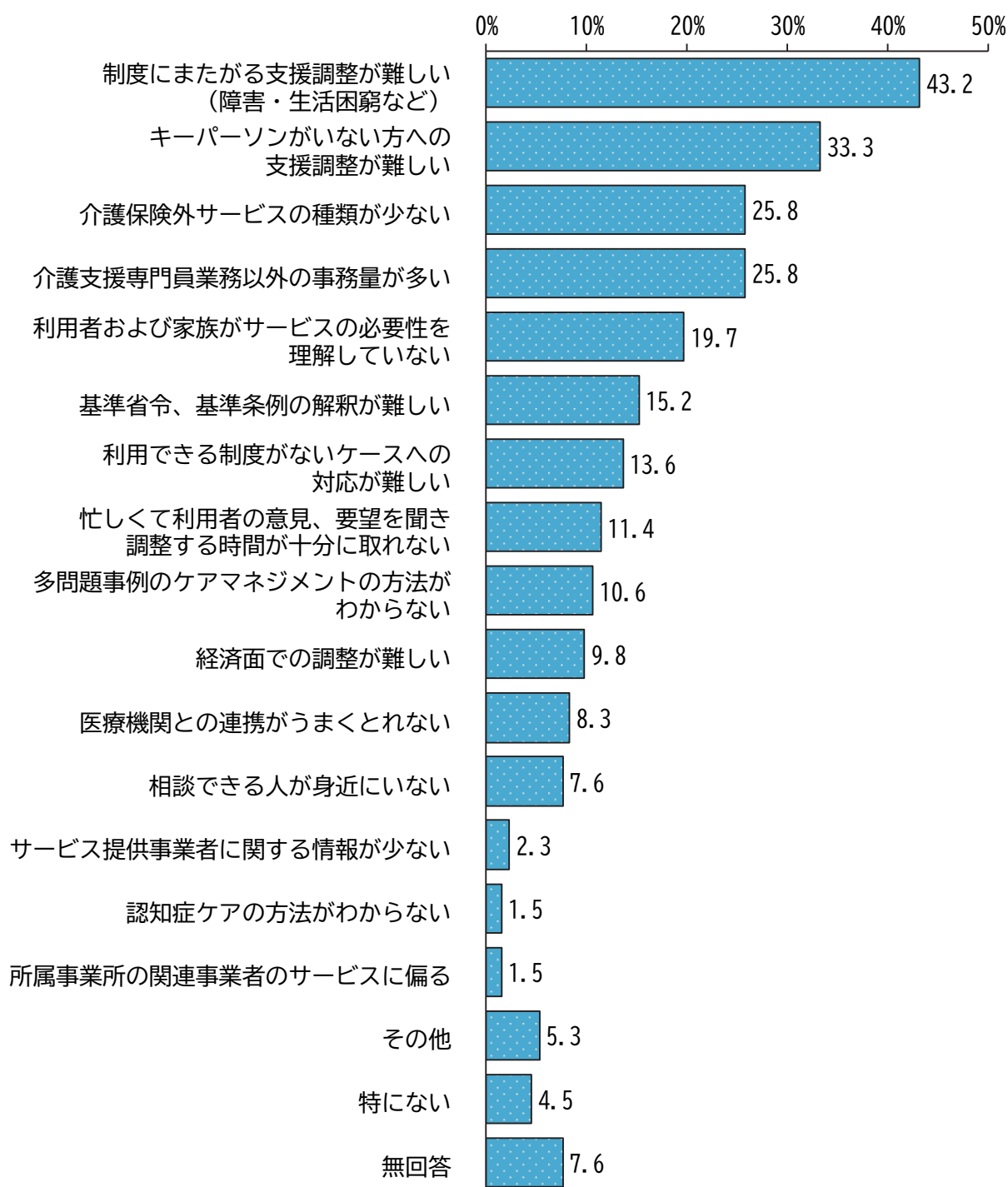


## 2 介護支援専門員業務全般について

問11 ケアマネジメント業務を行う上での課題は何ですか。(主なもの3つまで○)

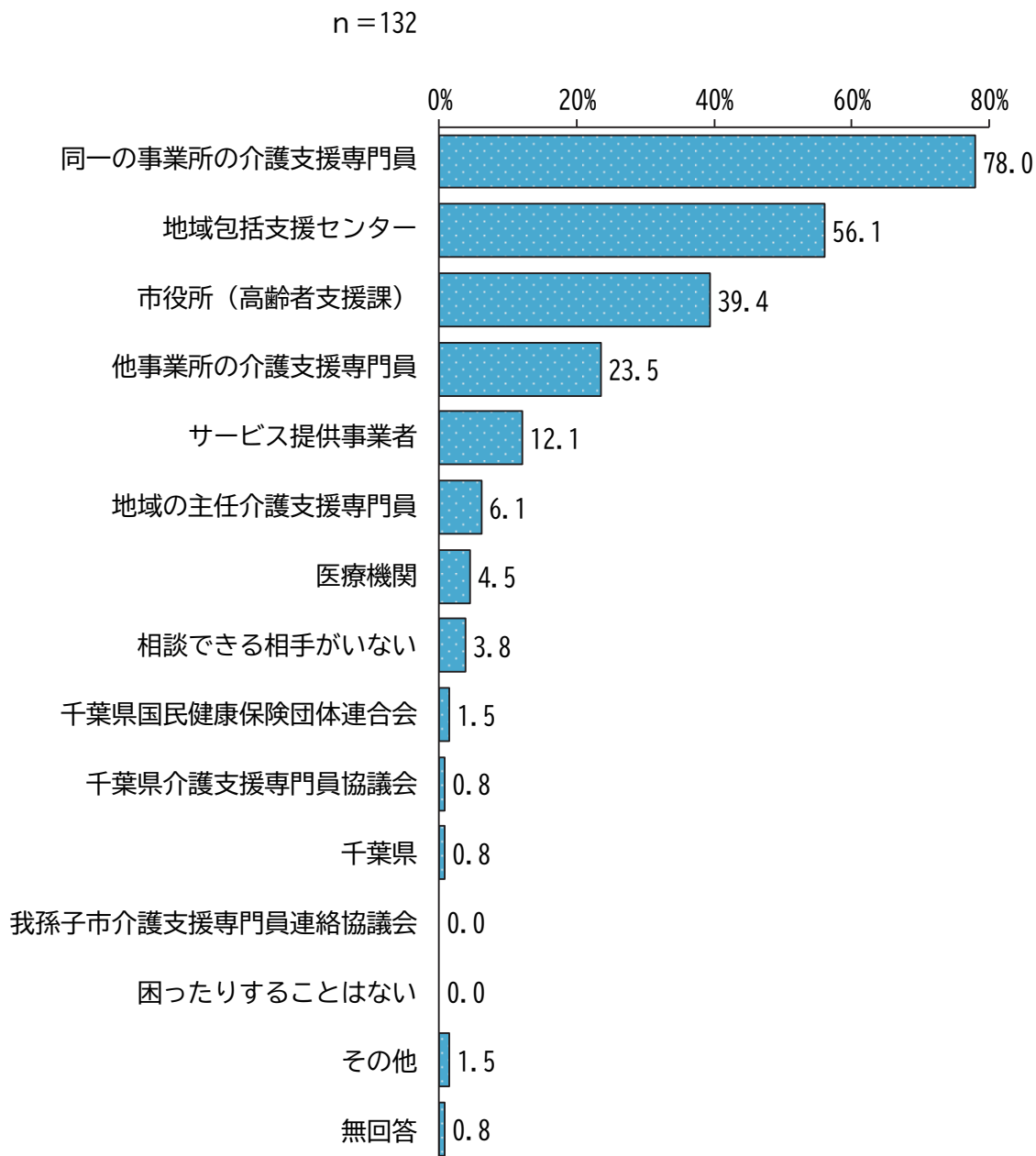
ケアマネジメント業務での課題については、「制度にまたがる支援調整が難しい(障害・生活困窮など)」が43.2%と最も多く、次いで「キーパーソンがいない方への支援調整が難しい」が33.3%、「介護保険外サービスの種類が少ない」と「介護支援専門員業務以外の事務量が多い」が25.8%となっています。

n = 132



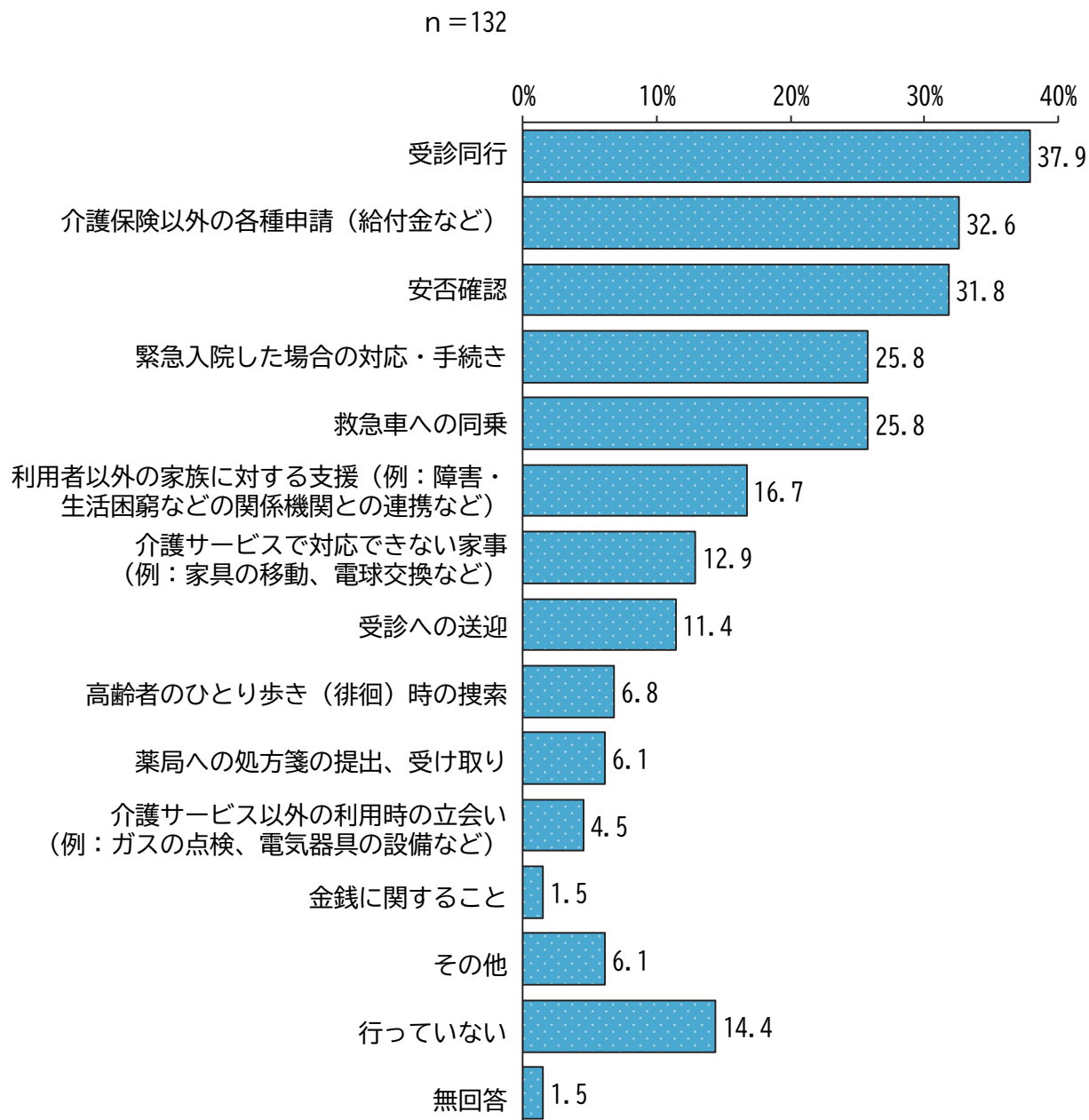
問12 ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったとき誰に相談しますか。(主なもの3つまで○)

ケアマネジメント業務の中での相談者については、「同一の事業所の介護支援専門員」が78.0%と最も多く、次いで「地域包括支援センター」が56.1%、「市役所（高齢者支援課）」が39.4%となっています。



問13 担当利用者に対し、ケアマネジメント業務以外に、次のような支援を行っていますか。  
(主なものを3つまで○)

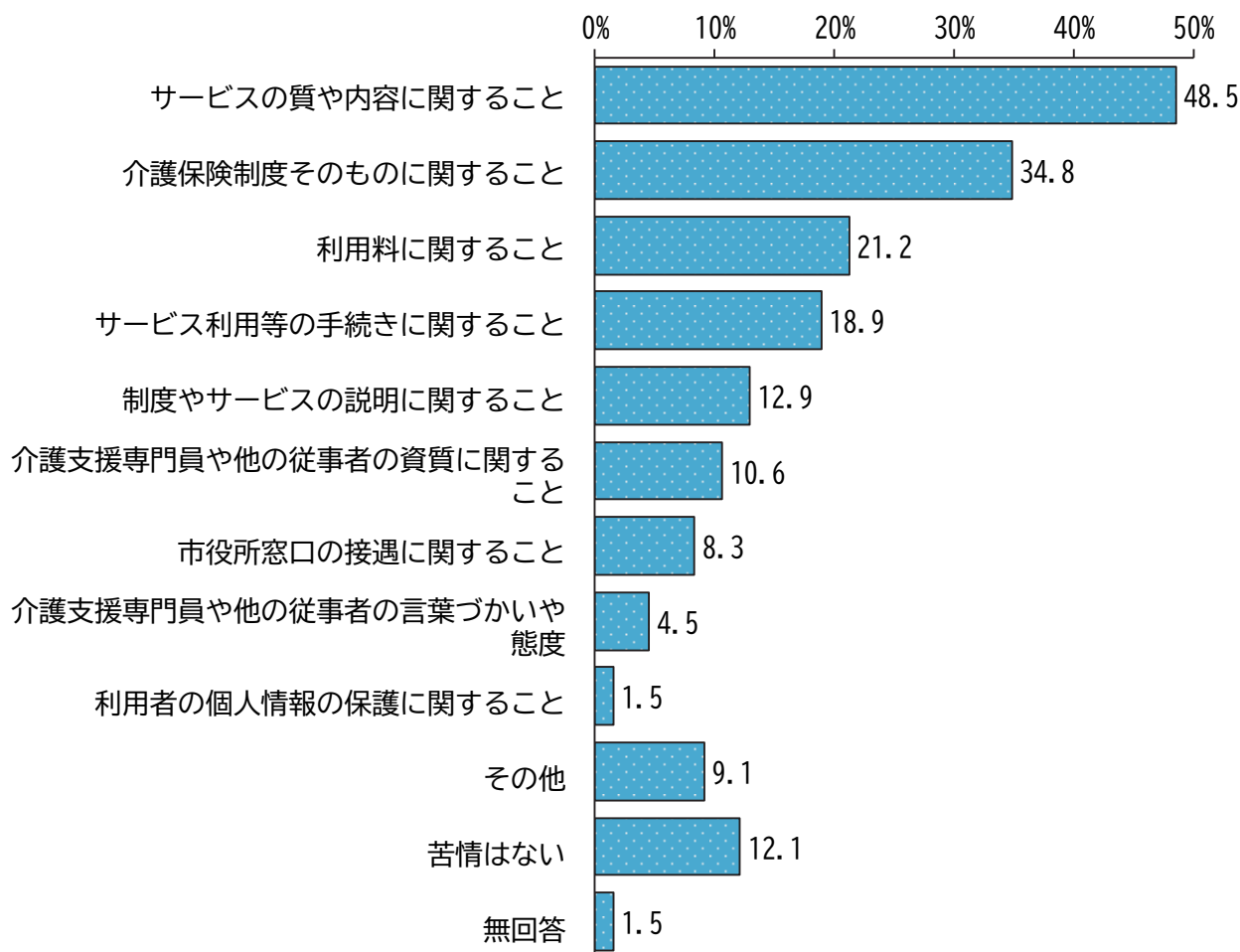
ケアマネジメント業務以外の支援については、「受診同行」が37.9%と最も多く、次いで「介護保険以外の各種申請（給付金など）」が32.6%、「安否確認」が31.8%となっています。



問14 利用者や家族からあげられる苦情の内容としては、どういったものが多くありますか。  
(主なものを3つまで○)

利用者や家族からの苦情の内容については、「サービスの質や内容に関すること」が48.5%と最も多く、次いで「介護保険制度そのものに関すること」が34.8%、「利用料に関すること」が21.2%となっています。

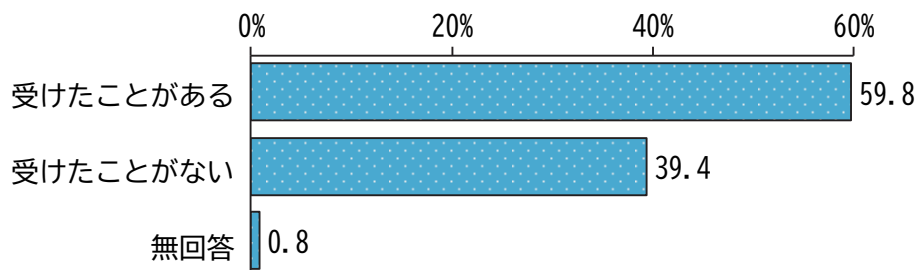
n = 132



問 15 介護支援専門員として働く中で、これまで利用者や家族からハラスメントを受けたことはありますか。(〇は1つ)

利用者や家族からのハラスメントについては、「受けたことがある」が 59.8%、「受けたことがない」が 39.4%となっています。

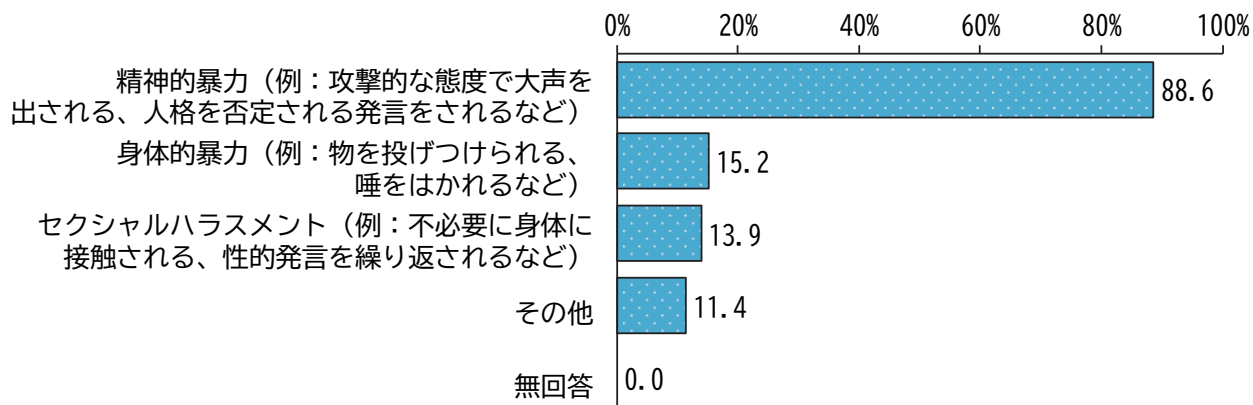
n = 132



問 15① ①～③は問 15 で「1. 受けたことがある」と回答した方のみお答えください。その内容として、あてはまるものを教えてください。(〇はいくつでも)

ハラスメントを受けた内容については、「精神的暴力」が 88.6%と最も多く、次いで「身体的暴力」が 15.2%、「セクシャルハラスメント」が 13.9%となっています。

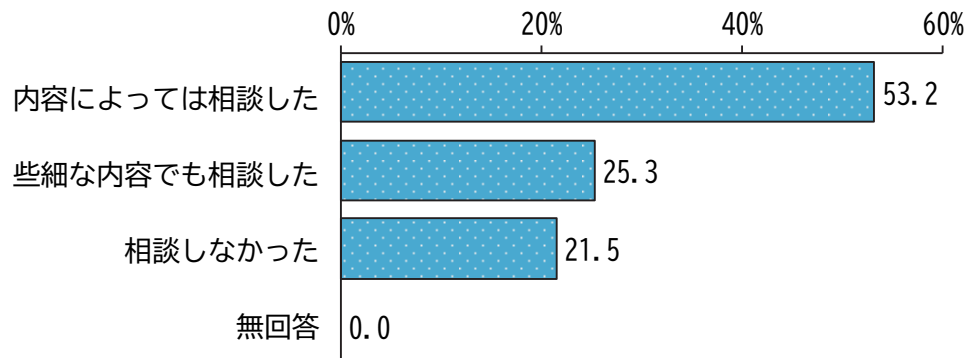
n = 79



問 15② その際の相談状況を教えてください。(〇は1つ)

ハラスメントを受けた際の相談状況については、「内容によっては相談した」が53.2%と最も多く、次いで「些細な内容でも相談した」が25.3%、「相談しなかった」が21.5%となっています。

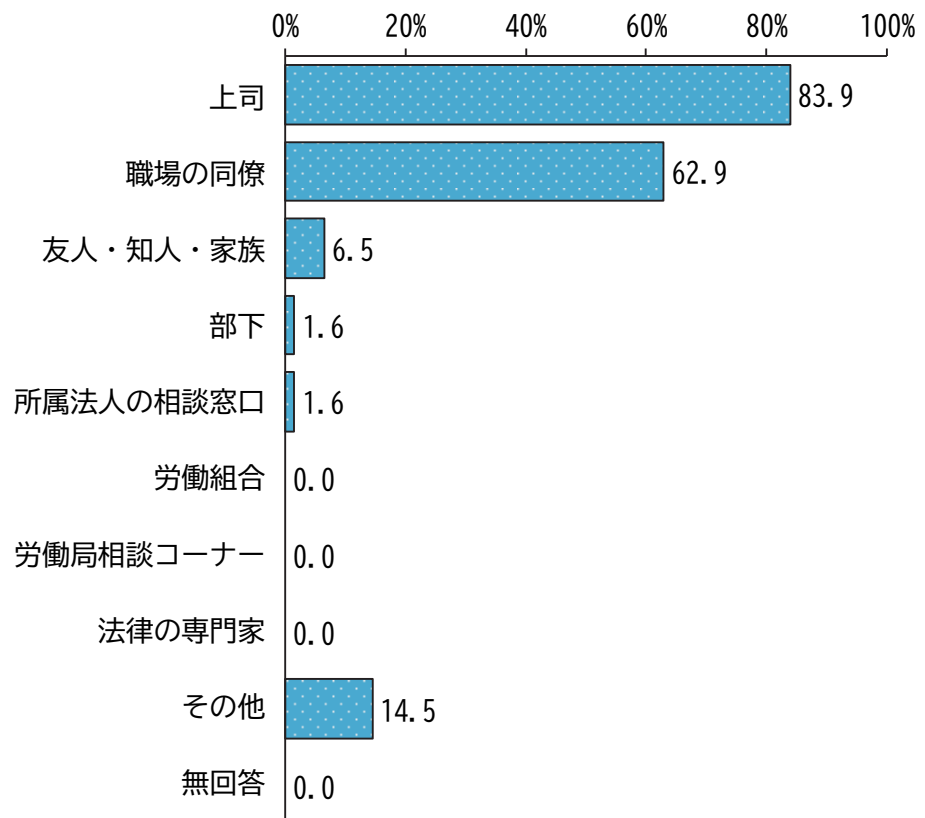
n = 79



問 15③ ③は②で「1」「2」(相談した)と回答した方のみお答えください。  
その際に相談した相手を教えてください。(〇はいくつでも)

ハラスメントを受けた際の相談相手については、「上司」が83.9%と最も多く、次いで「職場の同僚」が62.9%、「友人・知人・家族」が6.5%となっています。

n = 62

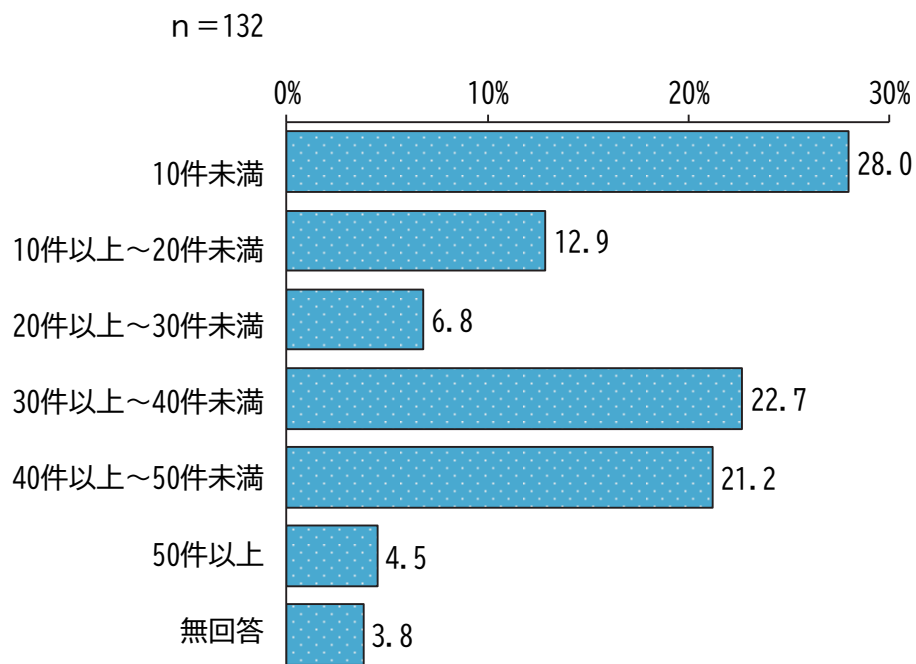


### 3 ケアプランの作成状況について

問 16 あなたの月平均のケアプラン作成数はどれくらいですか。(数字を記入)

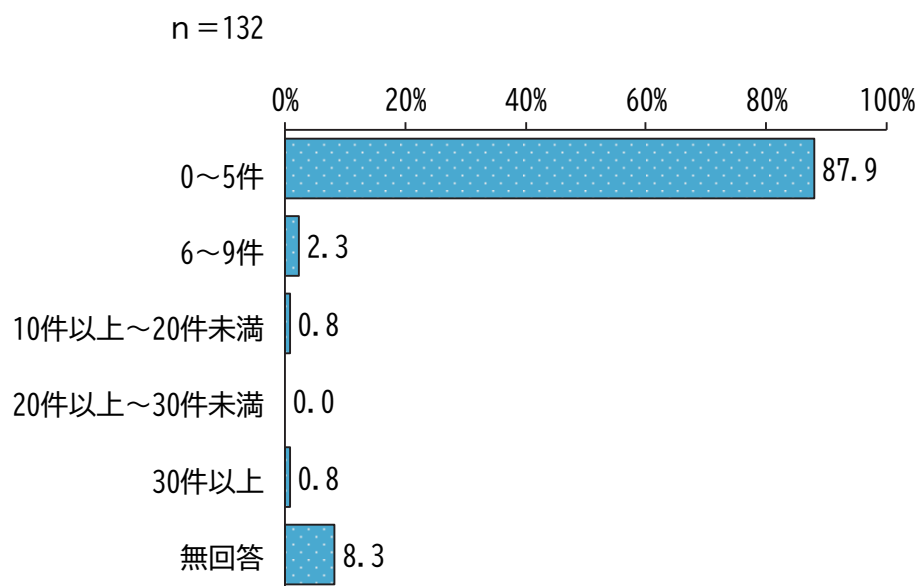
#### (1) 総数

月平均のケアプランの作成数については、「10件未満」が28.0%と最も多く、次いで「30件以上～40件未満」が22.7%、「40件以上～50件未満」が21.2%となっています。



#### (2) 新規（介護）

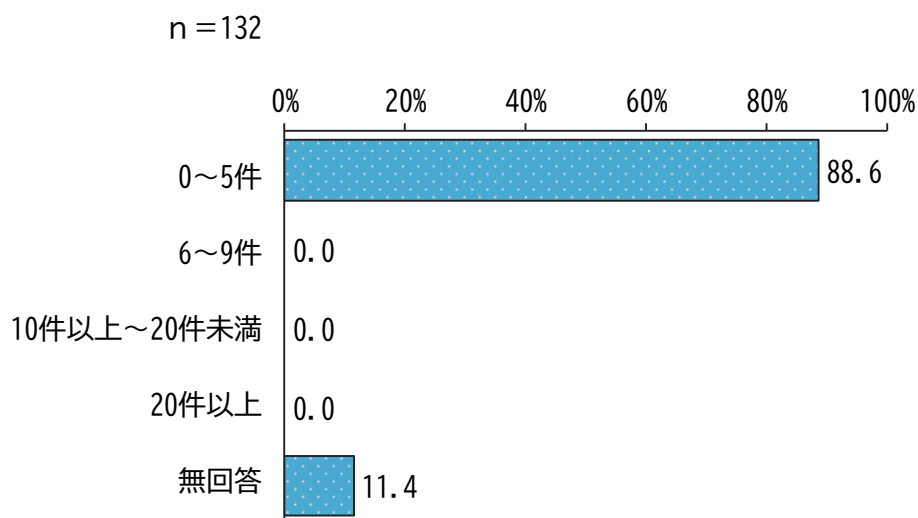
月平均のケアプランの作成数のうち介護の新規については、「0～5件」が87.9%と最も多く、次いで「6～9件」が2.3%、「10件以上～20件未満」と「30件以上」が0.8%となっています。



## 第6章 介護支援専門員調査

### (3) 新規（予防）

月平均のケアプランの作成数のうち予防の新規については、「0～5件」が88.6%と最も多くなっています。



問17 現在のご担当について、要介護度別の内訳をそれぞれ人数でご記入ください。

市外を含む利用者の人数では「要介護1」が10人と最も多く、次いで「要介護2」が8人、「要支援2」が6人となっています。

我孫子市民の利用者の人数では「要介護1」が9人と最も多く、次いで「要介護2」が7人、「要支援2」が6人となっています。

医療的ケアが必要な人数では「要介護1」と「要介護2」、「要介護3」、「要介護4」「要介護5」が2人、次いで「総合事業対象者」と「要支援1」、「要支援2」が1人となっています。※平均値を四捨五入しています。

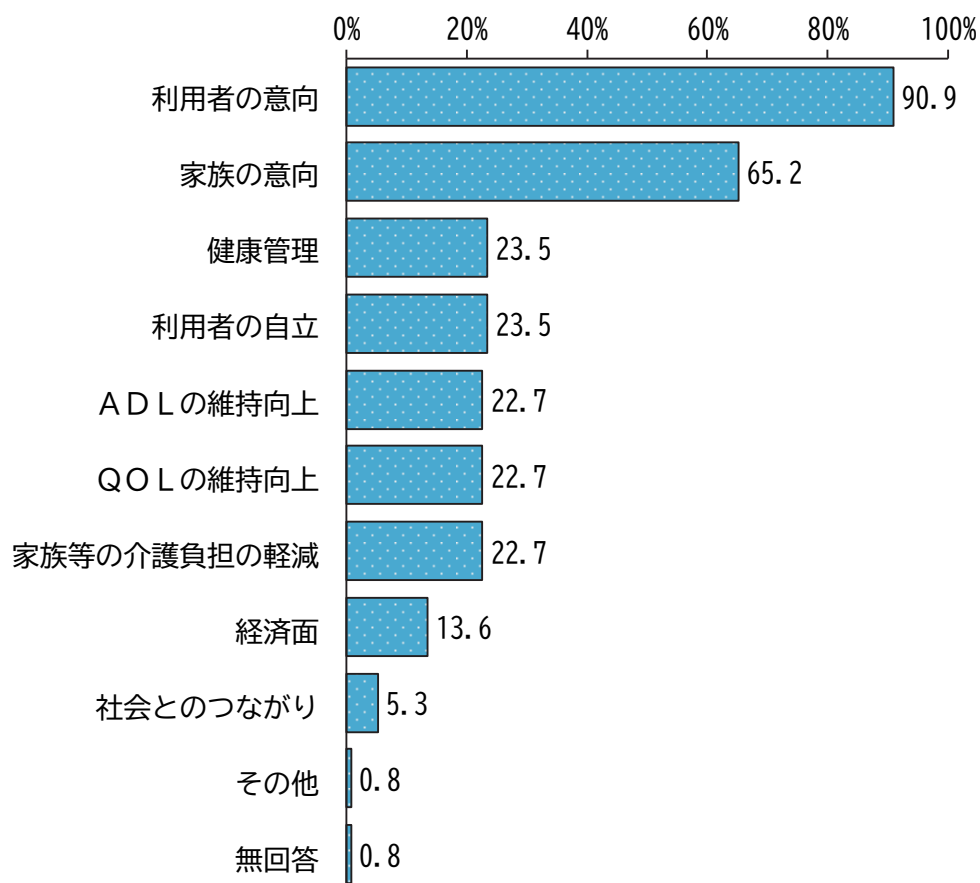
平均値：（人）

	計	総合事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
市外を含む利用者	33.5	3.4	4.6	5.8	9.7	7.8	5.0	3.3	2.3
うち我孫子市民	33.3	3.5	4.6	5.8	9.3	7.2	4.5	3.2	2.0
うち医療的ケアが必要な人数	8.4	0.7	0.9	0.9	1.9	2.0	2.0	1.9	1.7

## 問18 ケアプラン作成にあたり、優先していることは何ですか。(優先度が高いもの3つまで○)

ケアプラン作成時の優先事項については、「利用者の意向」が90.9%と最も多く、次いで「家族の意向」が65.2%、「健康管理」と「利用者の自立」が23.5%となっています。

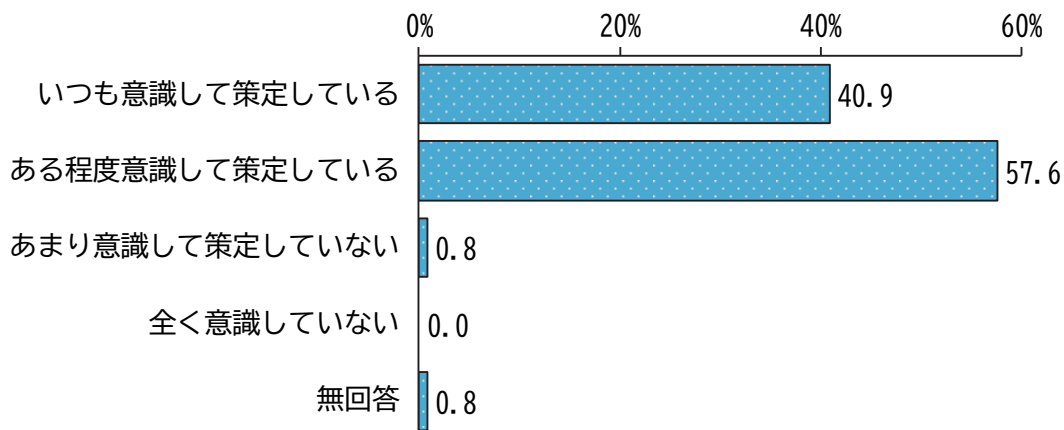
n=132



問19 「自立支援」、「重度化防止」に向けたプランの作成について、日頃の程度意識していますか。(〇は1つ)

「自立支援」、「重度化防止」に向けたプランの作成について、日頃の程度意識しているかについては、「ある程度意識して策定している」が57.6%と最も多く、次いで「いつも意識して策定している」が40.9%、「あまり意識して策定していない」が0.8%となっています。

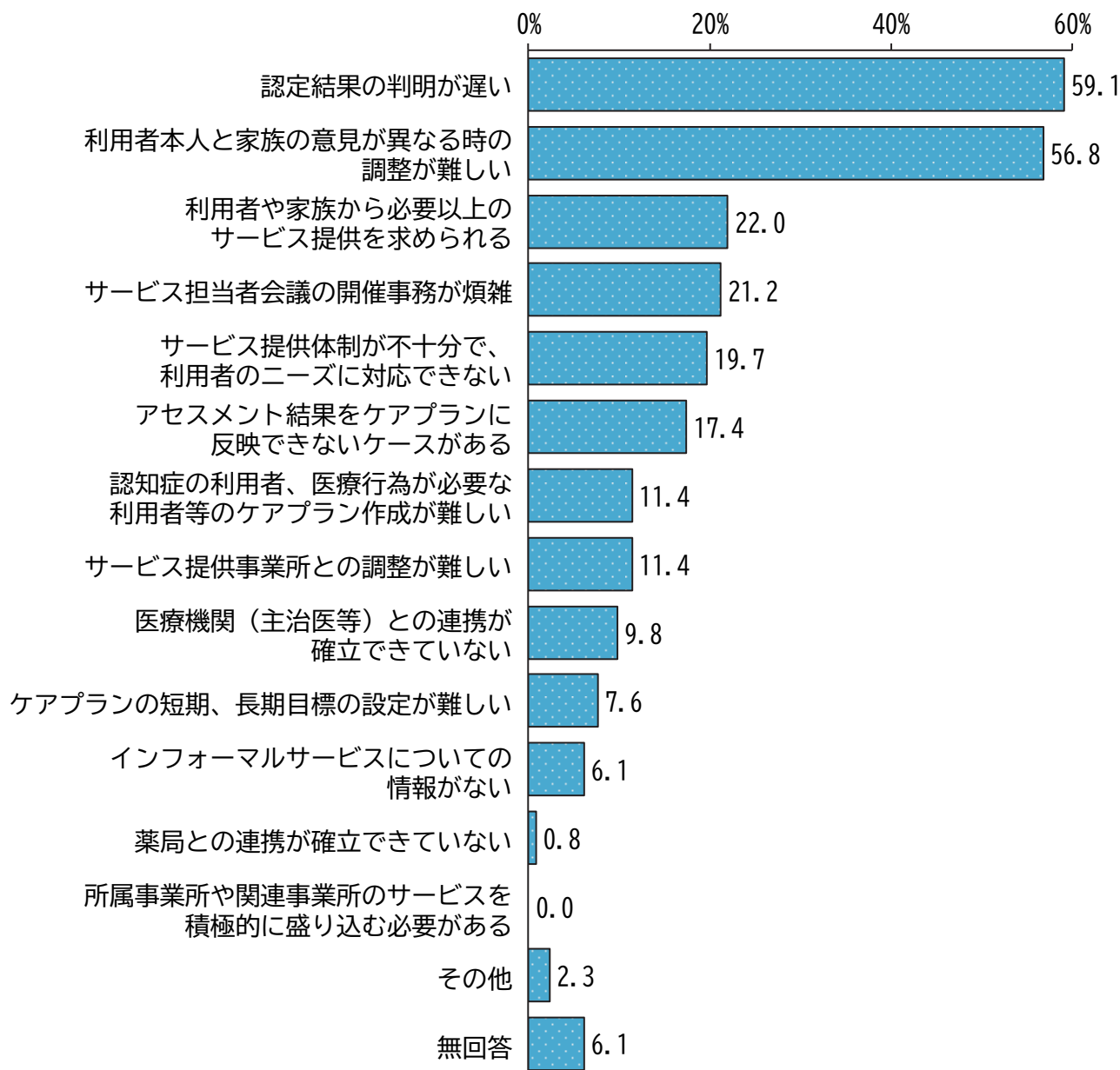
n = 132



問20 あなたがケアプランの作成に際し、現在特に困っていることや、これまで特に困ったことはありますか。(主なものを3つまで○)

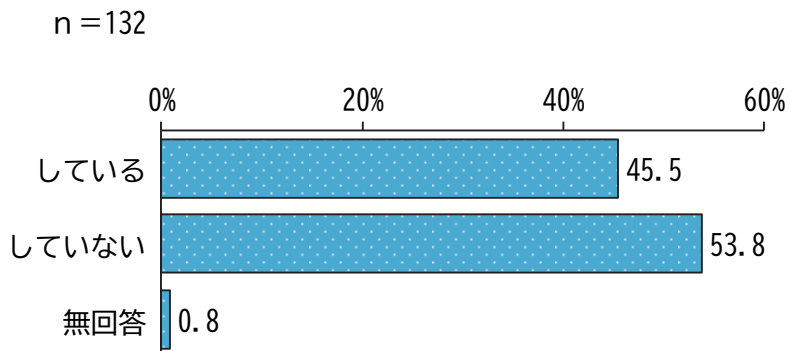
ケアプラン作成時に特に困っていることについては、「認定結果の判明が遅い」が59.1%と最も多く、次いで「利用者本人と家族の意見が異なる時の調整が難しい」が56.8%、「利用者や家族から必要以上のサービス提供を求められる」が22.0%となっています。

n = 132



問 21 ケアプランを作成する際、地域の居場所、サロン等の地域資源やインフォーマルサービスを活用していますか。(〇は1つ)

地域資源やインフォーマルサービスの活用状況については、「していない」が53.8%、「している」が45.5%となっています。

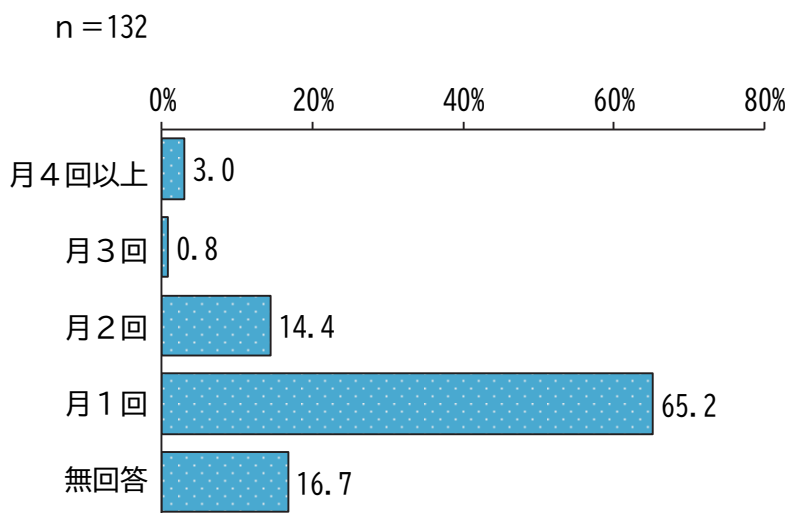


#### 4 関係者との連携について

問 22 利用者1人に対して、利用者や家族への平均的な訪問頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)

(1) 要介護の方への訪問

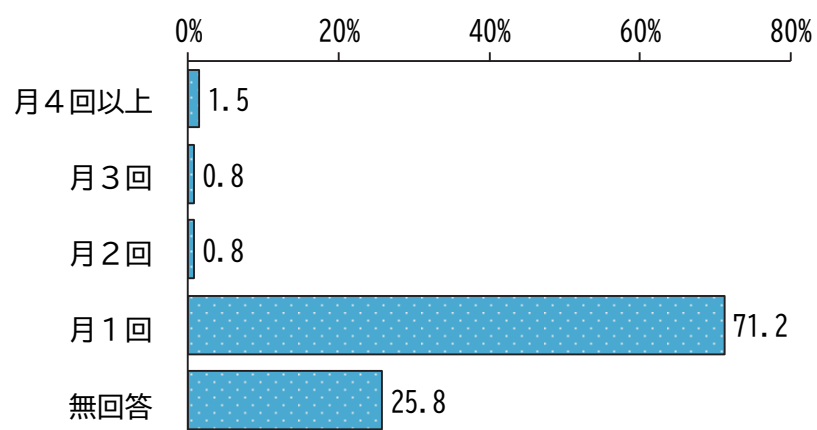
要介護者への訪問頻度については、「月1回」が65.2%と最も多く、次いで「月2回」が14.4%、「月4回以上」が3.0%となっています。



## (2) 要支援・事業対象者（総合事業）の方への訪問

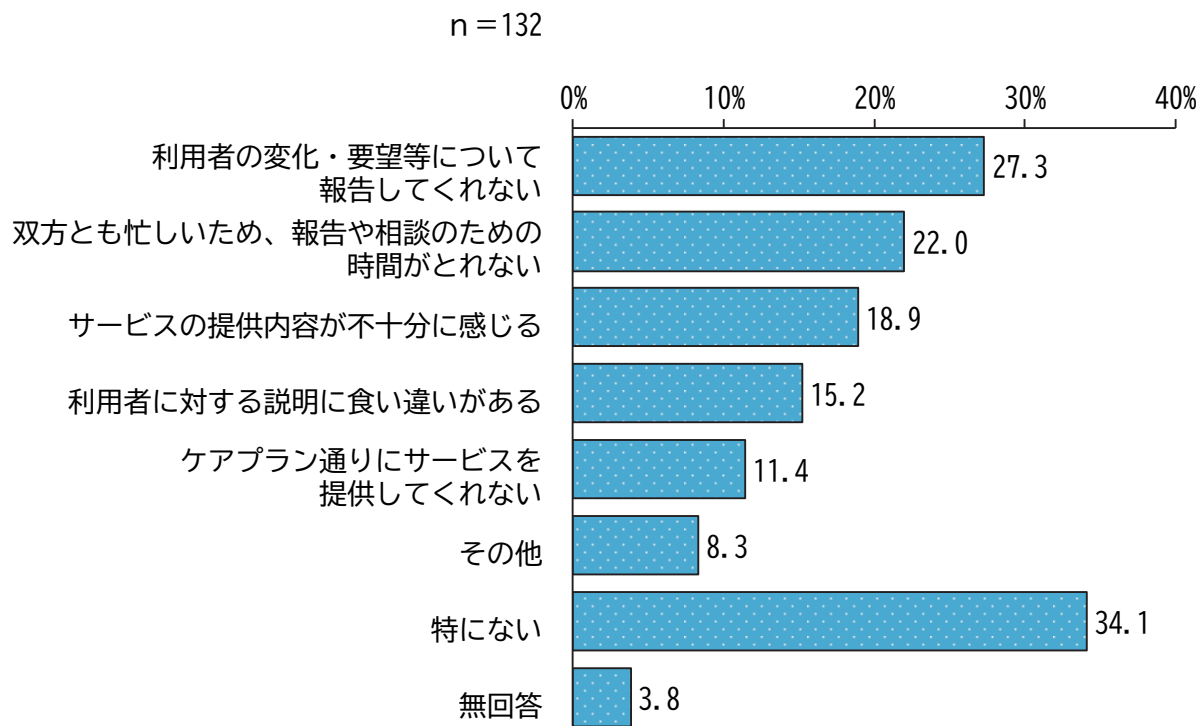
要支援・事業対象者（総合事業）への訪問頻度については、「月1回」が71.2%と最も多く、次いで「月4回以上」が1.5%、「月3回」と「月2回」が0.8%となっています。

n=132



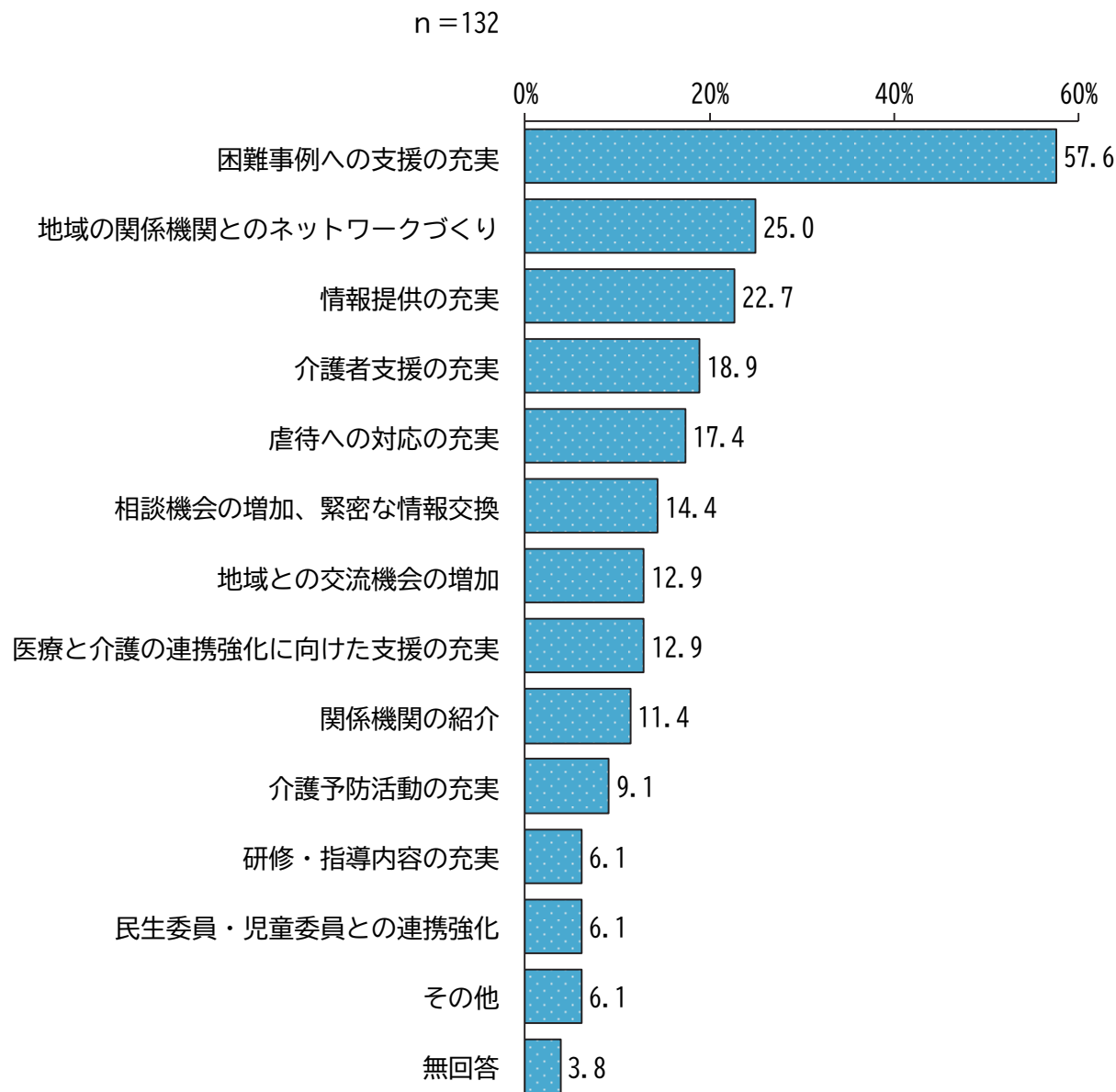
問 23 サービス提供者との関係における課題はどのようなことですか。(主なものを3つまで○)

サービス提供者との関係における課題については、「特にない」が 34.1%と最も多く、次いで「利用者の変化・要望等について報告してくれない」が 27.3%、「双方とも忙しいため、報告や相談のための時間がとれない」が 22.0%となっています。



問 24 地域包括支援センターに機能強化してほしいと思うことは何ですか。  
(主なものを3つまで○)

地域包括支援センターに機能強化してほしいことについては、「困難事例への支援の充実」が 57.6%と最も多く、次いで「地域の関係機関とのネットワークづくり」が 25.0%、「情報提供の充実」が 22.7%となっています。



## 5 高齢者施策全般について

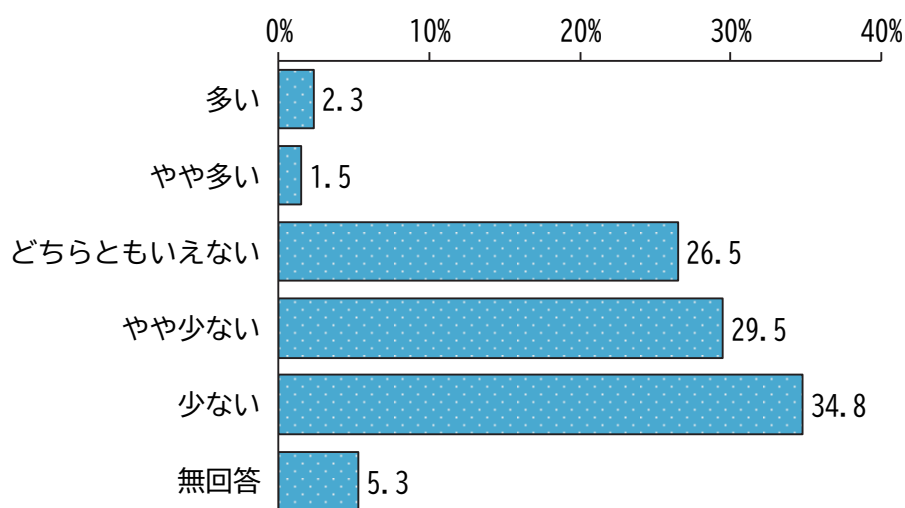
問 25 我孫子市における介護サービスの過不足についてどのように感じていますか。  
(それぞれ〇は1つ)

### (1) 居宅サービス

#### A. 訪問介護

居宅サービスのうち訪問介護の過不足については、「少ない」が34.8%と最も多く、次いで「やや少ない」が29.5%、「どちらともいえない」が26.5%となっています。

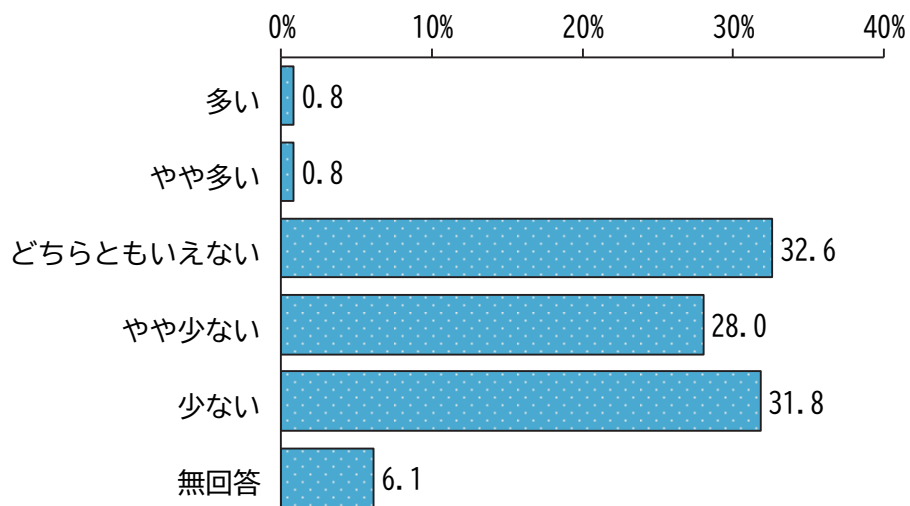
n = 132



#### B. 訪問入浴介護

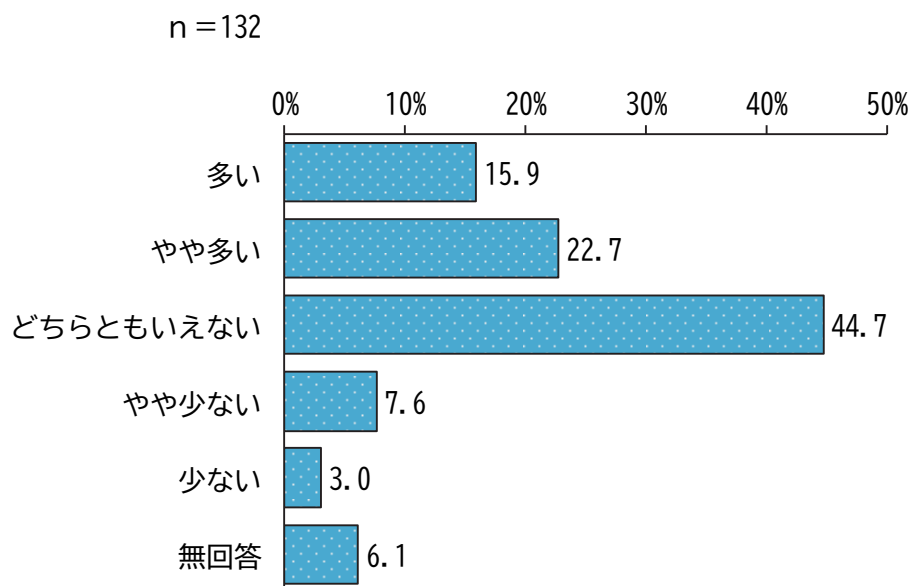
居宅サービスのうち訪問入浴介護の過不足については、「どちらともいえない」が32.6%と最も多く、次いで「少ない」が31.8%、「やや少ない」が28.0%となっています。

n = 132



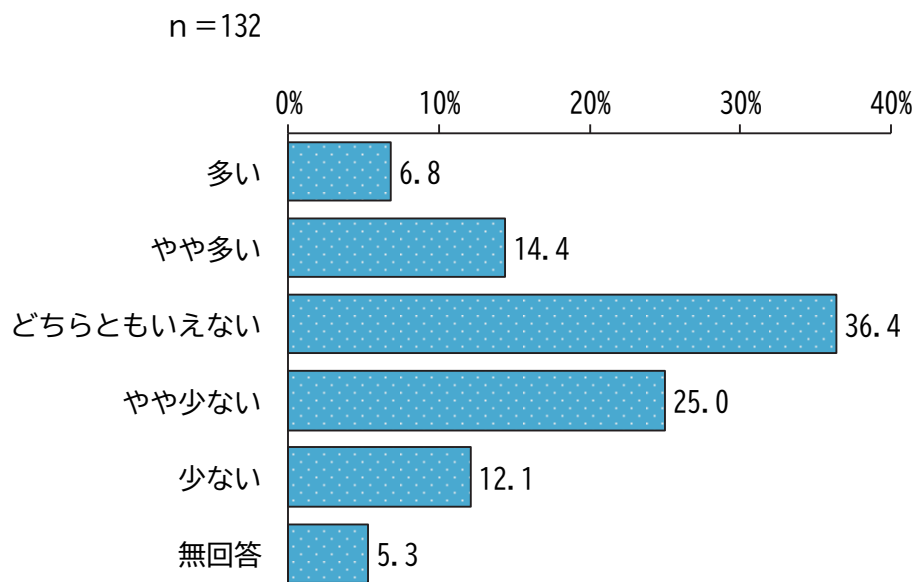
## C. 訪問看護

居宅サービスのうち訪問看護の過不足については、「どちらともいえない」が44.7%と最も多く、次いで「やや多い」が22.7%、「多い」が15.9%となっています。



## D. 訪問リハビリテーション

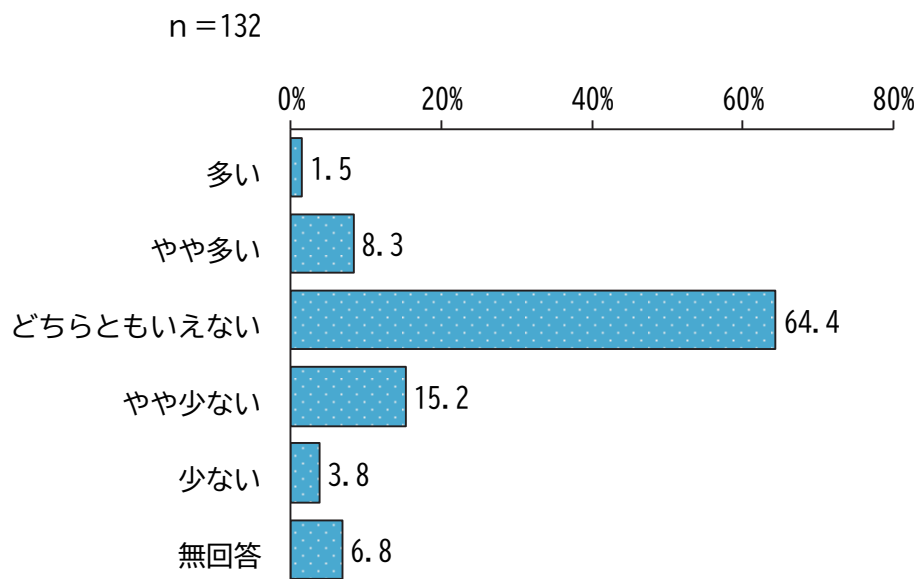
居宅サービスのうち訪問リハビリテーションの過不足については、「どちらともいえない」が36.4%と最も多く、次いで「やや少ない」が25.0%、「やや多い」が14.4%となっています。



## 第6章 介護支援専門員調査

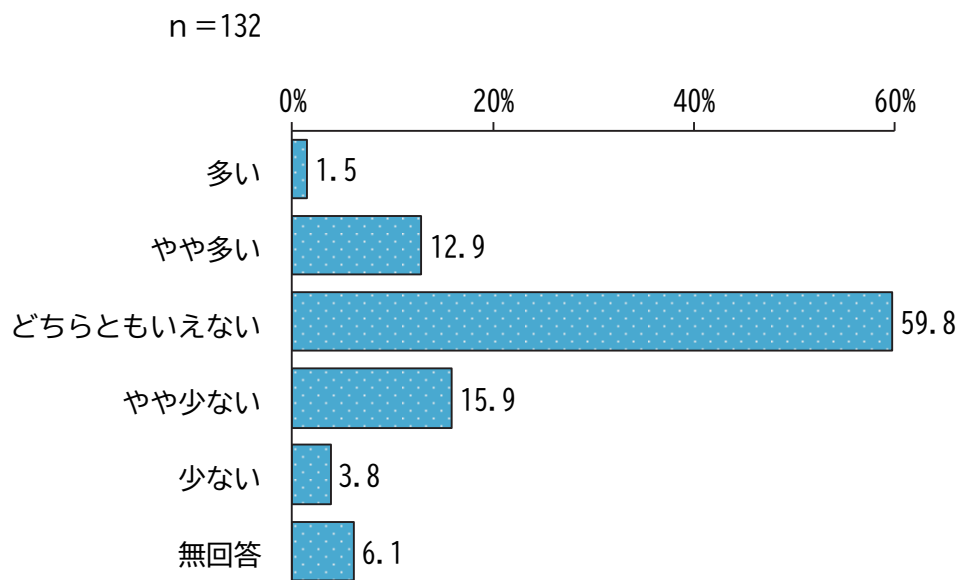
### E. 居宅療養管理指導

居宅サービスのうち居宅療養管理指導の過不足については、「どちらともいえない」が64.4%と最も多く、次いで「やや少ない」が15.2%、「やや多い」が8.3%となっています。



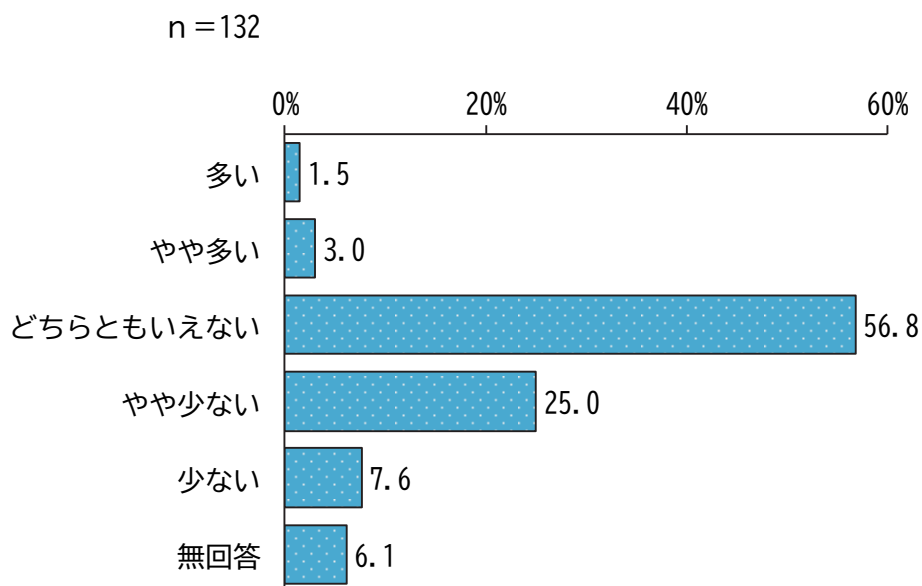
### F. 通所介護（地域密着型含む）

居宅サービスのうち通所介護の過不足については、「どちらともいえない」が59.8%と最も多く、次いで「やや少ない」が15.9%、「やや多い」が12.9%となっています。



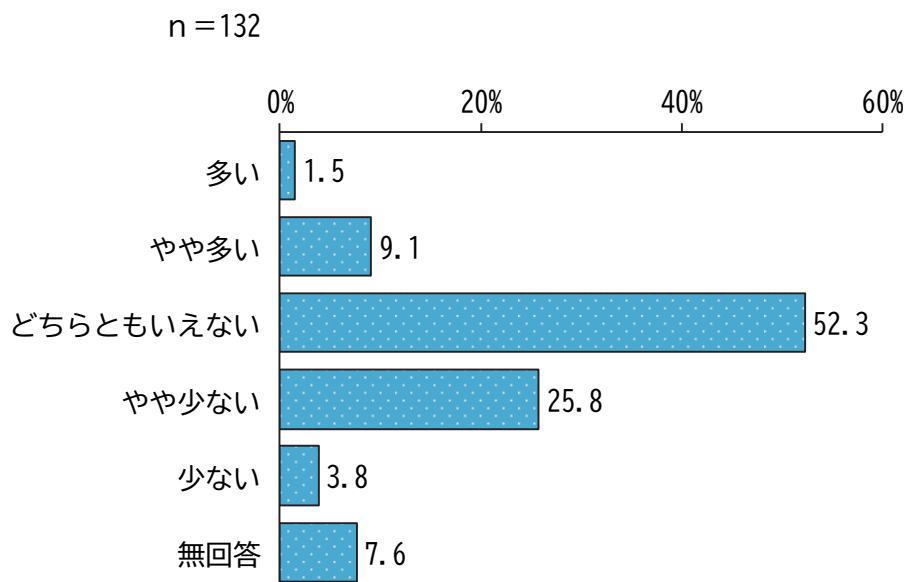
## G. 通所リハビリテーション

居宅サービスのうち通所リハビリテーションの過不足については、「どちらともいえない」が56.8%と最も多く、次いで「やや少ない」が25.0%、「少ない」が7.6%となっています。



## H. 短期入所生活介護

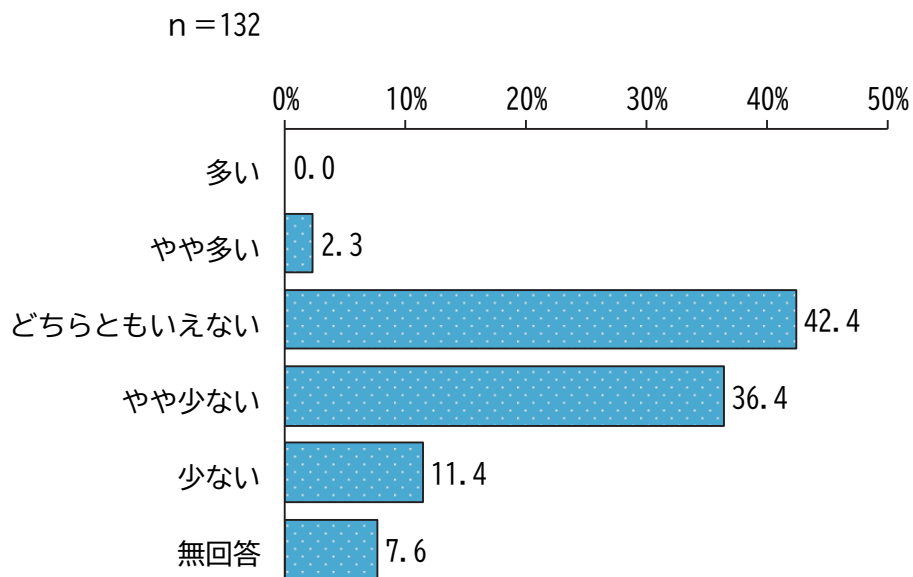
居宅サービスのうち短期入所生活介護の過不足については、「どちらともいえない」が52.3%と最も多く、次いで「やや少ない」が25.8%、「やや多い」が9.1%となっています。



## 第6章 介護支援専門員調査

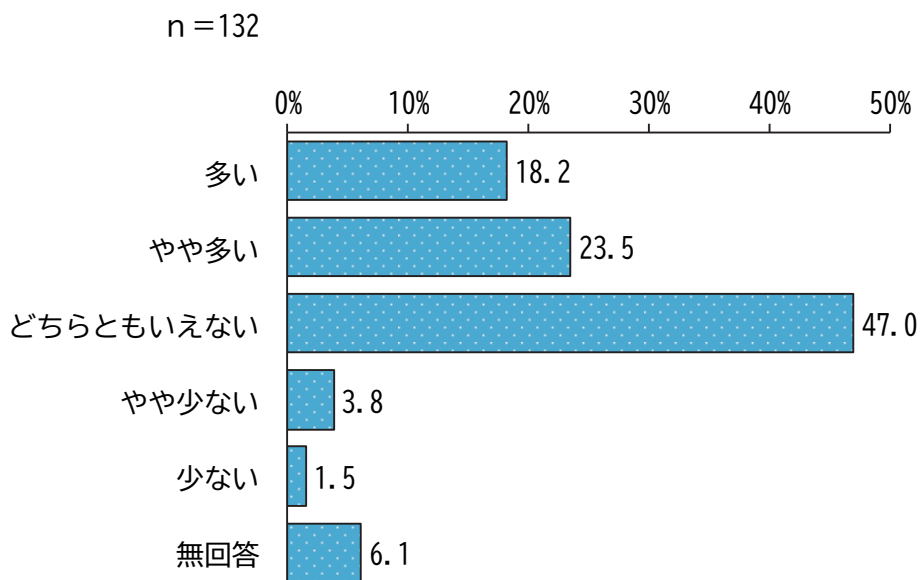
### I. 短期入所療養介護

居宅サービスのうち短期入所療養介護の過不足については、「どちらともいえない」が42.4%と最も多く、次いで「やや少ない」が36.4%、「少ない」が11.4%となっています。



### J. 福祉用具貸与・特定福祉用具販売

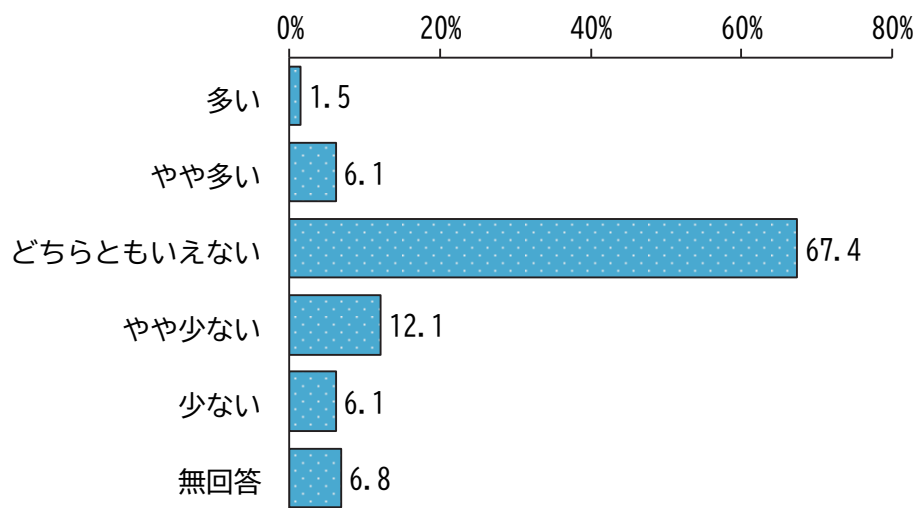
居宅サービスのうち福祉用具貸与・特定福祉用具販売の過不足については、「どちらともいえない」が47.0%と最も多く、次いで「やや多い」が23.5%、「多い」が18.2%となっています。



## K. 特定施設入居者生活介護

居宅サービスのうち特定施設入居者生活介護の過不足については、「どちらともいえない」が67.4%と最も多く、次いで「やや少ない」が12.1%、「やや多い」と「少ない」が6.1%となっています。

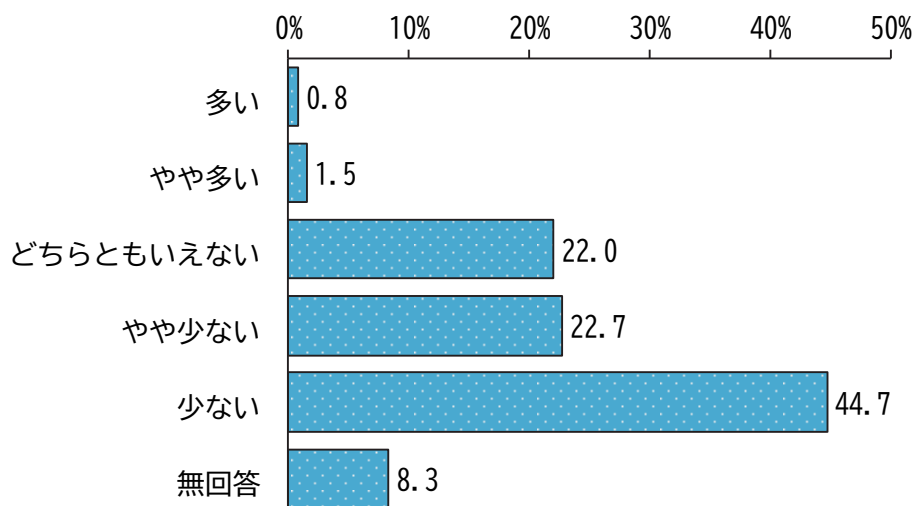
n = 132



## L. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

居宅サービスのうち定期巡回・随時対応型訪問介護看護の過不足については、「少ない」が44.7%と最も多く、次いで「やや少ない」が22.7%、「どちらともいえない」が22.0%となっています。

n = 132

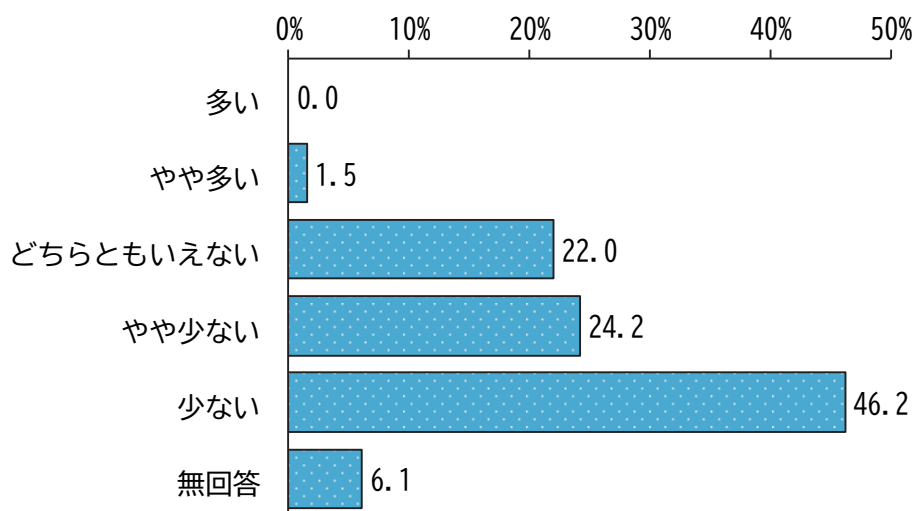


## 第6章 介護支援専門員調査

### M. 認知症対応型通所介護

居宅サービスのうち認知症対応型通所介護の過不足については、「少ない」が46.2%と最も多く、次いで「やや少ない」が24.2%、「どちらともいえない」が22.0%となっています。

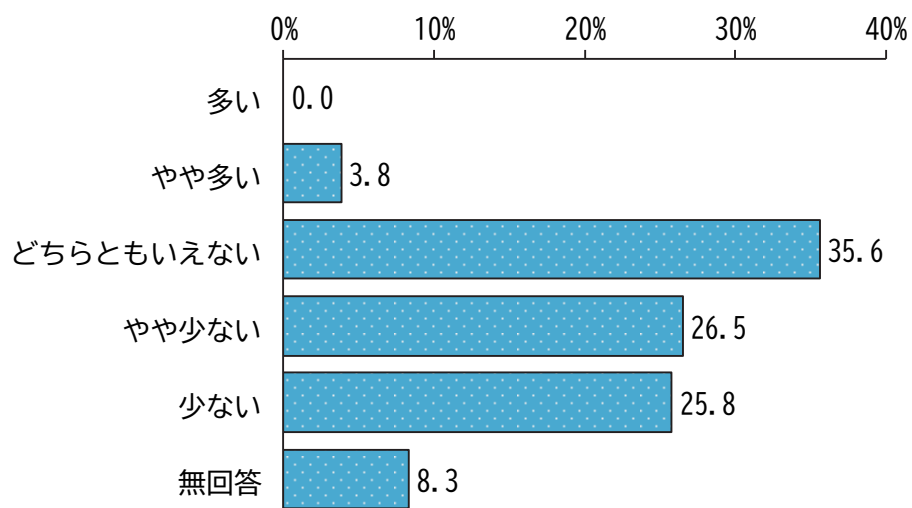
n = 132



### N. 小規模多機能型居宅介護

居宅サービスのうち小規模多機能型居宅介護の過不足については、「どちらともいえない」が35.6%と最も多く、次いで「やや少ない」が26.5%、「少ない」が25.8%となっています。

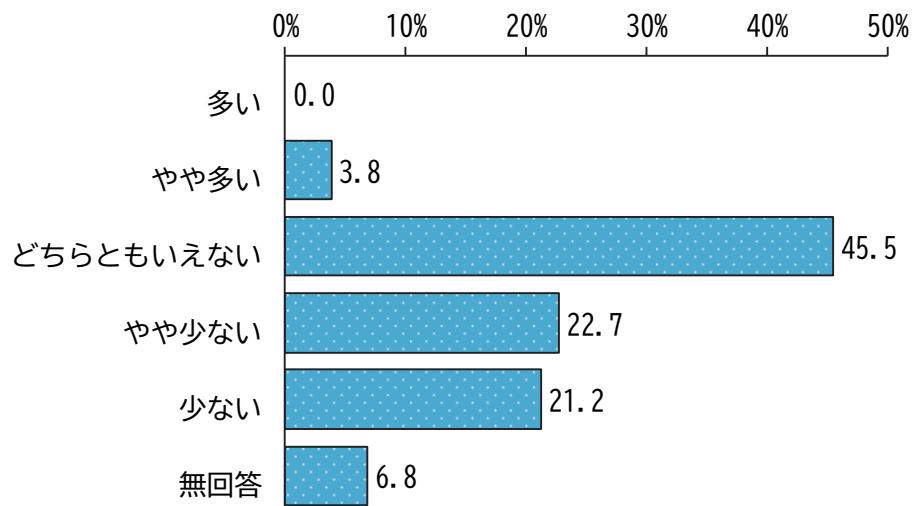
n = 132



## O. 認知症対応型共同生活介護

居宅サービスのうち認知症対応型共同生活介護の過不足については、「どちらともいえない」が45.5%と最も多く、次いで「やや少ない」が22.7%、「少ない」が21.2%となっています。

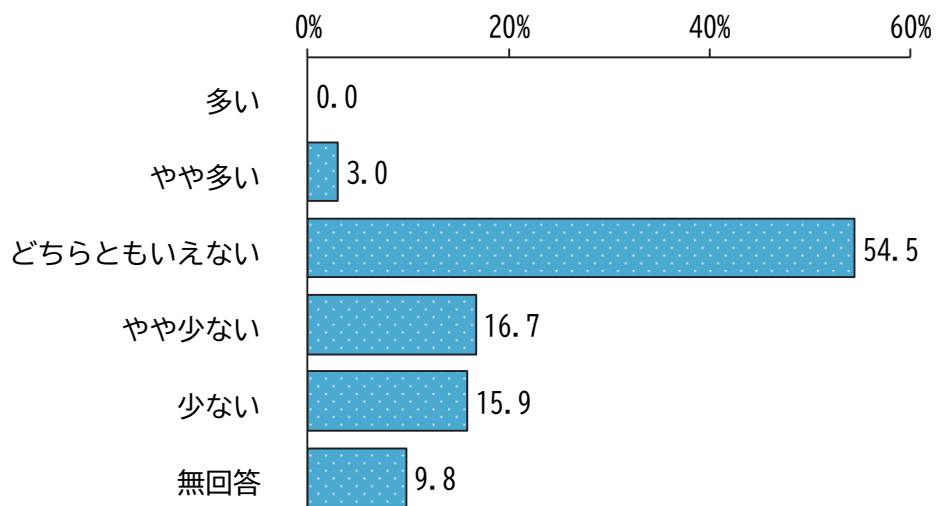
n = 132



## P. 特定施設入居者生活介護（地域密着型含む）

居宅サービスのうち特定施設入居者生活介護の過不足については、「どちらともいえない」が54.5%と最も多く、次いで「やや少ない」が16.7%、「少ない」が15.9%となっています。

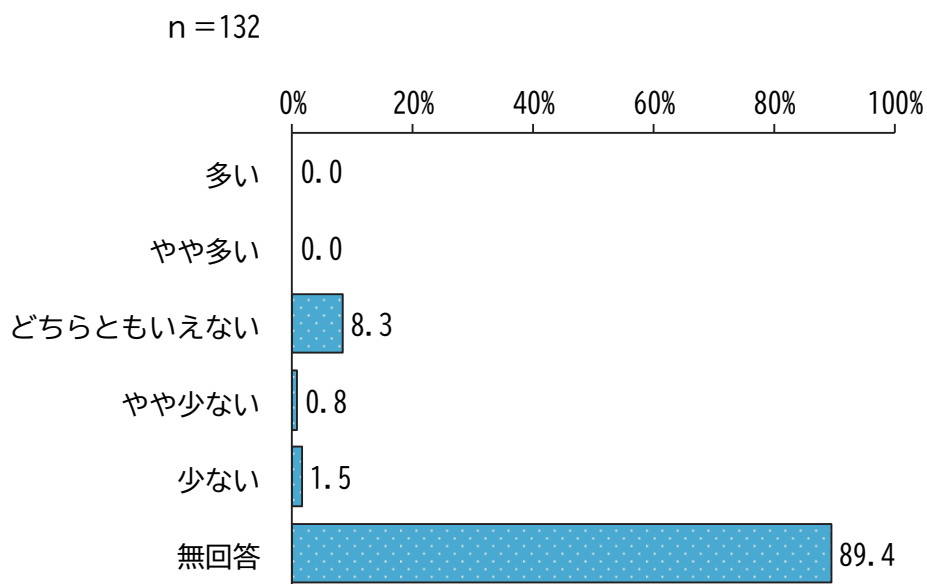
n = 132



## 第6章 介護支援専門員調査

### Q. その他

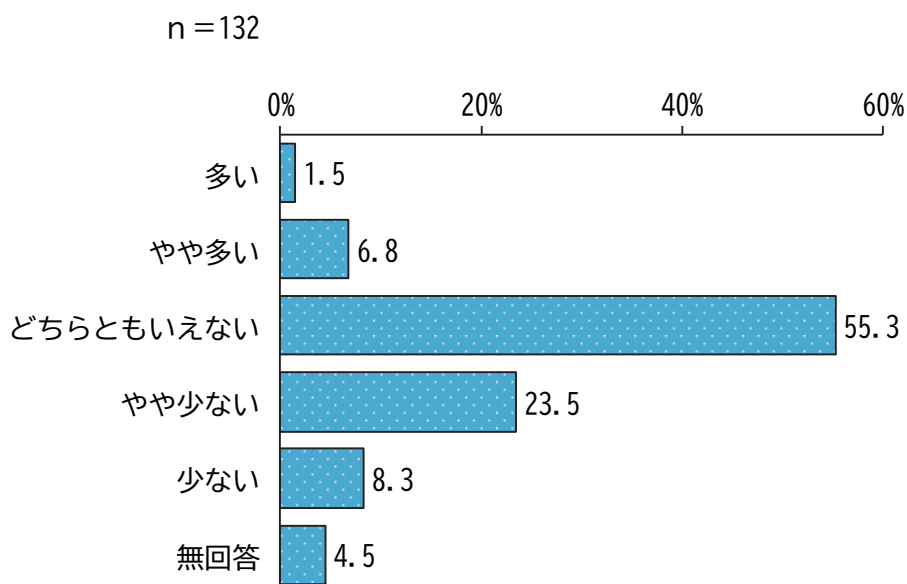
居宅サービスのうちその他の過不足については、「どちらともいえない」が8.3%と最も多く、次いで「少ない」が1.5%、「やや少ない」が0.8%となっています。



### (2) 施設サービス

#### A. 介護老人福祉施設（地域密着型含む）

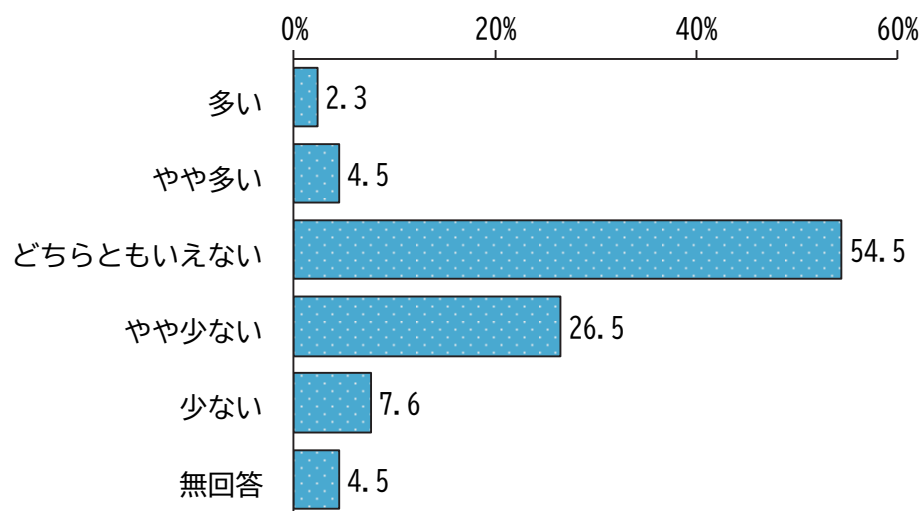
施設サービスのうち介護老人福祉施設の過不足については、「どちらともいえない」が55.3%と最も多く、次いで「やや少ない」が23.5%、「少ない」が8.3%となっています。



## B. 介護老人保健施設

施設サービスのうち介護老人保健施設の過不足については、「どちらともいえない」が54.5%と最も多く、次いで「やや少ない」が26.5%、「少ない」が7.6%となっています。

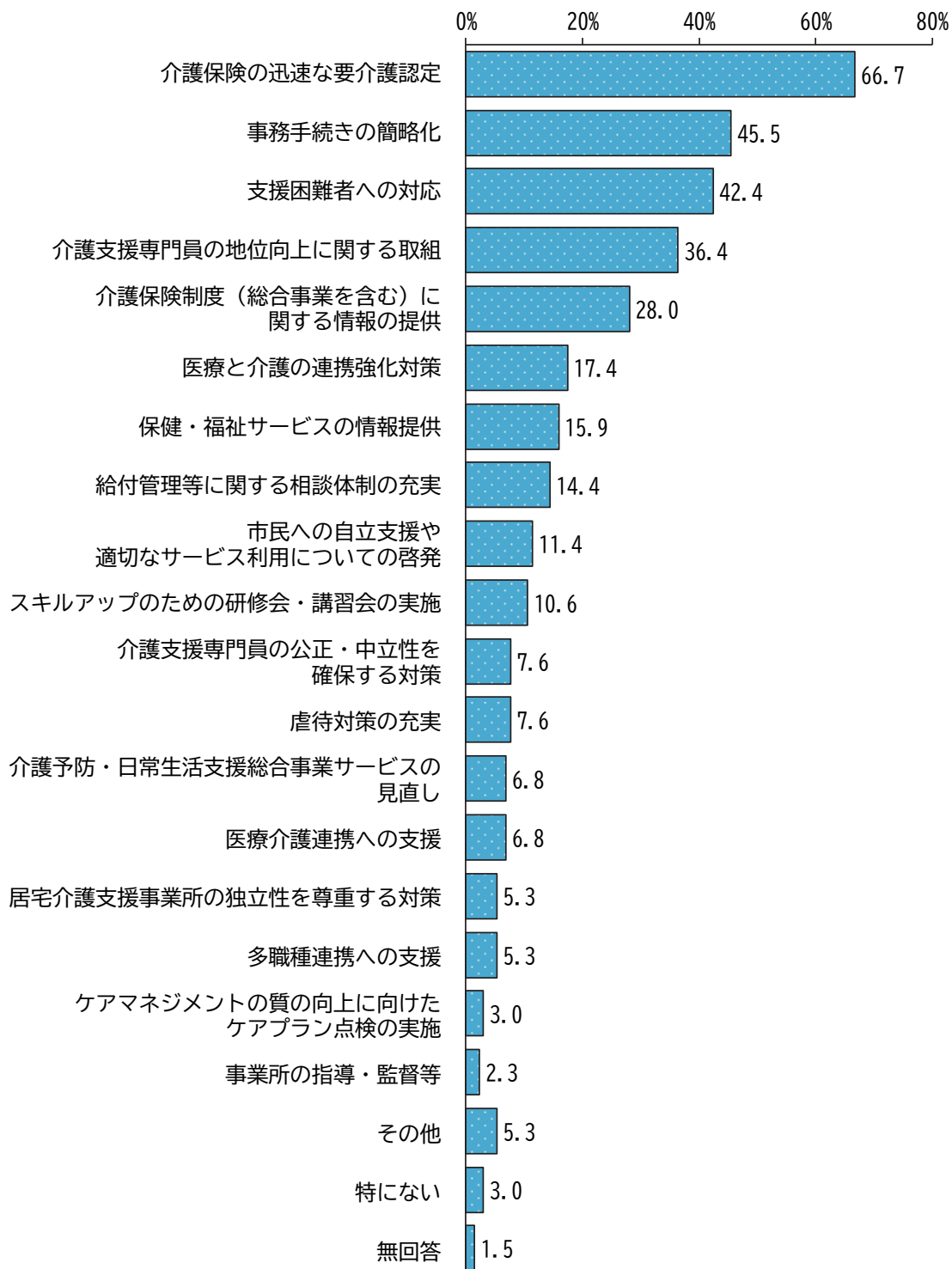
n = 132



問 26 介護支援専門員への対応として、我孫子市に期待することは何ですか。  
(主なものを5つまで○)

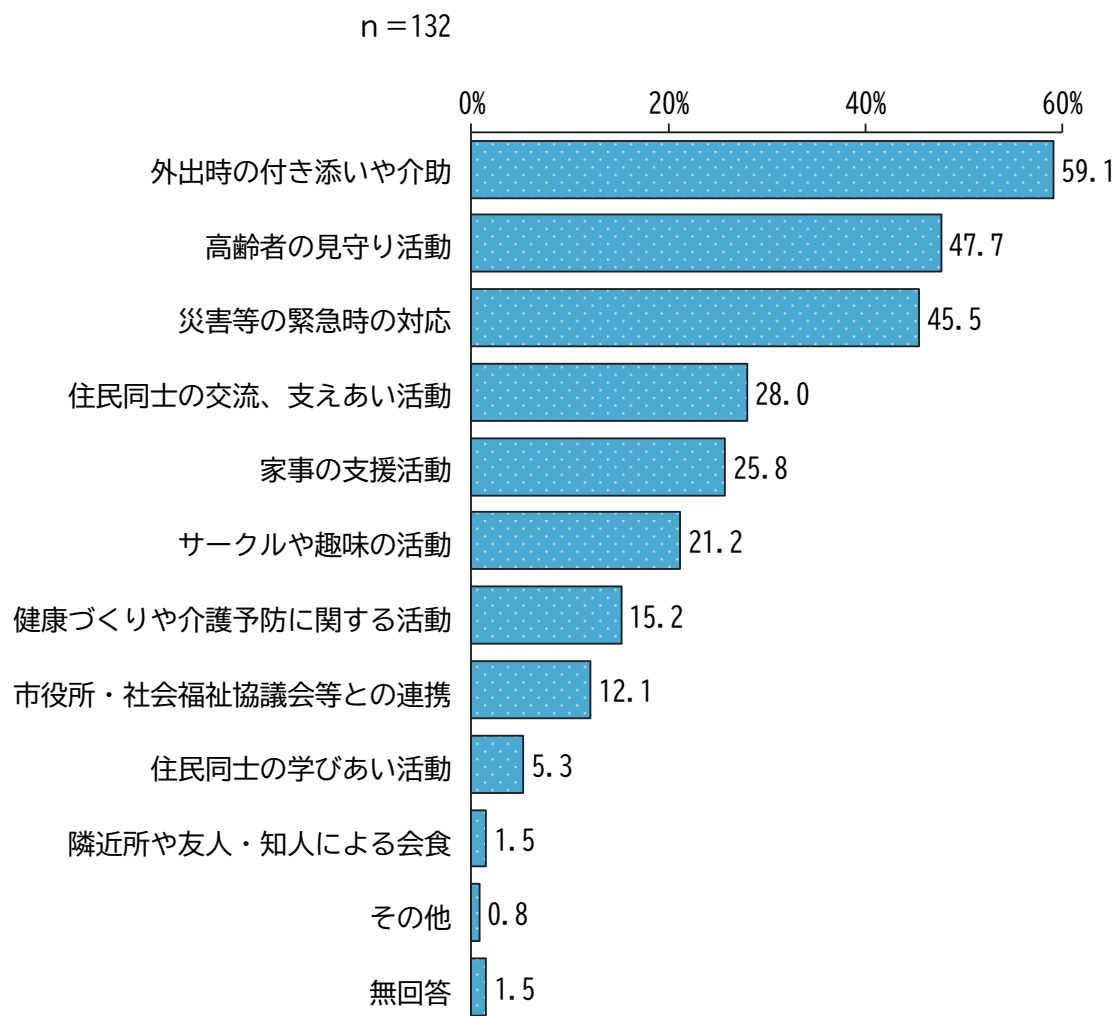
介護支援専門員への対応として市に期待することについては、「介護保険の迅速な要介護認定」が66.7%と最も多く、次いで「事務手続きの簡略化」が45.5%、「支援困難者への対応」が42.4%となっています。

n=132



問27 インフォーマルサービスの充実に向けて、地域にどのような活動があれば良いと思いますか。(主なものを3つまで)

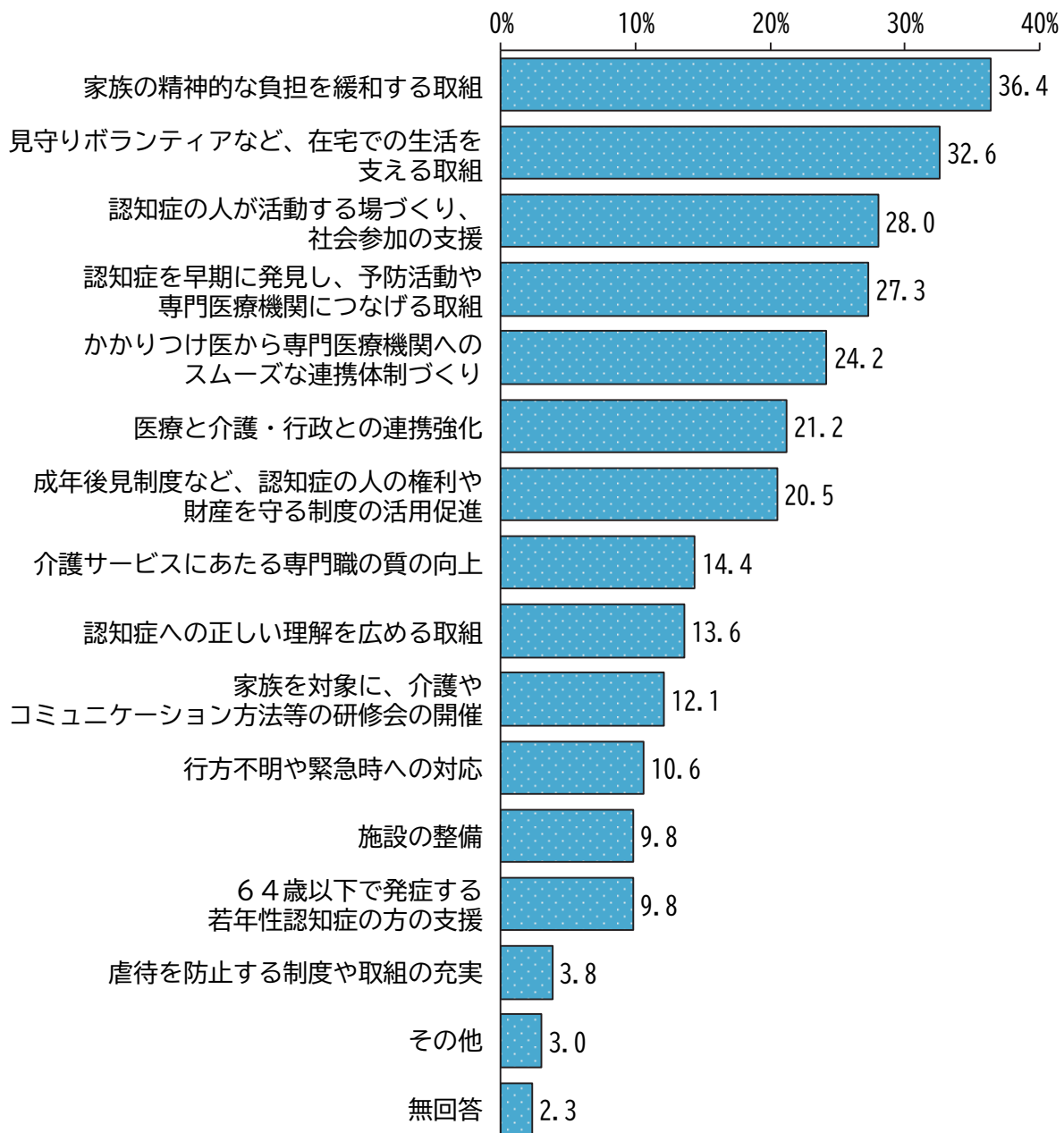
インフォーマルサービスの充実に向けた地域の活動については、「外出時の付き添いや介助」が59.1%と最も多く、次いで「高齢者の見守り活動」が47.7%、「災害等の緊急時の対応」が45.5%となっています。



問 28 今後、認知症施策を進めていく上で、我孫子市はどのようなことに重点を置くべきだと考えますか。(主なもの3つまで○)

認知症施策を進めるうえで市が重点を置くべきことについては、「家族の精神的な負担を緩和する取組」が36.4%と最も多く、次いで「見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取組」が32.6%、「認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援」が28.0%となっています。

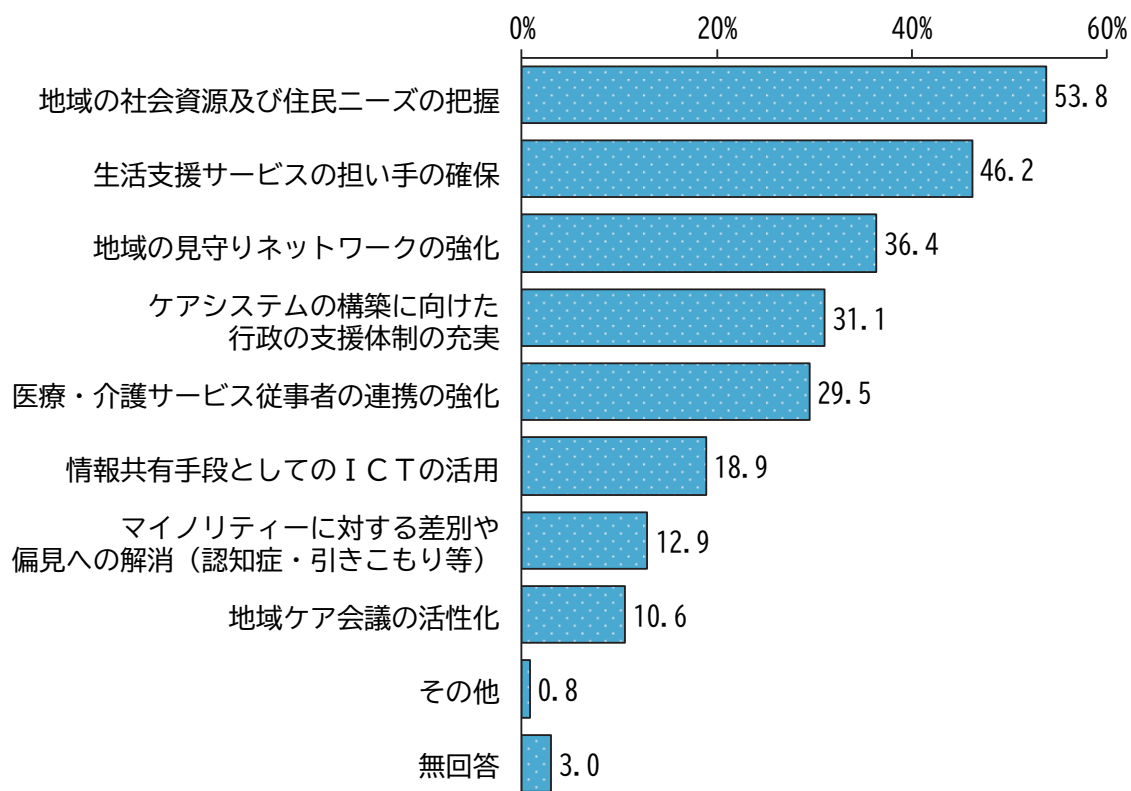
n = 132



問 29 地域包括ケアシステムを構築するために必要だと思われるものは何ですか。  
(主なものを3つまで○)

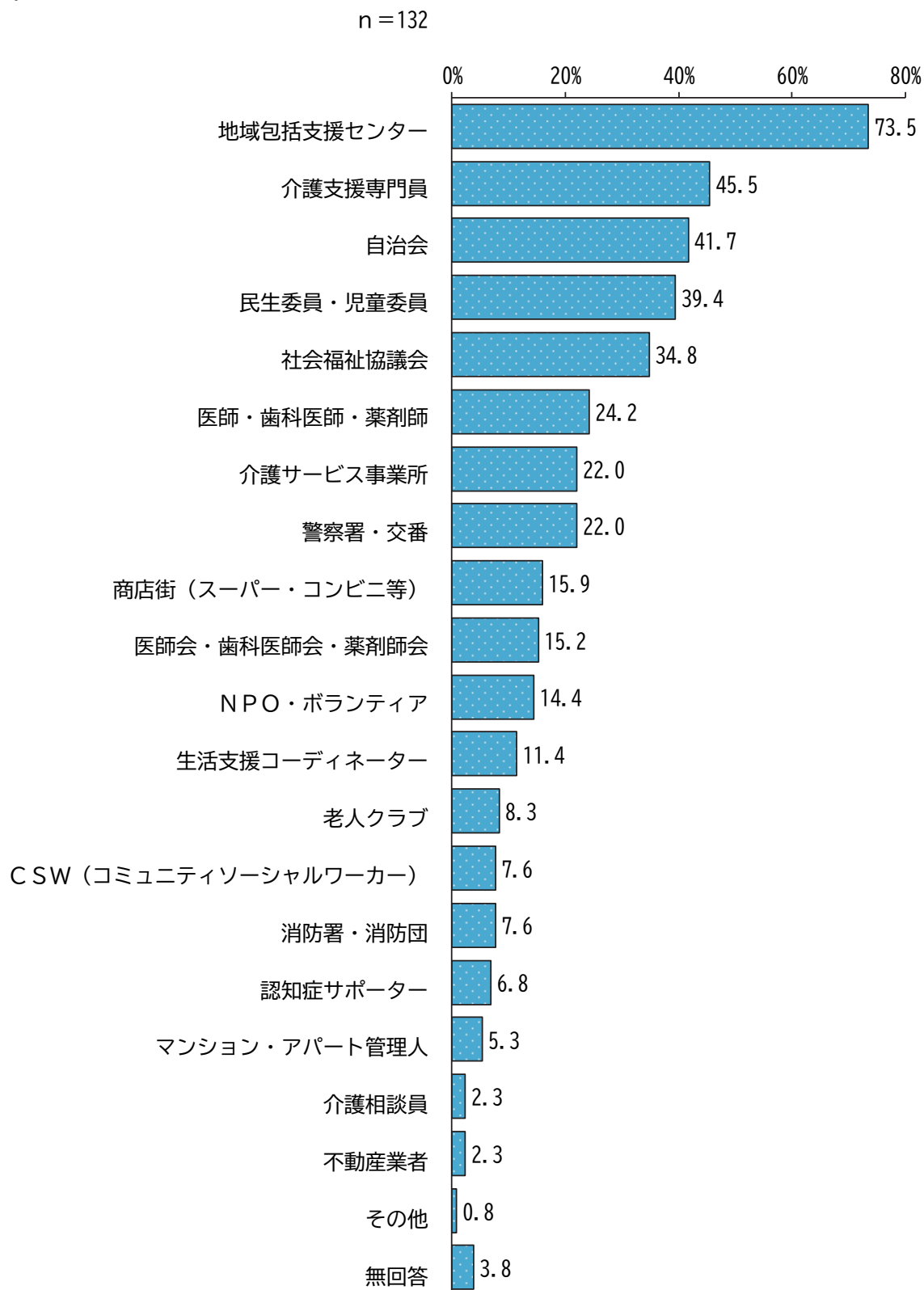
地域包括ケアシステム構築のために必要なことについては、「地域の社会資源及び住民ニーズの把握」が53.8%と最も多く、次いで「生活支援サービスの担い手の確保」が46.2%、「地域の見守りネットワークの強化」が36.4%となっています。

n = 132



問30 地域包括ケアシステムを促進するため、重要だと思われる組織・団体等は次のうちどれですか。特に重要だと思われる5団体を選んでください。(主なもの5つまで○)

地域包括ケアシステムを促進するために重要だと思われる組織・団体等については、「地域包括支援センター」が73.5%と最も多く、次いで「介護支援専門員」が45.5%、「自治会」が41.7%となっています。

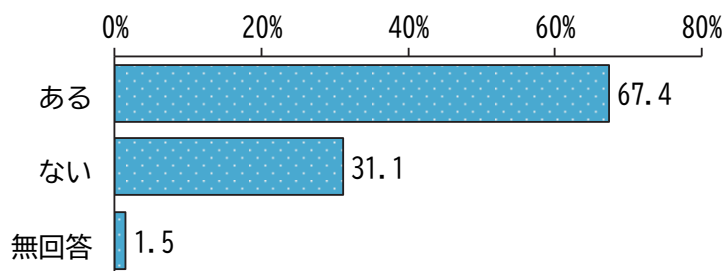


## 6 在宅医療やその他について

問 31 在宅で看取りのケアプランを作成した経験はありますか。(〇は1つ)

看取りのケアプランを作成した経験については、「ある」が67.4%、「ない」が31.1%となっています。

n = 132

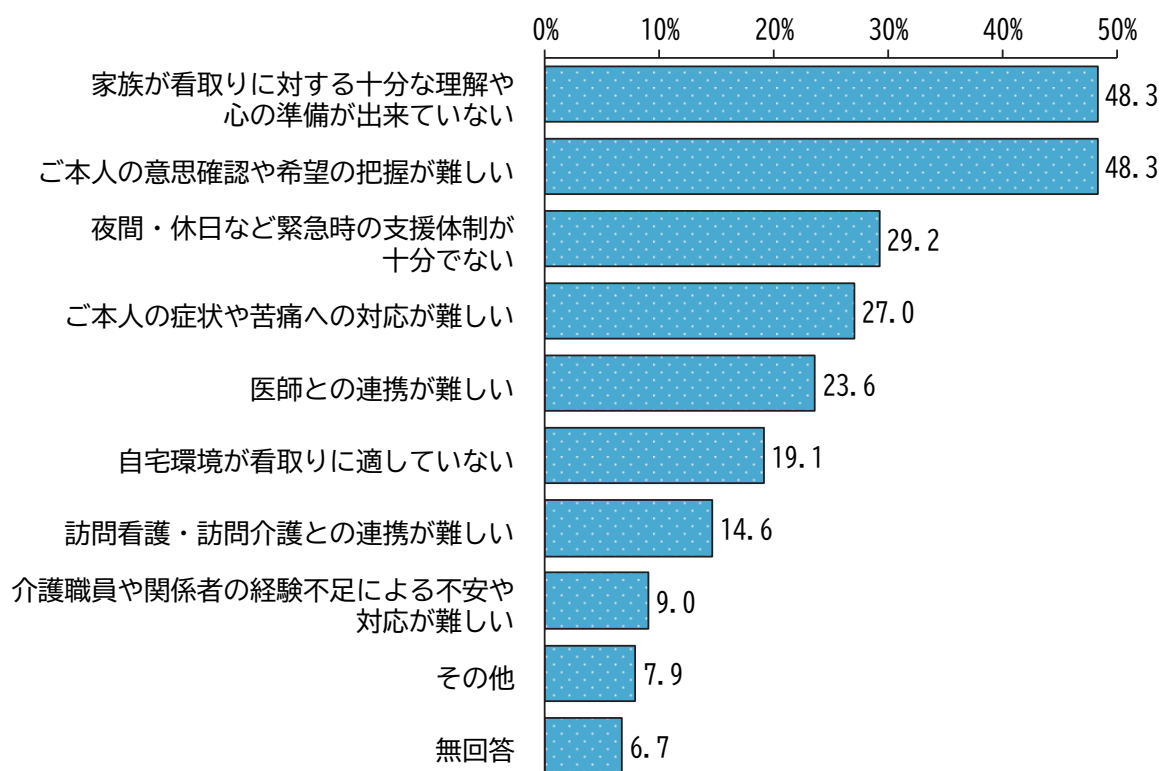


問 32 問 31 で「1. ある」と回答した方のみお答えください。

看取りの支援で困ったことは何ですか (〇はいくつでも)

看取りの支援で困ったことについては、「家族が看取りに対する十分な理解や心の準備が出来ていない」と「ご本人の意思確認や希望の把握が難しい」が48.3%と最も多く、次いで「夜間・休日など緊急時の支援体制が十分でない」が29.2%、「ご本人の症状や苦痛への対応が難しい」が27.0%となっています。

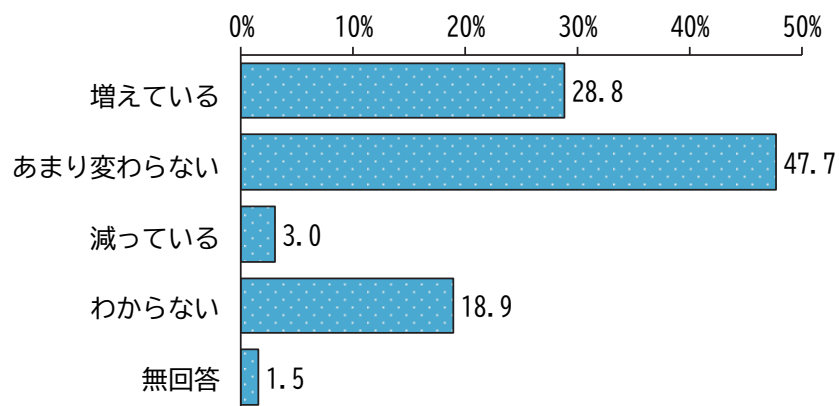
n = 89



問 33 支援をしている中での実感として、ここ数年（3年程度）で看取りのケアを希望される利用者が増えたと感じますか。（○は1つ）

看取りのケアの希望者が増えたかについては、「あまり変わらない」が47.7%と最も多く、次いで「増えている」が28.8%、「わからない」が18.9%となっています。

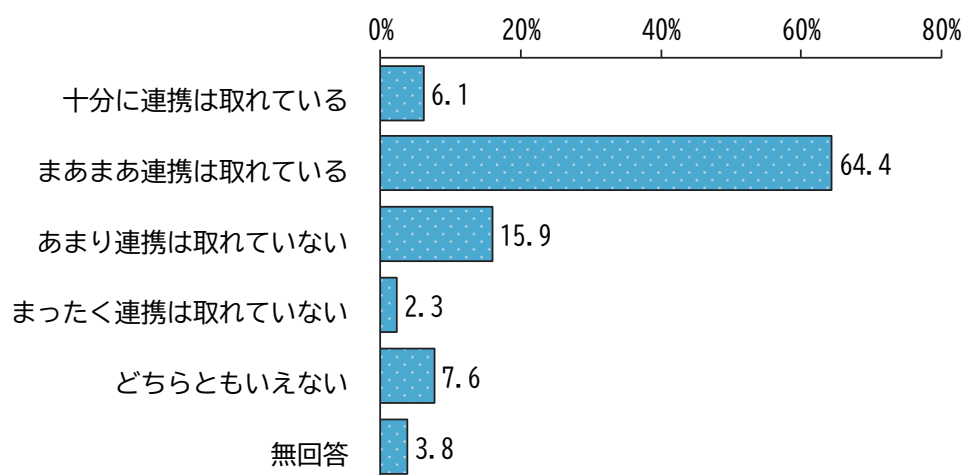
n = 132



問 34 在宅医療を支えるうえで、医師などの医療関係機関との連携は取れていますか。（○は1つ）

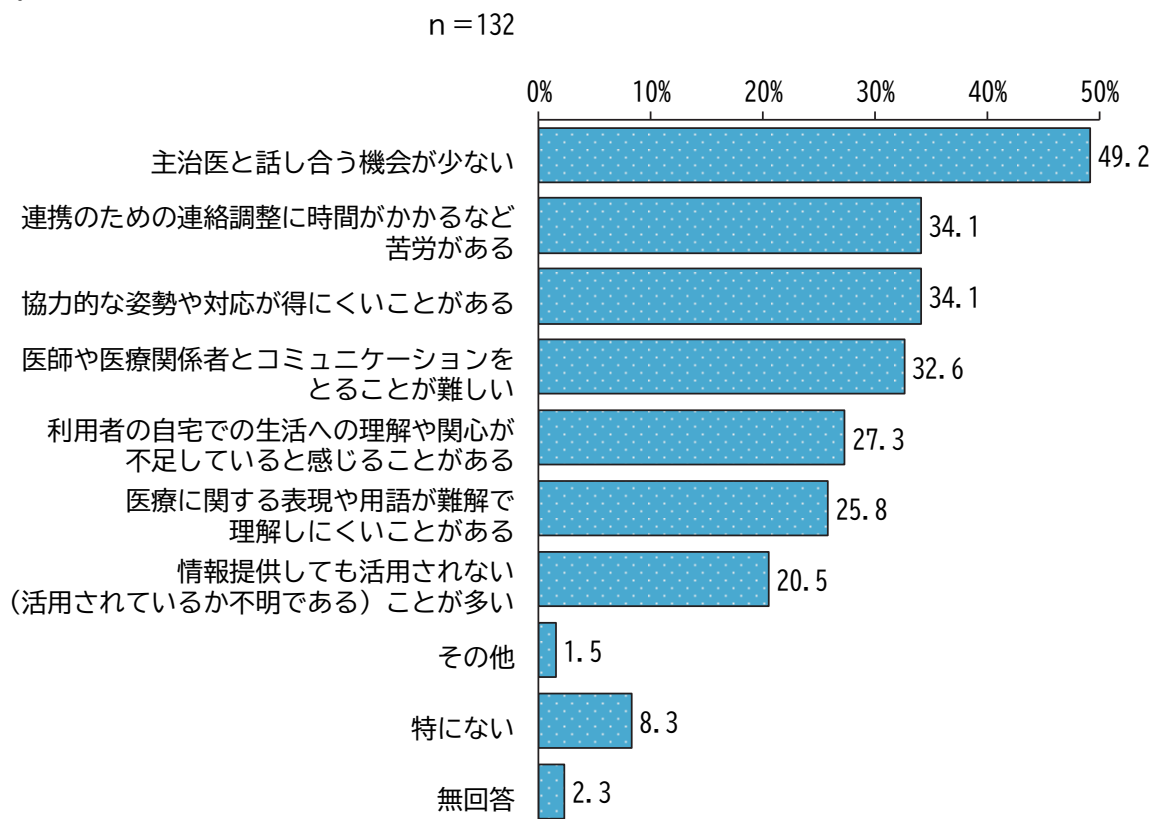
医療関係機関との連携は取れているかについては、「まあまあ連携は取れている」が64.4%と最も多く、次いで「あまり連携は取れていない」が15.9%、「どちらともいえない」が7.6%となっています。

n = 132



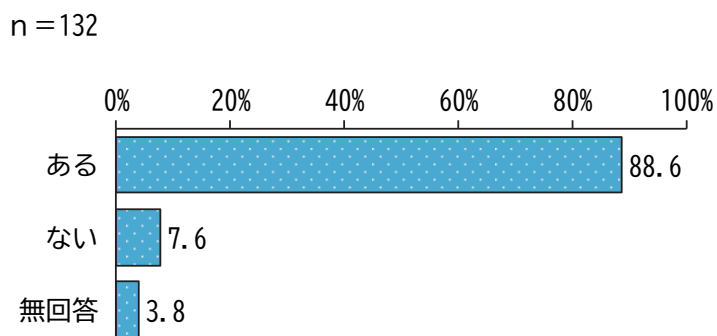
問 35 医療との連携において、課題だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

医療との連携における課題については、「主治医と話し合う機会が少ない」が49.2%と最も多く、次いで「連携のための連絡調整に時間がかかるなど苦労がある」と「協力的な姿勢や対応が得にくいことがある」が34.1%、「医師や医療関係者とコミュニケーションをとることが難しい」が32.6%となっています。



問 36 この1年間で、病院に入院または退院する利用者を担当したことがありますか。(〇は1つ)

病院に入院または退院する利用者を担当したことについては、「ある」が88.6%、「ない」が7.6%となっています。



問37 問36で「1. ある」と回答した方のみお答えください。  
この1年間で入院・退院をした利用者は、それぞれ何人ですか。

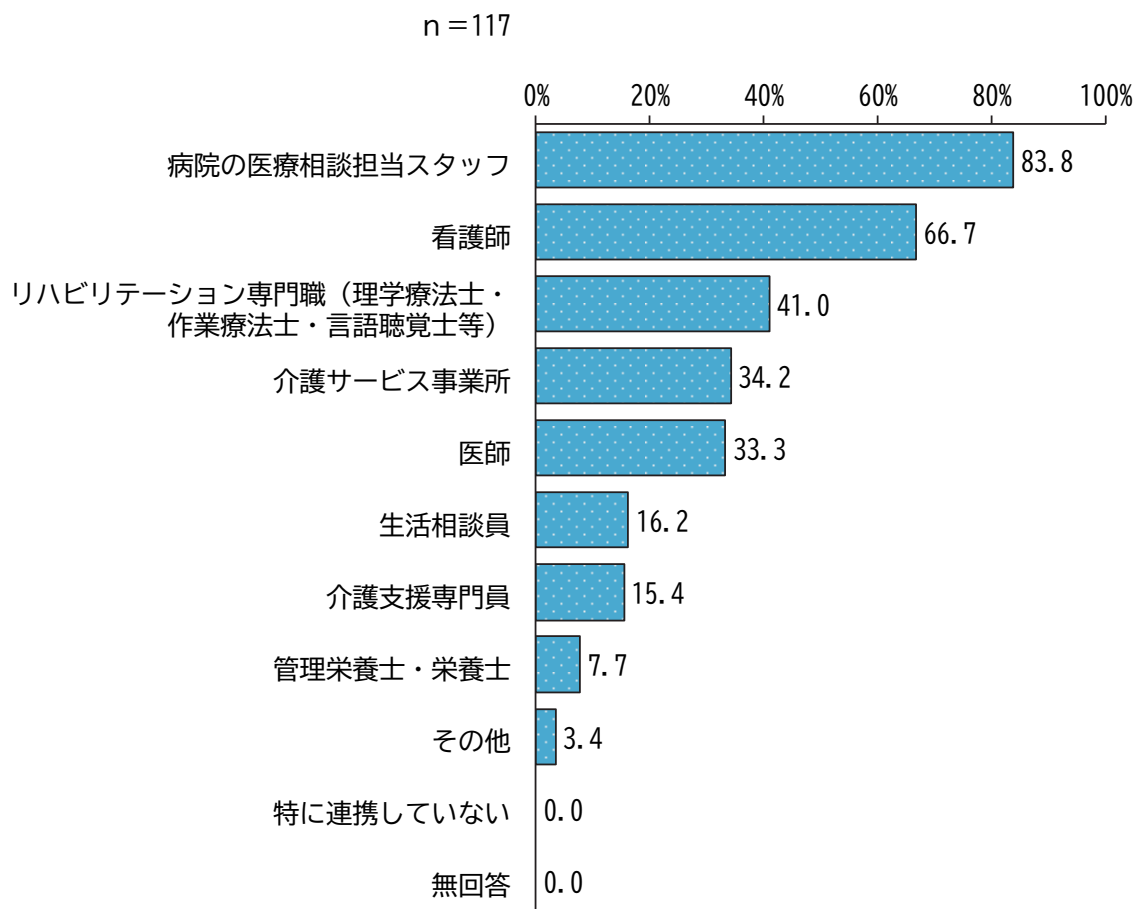
介護支援専門員1人あたりの年間平均支援件数については、「入院した利用者」が10件、「退院した利用者」が9件（いずれも延べ人数）となっています。※平均値を四捨五入しています。

平均値：（人）

	計
入院した利用者	10.2
退院した利用者	9.3

問38 問36で「1. ある」と回答した方のみお答えください。  
利用者が入院・退院した際の連携先をお答えください。（〇はいくつでも）

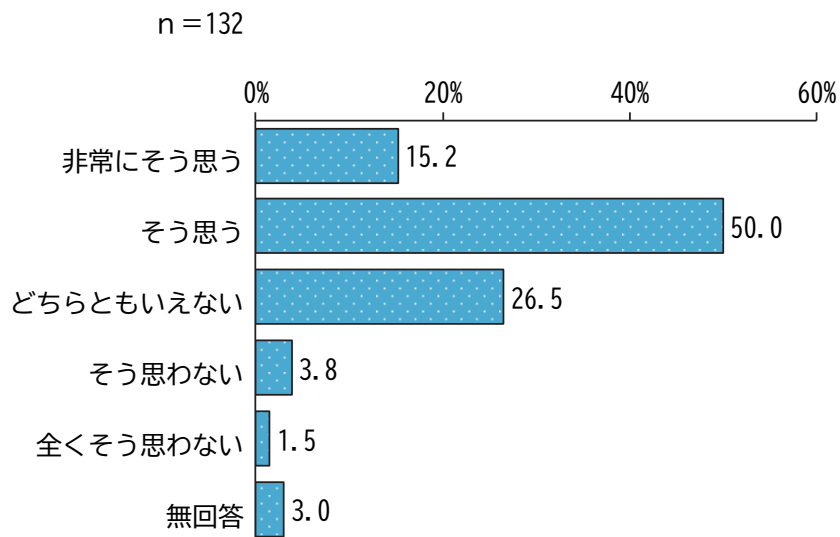
入院・退院した際の連携先については、「病院の医療相談担当スタッフ」が83.8%と最も多く、次いで「看護師」が66.7%、「リハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等）」が41.0%となっています。



問 39 入退院支援・調整について、どのように感じていますか。  
(それぞれあてはまるものに1つずつ〇)

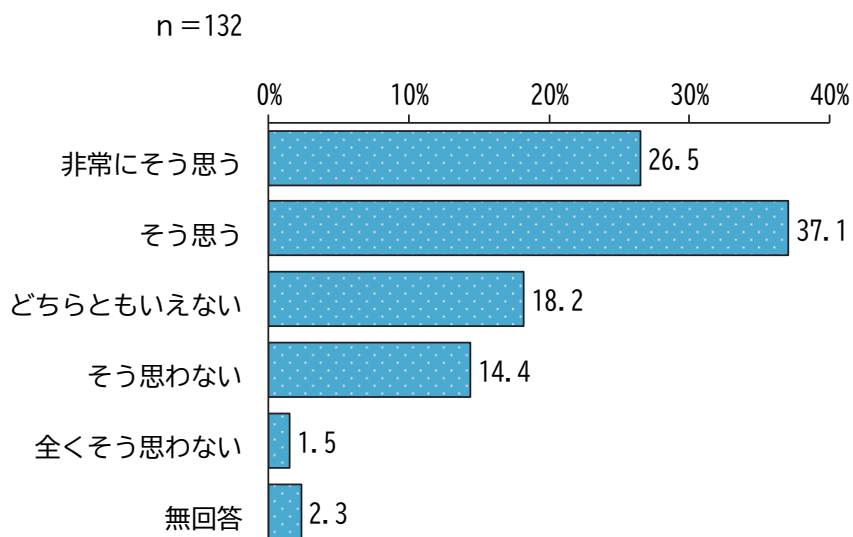
① 医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり、困ることがある

医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり、困ることについては、「そう思う」が50.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が26.5%、「非常にそう思う」が15.2%となっています。



② 病院における退院前カンファレンスが開催されるときには、必ず参加できている

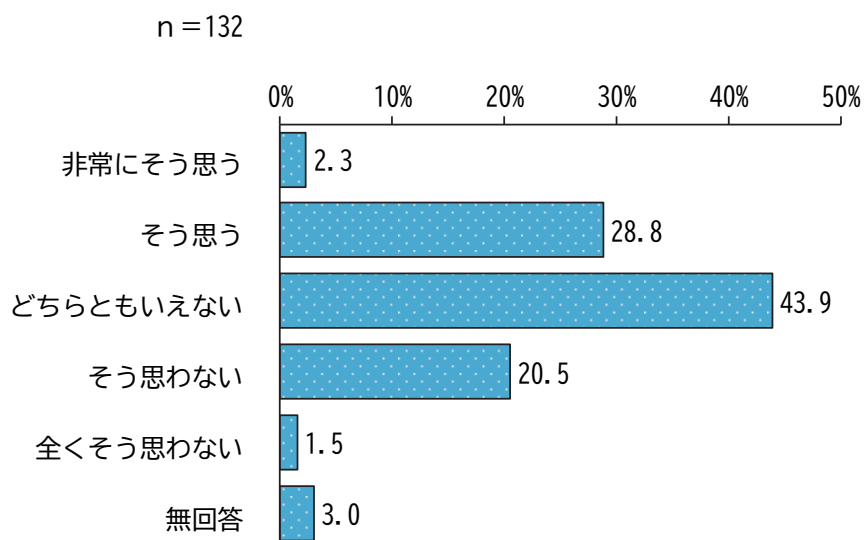
退院前カンファレンスに必ず参加できているかについては、「そう思う」が37.1%と最も多く、次いで「非常にそう思う」が26.5%、「どちらともいえない」が18.2%となっています。



## 第6章 介護支援専門員調査

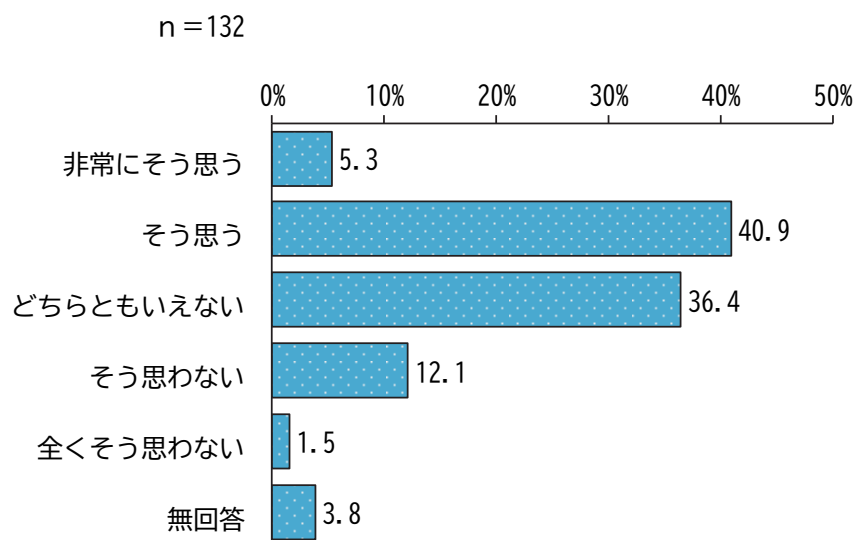
### ③ 退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している

退院時に病状について説明を受けて理解しているかについては、「どちらともいえない」が43.9%と最も多く、次いで「そう思う」が28.8%、「そう思わない」が20.5%となっています。



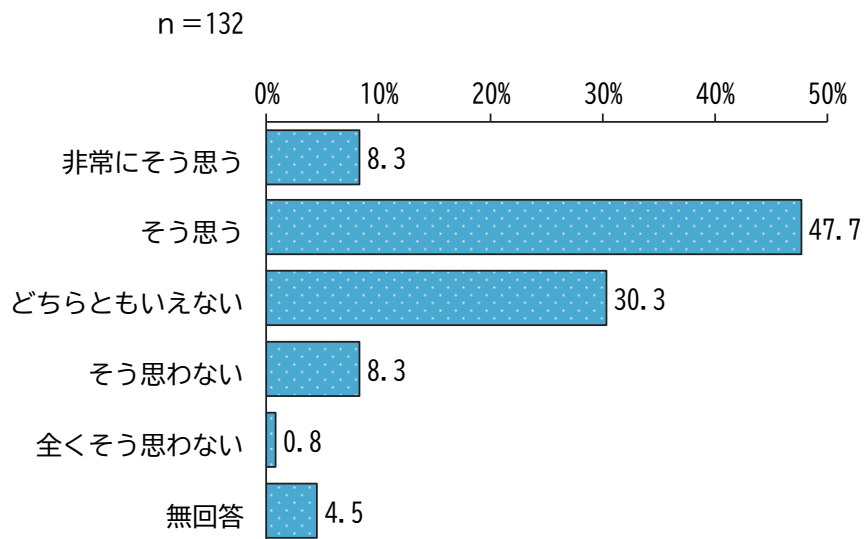
### ④ 退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれている

退院時に、病院の主治医または連携担当者と連携がとれているかについては、「そう思う」が40.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が36.4%、「そう思わない」が12.1%となっています。



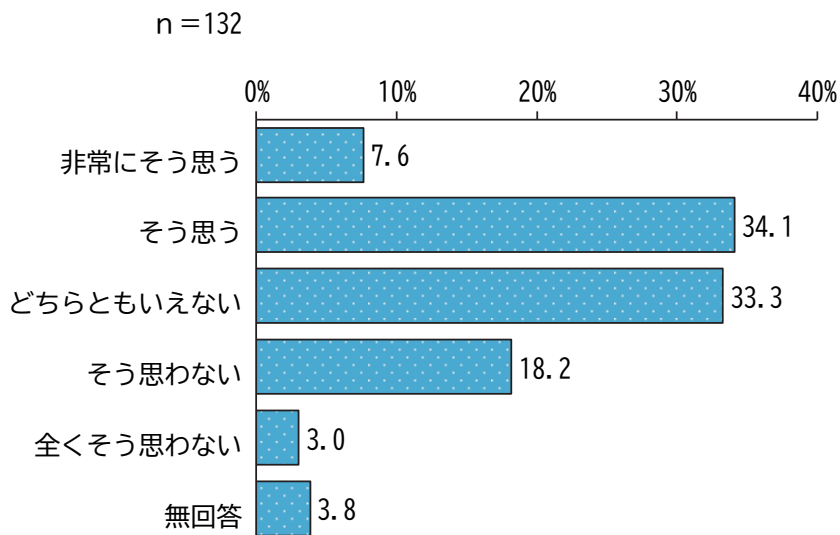
⑤ 入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携が取れている

入院時に在宅時の状況について情報提供するなど連携が取れているかについては、「そう思う」が47.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が30.3%、「非常にそう思う」と「そう思わない」が8.3%となっています。



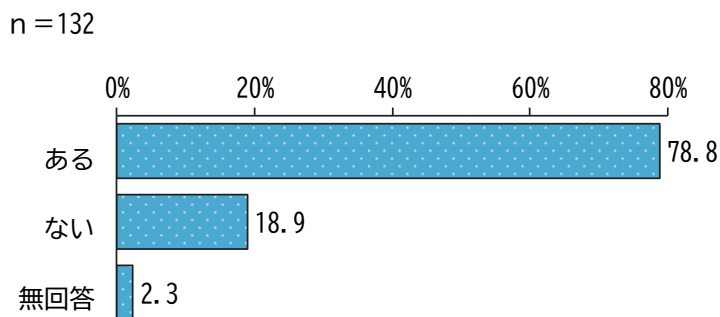
⑥ 病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている

病院からの適切な情報提供については、「そう思う」が34.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が33.3%、「そう思わない」が18.2%となっています。



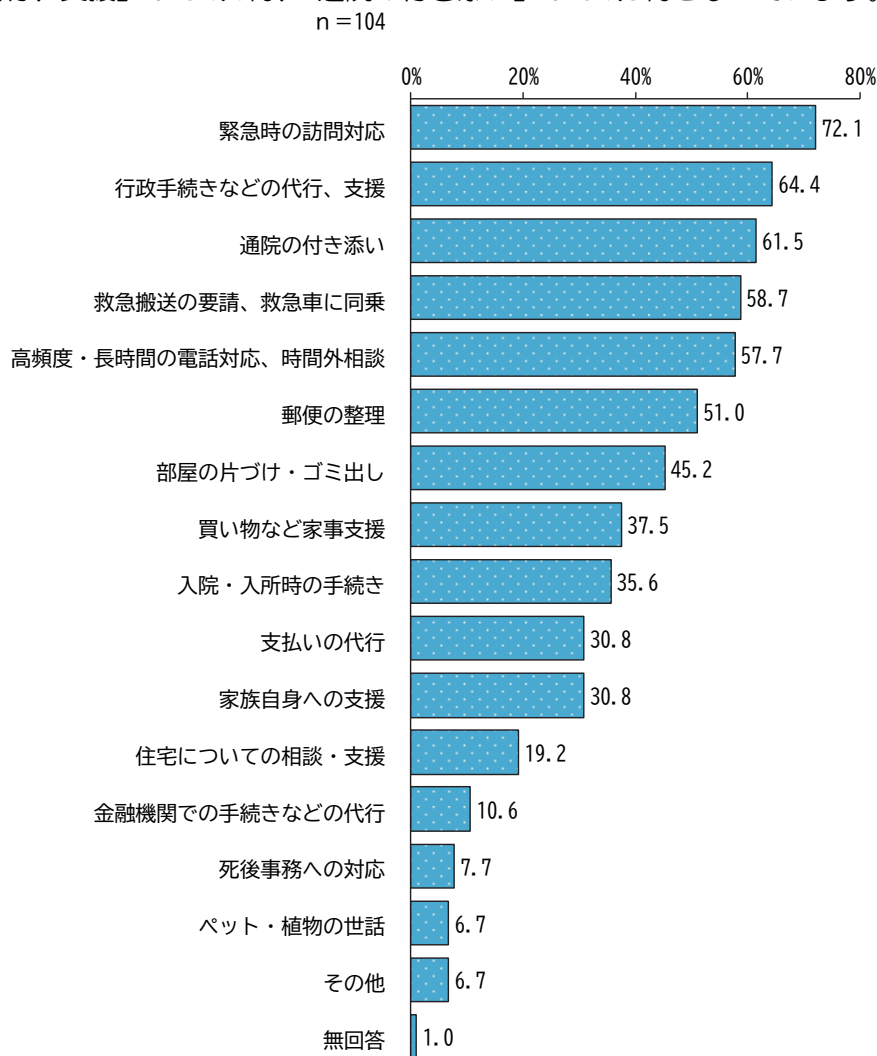
問40 本来の業務範囲以外となる「シャドウワーク」を行ったことはありますか。  
(○は1つ)

シャドウワークを行ったことがあるかについては、「ある」が78.8%、「ない」が18.9%となっています。



問41 問40で「1. ある」と回答した方のみお答えください。  
どのような支援を行いましたか。(○はいくつでも)

シャドウワークで行った支援については、「緊急時の訪問対応」が72.1%と最も多く、次いで「行政手続きなどの代行、支援」が64.4%、「通院の付き添い」が61.5%となっています。

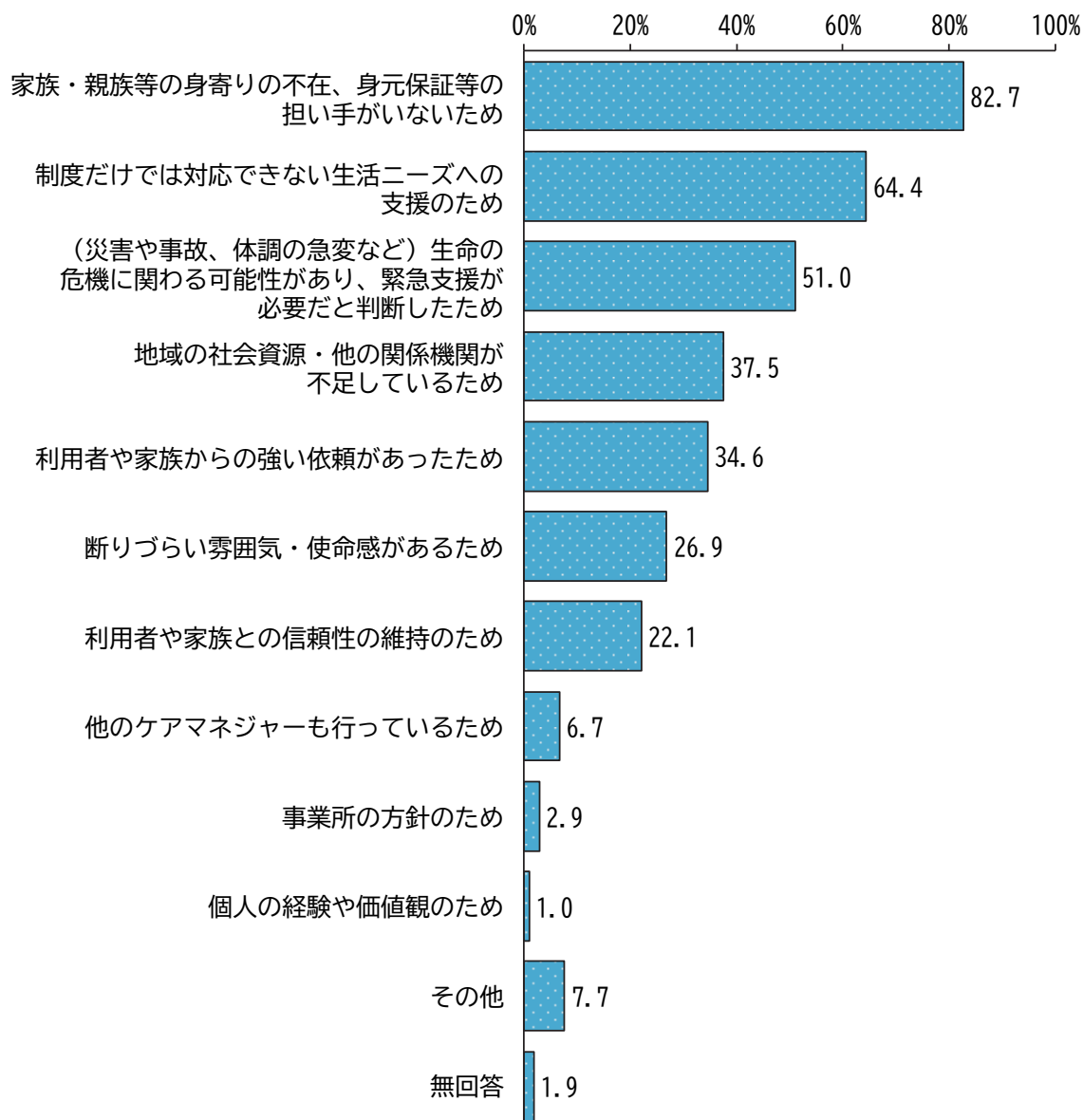


問42 問40で「1. ある」と回答した方のみお答えください。

シャドウワークを担うことになった背景や理由を教えてください。(〇はいくつでも)

シャドウワークを担うことになった背景や理由については、「家族・親族等の身寄りの不在、身元保証等の担い手がいないため」が82.7%と最も多く、次いで「制度だけでは対応できない生活ニーズへの支援のため」が64.4%、「(災害や事故、体調の急変など) 生命の危機に関わる可能性があり、緊急支援が必要だと判断したため」が51.0%となっています。

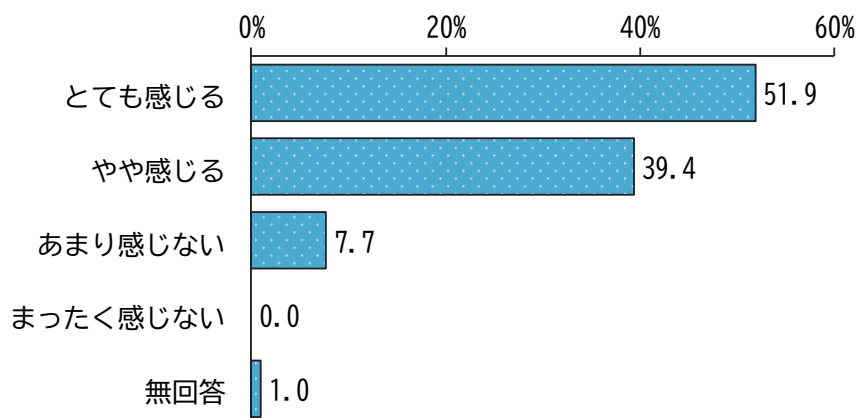
n=104



問43 問40で「1. ある」と回答した方のみお答えください。  
シャドウワークが業務負担や離職リスクの上昇につながっていると感じますか。  
(○は1つ)

シャドウワークが業務負担や離職リスクの上昇につながっているかについては、「とても感じる」が51.9%と最も多く、次いで「やや感じる」が39.4%、「あまり感じない」が7.7%となっています。

n = 104



## 第7章 介護従事者調査

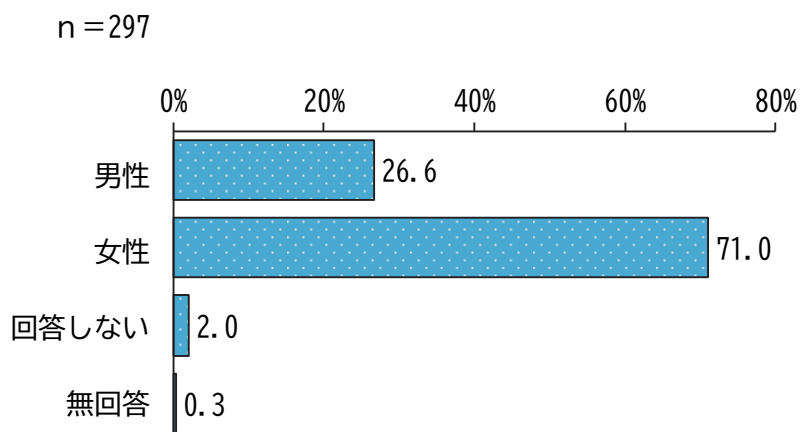
---



## 1 介護従事者としてのあなたご自身について

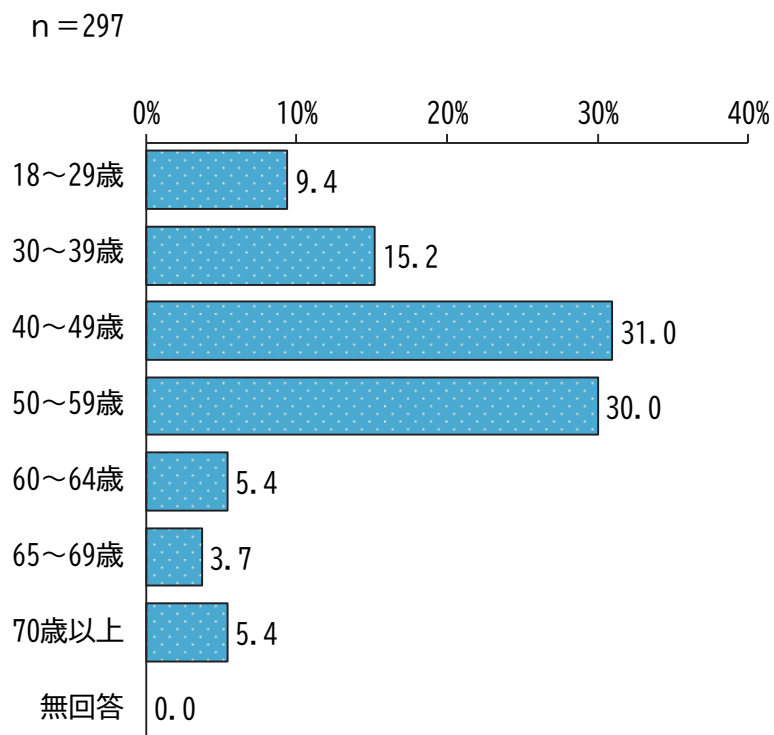
問1 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

性別については、「女性」が71.0%、「男性」が26.6%となっています。



問2 あなたの現在の年齢をお答えください。(〇は1つ)

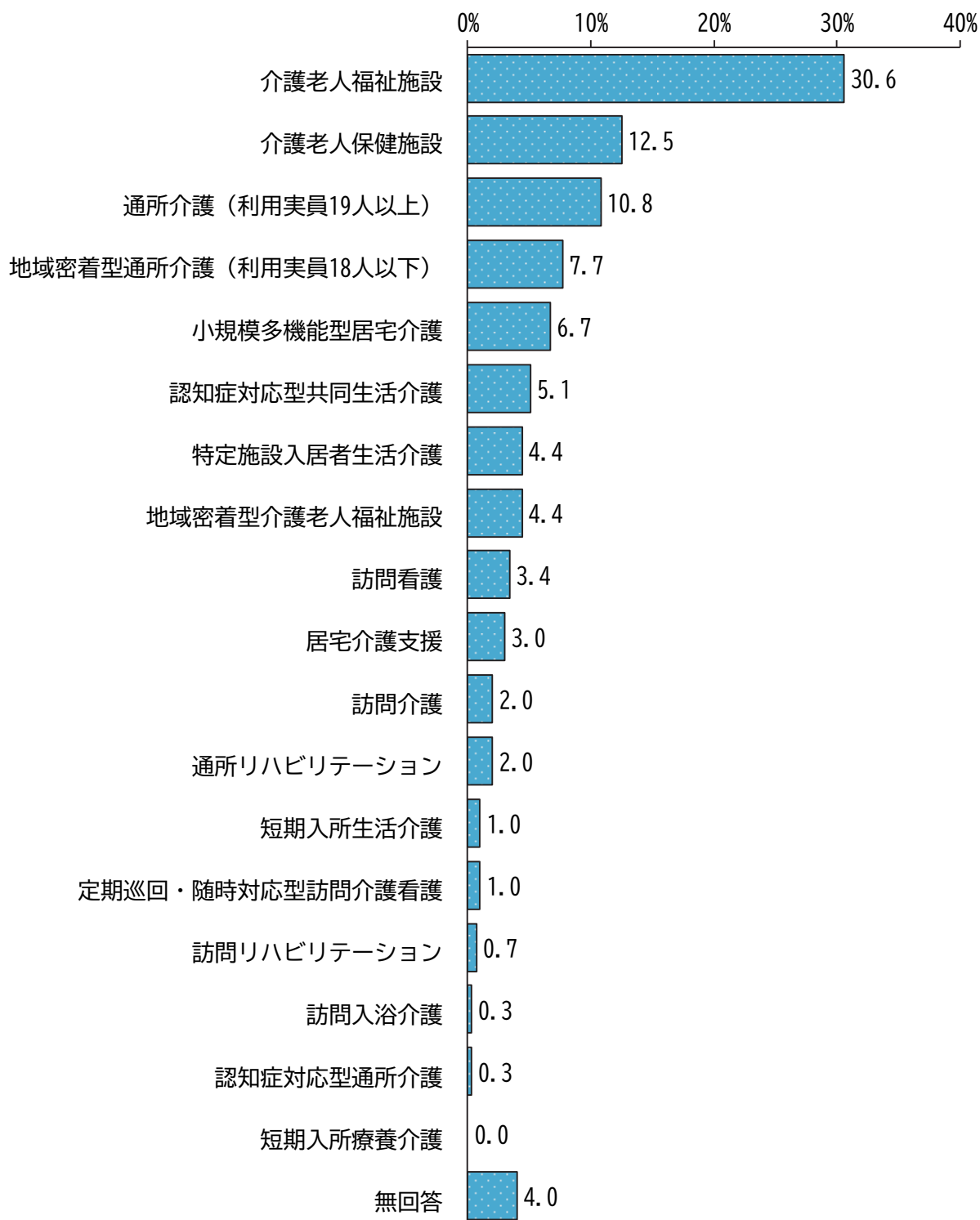
年齢については、「40～49歳」が31.0%と最も多く、次いで「50～59歳」が30.0%、「30～39歳」が15.2%となっています。



問3 あなたが従事している介護サービスの種類は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

従事している介護サービスの種類については、「介護老人福祉施設」が30.6%と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が12.5%、「通所介護（利用実員19人以上）」が10.8%となっています。

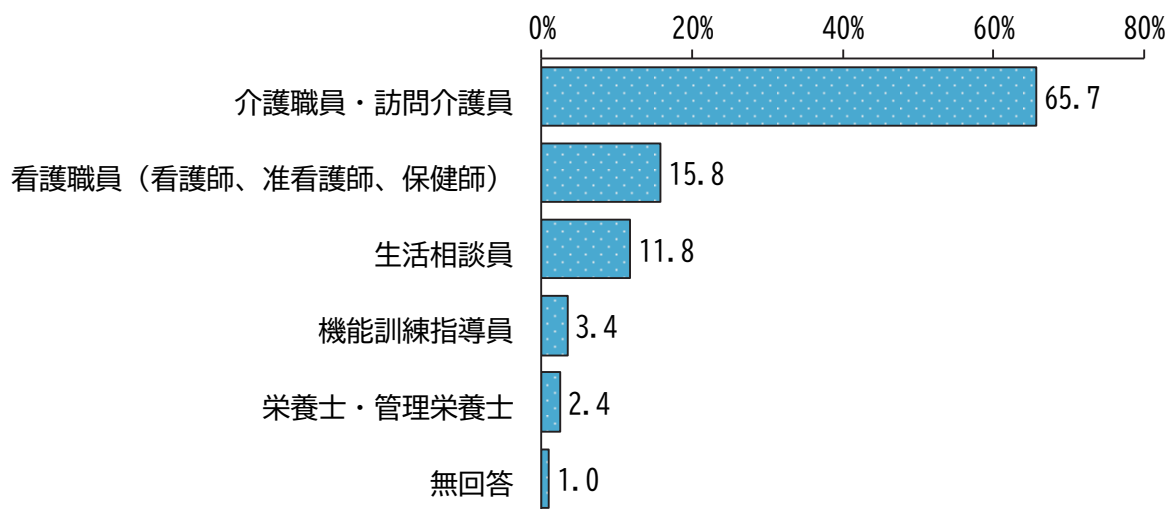
n = 297



問4 あなたの主な職種をお聞きします。(〇は1つ)

職種については、「介護職員・訪問介護員」が65.7%と最も多く、次いで「看護職員（看護師、准看護師、保健師）」が15.8%、「生活相談員」が11.8%となっています。

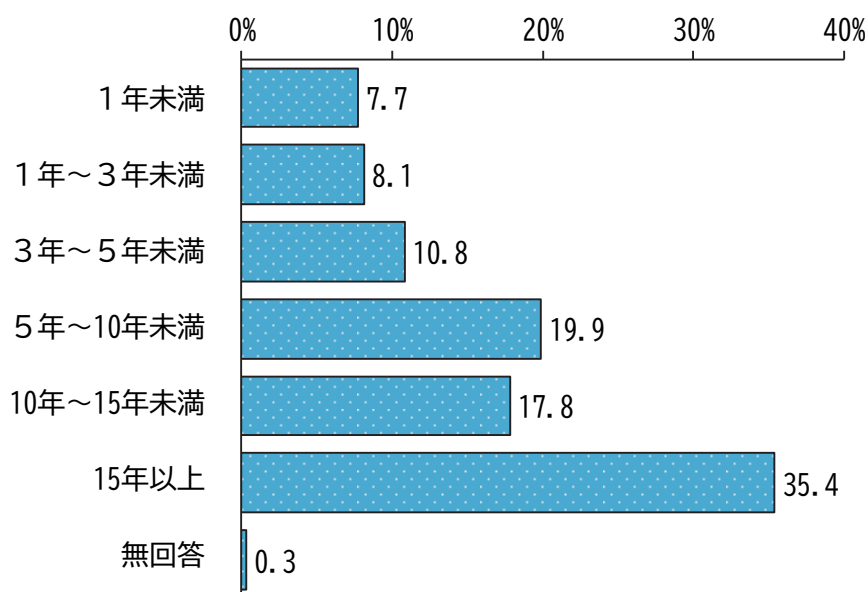
n = 297



問5 問4でお答えいただいた職種の、通算経験年数をお聞きします。(〇は1つ)

主な職種の通算経験年数については、「15年以上」が35.4%と最も多く、次いで「5年～10年未満」が19.9%、「10年～15年未満」が17.8%となっています。

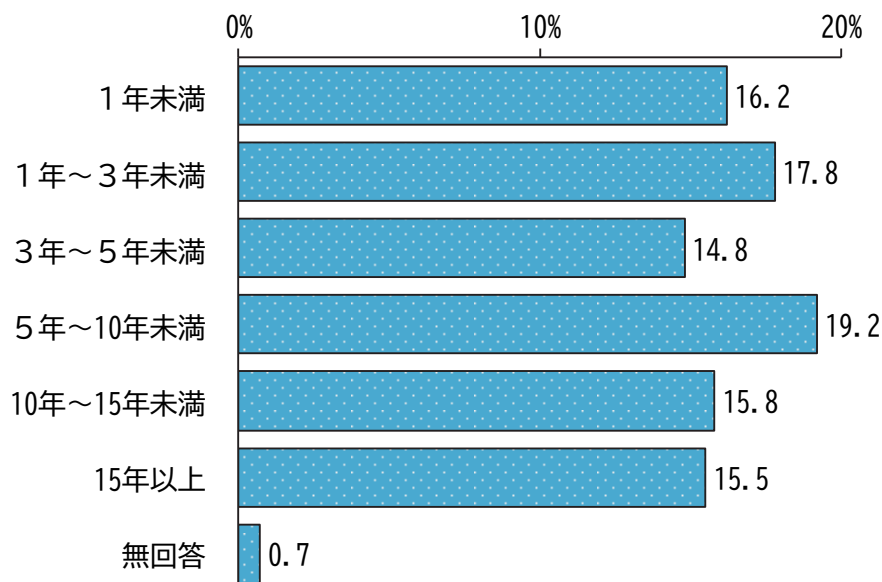
n = 297



問6 調査対象の事業所での、通算勤務年数をお聞きします。(〇は1つ)

現在の事業所への通算勤務年数については、「5年～10年未満」が19.2%と最も多く、次いで「1年～3年未満」が17.8%、「1年未満」が16.2%となっています。

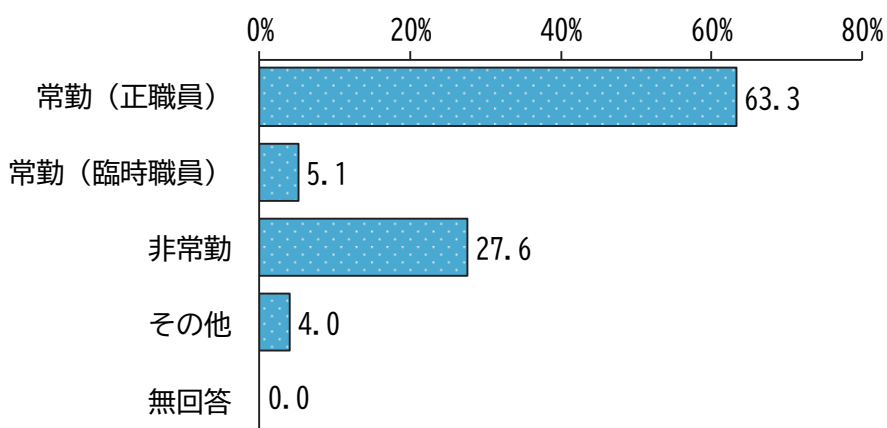
n = 297



問7 調査対象の事業所での、あなたの雇用形態をお聞きします。(〇は1つ)

雇用形態については、「常勤(正職員)」が63.3%、「非常勤」が27.6%、「常勤(臨時職員)」が5.1%となっています。

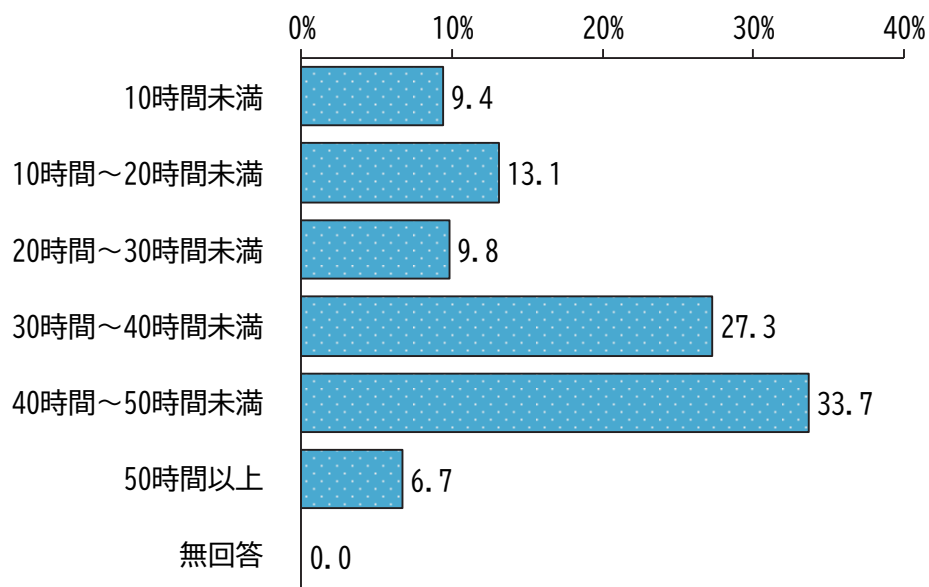
n = 297



問8 調査対象の事業所での、あなたの1週間の平均労働時間をお聞きします。(〇は1つ)

1週間の平均労働時間については、「40時間～50時間未満」が33.7%と最も多く、次いで「30時間～40時間未満」が27.3%、「10時間～20時間未満」が13.1%となっています。

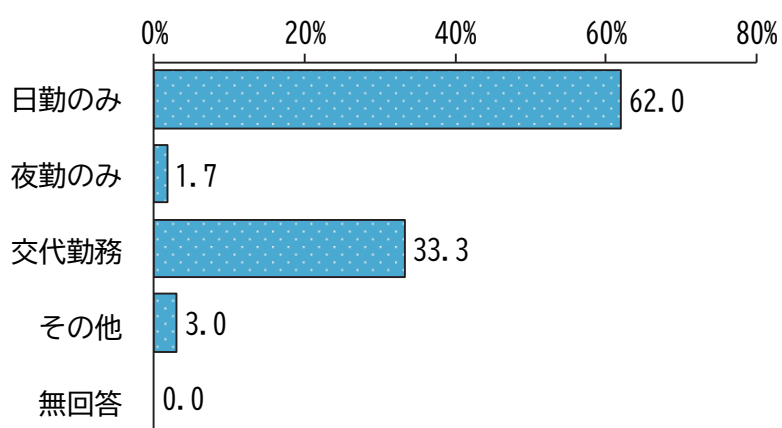
n = 297



問9 調査対象の事業所での、あなたの勤務体制をお聞きします。(〇は1つ)

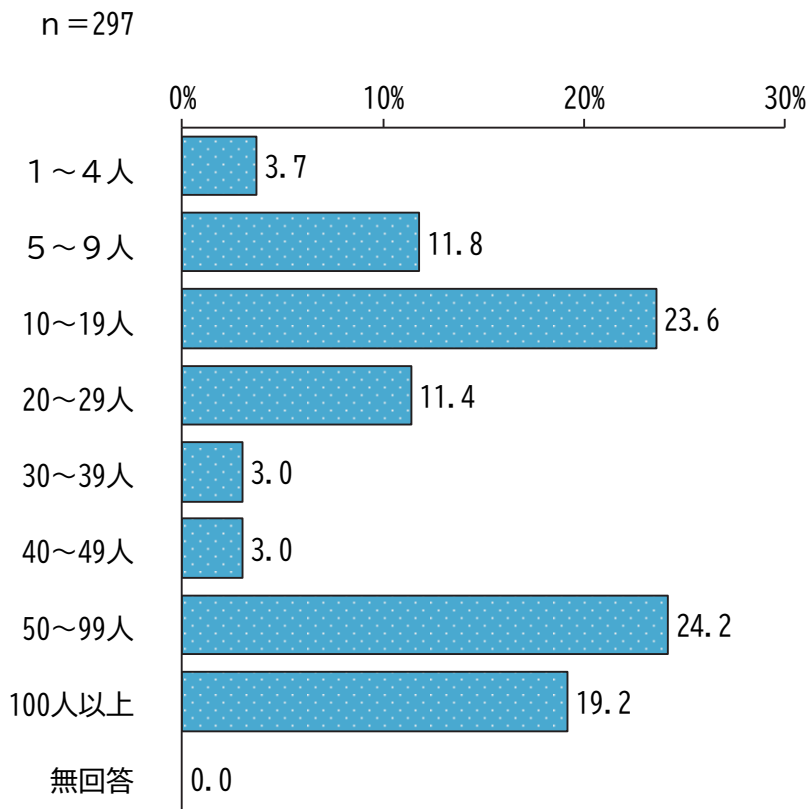
勤務体制については、「日勤のみ」が62.0%、「交代勤務」が33.3%、「夜勤のみ」が1.7%となっています。

n = 297



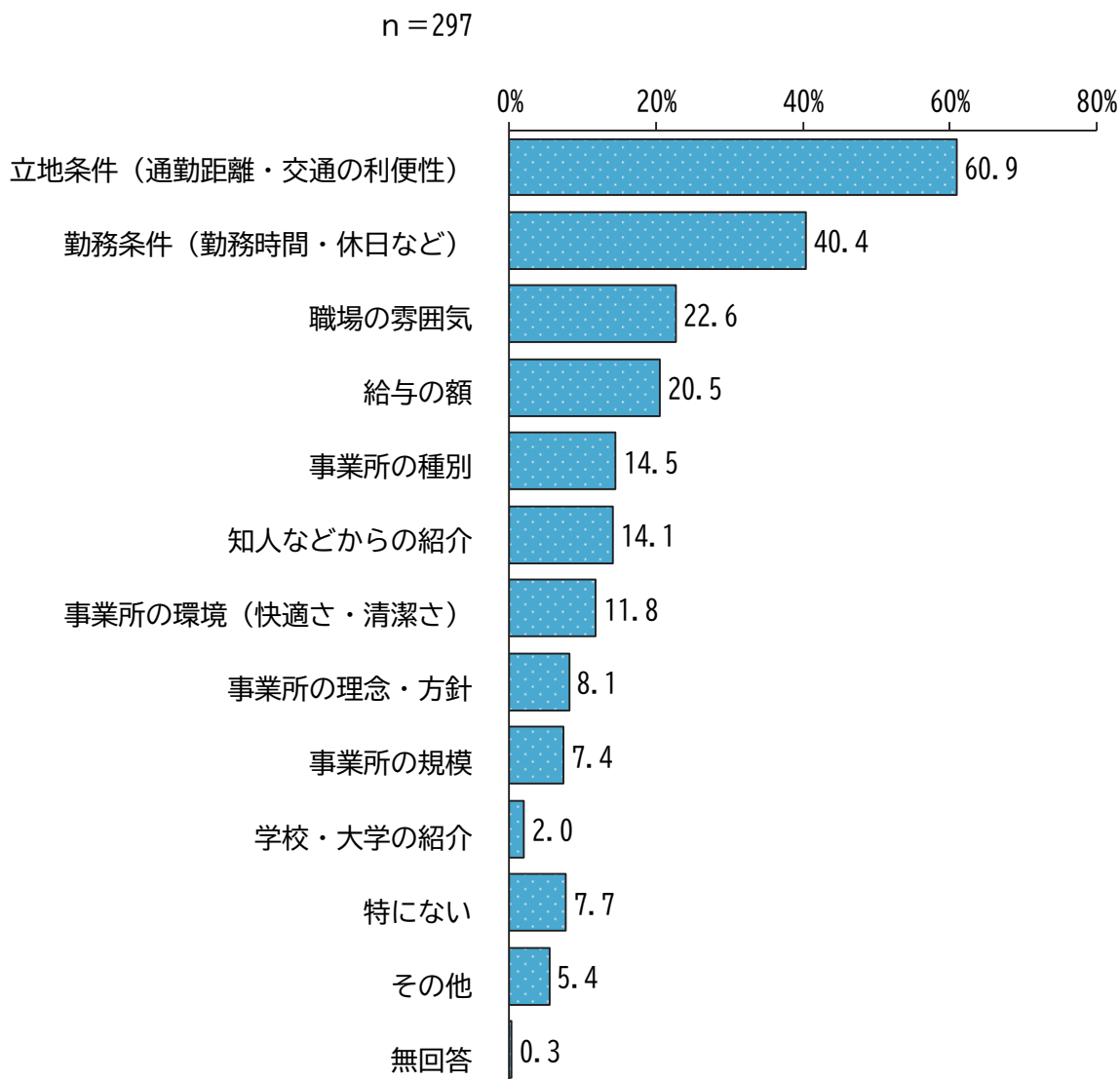
問10 あなたがお勤めの事業所では、おおよそ何人くらいの職員（常勤・非常勤とも）が勤務していますか。（○は1つ）

職員数については、「50～99人」が24.2%と最も多く、次いで「10～19人」が23.6%、「100人以上」が19.2%となっています。



## 問11 あなたが現在の事業所を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

現在の事業所を選んだ理由については、「立地条件（通勤距離・交通の利便性）」が60.9%と最も多く、次いで「勤務条件（勤務時間・休日など）」が40.4%、「職場の雰囲気」が22.6%となっています。



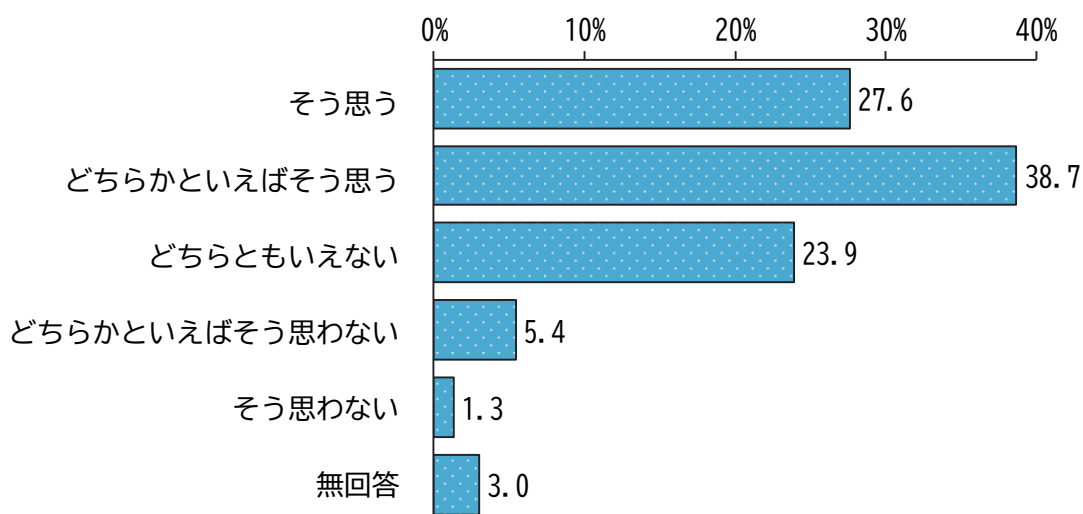
## 2 職場の環境について

問 12 あなたが働く職場について伺います。(それぞれ〇は1つ)

### A. 子育てがしやすい

子育てがしやすいかについては、「どちらかといえばそう思う」が 38.7%と最も多く、次いで「そう思う」が 27.6%、「どちらともいえない」が 23.9%となっています。

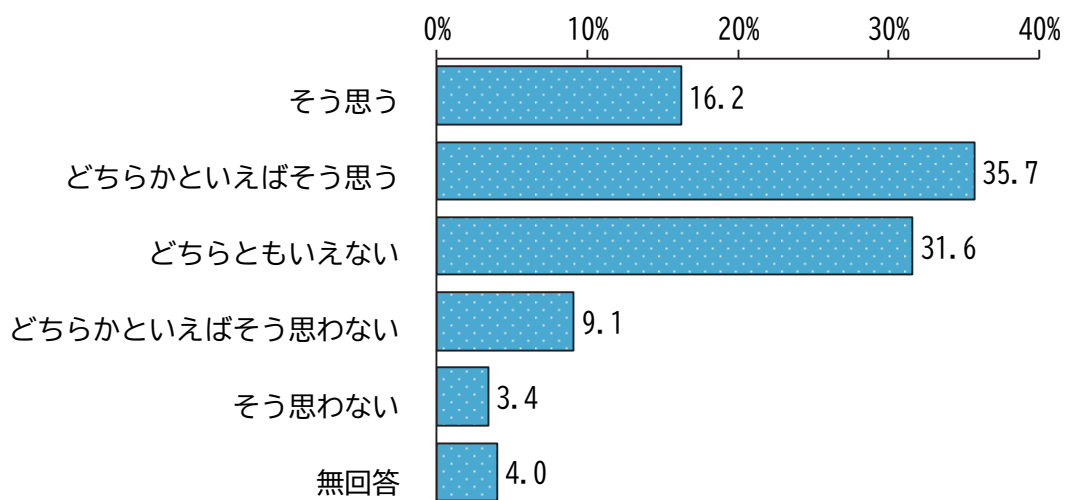
n = 297



### B. 介護との両立がしやすい

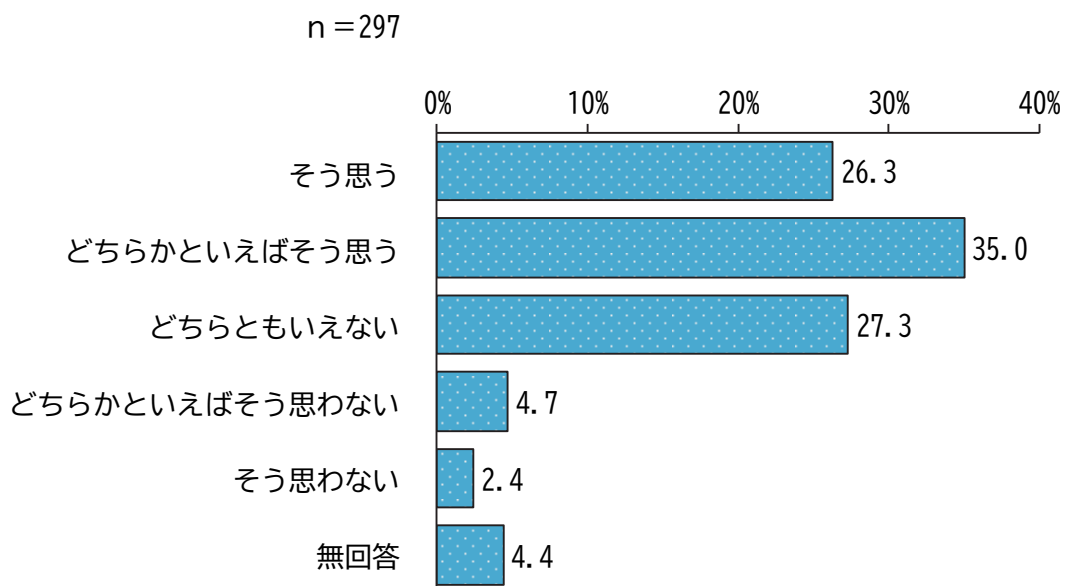
介護との両立がしやすいかについては、「どちらかといえばそう思う」が 35.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 31.6%、「そう思う」が 16.2%となっています。

n = 297



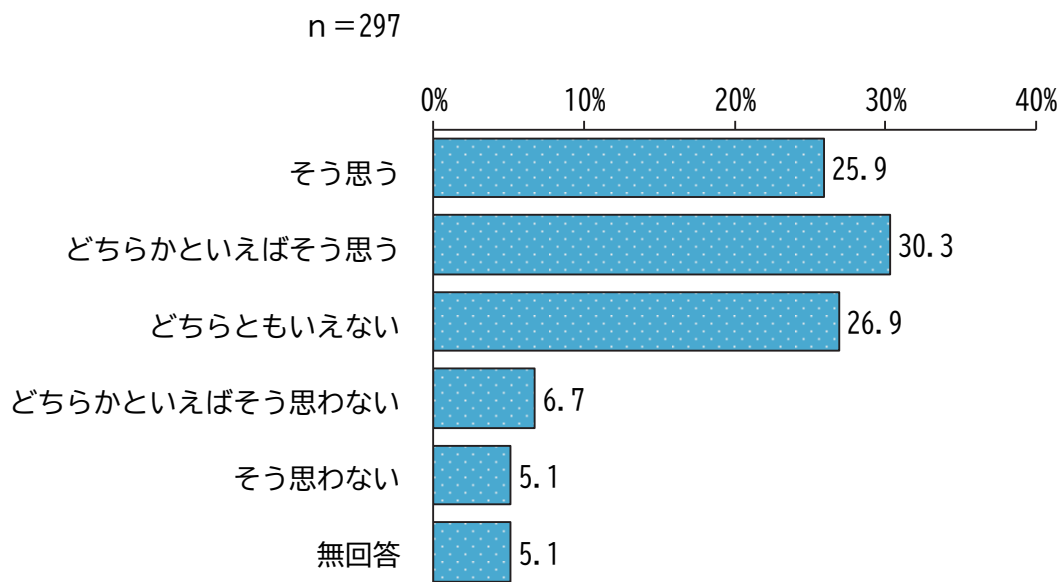
## C. 産前産後休暇がとりやすい

産前産後休暇がとりやすいかについては、「どちらかといえばそう思う」が35.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が27.3%、「そう思う」が26.3%となっています。



## D. 育児休暇がとりやすい

育児休暇がとりやすいかについては、「どちらかといえばそう思う」が30.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が26.9%、「そう思う」が25.9%となっています。

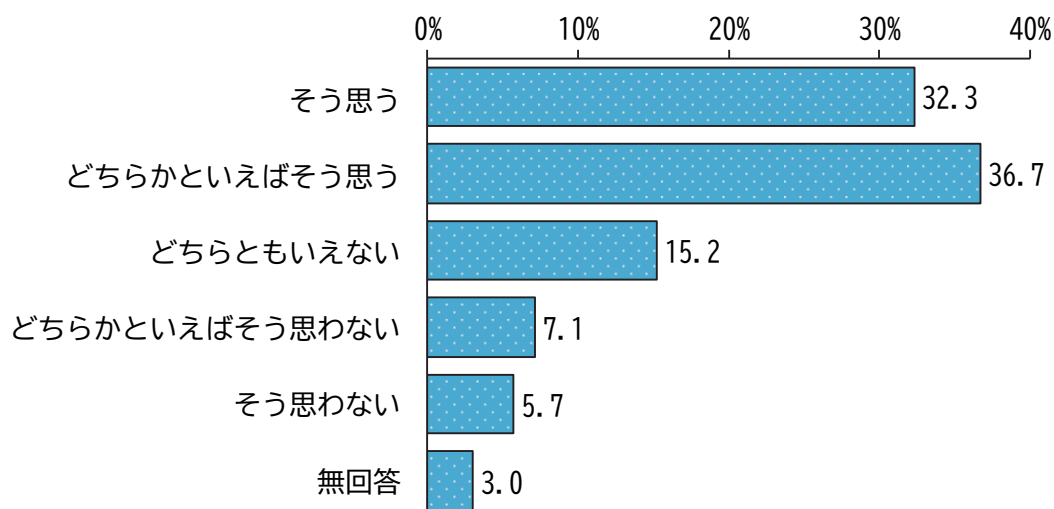


## 第7章 介護従事者調査

### E. 有給休暇がとりやすい

有給休暇がとりやすいかについては、「どちらかといえばそう思う」が36.7%と最も多く、次いで「そう思う」が32.3%、「どちらともいえない」が15.2%となっています。

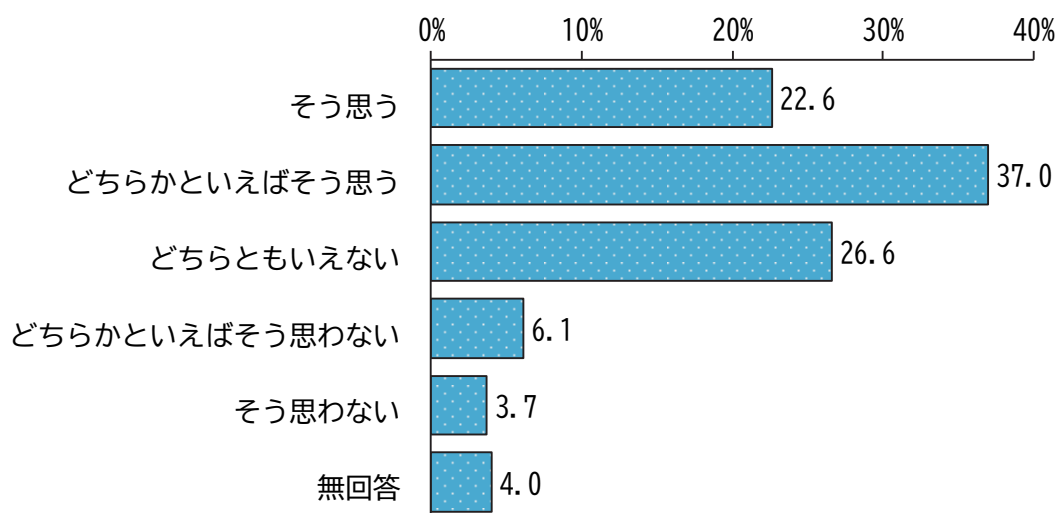
n = 297



### F. 昇給や昇格、意思決定において男女が平等である

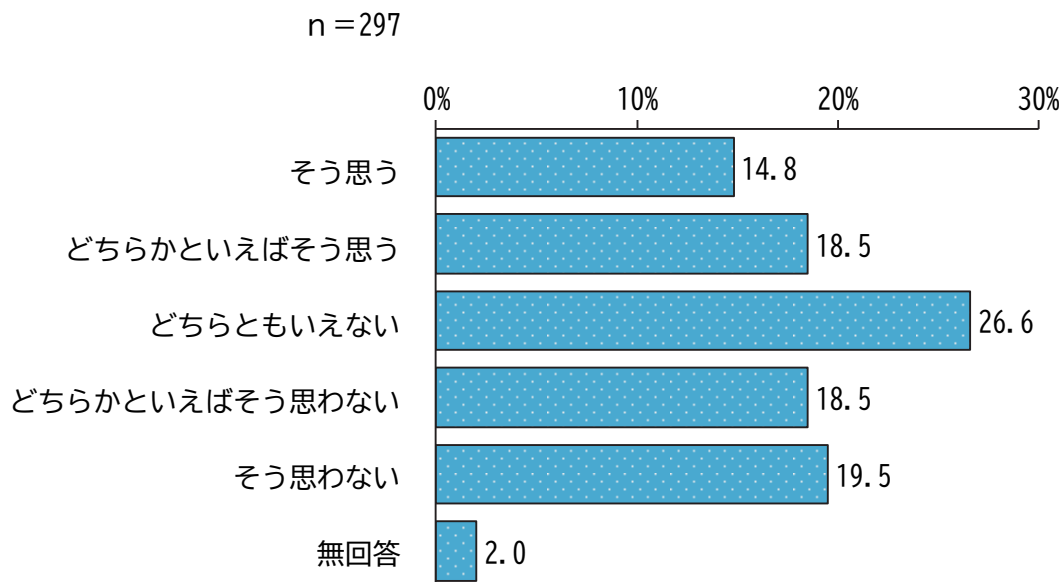
昇給や昇格、意思決定において男女が平等であるかについては、「どちらかといえばそう思う」が37.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が26.6%、「そう思う」が22.6%となっています。

n = 297



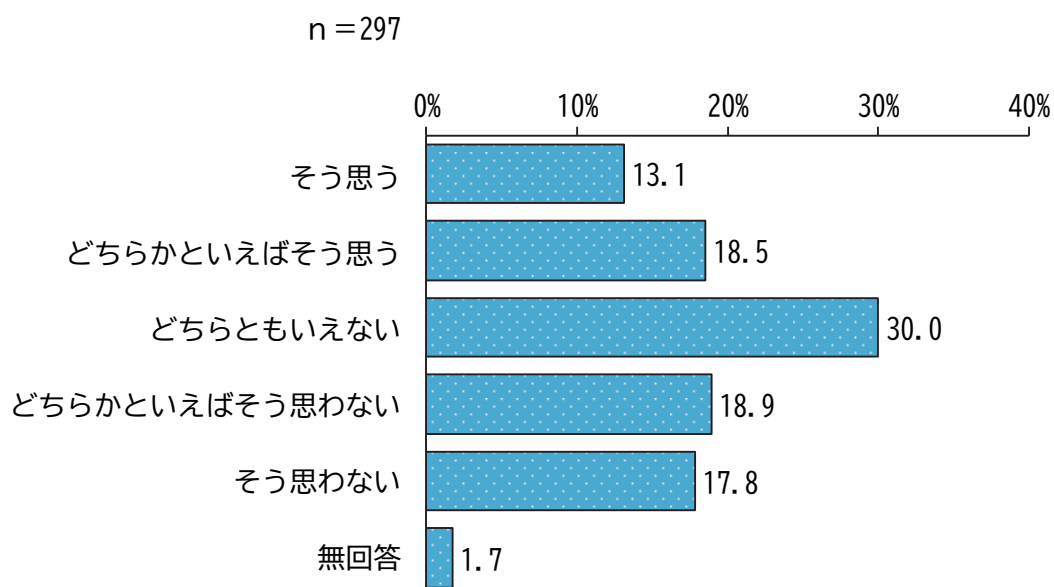
## G. サービス残業を行うことがある

サービス残業を行うことがあるかについては、「どちらともいえない」が26.6%と最も多く、次いで「そう思わない」が19.5%、「どちらかといえばそう思う」と「どちらかといえばそう思わない」が18.5%となっています。



## H. 時間外勤務が多い

時間外勤務が多いかについては、「どちらともいえない」が30.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が18.9%、「どちらかといえばそう思う」が18.5%となっています。

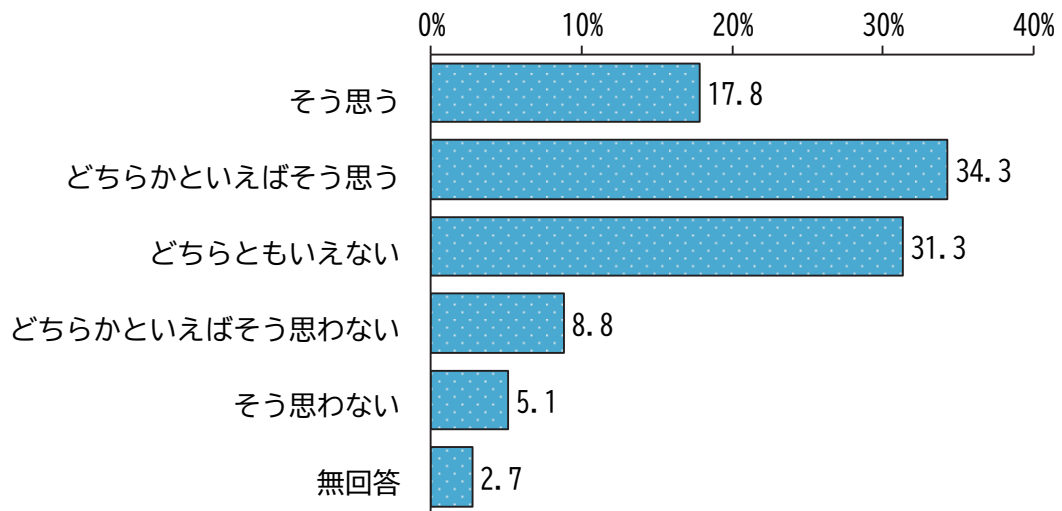


## 第7章 介護従事者調査

### I. ハラスメントに対する対策がなされている

ハラスメントに対する対策がなされているかについては、「どちらかといえばそう思う」が34.3%と最も多く、次いで、「どちらともいえない」が31.3%、「そう思う」が17.8%となっています。

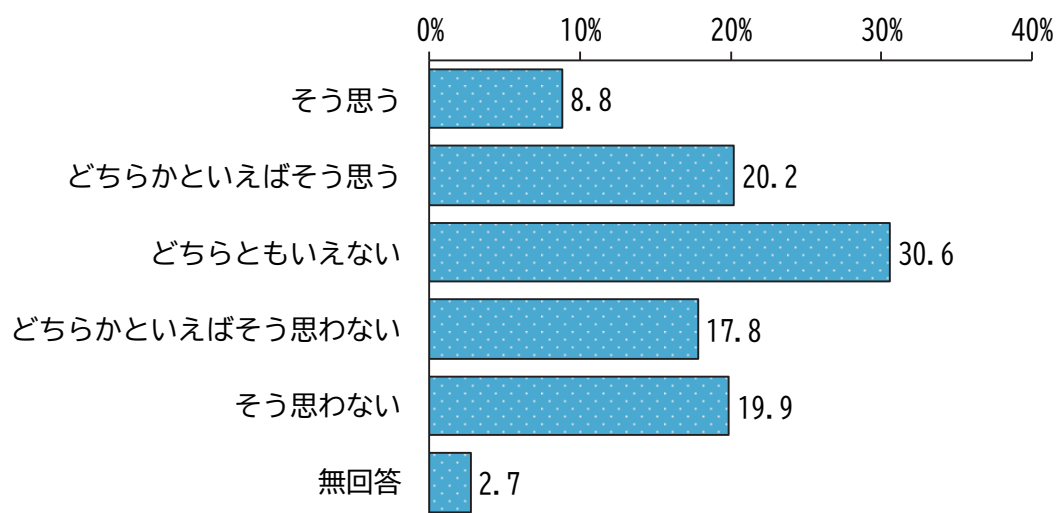
n = 297



### J. テレワーク（Web会議や研修など）や在宅勤務の体制が整っている

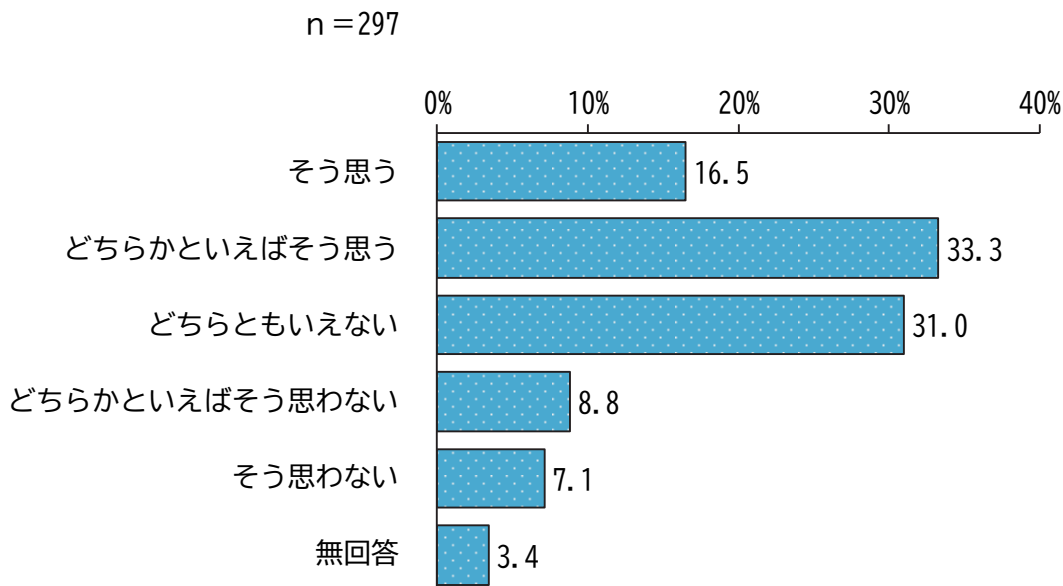
テレワーク（Web会議や研修など）や在宅勤務の体制が整っているかについては、「どちらともいえない」が30.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が20.2%、「そう思わない」が19.9%となっています。

n = 297



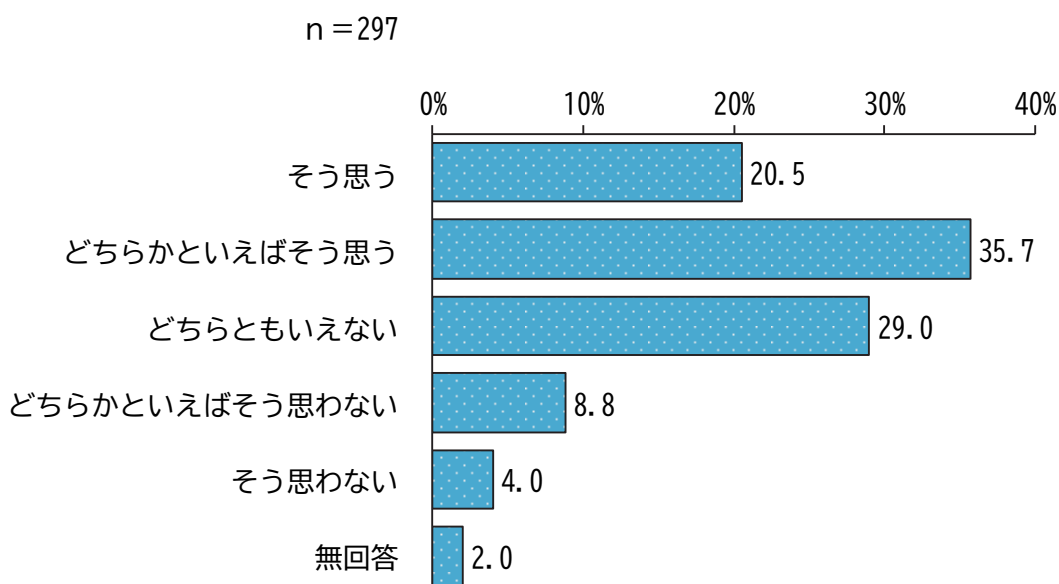
## K. 時短勤務やフレックスなど個人への配慮がなされている

時短勤務やフレックスなど個人への配慮がなされているかについては、「どちらかといえばそう思う」が33.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が31.0%、「そう思う」が16.5%となっています。



## L. 研修会や交流会への参加など、スキルアップの機会が保証されている

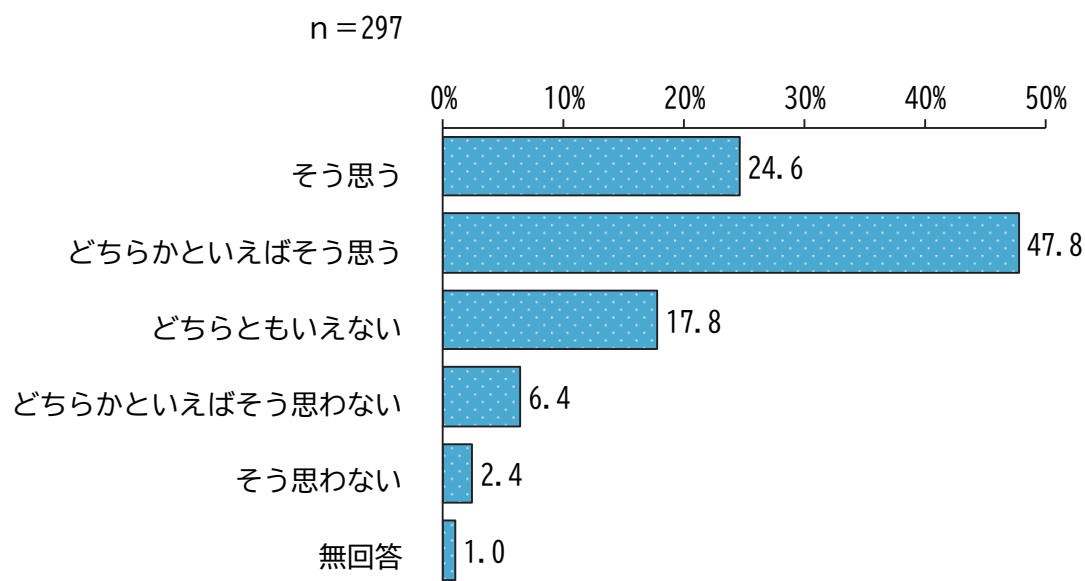
研修会や交流会への参加など、スキルアップの機会が保証されているかについては、「どちらかといえばそう思う」が35.7%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が29.0%、「そう思う」が20.5%となっています。



## 第7章 介護従事者調査

### M. 職場でコミュニケーションが取れている

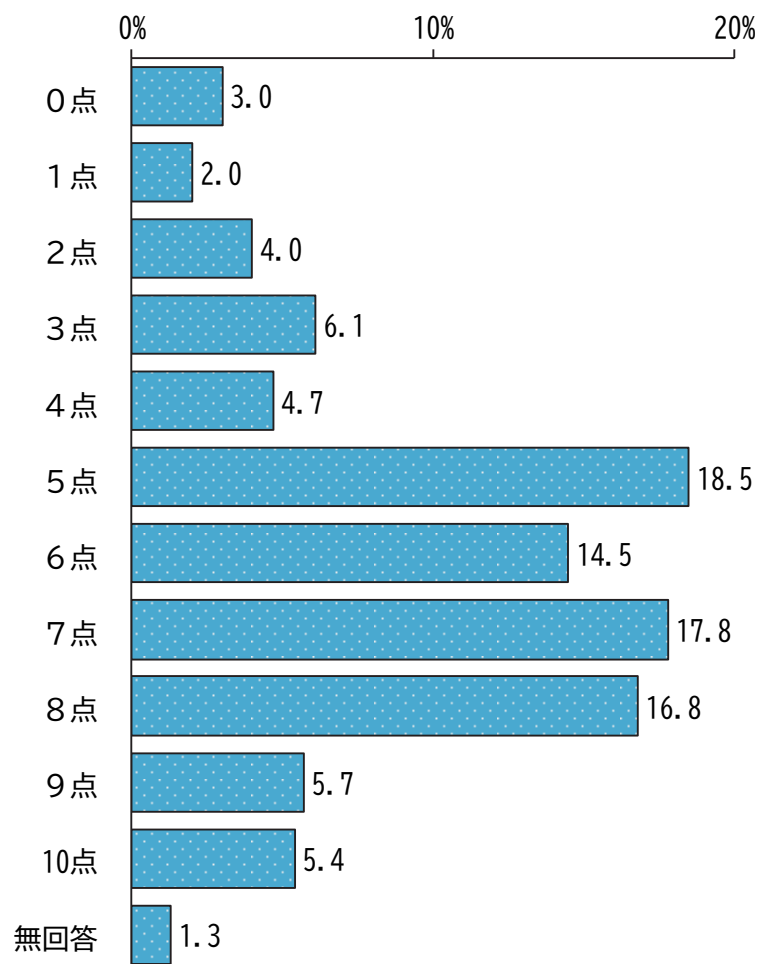
職場でコミュニケーションが取れているかについては、「どちらかといえばそう思う」が47.8%と最も多く、次いで「そう思う」が24.6%、「どちらともいえない」17.8%となっています。



問13 あなたは今の労働環境にどの程度満足していますか。(〇は1つ)

労働環境の満足度については、「5点」が18.5%と最も多く、次いで「7点」が17.8%、「8点」が16.8%となっています。

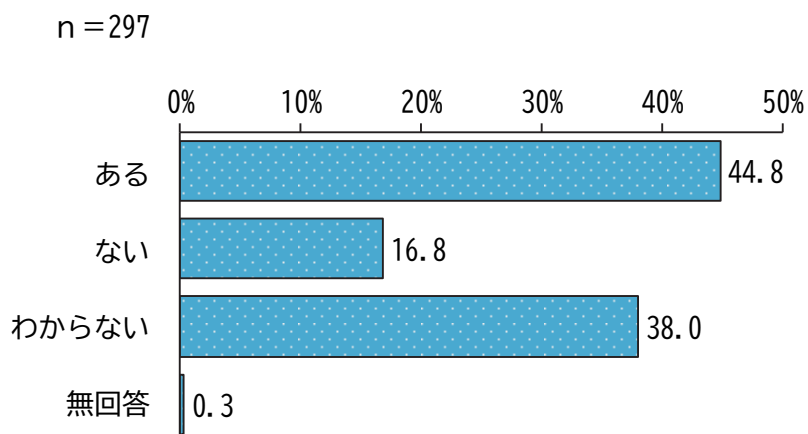
n = 297



### 3 業務に対する評価・待遇について

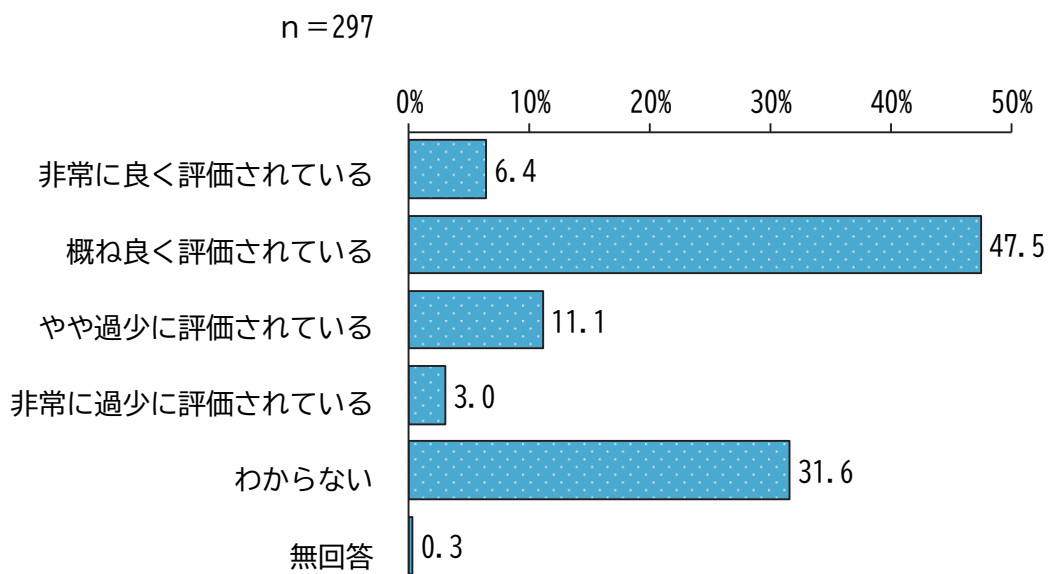
問14 あなたの職場では、業務に関して公平な評価が行われる制度（人事考課など）はありますか。（〇は1つ）

評価制度の有無については、「ある」が44.8%、「ない」が16.8%となっています。



問15 あなたの業務に対する評価をどのように感じていますか。（〇は1つ）

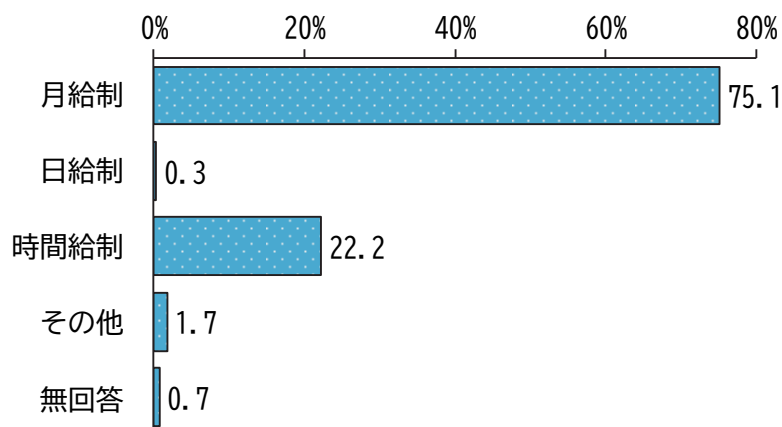
業務に対する評価については、「概ね良く評価されている」が47.5%と最も多く、次いで「わからない」が31.6%、「やや過少に評価されている」が11.1%となっています。



問16 事業所から受け取る賃金の支払形態をお聞きます。(〇は1つ)

賃金の支払形態については、「月給制」が75.1%と最も多く、次いで「時間給制」が22.2%、「日給制」が0.3%となっています。

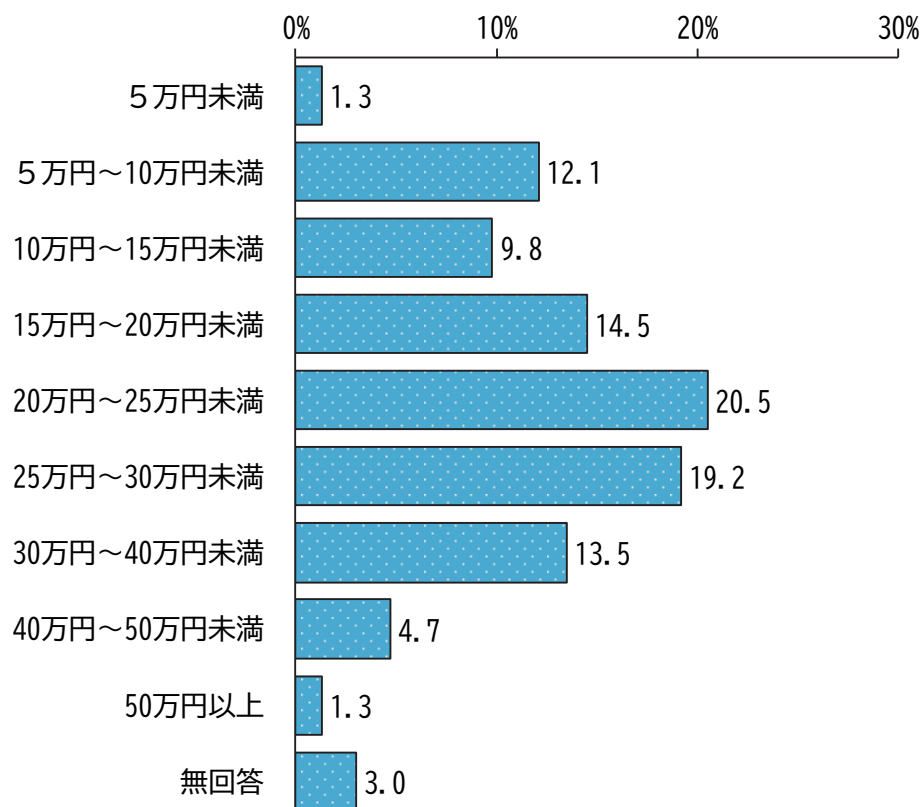
n = 297



問17 差し支えなければ、現在支給されている給与・賃金の額（月額【諸手当・税込】）をお答えください。(〇は1つ)

給与・賃金の額については、「20万円～25万円未満」が20.5%と最も多く、次いで「25万円～30万円未満」が19.2%、「15万円～20万円未満」が14.5%となっています。

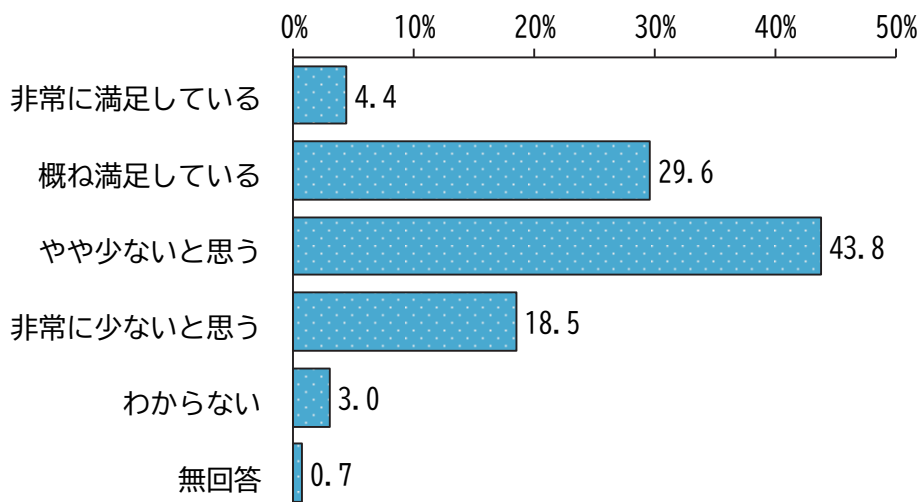
n = 297



問 18 あなたは、現在支給されている給与・賃金の額について、どのように感じていますか。  
(○は1つ)

給与・賃金額の満足度については、「やや少ないと思う」が43.8%と最も多く、次いで「概ね満足している」が29.6%、「非常に少ないと思う」が18.5%となっています。

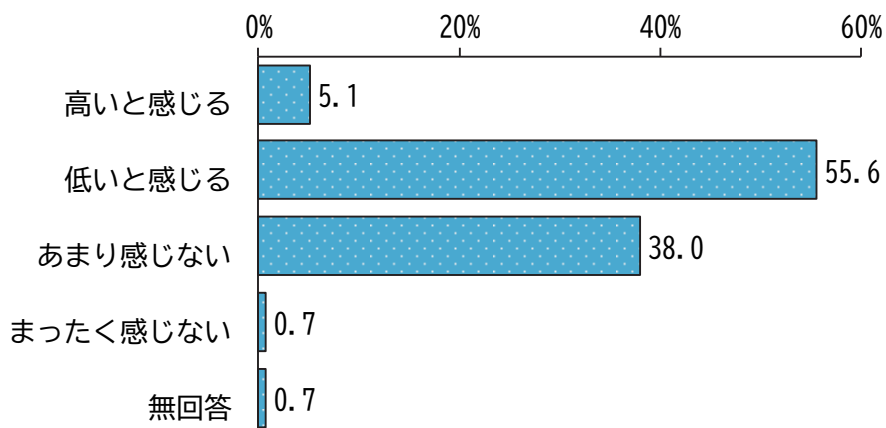
n = 297



問 19 都内、近隣市の介護事業所と比べ賃金に差があると感じますか。(○は1つ)

近隣市の介護事業所との賃金差については、「低いと感じる」が55.6%と最も多く、次いで「あまり感じない」が38.0%、「高いと感じる」が5.1%となっています。

n = 297

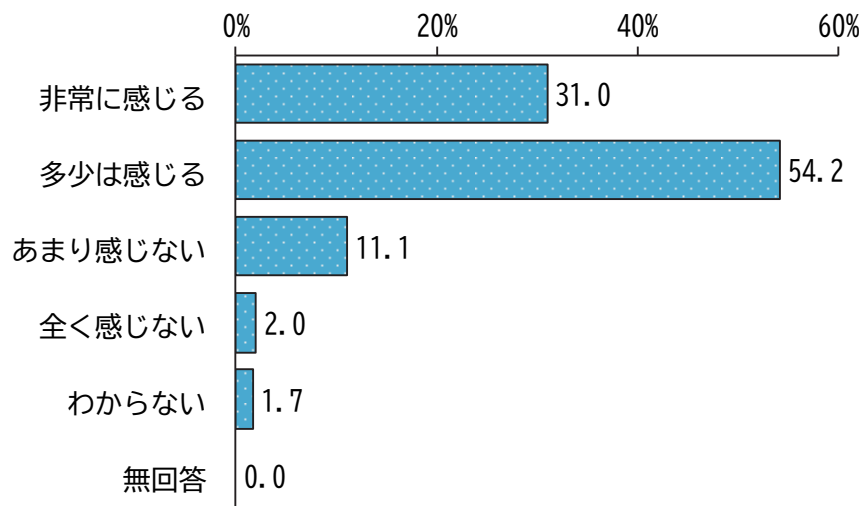


#### 4 仕事に対する不安や今後のことについて

問 20 あなたは、仕事にストレスを感じることがありますか。(○は1つ)

仕事へのストレスについては、「多少は感じる」が 54.2%と最も多く、次いで「非常に感じる」が 31.0%、「あまり感じない」が 11.1%となっています。

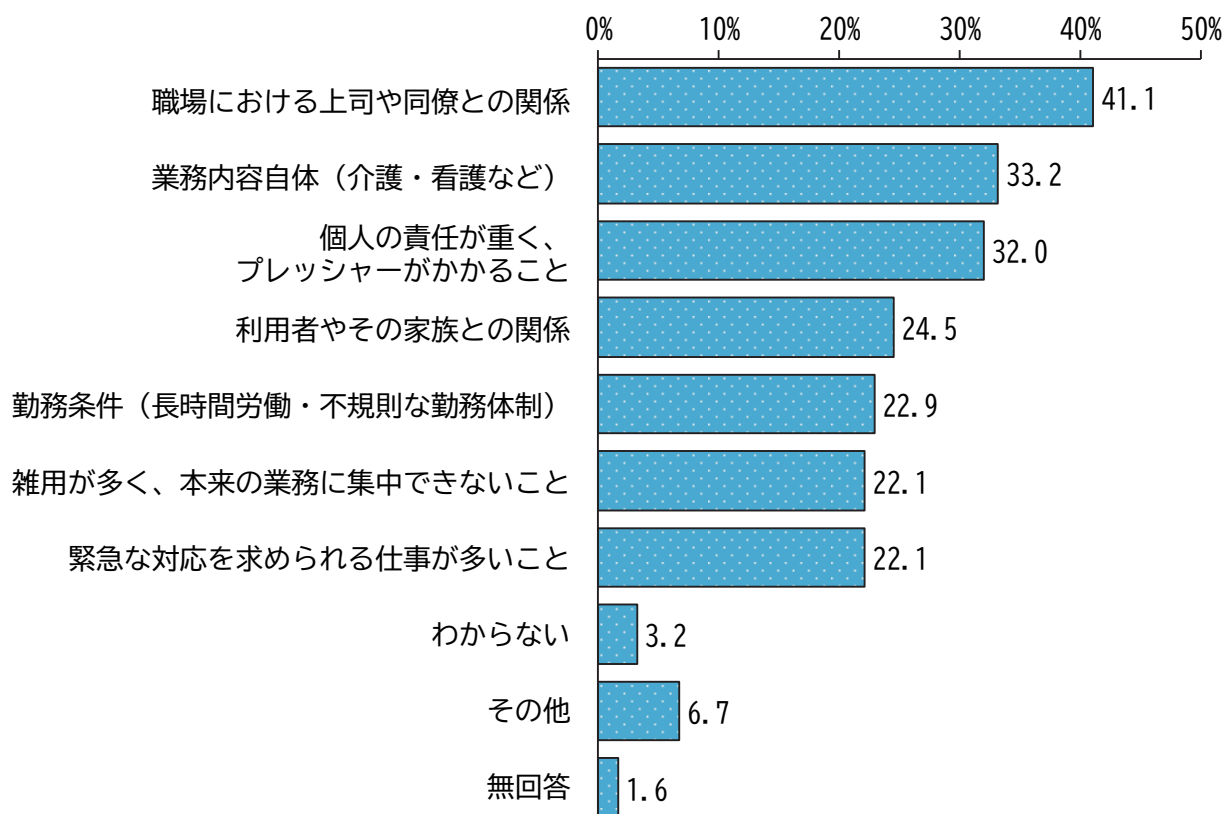
n = 297



問21 問20で「1」、「2」と回答した方にお聞きします。  
 あなたがストレスを感じる原因は何ですか。(〇はいくつでも)

ストレスの原因については、「職場における上司や同僚との関係」が41.1%と最も多く、次いで「業務内容自体(介護・看護など)」が33.2%、「個人の責任が重く、プレッシャーがかかること」が32.0%となっています。

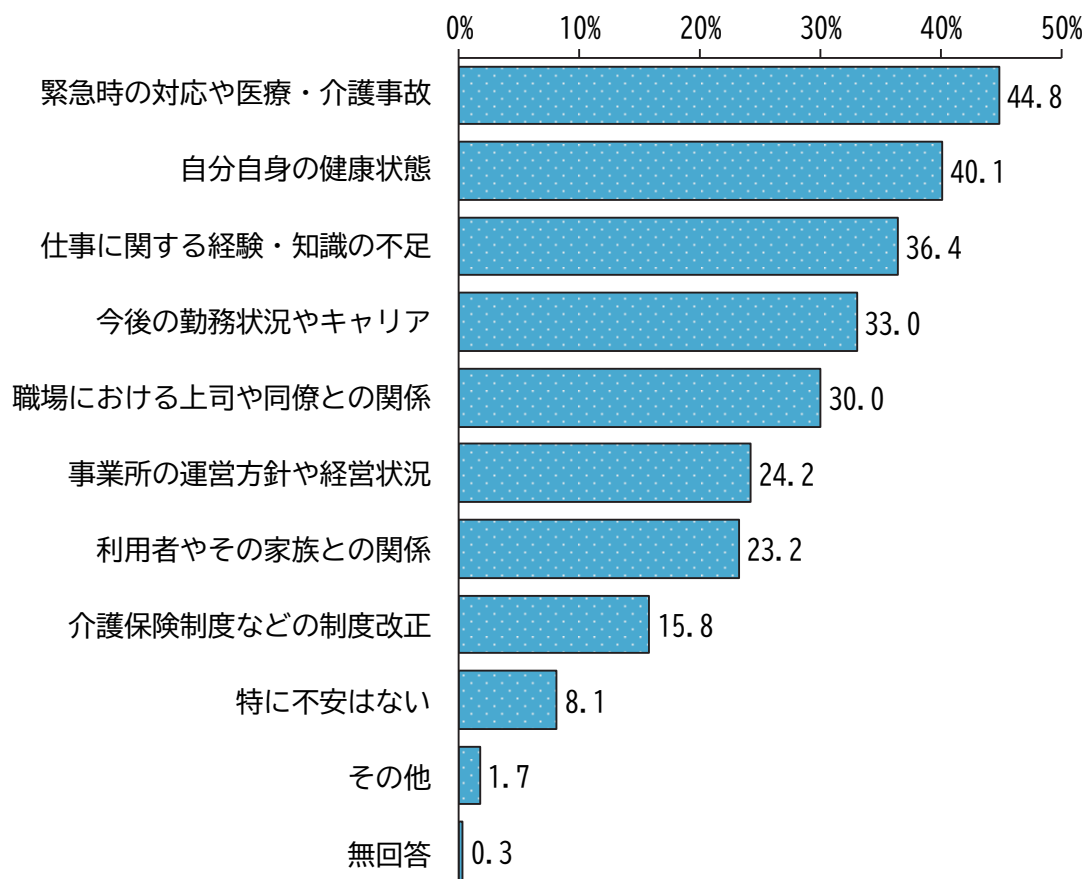
n = 253



問 22 あなたは、仕事に関して不安を感じることがありますか。(〇はいくつでも)

仕事に関する不安については、「緊急時の対応や医療・介護事故」が44.8%と最も多く、次いで「自分自身の健康状態」が40.1%、「仕事に関する経験・知識の不足」が36.4%となっています。

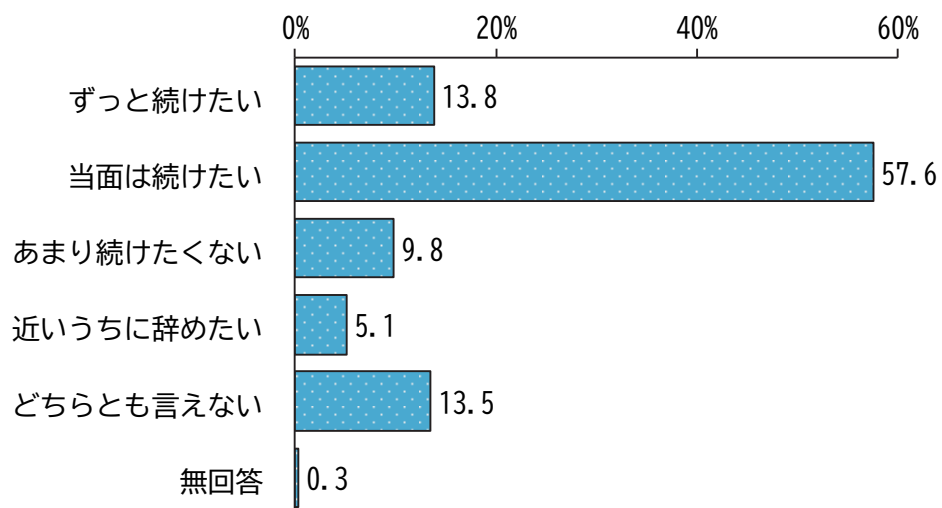
n = 297



問 23 あなたは、今後も現在の事業所で仕事を続けたいと思いますか。(○は1つ)

現在の事務所での仕事の継続については、「当面は続けたい」が57.6%と最も多く、次いで「ずっと続けたい」が13.8%、「どちらとも言えない」が13.5%となっています。

n = 297

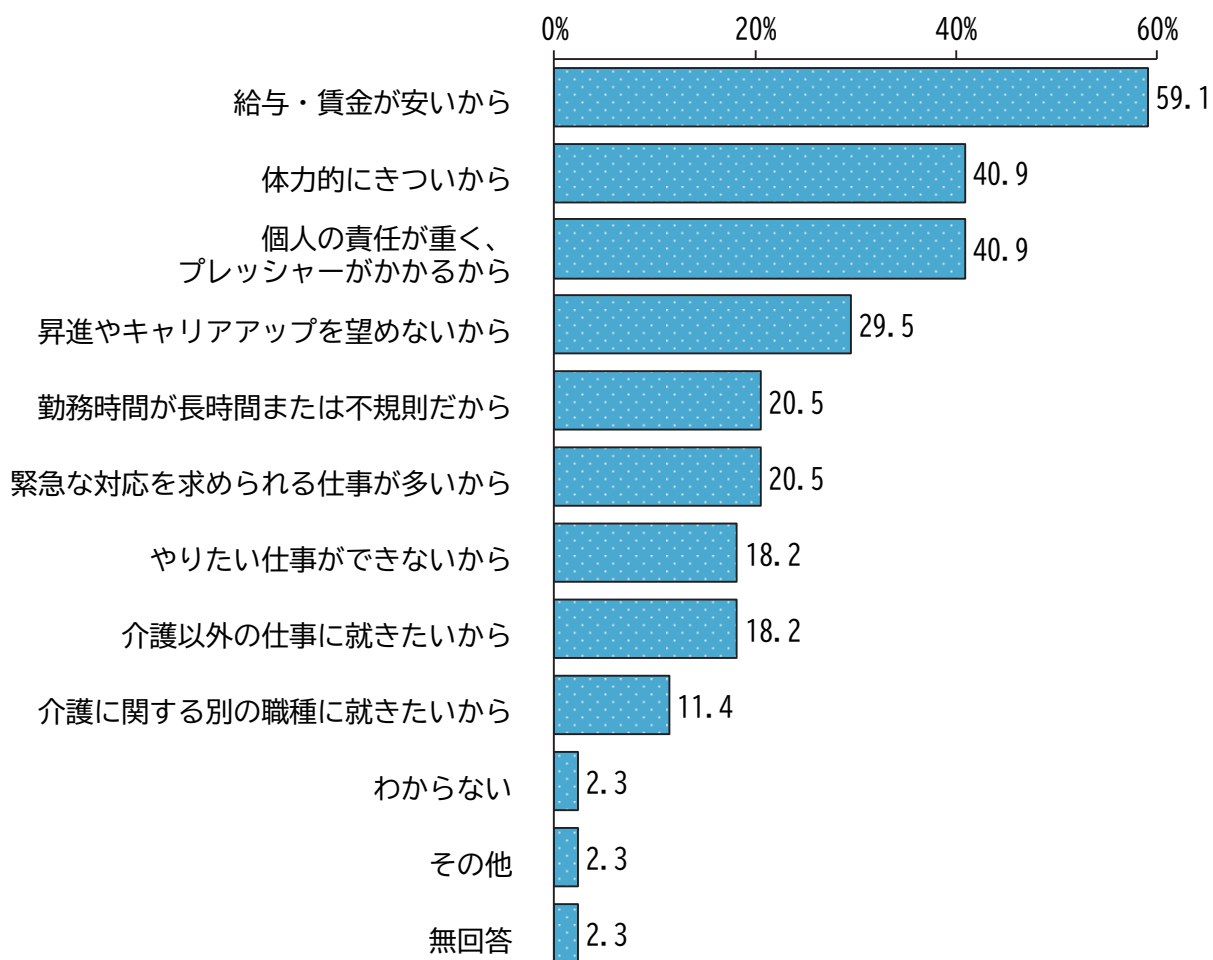


問24 問23で「3」、「4」と回答した方にお聞きします。

現在の事業所で仕事を続けたくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

続けたくない理由については、「給与・賃金が安いから」が59.1%と最も多く、次いで「体力的にきついから」と「個人の責任が重く、プレッシャーがかかるから」が40.9%、「昇進やキャリアアップを望めないから」が29.5%となっています。

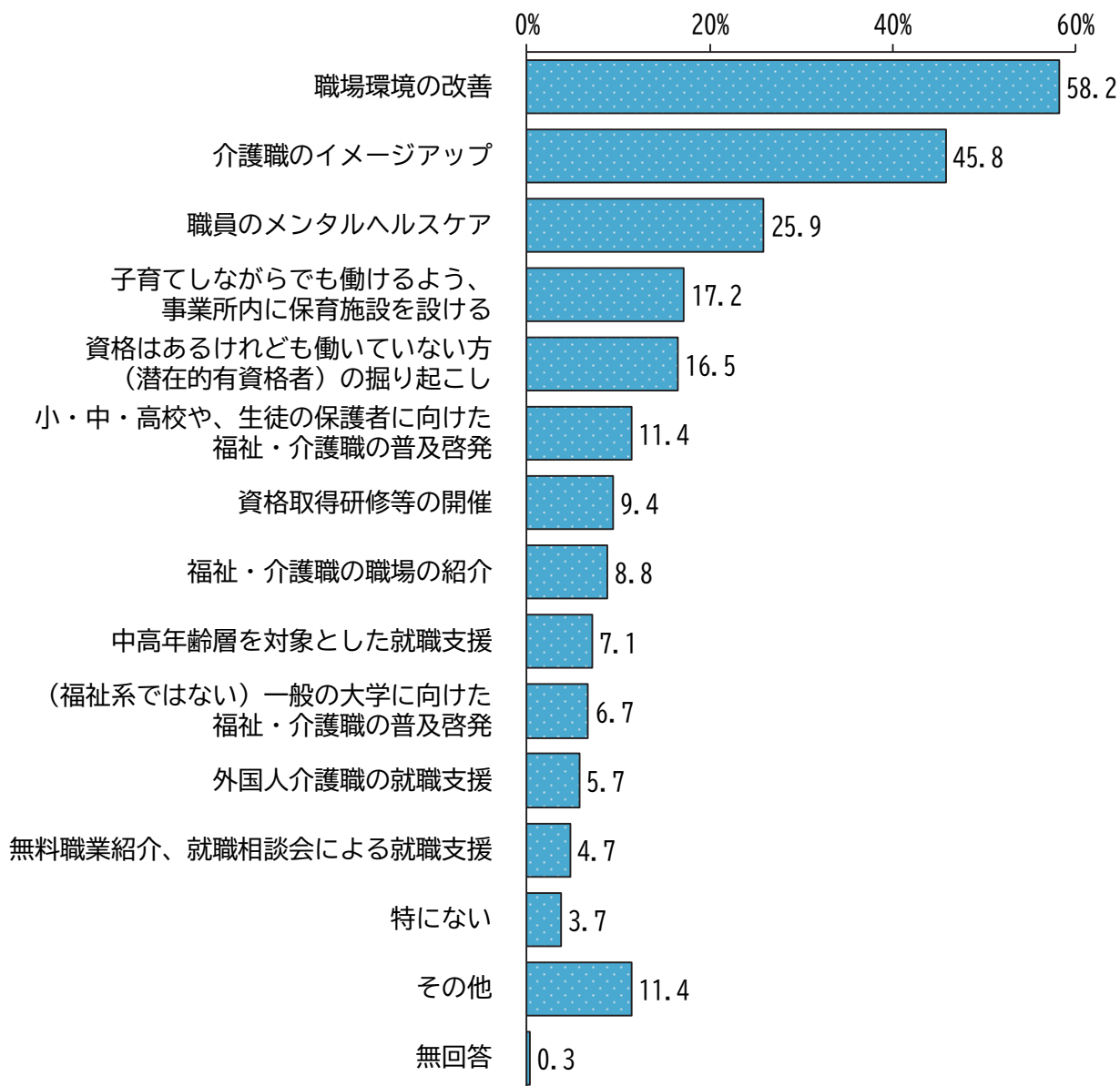
n=44



問 25 今後、介護に携わる人材を増やすためには、どのような支援が必要だと思いますか。  
 (あてはまるもの3つまでに○)

介護に携わる人材を増やすためにどのような支援が必要かについては、「職場環境の改善」が 58.2%と最も多く、次いで「介護職のイメージアップ」が 45.8%、「職員のメンタルヘルスケア」が 25.9%となっています。

n = 297



## 第8章 使用した調査票

---



## 在宅介護実態調査 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、  
12月19日(金)までに投函してください。

記入日	令和	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人から見た続柄 )				
3. その他				

### 個人情報取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。  
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

#### 【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な高齢者政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。
- 要介護認定データと組み合わせることにより介護者の就労継続や在宅生活の継続に効果的なサービス利用等を把握・分析するため被保険者番号との照合を行います。

## 在宅介護実態調査 調査票

### A票

#### 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. その他

問2 世帯類型について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 男性
2. 女性

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 65歳未満
2. 65～69歳
3. 70～74歳
4. 75～79歳
5. 80～84歳
6. 85～89歳
7. 90歳以上

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つを選択)

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護3
6. 要介護4
7. 要介護5
8. わからない

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。  
(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別介護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特設施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別介護老人ホームを指します。

問7 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(複数選択可)

- |                                |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中)                  | 2. 心疾患(心臓病)                   |
| 3. 悪性新生物(がん)                   | 4. 呼吸器疾患                      |
| 5. 腎疾患(透析)                     | 6. 筋骨格系疾患<br>(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む)               | 8. 変形性関節疾患                    |
| 9. 認知症                         | 10. パーキンソン病                   |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く)             | 12. 糖尿病                       |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患<br>(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他( )                    |
| 15. なし                         | 16. わからない                     |

問8 令和7年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(1つを選択)

1. 利用した ⇒ 問9へ      2. 利用していない ⇒ 問10へ

問9 問8で「1」と回答した方にお伺いします。  
以下の介護保険サービスについて、令和7年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください。(それぞれ1つに○)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用して いない 程度	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E. 通所介護 (デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
G. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

	利用の有無(1つに○)	
	1. 利用していない	2. 利用した
H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型 居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数(1つに○)				
	利用して いない 程度	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日 以上
K. ショートステイ	0回	1～7日	8～14日	15～21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数(1つに○)				
	利用して いない 程度	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
L. 居宅療養管理指導	0回	1回	2回	3回	4回

問10 問8で「2」と回答した方にお伺いします。  
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない  
2. 本人にサービス利用の希望がない  
3. 家族が介護をするため必要ない  
4. 以前、利用していたサービスに不満があった  
5. 利用料を支払うのが難しい  
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない  
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため  
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない  
9. その他 ( )

※ここから再び、全員の方にお伺いします。  
問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(複数選択可)

1. 配食      2. 調理  
3. 掃除・洗濯      4. 買い物(宅配は含まない)  
5. ゴミ出し      6. 外出同行(通院、買い物など)  
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)      8. 見守り、声かけ  
9. サロンなどの定期的な通いの場      10. その他 ( )  
11. 利用していない

※ 総合事業に基づき支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(複数選択可)

1. 配食      2. 調理  
3. 掃除・洗濯      4. 買い物(宅配は含まない)  
5. ゴミ出し      6. 外出同行(通院、買い物など)  
7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)      8. 見守り、声かけ  
9. サロンなどの定期的な通いの場      10. その他 ( )  
11. 特になし

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問13 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つを選択)

1. 利用している      2. 利用していない

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

1. ない	⇒	C票へ進んでください
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	}	B票およびC票へ進んでください
3. 週に1～2日ある		
4. 週に3～4日ある		
5. ほぼ毎日ある		

- A票の問14で「2.」「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

**B票 主な介護者の方について、お伺いします**

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか (1つを選択)

1. 配偶者	2. 子	3. 子の配偶者
4. 孫	5. 兄弟・姉妹	6. その他 ( )

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください (1つを選択)

1. 男性	2. 女性	3. どちらともいえない
-------	-------	--------------

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください (1つを選択)

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(複数選択可)

[身体介護]	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	
[生活援助]	
12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
[その他]	
15. その他 ( )	16. わからない

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません) (3つまで選択可)

[身体介護]	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	
[生活援助]	
12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
[その他]	
15. その他 ( )	16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

1. フルタイムで働いている	問8～問10へ
2. パートタイム*で働いている	
3. 働いていない	C票へ進んでください
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	

\*「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

**C票** 現在およびこれからの生活などについてお伺いします

《在宅医療について》

※在宅医療とは、通院が困難な方が生活している自宅に、医師や看護師などが定期的に訪問して医療を行うことです。

問1 在宅医療を受けることについてどのようなイメージをお持ちですか。それぞれ該当する数字を1つずつ選んで○で囲んでください

	そう思う	そう思わない	わからない
1. どの程度までの医療を受けられるかわからない	1	2	3
2. 急に病状が変わったときの対応ができない	1	2	3
3. 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのは難しい	1	2	3
4. 訪問歯科診療をしてくれる歯科医師を見つけるのは難しい	1	2	3
5. 家族に負担がかかる	1	2	3
6. 部屋や風呂・トイレなど住まいの環境が整っていない必要がある	1	2	3
7. 費用が高額になる	1	2	3
8. 在宅では満足のいく最期を迎えられるか不安である	1	2	3

問2 あなたは人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)を聞いた事がありますか。また内容について知っていますか。(1つを選択)

※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、もしものときのために、自分が望む医療や介護について、前もって考え、家族等や医療・介護チームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

1. 知っている	
2. 聞いたことがあるが、内容は知らない	
3. 聞いたことがなく、内容も知らない	

問8 問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問9 問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経営的な支援
9. その他( )
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問10 問7で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 人生会議（ACP）について、現在のご自身の状況に近い内容を選択してください。（1つを選択）

1. 自分が望む医療や介護などについて考えたことがない
2. 自分が望む医療や介護などについて考えたことがあるが、家族などの身近な人と話し合ったことはない
3. 自分が望む医療や介護などについて、家族などの身近な人と話し合っている（又は話し合ったことがある）

問4 あなたが病気やその時の状態により常に医療や介護が必要になった時、どこで生活し、どこで最期を迎えたいと希望しますか。（1つを選択）

1. 自宅で療養を続けて、最期も自宅で迎えたい
2. 自宅で療養を続けて、最期は施設で迎えたい
3. 自宅で療養を続けて、最期は病院で迎えたい
4. 施設で療養を続けて、最期は自宅で迎えたい
5. 施設で療養を続けて、最期も施設で迎えたい
6. 施設で療養を続けて、最期は病院で迎えたい
7. 病院で療養を続けて、最期は自宅で迎えたい
8. 病院で療養を続けて、最期は施設で迎えたい
9. 病院で療養を続けて、最期も病院で迎えたい
10. その他（ ）

問5 自宅で医療や介護を受けながら生活し続けるために必要なものは何だと思えますか。（3つまで選択可）

1. 往診に対応してくれる医師
2. 医療や介護について相談ができる身近な機関
3. 訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）、ショートステイなどの在宅サービス
4. 自宅での生活を支えてくれる家族への支援
5. 地域住民や医療や介護に携わる人の理解の促進・支援
6. 金銭管理や契約行為を支える成年後見人<sup>※</sup>等
7. その他（ ）

※成年後見人とは、認知症などにより、判断能力が十分でない方の金銭管理や契約などを本人に代わって行う生活を支援する人のことです。

問6 あなたが自宅で医療や介護を受けながら生活するとなった場合、特に心配や不安に思われることを選んでください。（3つまで選択可）

1. 家族の負担（身体的・精神的）
2. 経済的な負担
3. 十分な医療や介護が受けられるか
4. 仕事と介護の両立
5. 病状の変化による身体能力の低下
6. 住宅環境の不安
7. 夜間や症状が急変した場合
8. 移動手段
9. その他（ ）
10. 特にない

《認知症について》

問7 認知症に関する相談窓口を知っていますか。（知っていましたか。）

1. はい
2. いいえ

問8 あなたやご家族が認知症かもしれないと心配になったら、どこに相談しますか。または相談しましたか。（2つまで選択可）

1. 身近な医療機関
2. 認知症の専門医
3. 市役所
4. 高齢者なんでも相談室
5. 家族や親族
6. わからない
7. その他（具体的に ）

問9 あなたが思う認知症のイメージを教えてください。（3つまで選択可）

1. 認知症になると何もわからなく（できなく）なってしまう
2. 認知症になっても覚えていたりすることやできることがある
3. 認知症になっても生活の工夫をしたり、サポートがあれば自分の趣味や、仕事、地域での生活を継続できる
4. 認知症になると身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
5. 認知症は誰もがなるものである
6. その他（ ）

問10 認知症のケアや支援制度について知っているものをあげてください。  
(複数回答可)

1. 認知症の種類によっては、治るものもある
2. 認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる
3. 認知症の症状は、対応の仕方でも改善することがある
4. 1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる
5. 自分が地域の中で役割を持ってしていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる
6. 医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポーター医がいる
7. 高齢者なんでも相談室は、認知症の人や家族の相談窓口である
8. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援や成年後見制度を利用することで財産管理や契約等を手助けしてもらえる
9. 若年性認知症という65歳未満の方が発症する認知症がある
10. 知っているものはない
11. その他 ( )

問11 市が実施している認知症関係の事業を知っていますか。(複数回答可)

1. 認知症初期相談チームあびこ
2. オレンジカフェ (認知症カフェ)
3. 認知症サポーター養成講座
4. 防災無線を通じた行方不明者の情報提供 (SOS ネットワーク)
5. 認知症高齢者等見守りシール
6. 認知症ガイドブック (我孫子市版認知症ケアパス)
7. 認知症の人の家族のつどい「あびこ」
8. 本人ミーティング・あびこ
9. 見守り安心GPS (徘徊探知システム)
10. どれも知らない

問12 認知症の方が、自宅で生活し続けるために必要なものは何だと思いますか。  
(または何ですか。)(3つまで選択可)

1. 認知症を診てもらえる身近な医師
2. 認知症の専門医
3. 認知症の相談ができる身近な機関
4. 訪問介護 (ホームヘルプサービス) や通所介護 (デイサービス)、ショートステイなどの在宅サービス
5. 認知症を理解するための講座
6. 介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス
7. 家族の会
8. 認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援
9. 本人の会
10. 本人・家族を含めたボランティア組織
11. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援
12. 消費者被害に対応する機関
13. 行方不明や見守り、安否確認体制の強化
14. わからない
15. その他 ( )

《高齢者なんでも相談室について》

問13 高齢者なんでも相談室を知っていますか。(1つを選択)

1. 知っている⇒問14へ
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問14 問13で「1」と回答した方にお伺いします。

高齢者なんでも相談室になにか相談をしたことがありますか。(1つを選択)

1. ある⇒問15、問16へ
2. ない

問 15 問 14 で「1」と回答した方にお伺いします。

高齢者なんでも相談室にどんな相談をしましたか。(複数選択可)

1. 介護予防に関する相談
2. 認知症に関する相談
3. 介護保険の申請やサービス利用の相談
4. 虐待に関する相談
5. 日常の困りごとに関する相談
6. ケアマネジャーに関する相談
7. 市の高齢者サービスに関する相談(配食サービス、緊急通報システムなど)
8. 消費者被害や詐欺等に関する相談
9. 成年後見制度や財産管理に関する相談
10. その他 ( )

問 16 問 14 で「1」と回答した方にお伺いします。

高齢者なんでも相談室に相談した結果はいかがでしたか。(1つを選択)

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. あまり満足できなかった
4. 不満である

《介護について》

問 17 介護が必要となったら、どのような介護を受けたいとお考えですか。また、現在介護を受けている方は、今後どのような介護を受けたいとお考えですか。(1つを選択)

1. 介護保険サービスを利用しながら、自宅で介護を受けたい
2. 介護保険の施設に入所して介護を受けたい
3. わからない
4. その他 ( )

問 18 介護保険制度では、保険料と介護保険サービスの利用については関連がありますか、あなたの考えに最も近いのはどれですか。(1つを選択)

1. 保険料が高くなっても、十分に施設や在宅サービスを整備する
2. 多少保険料が高くなっても、施設や在宅サービスを整備する
3. 保険料が高くならないように、施設や在宅サービスの整備を限定する
4. わからない
5. その他 ( )

問 19 主な介護者の状況にあてはまるものについてご回答ください。

(複数選択可)

1. 高齢者である (65 歳以上)
2. 仕事をしている
3. 子育て中である
4. 遠方 (1 時間以上) に住んでいる
5. 介護者のために経済的な負担をして いる
6. 要介護認定を受けている
7. 障害者である
8. 他に介護 (ケア) をしている高齢者 がいる
9. 他にケアをしている障害者がある
10. 病気療養中である
11. 他に病気療養中の家族がいる
12. 学生である
13. 未成年である
14. その他 ( )

問 20 あなたは、今現在、どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、あてはまるものに〇を付けてください。)

- |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |      |       |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| とても不幸 | 0 点 | 1 点 | 2 点 | 3 点 | 4 点 | 5 点 | 6 点 | 7 点 | 8 点 | 9 点 | 10 点 | とても幸せ |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|

《介護サービスについて》

問 21 介護保険を利用するにあたって、ケアマネジャーの対応に満足していますか。(1つを選択)

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 少し不満がある
4. 大いに不満がある
5. わからない
6. サービスを利用していない

問 22 現在利用しているサービスに満足していますか。(1つを選択)

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 少し不満がある
4. 大いに不満がある
5. わからない
6. サービスを利用していない

《避難行動について》

問23 あなたは地域の避難場所・経路を把握していますか。(1つを選択)

1. 避難場所・経路ともに把握している
2. 避難場所は把握しているが、経路は把握していない
3. どちらも把握していない

問24 避難するにあたり不安はありますか。(複数選択可)

1. 避難場所への移動手段がない
2. 避難場所への移動にあたり、協力を得られる人がいない
3. 避難場所での生活が不安
4. 持病があるので不安
5. 医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
6. ペットを連れて避難できるか不安
7. その他( )
8. 不安はない

介護のことや日常の困りごとについて、ご意見があればご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

第 10 期

## 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、12月19日(金)までに投函してください。

記 入 日	令和	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄 )				
3. その他				

### 個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご送達をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な高齢者政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報は、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定期間本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

### 問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えください。

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている  
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ぶつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

1. 持家 (一戸建て)  
こうまいちいふたいじりやうなく
2. 持家 (集合住宅)  
みんかんちんたいしゅうやうなく
3. 公営賃貸住宅  
こうえいちいふたいじりやうなく
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)  
みんかんちんたいしゅうやうなく
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)  
みんかんちんたいしゅうやうなく
6. 借家  
かきや
7. その他

<b>問2 からだを動かすことについて</b>	
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	4. できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	4. できない
(3) 15分位続けて歩いていますか。	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	4. できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。	
1. 何度もある	2. 1度ある
3. ない	4. ない
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。	
1. とても不安である	2. やや不安である
3. あまり不安でない	4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか。	
1. ほとんど外出しない	2. 週1回
3. 週2～4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	
1. とても減っている	2. 減っている
3. あまり減っていない	4. 減っていない
(8) 外出を控えていますか。	
1. はい	2. いいえ
(8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ	
① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)	
1. 病気	2. 障害(脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害
7. 外での楽しみが少ない	8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない	10. その他 ( )

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)	
1. 徒歩	2. 自転車
3. バイク	4. 自動車(自分で運転)
5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス
9. 車いす	10. 電動車いす(カート)
11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他 ( )	
<b>問3 食べることについて</b>	
(1) 身長・体重	
身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	
1. はい	2. いいえ
(3) お茶や汁物等でもせることがありますか。	
1. はい	2. いいえ
(4) 口の渇きが強くなりますか。	
1. はい	2. いいえ
(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	

(6) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。  
 1. はい 2. いいえ

(7) どなたかと食事をともにする機会がありますか。  
 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある  
 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

**問4 毎日の生活について**

(1) 物忘れが多いと感じますか。  
 1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。  
 1. はい 2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。  
 1. はい 2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)  
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。  
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか。  
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。  
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。  
 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9) 友人の家を訪ねていますか。  
 1. はい 2. いいえ

(10) 家族や友人の相談にのっていますか。  
 1. はい 2. いいえ

**問5 地域での活動について**

(1) 以下のような会・グループ等どのくらいの頻度で参加していますか。  
 ※① - ⑧それぞれに回答してください

	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ きらめきデイサービスなど介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

**問6 就労について**

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも)

1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤(フルタイム)  
 4. 非常勤(パート・アルバイト等) 5. 自営業 6. 求職中  
 7. その他( )

(1) において「2.引退した」の方のみ

① あなたはいつ引退しましたか

1. 昭和 年 2. 平成 年 3. 令和 年

**問7 たすけあいについて**  
 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他( ) 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他( ) 8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他( ) 8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども  
 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人  
 7. その他( ) 8. そのような人はいない

(5) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある  
 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

**問8 健康について**

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか。  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸  
 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点  
 とても幸せ

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい 2. いいえ

<p><b>問9 認知症について</b></p>		
<p>(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。</p>		
1. はい	2. いいえ	
<p>(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。</p>		
1. はい	2. いいえ	
<p>(3) あなたやご家族が認知症かもしれないと心配になったら、どこに相談しますか。 または相談しましたか。(2つまで選択可)</p>		
1. 身近な医療機関	2. 認知症の専門医	
3. 市役所	4. 高齢者なんでも相談室	
5. 家族や親族	6. わからない	
7. その他 (具体的に )		
<p>(4) あなたが思う認知症のイメージを教えてください。(3つまで選択可)</p>		
1. 認知症になると何もわからなく (できなく) なってしまう		
2. 認知症になっても覚えていられることやできることがある		
3. 認知症になっても生活の工夫をしたり、サポートがあれば自分の趣味や、仕事、地域での生活を継続できる		
4. 認知症になると身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる		
5. 認知症は誰もがなるものである		
6. その他 ( )		
<p>(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめる感じがよくありましたか。</p>		
1. はい	2. いいえ	
<p>(5) お酒は飲みますか。</p>		
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない		
<p>(6) タバコは吸っていますか。</p>		
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていないがやめた
4. もともと吸っていない		
<p>(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)</p>		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症(アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他 ( )
<p>(8) フレイルについて、知っていますか。 ※フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指しますが、適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずに済む可能性があります。</p>		
1. 言葉も、意味も知っている		
2. 言葉は知っているが、意味は知らない		
3. 言葉も、意味も知らない		

<p>(5) 認知症のケアや支援制度について知っているものをあげてください。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症の種類によっては、治るものもある</li> <li>2. 認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる</li> <li>3. 認知症の症状は、対応の仕方などで改善することがある</li> <li>4. 1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる</li> <li>5. 自分が地域の中で役割を持てていると感じることが、認知症のリスクを低くすることにつながる</li> <li>6. 医療機関に、専門的な研修を受けた認知症サポーター医がいる</li> <li>7. 高齢者なんでも相談室は、認知症の人や家族の相談窓口である</li> <li>8. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援や成年後見制度を利用することで財産管理や契約等を手助けしてもらえる</li> <li>9. 若年性認知症という65歳未満の方が発症する認知症がある</li> <li>10. 知っているものはない</li> <li>11. その他 ( )</li> </ol>	<p>(7) 認知症の方が、自宅で生活し続けるために必要なものは何だと思いますか。(3つまで選択可)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症を診てもらえる身近な医師</li> <li>2. 認知症の専門医</li> <li>3. 認知症の相談ができる身近な機関</li> <li>4. 訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）、ショートステイなどの在宅サービス</li> <li>5. 認知症を理解するための講座</li> <li>6. 介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス</li> <li>7. 家族の会</li> <li>8. 認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援</li> <li>9. 本人の会</li> <li>10. 本人・家族を含めたボランティア組織</li> <li>11. 金銭管理や書類の整理・手続きの支援</li> <li>12. 消費者被害に対応する機関</li> <li>13. 行方不明や見守り、安否確認体制の強化</li> <li>14. わからない</li> <li>15. その他 ( )</li> </ol>
<p>(6) 市が実施している認知症関係の事業を知っていますか。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症初期相談チームあびこ</li> <li>2. オレンジカフェ（認知症カフェ）</li> <li>3. 認知症サポーター養成講座</li> <li>4. 防災無線を通じた行方不明者の情報提供（SOSネットワーク）</li> <li>5. 認知症高齢者等見守りシール</li> <li>6. 認知症ガイドブック（我孫子市版認知症ケアパス）</li> <li>7. 認知症の人の家族のつどい「あびこ」</li> <li>8. 本人ミーティング・あびこ</li> <li>9. 見守り安心GPS（徘徊探知システム）</li> <li>10. どれも知らない</li> </ol>	<p>(8) あなたが地域で暮らす認知症の人にできる（できそうな）支援についてお答えください。(いくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 見守り</li> <li>2. 声かけ</li> <li>3. 近くの場所の案内（ちよっととした道案内）</li> <li>4. 話し相手</li> <li>5. ゴミ出しなどちよっとした家事の手伝い</li> <li>6. 買い物代行・同行</li> <li>7. 外出時の移動支援</li> <li>8. 自分にできることは何もない/わからない</li> <li>9. その他（具体的に )</li> </ol>



**問13 食べることやからだを動かすことについて**

(1) 1日3食きちんと食べていますか。  
 1. はい 2. いいえ

(2) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。  
 1. はい 2. いいえ

(3) 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか。  
 1. はい 2. いいえ

**問14 情報通信機器の使用について**

(1) 固定電話以外に情報通信機器を使用していますか。(いくつでも)

1. スマートフォン 2. 携帯電話 (いわゆるガラケー)  
 3. パソコン 4. タブレット  
 5. 使用していない 6. その他 ( )

(2) 情報通信機器を使用してどんなことをしていますか。(いくつでも)

1. インターネット閲覧・検索 2. 電子メール  
 3. ゲーム・カラオケ等の娯楽アプリ 4. 買物 (ネットショッピング)  
 5. LIVE (ライン) 6. YouTube (ユーチューブ) (視聴・配信)  
 7. X (エックス) (旧 Twitter (ツイッター)) 8. Zoom (ズーム) などの Web 会議ツール  
 9. Instagram (インスタグラム) 10. TikTok (ティックトック)  
 11. 市のメール配信 12. フリマアプリ  
 13. 仕事 14. 健康管理・運動  
 15. 災害情報 16. 本や雑誌の購読  
 17. 市のホームページ 18. 預金取引・投資・家計管理  
 19. 予約や申請などの手続き 20. その他 ( )

**問15 高齢者福祉センターつじ荘について**

(1) 高齢者福祉センターつじ荘を知っていますか、また利用したことはありますか。  
※高齢者福祉センターつじ荘とは、高齢者の健康増進、レクリエーションなどの場を提供する施設です。

1. 名称を知っており、利用したことがある  
 2. 名称は知っているが、利用したことはない  
 3. 名称は聞いたことはなく、利用したこともない

(2) 今後、高齢者福祉センターつじ荘を利用したいと思いますか。

1. 利用したいと思う ⇒ (3) ^  
 2. 利用しないと思う (4) ^  
 3. わからない

(2) において「1. 利用したいと思う」の方のみ

(3) 今後、高齢者福祉センターつじ荘に求めることを教えてください。(3つまで選択可)

1. 仲間づくり支援 2. 世代間交流  
 3. 団体活動支援 4. 就労支援  
 5. 入浴サービス 6. 健康生活相談  
 7. イベント 8. 健康増進や介護予防のための講座  
 9. e スポーツ 10. 特にない  
 11. その他 ( )

(2) において「2. 利用しないと思う」及び「3. わからない」の方のみ

(4) どのような理由からですか。

1. 関心がない  
 2. 施設が近くにならない  
 3. 趣味や仕事など他にやることがある  
 4. 他施設等で足りる  
 5. その他 ( )

<b>問16 在宅医療について</b>	<p>(1) あなたは人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)を聞いた事がありますか。また内容について知っていますか。</p> <p>※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、もしものときのために、自分が望む医療や介護について、前もって考え、家族等や医療・介護チームと繰り返し話し合い、共有する取り組み。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>知っている</li> <li>聞いたことがあるが、内容は知らない</li> <li>聞いたことがなく、内容も知らない</li> </ol>
	<p>(2) 人生会議 (ACP) について、現在のご自身の状況に近い内容を選択してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自分が望む医療や介護などについて考えたことがない</li> <li>自分が望む医療や介護などについて考えたことがあるが、家族などの身近な人と話し合ったことはない</li> <li>自分が望む医療や介護などについて、家族などの身近な人と話し合っている (又は話し合ったことがある)</li> </ol>
	<p>(3) あなたが病气やその時の状態により常に医療や介護が必要になった時、どこで生活したいと希望しますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自宅 ⇒ (4) ^</li> <li>医療機関 } (5) ^</li> <li>老人ホームなどの施設</li> <li>わからない</li> <li>その他 ( )</li> </ol>

<b>(3) において「1. 自宅」の方のみ</b>	<p>(4) 自宅で生活したいと思うのはどのような理由からですか。(3つまで選択可)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ自宅で自分のペースで自由に過ごせるから</li> <li>近所や地域の人となりがりがあるから</li> <li>家族と一緒に過ごす時間を大切にしたいから</li> <li>家族に見守られながら最期の時を過ごしたいから</li> <li>必要な医療や介護は在宅でも受けることができるから</li> <li>病院や介護施設に比べて費用が抑えられるから</li> <li>最小限の医療で十分と考えから</li> <li>最期を迎える場所は自宅がよいと思うから</li> <li>その他 ( )</li> </ol>
<b>(3) において「2. 医療機関」及び「3. 老人ホームなどの施設」の方のみ</b>	<p>(5) 今のお考えに近いものを選んでください。(3つまで選択可)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>十分な医療を受けたいから</li> <li>十分な介護を受けたいから</li> <li>自宅で過ごすのは家族に迷惑がかかるから</li> <li>支援をしてくれる家族がないから</li> <li>自宅で最期を迎えるのは経済的負担が大きいから</li> <li>最期に痛み等に苦しむかもしれないから</li> <li>自宅で最期を迎えるのは一般的でないから</li> <li>その他 ( )</li> </ol>

(6) 自宅で医療や介護を受けながら生活し続けるために必要なものは何だと思えますか。  
(3つまで選択可)

1. 日常・夜間・急変時に往診に対応してくれる医師、看護師
2. 医療や介護について相談ができる身近な機関
3. 訪問介護（ホームヘルプサービス）や通所介護（デイサービス）、ショートステイなどの介護サービス
4. 在宅でリハビリ（理学療法など）を受けられること
5. 福祉用具（手すり、ベッドなど）や住宅改修が利用しやすいこと
6. 外出や通院の送迎支援が受けられること
7. 介護や医療の費用負担を安心して支払える制度があること
8. 家族が介護を担う支援制度や相談先があること
9. 地域住民や医療や介護に携わる人の理解の促進・支援
10. 金銭管理や契約行為を支える成年後見人等

(7) あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと希望しますか。

1. 自宅
2. 医療機関
3. 老人ホームなどの施設
4. その他 ( )
5. わからない

(8) 回答した場所では実現できると思えますか。

1. 実現できると思う
2. 実現は難しいと思う
3. わからない

(8) において「2. 実現は難しいと思う」及び「3. わからない」の方のみ  
(9) どのような理由からですか。(3つまで選択可)

1. 家族への負担がかかってくるから
2. お金がかかってくるから
3. 住環境が整っていないから
4. 希望する場所でのような医療や介護のサービスが受けられるか分からないから
5. 介護してくれる家族がいらないから
6. 希望する場所で最期を迎えることのイメージができない
7. その他 ( )

介護のことや日常の困りごとについて、ご意見があればご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

第10期

**特別養護老人ホーム入所待機者に関する調査**  
【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、12月12日(金)までに投函してください。

記 入 日	令和	年	月	日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。				
1. あて名のご本人が記入				
2. ご家族が記入 (あて名のご本人から見た続柄 )				
3. 家族以外の後見人				
4. 介護支援専門員(ケアマネジャー)				
5. その他 ( )				

**個人情報の取り扱いについて**

【個人情報の保護および活用目的について】

●この調査は、効果的な高齢者政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。

<b>問1 ご本人(入所予定者) やご家族の生活状況について</b>	
(1) ご本人(入所予定者)は、現在どちらで生活していますか。(1つを選択)	
1. 居宅(家族・親戚等の家に同居している場合やショートステイを利用中の場合を含む) 2. 介護付きまたは住宅型有料老人ホーム 3. サービス付き高齢者向け住宅 4. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 5. 介護老人保健施設 6. 医療機関(病院・診療所) 7. 介護医療院 8. その他 ( ) 9. 何の施設かわからない(施設名: )	
(2) ご本人(入所予定者)の家族構成をお教えてください。(1つを選択)	
1. 一人暮らし                      2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)                      4. 息子・娘との2世代 5. 兄弟姉妹                      6. 息子・娘、孫との3世代 7. その他 ( )	
(3) ご本人(入所予定者)の介護を主に(一番長い時間)行っているのはどなたですか。(1つを選択)	
1. 配偶者                      2. 子(息子・娘) 3. 子の配偶者                      4. 兄弟姉妹 5. 孫                      6. その他 ( )	

<b>問2 特別養護老人ホームの入所申込みについてお伺いします</b>	
<b>(1) 特別養護老人ホームの入所を初めて申し込んだのはいつですか。(1つを選択)</b>	
1. 半年未満	2. 半年以上前～1年未満
3. 1年以上前～3年未満	4. 3年以上前～5年未満
5. 5年以上前	6. わからない
<b>(2) 特別養護老人ホームに申し込みをされた理由を教えてください。(1つを選択)</b>	
1. 日常生活を維持することが困難となり、介護する人もいないため	
2. 家族（介護者）が介護を続けることが困難になってきたため	
3. 今は自宅で生活できているが、将来に対する不安を感じたため	
4. 病院や他の施設に入院・入所中だが、近い将来、退院・退所しなければならぬため	
5. 病院や他の施設に入院・入所中だが、経済的負担が大きいため	
6. 医師やケアマネジャーに勧められたため	
7. その他 ( )	
<b>(3) 現在、何か所の特別養護老人ホームへ入所申込みをしていますか。(1つを選択)</b>	
1. 1か所	2. 2か所
3. 3か所	4. 4か所
5. 5か所以上 ( )	6. その他 ( )
<b>(4) 特別養護老人ホームにはいつから入所したいですか。(1つを選択)</b>	
1. すぐにも (1か月以内) 入所したい	
2. なるべく早く (6か月以内) 入所したい	
3. 空きがあれば入所を検討したい	
4. 将来、日常生活を維持することが困難となったときに入所したい	
5. 当面、入所は考えていない	

<b>(5) 特別養護老人ホームに申し込む際に、最も重要と考えたことは何ですか。(1つを選択)</b>	
1. 自宅または家族の居住地に近い施設	
2. なるべく早く早く入所できそうな施設	
3. 希望の部屋の種類 (個室または多床室)	
4. 入居費用	
5. その他 ( )	
<b>(6) 入所できるならばどちらの部屋の種類を希望されますか。(1つを選択)</b>	
1. 個室	
2. 多床室	
3. どちらでもよい	
<b>(7) 入所申込後、施設から「入所できます」とご連絡がきたことがありますか。(1つを選択)</b>	
1. 連絡がきたことはない ⇒ <b>これにてアンケートは終了となります。</b>	
2. 連絡がきたが、入所を辞退した ⇒ <b>①</b>	
<b>(7) で「2」に○を選ばれた方にお伺いします。</b>	
<b>① 入所を辞退された理由は何ですか。(1つを選択)</b>	
1. 当面、自宅で日常生活を維持することができたため	
2. 本人 (入所予定者) が入所を拒否したため	
3. 部屋の種類 (個室または多床室) が希望と合致しなかったため	
4. 医療機関に入院中または入院予定で、入所時期が合致しなかったため	
5. 介護老人保健施設に入所したまたは入所予定のため	
6. 他の施設 (有料老人ホーム・グループホーム等) に入所したまたは入所予定のため	
7. 入居費用が高く、負担できる見込みがなかったため ⇒ <b>②</b>	
8. その他 ( )	
<b>(7) の①で「7」に○を選ばれた方にお伺いします。</b>	
<b>② その後の生活について、差し支えない範囲でお書きください。</b>	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

**「第10期介護保険事業計画・第11次高齢者  
保健福祉計画」策定に関する  
介護サービス事業所へのアンケート調査  
【調査票】**

日頃より我孫子市政へのご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。  
この調査は、我孫子市の介護保険事業計画（令和9年度～11年度）策定の基礎資料  
とするため、我孫子市内介護サービス事業所にご意見をお伺いするものです。お忙しい  
ところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い  
いたします。

令和7年12月 我孫子市長 星野 順一郎

**【アンケートのご記入にあたって】**

- ・この調査は、令和7年12月1日現在の状況でご記入ください。
- ・調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- ・調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、**12月26日(金)まで**に投函してください。

◆この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
我孫子市役所 健康福祉部高齢者支援課 介護保険係  
電話：7185-1111（内線416、313）

はじめに、事業所名・電話番号・記入者の方のお名前をお書きください。

事業所名	
電話番号	
記入者名	

※記入内容の確認が必要となった場合にご連絡するためのものです。内容を公表することはありません。

**1 事業所の概要について**

問1 貴事業所の経営主体は、次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 株式会社・有限会社
4. 特定非営利活動法人（NPO法人）
5. 協同組合（農協・生協）
6. その他の法人
7. 個人医療機関
8. その他（ ）

問2 貴事業所で実施している介護サービスの種類は、次のうちどれですか。  
(○は1つ)

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 通所介護（利用実員19人以上）
7. 地域密着型通所介護（利用実員18人以下）
8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護
10. 短期入所療養介護
11. 介護老人福祉施設
12. 介護老人保健施設
13. 特定施設入居者生活介護
14. 小規模多機能型居宅介護
15. 認知症対応型通所介護
16. 認知症対応型共同生活介護
17. 地域密着型介護老人福祉施設
18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

**2 事業所の運営状況について**

問3 貴事業所の利用者（入所者）数と新規利用（入所）申込者数は1年前と比べてどのようになっていますか。（それぞれに○は1つ）

	増えた	減った	変わらない	1年前実施していないサービス
利用者（入所者）数	1	2	3	4
新規利用（入所）申込者数	1	2	3	4

問4 現在の利用者数を、要介護度別にお書きください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人	人	人	人	人	人	人

問5 令和6年度の総事業の収支はどのような状況でしたか。（○は1つ）

1. 大幅な黒字だった	2. やや黒字だった	3. 収支が均衡していた
4. やや赤字だった	5. 大幅な赤字だった	6. わからない

問6 令和6年度の収益は、当初の見込みと比較してどのような状況でしたか。（○は1つ）

1. 大幅に見込みを上回った	} →問7△
2. やや見込みを上回った	
3. ほぼ見込み通りだった	
4. やや見込みを下回った	
5. 大幅に見込みを下回った	
6. わからない	

【問6で「4」、「5」と回答した事業所にお聞きします。】

問7 収益が当初の見込みを下回った理由をどのような考えですか。（○はいくつでも）

1. 利用者数を十分確保できなかった	)
2. 利用者一人あたりのサービス量が少なかった	
3. サービスを提供する人材を確保できなかった	
4. 人件費などの必要経費が予想を上回った	
5. 近くに同様の事業所ができた	
6. 新型コロナウイルスの影響	
7. わからない	
8. その他（	

【ここからはすべての事業所にお聞きします。】

問8 令和7年度の収益は、令和6年度と比べてどのような状況が見込まれますか。（○は1つ）

1. 令和6年度を大幅に上回る	2. 令和6年度をやや上回る
3. 令和6年度とほぼ同じ	4. 令和6年度をやや下回る
5. 令和6年度を大幅に下回る	6. わからない

問9 事業を運営していく上で、どのような問題がありますか。（○はいくつでも）

1. 職員の確保が難しい	2. 職員の待遇改善ができない
3. 職員の資質向上が難しい	4. 事務作業量が多い
5. 施設・設備の改善が難しい	6. 制度などの最新情報の入手が難しい
7. 介護報酬が低い	8. 収益の確保が困難
9. 運転資金の調達が難しい	10. 医療機関との連携が不十分
11. 行政との連携が不十分	12. 地域との連携が不十分
13. 特になし	14. その他（

問10 サービスを提供する上で、どのような問題がありますか。(○はいくつでも)

1. 利用者の確保が難しい
2. 利用者一人に十分な時間をかけられない
3. 利用者や家族の希望に十分応えられていない
4. 利用者や家族との意思疎通が難しい
5. 休日や夜間の対応が難しい
6. 変更やキャンセルが多い
7. 苦情への対応が難しい
8. 困難事例への対応が難しい
9. 担当者会議を十分開けない
10. 特にない
11. その他 ( )

問11 貴事業所利用率をお伺いします。

(問2で選んだ介護サービスの種類について、直近3か月の平均利用率に○を1つお書きください。) ※小数点以下は四捨五入。

利用率 95%以上	利用率 80%以上 95%未満	利用率 50%以上 80%未満	利用率 50%未満
1	2	3	4

問12 過去1年間(令和6年12月1日から令和7年11月30日)に、貴事業所の従業員に対する利用者・家族等からのハラスメント(セクハラ、パワハラ、カスハラ等)について、従業員等から相談や報告等がありましたか。(○は1つ)

1. あった
2. なかった
3. 把握できていない

問13 ハラスメントに対して、どのような公的支援が必要ですか。(○はいくつでも)

1. 利用者・家族への啓発
2. ハラスメント対策のマニュアル整備
3. ハラスメント対策の研修
4. 相談体制の構築
5. その他 ( ) 6. 特にない

問14 虐待防止の取り組みを進めるうえで、現在困っていることはありませんか。(○はいくつでも)

- 【組織の内部課題】**
1. 虐待防止委員会のノウハウ不足
  2. 職員の意識改革が進まない
  3. 人手不足で体制整備が進まない
  4. 予算・コスト面での制約
- 【知識・技術の課題】**
5. 虐待防止指針の更新、見直しが行えていない
  6. 担当者の専門知識・経験が不足している
  7. 虐待の判断基準、捉え方が難しい
  8. 研修、事例検討の効果的な進め方がわからない
- 【外部対応の課題】**
9. 他事業所との情報共有・連携不足
  10. 家族への説明・理解促進が難しい
  11. 行政からの指導・支援が不十分
- 【その他】**
12. その他 ( )
  13. 特に困っていることはない

問15 虐待防止の取り組みをより効果的に進めるために、どのような支援を期待しますか。(〇はいくつでも)

- 1 虐待防止委員会の運営方法に関する研修・指導
- 2 効果的な研修プログラムの提供・紹介
- 3 虐待防止指針のひな形・モデル例の提供
- 4 事業所間の情報交換・連携の場の設定
- 5 専門家による個別相談・助言の機会
- 6 虐待防止に関する最新情報の提供
- 7 具体的な事例検討の機会・場の提供
- 8 外部講師の派遣・紹介
- 9 チェックリストや評価ツールの提供
- 10 他自治体の好事例の紹介
- 11 その他 ( )
- 12 特に期待する支援はない

### 3 職員体制や人材育成について

問16 貴事業所の職員の実人数をお書きください。

常勤専従	常勤兼務	非常勤
人	人	人

問17 貴事業所における令和6年12月～令和7年11月の採用者・退職者を職種別に実人数でお書きください。

職種	常勤 (正職員)		非常勤職員 (常勤以外)	
	採用	退職	採用	退職
介護職員・訪問介護員	人	人	人	人
生活相談員	人	人	人	人
看護職員 (看護師、准看護師、 保健師、助産師)	人	人	人	人
機能訓練指導員	人	人	人	人
介護支援専門員	人	人	人	人
栄養士・管理栄養士	人	人	人	人

【令和6年12月～令和7年11月に退職者がいたと回答した事業所にお聞きします。】

問18 退職した理由をわかる範囲でお答えください。(〇はいくつでも)

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 給料の額     | 2. 勤務時間      | 3. 勤務内容     |
| 4. 職場の人間関係  | 5. 利用者とのトラブル | 6. 本人の適性の問題 |
| 7. 本人の個人的都合 | 8. 家族の都合     | 9. 事業所の都合   |
| 10. 定年退職    | 11. わからぬ     | 12. その他 ( ) |

【ここからはすべての事業所にお聞きします。】

問19 貴事業所では、人材確保に向けて、どのような取り組みをしていますか。  
(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複数の募集ルートを活用して人材を探している</li> <li>2. 福祉系大学や専門学校等の学生への働きかけを行っている</li> <li>3. 口コミや人づてを活用して人材を探している</li> <li>4. 経営理念や業務内容を事前に説明し、ミスマッチの解消を図っている</li> <li>5. 職能給や業績給を導入し、モチベーションの向上に努めている</li> <li>6. 職員の能力向上やキャリアアップに力を入れ、定着を図っている</li> <li>7. 職員が気軽に相談できる環境をつくり、悩みや不安の解消を図っている</li> <li>8. 特にない</li> <li>9. その他 ( )</li> </ol>
---

問20 貴事業所では、人材育成・教育制度を導入していますか。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員の資質向上を目的とした研修</li> <li>2. 新入職員の技能研修</li> <li>3. 非常勤職員の資質向上を目的とした研修</li> <li>4. 先進事業所との情報交換・職員派遣</li> <li>5. IT技術の習得</li> <li>6. ケアマネジャーの研修</li> <li>7. 外部研修への職員派遣</li> <li>8. 自主研修・勉強会の奨励</li> <li>9. 導入を検討中</li> <li>10. 導入していない</li> <li>11. その他 ( )</li> </ol>
---

問21 貴事業所では、介護支援専門員の資格を保持しているが、失効している職員はいますか。いる場合は人数を記入してください。(○は1つ)

1. いる ( ) 名	2. いない
-------------	--------

4 地域とのつながりについて

問22 貴事業所では、地域との交流がありますか。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自治会との交流</li> <li>2. 老人クラブ等の交流イベントを開催</li> <li>3. 小中学校との交流</li> <li>4. 幼稚園・保育園との交流</li> <li>5. 地域ボランティアとの交流</li> <li>6. 地域の行事やイベントへの参加</li> <li>7. 事業所で地域住民も参加できるイベントを開催</li> <li>8. 特にない</li> <li>9. その他 ( )</li> </ol>
---

5 人材の確保・外国人労働者雇用について

問23 貴事業所では、人材不足から介護従事者が確保できないことを理由として、自主的に空床を発生させたり、利用者の利用を断ったりしたことがありますか。  
(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問24 貴事業所では、現在、施設の定員に対して必要な介護従事者を確保できていますか。  
(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設の定員に対して、十分な介護従事者を確保できている</li> <li>2. 施設の定員に対して、十分ではないが最低限の介護従事者は確保できている</li> <li>3. 施設の定員に対して、介護従事者は不足している状況にある</li> </ol>
--



**7 災害について**

問33 貴事業所では、この1年間に避難訓練を実施しましたか。(○は1つ)

- 1. 職員を対象に実施した
- 2. 利用者・職員双方を対象に実施した
- 3. 実施していない

問34 BCP（事業継続計画）の見直しは行っていますか。(○は1つ)

- 1. 年に1回程度見直しを行っている
- 2. 複数年に1回程度見直しを行っている（行う予定である）
- 3. 国や県などのガイドライン等が変更されたら見直しを行う
- 4. 見直しの予定はない
- 5. その他（ ）
- 6. わからない

問35 BCP（事業継続計画）に基づく訓練は行われていますか。(○は1つ)

- 1. 定期的に訓練を行っている
- 2. BCP（事業継続計画）の中には、「訓練」が記載されているが、まだ行っていない
- 3. 訓練することを想定していない
- 4. その他（ ）
- 5. わからない

問36 BCP（事業継続計画）を運営していく中で、課題や要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

問37 大地震などの大規模災害が発生した際の事業継続について、取り組みを行っていますか。(○は1つ)

- 1. すでに取り組みを行っている
- 2. 検討を始めている
- 3. 取り組みを行う予定はあるが、まだ検討していない
- 4. 行う予定はない

【問37で「1」、「2」と回答した事業所にお聞きします。】  
問38 すでに行っている、または検討を行っている取り組みの内容を教えてください。(○はいくつでも)

- 1. 安否確認手順書の作成
- 2. 安否確認の対象者名簿の作成
- 3. 安否確認訓練の実施
- 4. 医療機関等との協定締結
- 5. 地域と合同での訓練
- 6. 研修会などの実施
- 7. 対応する職員の安否確認方法の整備
- 8. 発災時の職員の参集基準の整備
- 9. その他（ ）

【ここからはすべての事業所にお聞きします。】

問39 大地震や水害（河川氾濫・決壊や建物浸水）に対し、貴事業所ではどのような取り組みが必要と考えられていますか。(○は3つまで)

- 1. 災害に対する知識習得
- 2. 地域との連携
- 3. 緊急連絡網の作成
- 4. 備蓄の確保
- 5. 倒壊・浸水を想定した訓練
- 6. 家具や什器等の転倒・落下防止
- 7. ライフライン機能停止時の備え
- 8. ハザードマップの確認
- 9. 施設内外での避難場所や避難方法の確認や周知
- 10. その他（ ）



**「第10期介護保険事業計画・第11次高齢者  
保健福祉計画」策定に関する  
介護支援専門員へのアンケート調査  
【調査票】**

日頃より我孫子市政へのご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。  
この調査は、我孫子市の介護保険事業計画（令和9年度～11年度）策定の基礎資料  
とするため、我孫子市内介護サービス事業所に勤務されている介護支援専門員の方に  
ご意見をお伺いするものです。お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解  
いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年12月 我孫子市長 星野 順一郎

**個人情報取り扱いについて**  
個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。  
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。  
【個人情報の保護および活用目的について】  
●この調査は、効果的な高齢者政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査  
で得られた情報につきましては、市による介護保険事業計画策定の目的以外には利  
用いたしません。また当該情報については、市で適切に管理いたします。

**【アンケートのご記入にあたって】**  
・この調査は、令和7年12月1日現在の状況でご記入ください。  
・調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。  
・調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、  
**12月26日(金)まで**に投函してください。  
◆この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。  
我孫子市役所 健康福祉部高齢者支援課 健康推進係  
電話：7185-1111（内線416、313）

**1 介護支援専門員としてのあなたご自身について**

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)  
1. 男性                      2. 女性                      3. 回答しない

問2 あなたの現在の年齢をお答えください。(○は1つ)  
1. 20～29歳                  2. 30～39歳                  3. 40～49歳  
4. 50～59歳                  5. 60～64歳                  6. 65～69歳  
7. 70歳以上

問3 あなたが現在働いている事業所・施設の種別は次のうちどれですか。(○は1つ)  
1. 居宅介護支援事業所                  2. 特別養護老人ホーム  
3. 介護老人保健施設                      4. 介護療養型医療施設  
5. 特定施設入居者生活介護事業所                  6. 小規模多機能型居宅介護支援事業所  
7. 地域包括支援センター                  8. その他(                      )

問4 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数と、以前の  
勤務先を含めた介護支援専門員としての通算経過年数を教えてください。  
(おおよその数字を記入)

1. 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数  
約      年      か月  
2. 介護支援専門員としての通算経過年数  
約      年      か月

問5 あなたの現在の勤務形態は、次のうちどれですか。(○は1つ)  
1. 常勤・専従                  2. 常勤・兼務                  3. 非常勤・専従                  4. 非常勤・兼務

問6 あなたの昨年の「総収入(年収)」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の  
場合は、1年間の年収を想定してお答えください。(○は1つ)

1. 103万円未満                      2. 103万円以上130万円未満  
3. 130万円以上201万円未満                      4. 201万円以上250万円未満  
5. 250万円以上300万円未満                      6. 300万円以上350万円未満  
7. 350万円以上400万円未満                      8. 400万円以上500万円未満  
9. 500万円以上600万円未満                      10. 600万円以上

問7 あなたが働く職場について伺います。(それぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらか といえば そう思わない	そう 思わない
A. 子育てがしやすい	1	2	3	4	5
B. 介護との両立がしやすい	1	2	3	4	5
C. 産前産後休暇がとりやすい	1	2	3	4	5
D. 育児休暇がとりやすい (ご自身の性でお答えください)	1	2	3	4	5
E. 有給休暇がとりやすい	1	2	3	4	5
F. 昇給や昇格、意思決定に おいて男女が平等である	1	2	3	4	5
G. サービス残業を行うことが ある	1	2	3	4	5
H. 時間外勤務が多い	1	2	3	4	5
I. ハラスメントに対する対策 がなされている	1	2	3	4	5
J. テレワーク(Web会議や 研修など)や在宅勤務の体 制が整っている	1	2	3	4	5
K. 時短勤務やフレックスなど 個人への配慮がなされてい る	1	2	3	4	5
L. 研修会や交流会への 参加など、スキルアップの 機会が保証されている	1	2	3	4	5

問8 あなたは今の労働環境にどの程度満足していますか。(○は1つ)

大いに不満=0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	大いに満足=10
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----------

問9 主任介護支援専門員の資格を持っていますか。(○は1つ)

1. はい  2. いいえ  問10へ

【①~②は問9で「1. はい」と回答した方のみお答えください。】

①主任介護支援専門員として行っている業務は何ですか。(主なもの3つまで○)

1. 介護支援専門員に対する身近な相談対応
2. 介護支援専門員への個別指導・同行訪問
3. 支援困難事例への対応
4. 地域の介護支援専門員における資質向上に向けた取り組み(事例検討等)
5. 地域包括ケアの体制づくり、社会資源の把握・開発
6. 地域包括支援センターとの連携・協働
7. 医療機関・介護サービス事業者・多職種との連携体制の構築
8. 主任介護支援専門員同士の連携・ネットワークづくり
9. その他( )
10. 特にない

②主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要ですか。(○はいくつでも)

1. 地域包括支援センターの主任介護支援専門員との連携体制の構築支援
2. 主任介護支援専門員の役割の明確化
3. 主任介護支援専門員の業務を行うための体制づくり
4. 地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援
5. 介護予防・自立支援に資するケアマネジメントについての啓発
6. 主任介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催
7. スーパーバイズ等の活動の場の提供
8. その他( )
9. 特にない

問10 介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。

(お持ちの資格すべてに○)

1. 介護福祉士	2. ホームヘルパー	3. 社会福祉士
4. 看護師(准看護師)	5. 歯科衛生士	6. 薬剤師
7. 保健師	8. 精神保健福祉士	9. 作業療法士
10. 理学療法士	11. 言語聴覚士	12. その他( )

**2 介護支援専門員業務全般について**

問11 ケアマネジメント業務を行う上での課題は何ですか。(主なものを3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多職種事例のケアマネジメントの方法がわからない</li> <li>2. 認知症ケアの方法がわからない</li> <li>3. 医療機関との連携がうまくとれない</li> <li>4. 制度にまたがる支援調整が難しい(障害・生活困窮など)</li> <li>5. 利用者および家族がサービスの必要性を理解していない</li> <li>6. 忙しくて利用者の意思、要望を聞き取る時間が十分に取れない</li> <li>7. サービス提供事業者に関する情報が少ない</li> <li>8. 所属事業所の関連事業者のサービスに偏る</li> <li>9. 介護保険外サービスの種類が少ない</li> <li>10. 介護支援専門員業務以外の事務量が多い</li> <li>11. 相談できる人が身近にいない</li> <li>12. 基準省令、基準条例の解釈が難しい</li> <li>13. 経済面での調整が難しい</li> <li>14. キーパーソンがない方への支援調整が難しい</li> <li>15. 利用できる制度がないケースへの対応が難しい</li> <li>16. その他 ( )</li> <li>17. 特になし</li> </ol>
---

問12 ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったとき誰に相談しますか。(主なものを3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 同一の事業所の介護支援専門員</li> <li>2. 他事業所の介護支援専門員</li> <li>3. 地域の主任介護支援専門員</li> <li>4. 千葉県介護支援専門員協議会</li> <li>5. 地域包括支援センター</li> <li>6. 市役所(高齢者支援課)</li> <li>7. 千葉県</li> <li>8. 千葉県国民健康保険団体連合会</li> <li>9. サービス提供事業者</li> <li>10. 医療機関</li> <li>11. 我孫子市介護支援専門員連絡協議会</li> <li>12. その他 ( )</li> <li>13. 相談できる相手がない</li> <li>14. 困ったりすることは少ない</li> </ol>
--

問13 担当利用者に対し、ケアマネジメント業務以外に、次のような支援を行っていますか。(主なものを3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受診同行</li> <li>2. 受診への送迎</li> <li>3. 緊急入院した場合の対応・手続き</li> <li>4. 救急車への同乗</li> <li>5. 介護サービスで対応できない家事(例: 家具の移動、電球交換など)</li> <li>6. 介護保険以外の各種申請(給付金など)</li> <li>7. 介護サービス以外の利用時の立会い(例: ガスの点検、電気器具の設備など)</li> <li>8. 高齢者のひとり歩き(徘徊)時の接索</li> <li>9. 金銭に関すること</li> <li>10. 葬儀への見方差の提出、受け取り</li> <li>11. 利用者以外の家族に対する支援(例: 障害・生活困窮などの関係機関との連携など)</li> <li>12. 安否確認</li> <li>13. その他 ( )</li> <li>14. 行っていない</li> </ol>
---

問14 利用者や家族からあげられる苦情の内容としては、どういったものが多くありますか。(主なものを3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険制度そのものに関すること</li> <li>2. サービス利用等の手続きに関すること</li> <li>3. 制度やサービスの説明に関すること</li> <li>4. 利用料に関すること</li> <li>5. サービスの質や内容に関すること</li> <li>6. 介護支援専門員や他の従事者の資質に関すること</li> <li>7. 利用者の個人情報や他の従事者の保護に関すること</li> <li>8. 介護支援専門員や他の従事者の言葉づかいや態度</li> <li>9. 市役所窓口の接遇に関すること</li> <li>10. その他 ( )</li> <li>11. 苦情はない</li> </ol>
---

問15 介護支援専門員として働く中で、これまで利用者や家族からハラスメントを受けたことはありませんか。(○は1つ)

1. 受けたことがある

2. 受けたことがない→問16△

→【①～③は問15で「1. 受けたことがある」と回答した方のみお答えください。】

①その内容として、あてはまるものを教えてください。(○はいくつでも)

1. 身体的暴力 (例：物を投げつけられる、唾をはかれるなど)
2. 精神的暴力 (例：攻撃的な態度で大声を出される、人格を否定される発言をされるなど)
3. セクシャルハラスメント (例：不必要に身体に接触される、性的発言を繰り返されるなど)
4. その他 ( )

→②その際の相談状況を教えてください。(○は1つ)

1. 些細な内容でも相談した

2. 内容によっては相談した

3. 相談しなかった→問16△

→【③は②で「1」「2」(相談した)と回答した方のみお答えください。】

③その際に相談した相手を教えてください。(○はいくつでも)

1. 上司
2. 職場の同僚
3. 労働組合
4. 部下
5. 所属法人の相談窓口
6. 友人・知人・家族
7. 労働局相談コーナー
8. 法律の専門家
9. その他 ( )

### 3 ケアプランの作成状況について

問16 あなたの月平均のケアプラン作成数はどれくらいですか。(数字を記入)

( ) 件      うち新規(介護 件、予防 件)

問17 現在のご担当について、要介護度別の内訳をそれぞれ人数でご記入ください。

計	総合事業者		要支援		要介護		要介護		要介護	
	1	2	1	2	1	2	3	4	5	
市外を含む利用者数										
うち 親孫子市民										
うち医療的ケアが必要な人数										

問18 ケアプラン作成にあたり、優先していることは何ですか。(優先度が高いもの3つまで○)

1. 利用者の意向
2. 家族の意向
3. 健康管理
4. ADLの維持向上
5. QOLの維持向上
6. 利用者の自立
7. 家族等の介護負担の軽減
8. 経済面
9. 社会とのつながり
10. その他 ( )

問19 「自立支援」、「重度化防止」に向けたプランの作成について、日頃の程度意識していますか。(○は1つ)

1. いつも意識して策定している
2. ある程度意識して策定している
3. あまり意識して策定していない
4. 全く意識していない

問20 あなたがケアプランの作成に際し、現在特につまづいていることや、これまで特につまづいたことはありますか。(主なもの3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アセスメント結果をケアプランに反映できないケースがある</li> <li>2. 利用者本人と家族の意見が異なる時の調整が難しい</li> <li>3. ケアプランの短期、長期目標の設定が難しい</li> <li>4. 認知症の利用者、医療行為が必要な利用者等のケアプラン作成が難しい</li> <li>5. 利用者や家族から必要以上のサービス提供を求められる</li> <li>6. 所属事業所や関連事業所のサービスを積極的に盛り込む必要がある</li> <li>7. サービス提供事業所との調整が難しい</li> <li>8. サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できない</li> <li>9. 医療機関(主治医等)との連携が確立できていない</li> <li>10. 薬局との連携が確立できていない</li> <li>11. サービス担当者会議の開催事務が煩雑</li> <li>12. 認定結果の判明が遅い</li> <li>13. インフォームドコンセントについての情報がない</li> <li>14. その他( )</li> <li>15. 特になし</li> </ol>
--

問21 ケアプランを作成する際、地域の居場所、サロン等の地域資源やインフォーマルサービスを活用していますか。(○は1つ)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. している(内容: )</li> <li>2. していない(理由: )</li> </ol>
---

#### 4 関係者との連携について

問22 利用者1人に対して、利用者や家族への平均的な訪問頻度はどのくらいですか。  
(1) 要介護の方への訪問 (○は1つ)

1. 月4回以上	2. 月3回	3. 月2回	4. 月1回
----------	--------	--------	--------

(2) 要支援・事業対象者(総合事業)の方への訪問 (○は1つ)

1. 月4回以上	2. 月3回	3. 月2回	4. 月1回
----------	--------	--------	--------

問23 サービス提供者との関係における課題はどのようなことですか。  
(主なもの3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケアプラン通りにサービスを提供してくれない</li> <li>2. サービスの提供内容が不十分に感じる</li> <li>3. 利用者の変化・要望等について報告してくれない</li> <li>4. 利用者に対する説明に食い違いがある</li> <li>5. 双方とも忙しいため、報告や相談のための時間がとれない</li> <li>6. その他( )</li> <li>7. 特になし</li> </ol>
--

問24 地域包括支援センターに機能強化してほしいと思うことは何ですか。  
(主なものを3つまで○)

1. 困難事例への支援の充実
2. 虐待への対応の充実
3. 研修・指導内容の充実
4. 介護者支援の充実
5. 相談機会の増加、緊密な情報交換
6. 情報提供の充実
7. 関係機関の紹介
8. 地域との交流機会の増加
9. 民生委員・児童委員との連携強化
10. 介護予防活動の充実
11. 医療と介護の連携強化に向けた支援の充実
12. 地域の関係機関とのネットワークづくり
13. その他 ( )

5 高齢者施策全般について

問25 我孫子市における介護サービスの過不足についてどのように感じていますか。  
(それぞれ○は1つ)

サービス名	多い	やや多い	どちらともいえない	やや少ない	少ない
A. 訪問介護	1	2	3	4	5
B. 訪問入浴介護	1	2	3	4	5
C. 訪問看護	1	2	3	4	5
D. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5
E. 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5
F. 通所介護 (地域密着型含む)	1	2	3	4	5
G. 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5
H. 短期入所生活介護	1	2	3	4	5
I. 短期入所療養介護	1	2	3	4	5
J. 福祉用具貸与・特定福祉用具販売	1	2	3	4	5
K. 特定施設入居者生活介護	1	2	3	4	5
L. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5
M. 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5
N. 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5
O. 認知症対応型共同生活介護	1	2	3	4	5
P. 特定施設入居者生活介護 (地域密着型含む)	1	2	3	4	5
Q. その他 ( )	1	2	3	4	5
(1) 居宅サービス					
(2) 施設サービス					
A. 介護老人福祉施設 (地域密着型含む)	1	2	3	4	5
B. 介護老人保健施設	1	2	3	4	5

問26 介護支援専門員への対応として、我孫子市に期待することは何ですか。  
(主なもの5つまで○)

1. 介護保険制度(総合事業を含む)に関する情報の提供
2. 保健・福祉サービスの情報提供
3. 給付管理等に関する相談体制の充実
4. 介護支援専門員の地位向上に関する取組
5. ケアマネジメントの質の向上に向けたケアプラン点検の実施
6. スキルアップのための研修会・講習会の実施
7. 医療と介護の連携強化対策
8. 介護保険の迅速な要介護認定
9. 介護支援専門員の公正・中立性を確保する対策
10. 事業所の指導・監督等
11. 居宅介護支援事業所の独立性を尊重する対策
12. 市民への自立支援や適切なサービス利用についての啓発
13. 支援困難者への対応
14. 虐待対策の充実
15. 事務手続きの簡略化
16. 介護予防・日常生活支援総合事業サービスの見直し
17. 多職種連携への支援
18. 医療介護連携への支援
19. その他 ( )
20. 特になし

- 12 -

問27 インフォーマルサービスの充実に向けて、地域にどのような活動があれば良いと思いますか。(主なもの3つまで○)

1. 災害等の緊急時の対応
2. 高齢者の見守り活動
3. 家事の支援活動
4. 外出時の付き添いや介助
5. サークルや趣味の活動
6. 住民同士の交流、支えあい活動
7. 住民同士の学びあい活動
8. 健康づくりや介護予防に関する活動
9. 隣近所や友人・知人による会食
10. 市役所・社会福祉協議会等との連携
11. その他 ( )

問28 今後、認知症施策を進めていく上で、我孫子市はどのようなことに重点を置くべきだと考えますか。(主なもの3つまで○)

1. かかりつけ医から専門医療機関へのスムーズな連携体制づくり
2. 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組
3. 医療と介護・行政との連携強化
4. 施設の整備(具体的に: )
5. 介護サービスにあたる専門職の質の向上
6. 家族の精神的な負担を緩和する取組
7. 家族を対象に、介護やコミュニケーション方法等の研修会の開催
8. 見守りボランティアなど、在宅での生活を支える取組
9. 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の活用促進
10. 行方不明や緊急時への対応
11. 認知症への正しい理解を広める取組
12. 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援
13. 64歳以下で発症する若年性認知症の方の支援
14. 虐待を防止する制度や取組の充実
15. その他 ( )

- 13 -

問29 地域包括ケアシステムを構築するために必要だと思われるものは何ですか。  
(主なもの3つまで○)

1. 地域の社会資源及び住民ニーズの把握
2. 生活支援サービスの担い手の確保
3. 地域の見守りネットワークの強化
4. 情報共有手段としてのICTの活用
5. 地域ケア会議の活性化
6. 医療・介護サービス従事者の連携の強化
7. ケアシステムの構築に向けた行政の支援体制の充実
8. マイノリティーに対する差別や偏見への解消（認知症・引きこもり等）
9. その他（ ）

問30 地域包括ケアシステムを促進するため、重要だと思われる組織・団体等は次のうちどれですか。特に重要だと思われる5団体を選んでください。  
(主なもの5つまで○)

1. 自治会
2. 民生委員・児童委員
3. 老人クラブ
4. 地域包括支援センター
5. 医師・歯科医師・薬剤師
6. 医師会・歯科医師会・薬剤師会
7. 社会福祉協議会
8. CSW（コミュニケーション・ソーシャルワーカー）
9. 生活支援コーディネーター
10. 介護支援専門員
11. 介護サービス事業所
12. 警察署・交番
13. 消防署・消防団
14. 介護相談員
15. NPO・ボランティア
16. 認知症サポーター
17. マンション・アパート管理人
18. 不動産業者
19. 商店街（スーパー・コンビニ等）
20. その他（ ）

## 6 在宅医療やその他について

問31 在宅で看取りのケアプランを作成した経験はありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

【問31で「1. ある」と回答した方のみお答えください。】

問32 看取りの支援で困ったことは何ですか（○はいくつでも）

1. 医師との連携が難しい
2. 訪問看護・訪問介護との連携が難しい
3. 家族が看取りに対する十分な理解や心の準備が出来ていない
4. 個人の意思確認や希望の把握が難しい
5. 夜間・休日など緊急時の支援体制が十分でない
6. 自宅環境が看取りに適していない
7. 介護職員や関係者の経験不足による不安や対応が難しい
8. ご本人の症状や苦痛への対応が難しい
9. その他（ ）

問33 支援をしている中での実感として、ここ数年（3年程度）で看取りのケアを希望される利用者が増えたと感じますか。(○は1つ)

1. 増えている
2. あまり変わらない
3. 減っている
4. わからない

問34 在宅医療を支えるうえで、医師などの医療関係機関との連携は取れていますか。(○は1つ)

1. 十分に連携は取れている
2. まあまあ連携は取れている
3. あまり連携は取れていない
4. まったく連携は取れていない
5. どちらともいえない

問35 医療との連携において、課題だと思ふことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 連携のための連絡調整に時間がかかるなど苦勞がある 2. 医療に関する表現や用語が難解で理解しにくいことがある 3. 医師や医療関係者とコミュニケーションをとることが難しい 4. 協力的な姿勢や対応が得にくいことがある 5. 情報提供しても活用されない(活用されているか不明である)ことが多い 6. 主治医と話し合う機会が少ない 7. 利用者の自宅での生活への理解や関心が不足していると感じることがある 8. その他( ) 9. 特になし
---

問36 この1年間で、病院に入院または退院する利用者を担当したことがありますか。(〇は1つ)

1. ある 2. ない
----------------

【問36で「1. ある」と回答した方のみお答えください。】

問37 この1年間で入院・退院をした利用者は、それぞれ何人ですか。

入院 (延べ )人
退院 (延べ )人

【問36で「1. ある」と回答した方のみお答えください。】

問38 利用者が入院・退院した際の連携先をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 医師 2. リハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等) 3. 看護師 4. 病院の医療相談担当スタッフ 5. 生活相談員 6. 介護支援専門員 7. 介護サービス事業所 8. 管理栄養士・栄養士 9. その他(具体的に: ) 10. 特に連携していない
---

問39 入退院支援・調整について、どのように感じていますか。(それぞれあてはまるものに1つずつ〇)

	非常に そう 思う	そう 思う	どちら とも いえない	そう 思わない	全く そう 思わない
①医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり、困ることがある	1	2	3	4	5
②病院における退院前カンファレンスが開催されるときには、必ず参加できている	1	2	3	4	5
③退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している	1	2	3	4	5
④退院時に、病院の主治医または連携担当者(地域連携室など)と円滑な連携がとれている	1	2	3	4	5
⑤入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携が取れている	1	2	3	4	5
⑥病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている	1	2	3	4	5

問40 本来の業務範囲以外となる「シャドワーク」を行ったことはありますか。(○は1つ)

※シャドワークとは、ケアマネジャーが介護保険制度上の報酬(給料)の対象とならないものの、利用者の生活を支えるために不可欠な無報酬の業務

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【問40で「1. ある」と回答した方のみお答えください。】

問41 どのような支援を行いましたか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通院の付き添い</li> <li>2. 入浴・入所時の手続き</li> <li>3. 行政手続きなどの代行、支援</li> <li>4. 支払いの代行</li> <li>5. 金融機関での手続きなどの代行</li> <li>6. 買い物など家事支援</li> <li>7. 救急搬送の要請、救急車に同乗</li> <li>8. 部屋の片づけ・ゴミ出し</li> <li>9. 郵便の整理</li> <li>10. 自宅についての相談・支援</li> <li>11. 家族自身への支援</li> <li>12. ペット・植物の世話</li> <li>13. 緊急時の訪問対応</li> <li>14. 高頻度・長時間の電話対応、時間外相談</li> <li>15. 死後事務への対応</li> <li>16. その他(具体例に：<br/> )</li> </ol> |
|---|

【問40で「1. ある」と回答した方のみお答えください。】

問42 シャドワークを担うことになった背景や理由を教えてください。(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族・親族等の身寄りの不在、身元保証等の担い手がいないため</li> <li>2. 利用者や家族からの強い依頼があったため</li> <li>3. 利用者や家族との信頼性の維持のため</li> <li>4. 断りづらい雰囲気・使命感があるため</li> <li>5. 個人の経験や価値観のため</li> <li>6. 事業所の方針のため</li> <li>7. 制度だけでは対応できない生活ニーズへの支援のため</li> <li>8. 他のケアマネジャーも行っているため</li> <li>9. 地域の社会資源・他の関係機関が不足しているため</li> <li>10. (災害や事故、体調の急変など)生命の危機に関わる可能性があるため、緊急支援が必要だと判断したため</li> <li>11. その他(具体例に：<br/> )</li> </ol> |
|--|

【問40で「1. ある」と回答した方のみお答えください。】

問43 シャドワークが業務負担や離職リスクの上昇につながっていると感じますか。(○は1つ)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. とても感じる</li> <li>2. やや感じる</li> <li>3. あまり感じない</li> <li>4. まったく感じない</li> </ol> |
|--|

問44 最後に、高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



問6 調査対象の事業所での、通算勤務年数をお聞きます。(○は1つ)

1. 1年未満	2. 1年～3年未満	3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満	5. 10年～15年未満	6. 15年以上

問7 調査対象の事業所での、あなたの雇用形態をお聞きます。(○は1つ)

1. 常勤(正職員)	2. 常勤(臨時職員)	3. 非常勤	4. その他( )
------------	-------------	--------	-----------

問8 調査対象の事業所での、あなたの1週間の平均労働時間をお聞きます。(○は1つ)

1. 10時間未満	2. 10時間～20時間未満	3. 20時間～30時間未満
4. 30時間～40時間未満	5. 40時間～50時間未満	6. 50時間以上

問9 調査対象の事業所での、あなたの勤務体制をお聞きます。(○は1つ)

1. 日勤のみ	2. 夜勤のみ	3. 交代勤務	4. その他( )
---------	---------	---------	-----------

問10 あなたがお勤めの事業所では、おおよそ何人ぐらいの職員(常勤・非常勤とも)が勤務していますか。(○は1つ)

1. 1～4人	2. 5～9人	3. 10～19人	4. 20～29人
5. 30～39人	6. 40～49人	7. 50～99人	8. 100人以上

問11 あなたが現在の事業所を選んだ理由は何か。(○はいくつでも)

1. 立地条件(通勤距離・交通の利便性)	2. 勤務条件(勤務時間・休日など)
3. 給与の額	4. 事業所の種別
5. 事業所の理念・方針	6. 事業所の規模
7. 事業所の環境(快適さ・清潔さ)	8. 職場の雰囲気
9. 学校・大学の紹介	10. 知人などからの紹介
11. 特にない	12. その他( )

## 2 職場の環境について

問12 あなたが働く職場について伺います。(それぞれ○は1つ)

	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはいい	どちらかといえはそう思わない	そう思わない
A. 子育てがしやすい	1	2	3	4	5
B. 介護との両立がしやすい	1	2	3	4	5
C. 産前産後休暇がとりやすい	1	2	3	4	5
D. 育児休暇がとりやすい (ご自身の姓でお答えください)	1	2	3	4	5
E. 有給休暇がとりやすい	1	2	3	4	5
F. 昇給や昇格、賞与決定において男女が平等である	1	2	3	4	5
G. サービス残業を行うことがある	1	2	3	4	5
H. 時間外勤務が多い	1	2	3	4	5
I. ハラスメントに対する対策がなされている	1	2	3	4	5
J. テレワーク(Web会議や研修など)や在宅勤務の体制が整っている	1	2	3	4	5
K. 時短勤務やフレックスなど個人への配慮がなされている	1	2	3	4	5
L. 研修会や交流会への参加など、スキルアップの機会が保証されている	1	2	3	4	5
M. 職場でコミュニケーションが取れている	1	2	3	4	5

問13 あなたは今の労働環境にどの程度満足していますか。(○は1つ)

大いに不満=0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	大いに満足=10
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----------

**3 業務に対する評価・待遇について**

問14 あなたの職場では、業務に関して公平な評価が行われる制度（人事考課など）はありますか。(○は1つ)

1. ある                      2. ない                      3. わからない

問15 あなたの業務に対する評価をどのように感じていますか。(○は1つ)

1. 非常に良く評価されている      2. 概ね良く評価されている  
3. やや過少に評価されている      4. 非常に過少に評価されている      5. わからない

問16 事業所から受け取る賃金の支払形態をお聞きます。(○は1つ)

1. 月給制      2. 日給制      3. 時間給制      4. その他 ( )

問17 差し支えなければ、現在支給されている給与・賃金の額(月額【諸手当・税込】)をお答えください。(○は1つ)

1. 5万円未満      2. 5万円～10万円未満      3. 10万円～15万円未満  
4. 15万円～20万円未満      5. 20万円～25万円未満      6. 25万円～30万円未満  
7. 30万円～40万円未満      8. 40万円～50万円未満      9. 50万円以上

問18 あなたは、現在支給されている給与・賃金の額について、どのように感じていますか。(○は1つ)

1. 非常に満足している                      2. 概ね満足している  
3. やや少ないと思う                      4. 非常に少ないと思う                      5. わからない

問19 都内、近隣市の介護事業所と比べ賃金に差があると感じますか。(○は1つ)

1. 高いと感じる      2. 低いと感じる      3. あまり感じない      4. まったく感じない

**4 仕事に対する不安や今後のことについて**

問20 あなたは、仕事にストレスを感じることがありますか。(○は1つ)

1. 非常に感じる  
2. 多少は感じる  
3. あまり感じない  
4. 全く感じない  
5. わからない

【問20で「1」、「2」と回答した方にお聞きます。】

問21 あなたがストレスを感じる原因は何ですか。(○はいくつでも)

1. 業務内容自体（介護・看護など）  
2. 勤務条件（長時間労働・不規則な勤務体制）  
3. 利用者やその家族との関係  
4. 職場における上司や同僚との関係  
5. 雑用が多く、本来の業務に集中できないこと  
6. 緊急な対応を求められる仕事が多いこと  
7. 個人の責任が重く、プレッシャーがかかること  
8. わからない  
9. その他 ( )

【ここからは全員にお聞きます。】

問22 あなたには、仕事に関して不安を感じることがありますか。(○はいくつでも)

1. 仕事に関する経験・知識の不足  
2. 利用者やその家族との関係  
3. 職場における上司や同僚との関係  
4. 緊急時の対応や医療・介護事故  
5. 事業所の運営方針や経営状況  
6. 今後の勤務状況やキャリア  
7. 自分自身の健康状態  
8. 介護保険制度などの制度改正  
9. 特に不安はない  
10. その他 ( )

問23 あなたは、今後も現在の事業所で仕事を続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. ずっと続けたい
2. 当面は続けたい
3. あまり続けたくない
4. 近いうちに辞めたい
5. どちらとも言えない

【問23で「3」、「4」と回答した方にお聞きします。】

問24 現在の事業所で仕事を続けたくないと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 給与・賃金が安いから
2. 体力的にきついから
3. 勤務時間が長時間または不規則だから
4. 緊急な対応を求められる仕事が多いから
5. 個人の責任が重く、プレッシャーがかかるから
6. やりたい仕事ができないから
7. 昇進やキャリアアップを望めないから
8. 介護に関する別の職種に就きたいから
9. 介護以外の仕事に就きたいから
10. わからない
11. その他 ( )

問25 今後、介護に携わる人材を増やすためには、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 介護職のイメージアップ
2. 職務標準の改善
3. 職員のメンタルヘルスケア
4. 小・中・高校や、生徒の保護者に向けた福祉・介護職の普及啓発
5. 資格はあるけれども働いていない方（潜在的有資格者）の掘り起こし
6. 福祉・介護職の職場の紹介
7. 中高年齢層を対象とした就職支援
8. 資格取得研修等の開催
9. (福祉系ではない) 一般の大学に向けた福祉・介護職の普及啓発
10. 無料職業紹介、就職相談会による就職支援
11. 外国人介護職の就職支援
12. 子育てしながらでも働けるよう、事業所内に保育施設を設ける
13. 特になし
14. その他 ( )

問26 介護保険制度や高齢者保健福祉に関して、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

我孫子市  
「第 10 期介護保険事業計画・第 11 次高齢者保健  
福祉計画策定業務」に係るアンケート  
調査報告書

発行：令和 8 年 3 月

発行者：我孫子市 健康福祉部 高齢者支援課

〒270-1192

千葉県我孫子市我孫子 1858 番地

電話：04-7185-1111



